
新潟県中越大震災
被災地における自殺の現状
報告書

平成 25 年 2 月

新潟県精神保健福祉協会 こころのケアセンター

目 次

I 概要	1
1. 中越大震災の概要とこころのケア	1
1)中越大震災の被害概要	1
2)中越大震災のこころケア活動の概要	1
2. 目的	2
統計編	
II 被災地の地震前後 5 年間における諸指標の変化について	5
1. 新潟県における自殺者の状況	6
1) 新潟県における男女別の自殺死亡率の経年変化	6
2) 被災地・非被災地別の自殺者数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	7
3) 被災地・非被災地別の自殺率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	8
4) 被災地・非被災地別の自殺死亡率の経年変化	9
2. 被災地・非被災地別の諸指標の比較	10
1) 被災地・非被災地別の人口の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	10
2) 被災地・非被災地別の世帯数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	11
3) 被災地・非被災地別の出生数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	12
4) 被災地・非被災地別の出生率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	13
5) 被災地・非被災地別の死亡者数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	14
6) 被災地・非被災地別の死亡率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	15
7) 被災地・非被災地別の自然動態増減数(出生数-死亡数)の変化 (地震前後 5 年間の年平均値の変化)	16
8) 被災地・非被災地別の社会動態(転入)の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	17
9) 被災地・非被災地別の社会動態(転出)の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	17
10) 被災地・非被災地別の社会動態(転入者数-転出者数)の変化 (地震前後 5 年間の年平均値の変化)	18
11) 被災地・非被災地別の 65 歳以上人口(実数)の変化 (地震前後 5 年間の年平均値の変化)	19
12) 被災地・非被災地別の 65 歳以上人口(割合)の変化 (地震前後 5 年間の年平均値の変化)	20
13) 被災地・非被災地別の市町村民所得(一人当たり)の変化 (地震前後 5 年間の年平均値の変化)	21
14) 被災地・非被災地別の離婚数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	22
15) 被災地・非被災地別の離婚率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化)	22

16) 被災地・非被災地別の生活保護世帯数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	23
17) 被災地・非被災地別の生活保護数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	23
18) 被災地・非被災地別の生活保護率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	24
19) 被災地・非被災地別の耕地面積(総数)の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	25
20) 被災地・非被災地別の耕地面積(田)の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	25
21) 被災地・非被災地別の耕地面積(畑)の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	26
22) 被災地・非被災地別の交通事故発生件数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	27
23) 被災地・非被災地別の交通事故死亡者数の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	27
24) 被災地・非被災地別の交通事故死者率の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	28
25) 被災地・非被災地別の病院・診療所数.....	29
26) 被災地・非被災地別の酒類販売(消費)数量の変化(地震前後 5 年間の年平均値の変化).....	29
27) 被災地・非被災地別の高齢者世帯数の変化(震災前後の年平均値の変化).....	30
28) 被災地・非被災地別の単身高齢者世帯数の変化(震災前後の年平均値の変化).....	31
3. まとめ.....	32
1)地震前後 5 年間の変化の所見のサマリー.....	32
2)統計編の考察及び提言.....	32

事例編

Ⅲ 被災地域自死者の実態について	37
【対 象】.....	37
【調査方法・期間】.....	37
【統計処理】.....	37
1. 基本属性.....	38
1) 年代.....	38
2) 性別.....	38
3) 婚姻状況.....	38
4) 自死時の職業.....	38
5) 家族構成(同居人数).....	39
2. 65 歳未満、65 歳以上別のクロス集計.....	40
1) 性別.....	40
2) 被災との関連.....	40
3) 家屋被害状況.....	41
4) 移転状況.....	41
5) 仮設入居経験.....	42
6) 喪失体験.....	42
7) 自死時の職業.....	43

8) 主な収入(本人)	43
9) 主な収入(世帯)	46
10) 婚姻状況.....	49
11) 精神疾患.....	49
12) 家族構成.....	50
13) 住居.....	50
14) 家庭での役割.....	51
15) 地域での役割.....	51
16) 自死の状況.....	52
17) 自死の原因・動機.....	55
18) 自死の原因と考えられる本人の状況.....	58
19) 生活上の出来事.....	66
20) 家庭・周囲の状況.....	75
21) 自殺調査のためのチェックリスト.....	78
3. 「保健師のこれまでの関わりの有無」別のクロス集計(抜粋)	87
1)自死の原因と考えられる本人の状況：アルコール多飲.....	87
2)自死の原因と考えられる本人の状況：日中飲酒.....	87
4. 参考「保健師によるこれまでの関わりの有無」別のクロス集計(抜粋)	88
5. まとめ.....	137
1)被災地自死者の実態についての所見のサマリー.....	137
2)事例編の考察及び提言.....	138

<特別寄稿> 東日本大震 被災地における自殺予防の取り組み

「 岩手県の被災地におけるこころのケアと自殺対策 」

岩手医科大学医学部神経精神科学講座 災害・地域精神医学講座
 岩手県こころのケアセンター 副センター長 大塚 耕太郎 氏
 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

岩手県こころのケアセンター センター長 酒井 明夫 氏..... 143

「 宮城県における震災後支援の現状と課題 」

東北大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学教室
 みやぎ心のケアセンター 地域支援部長 福地 成 氏
 東北大学大学院医学系列研究科 予防精神医学寄付講座 准教授

みやぎ心のケアセンター 副センター長 松本 和紀 氏..... 151

「 福島県における東日本大震災・原発事故災害後の自殺対策 」				
	福島県精神保健福祉センター	所長	畑 哲信 氏	159
「 誰も置き去りにしない復興を目指して ～ライフリンクの被災地支援～ 」				
	NPO 法人 自殺対策支援センターライフリンク	代表	清水 康之 氏	169
「 自殺防止の最前線 ～被災地支援 1 年 10 か月の記録から～ 」				
	非特定営利法人 蜘蛛の糸	理事長	佐藤 久男 氏	177
おわりに				183
巻末資料				185
資料 1	中越大震災による被害状況			
資料 2	市町村別諸指標の経年変化			
資料 3	被災地域自死者の実態について(調査票)			
資料 4	新潟県中越地方を中心とする地震にかかる災害救助法の適応について			

I 概要

1. 中越大震災の概要とこころのケア

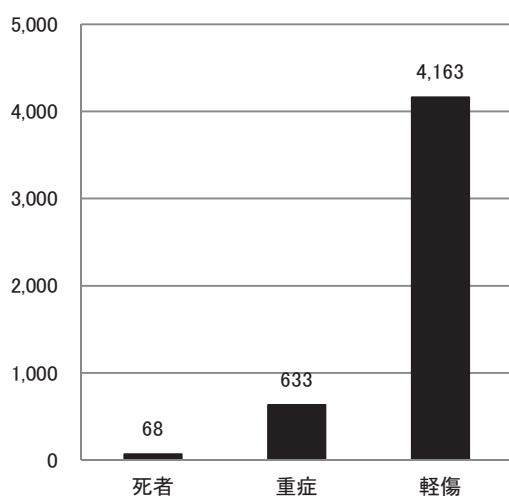
1) 中越大震災の被害概要

平成 16 年(2004 年)10 月 23 日 17 時 56 分に新潟県中越地方を震源として発生し、マグニチュード 6.8、最大震度は北魚沼郡川口町(現長岡市川口)で震度 7 を記録した。

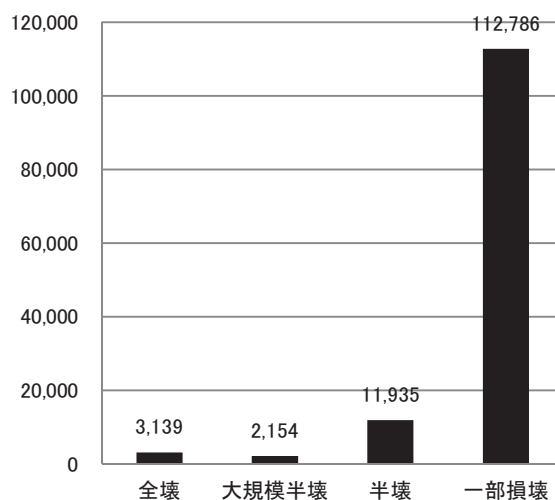
最終的に人的被害は、死亡者 68 名、負傷者 4,796 名(うち重傷者は 633 名)、住宅被害は、全壊 3,139 棟、大規模半壊 2,157 棟、半壊 11,953 棟、一部損壊 112,786 棟であることが発表された。(新潟県報道資料 平成 16 年新潟県中越大震災による被害状況について(最終報)より)

また、中越大震災が起きた平成 16 年には 7 月 13 日、集中豪雨により五十嵐川、刈谷田川の堤防が決壊し、三条市、長岡市中之島地区で広範囲な浸水被害を受けていた。中越大震災はその被害がようやく癒えてきた同年 10 月に発生し、このため中越地区は、水害と震災という 2 重に被災を受けた地域もあった。

中越大震災人的被害状況



中越大震災家屋被害状況



2) 中越大震災被災地におけるこころのケア活動の概要

10 月 23 日に発生した中越大震災であるが、翌日 24 日には災害専用相談電話(こころのケアホットライン)を開設。25 日には新潟県知事より各都道府県に心のケア支援依頼がなされた。26 日には県内のこころのケアチームが始動し、27 日は第 1 回こころのケア対策会議が開かれ、同日より県外こころのケアチーム派遣が開始された。これにより県内外の 39 団体のこころのケアチームにより被災者への急性期のこころのケア活動が行われた。

平成 17 年 3 月 1 日には中越大震災復興基金が設立され、被災者の生活支援対策として中長期的な被災者のこころのケアの必要性から復興基金の事業の一つとしてこころのケア事業が設定された。これにより平成 17 年 8 月に当センターが開所され、被災地におけるこころのケ

ア活動が開始された。その後 8 年間にわたり被災市町村や関係機関と連携して、被災者に対するところのケア事業が継続して行われている。

2. 目的

平成 10 年を境に日本の自殺者数は 3 万人と高止まりをしている。平成 24 年にようやく 3 万人を割り、減少に転じたかのようにみえるが、依然新潟県の自殺死亡率は全国と比較して高い水準で推移しており、自殺対策は喫緊な課題となっている。自殺対策を推進することは単に自殺者の減少を目的とするだけでなく、既存の地域精神保健福祉活動の向上及び、地域住民の健康増進を図り、また、うつ病やアルコール依存症、認知症をはじめとする様々な精神疾患の発生予防・早期発見や重症化を防ぐ対策にもなり得ると考えられる。

加えて新潟県では、平成 16 年 7 月の水害。同年 10 月の中越大震災、平成 19 年 7 月の中越沖地震、平成 23 年 3 月の東日本大震災と長野県北部地震などの自然災害を経験している。被災地では災害により、大切な人や物、慣れ親しんだ家屋の損壊、住み慣れた風景の変化など様々な喪失体験を経験したり、転住などによる生活環境の変化を機に多大なストレスを受けたことが想定されることから、うつ病の発症や自殺への影響を軽視できないと思われる。

そこで、今回の報告書では、今後の被災地における自殺予防対策の施策に資することを目的に、以下の分析及び聞き取り調査を実施した。

- ①統計編では、被災地における中越大震災前後 5 年間の自殺率及び自殺が人口、世帯数、出生率・死亡率、所得や離婚率、交通事故発生件数、酒類販売量等々のどのような因子と関連しているかを分析し、被災地における基礎資料とする。
- ②事例編では被災地保健師より自死事例(56 事例)の聞き取り調査を行い被災地における自死の実態ならびに類型を検討した。

また、東日本大震災被災地における自殺予防対策の取り組みから、広域災害の被災地における取組、また東日本大震災の被災地の現状を広く知ってもらい今後の参考としてもらうため特別寄稿として掲載をした。

統計編

Ⅱ 被災地の地震前後5年間における諸指標の変化について

※「被災地地震前後5年間における諸指標の変化について」を見るにあたって

①本調査では震災前後5年間の比較を行うために資料を収集しており、1. 1)～4)、2. 1)～24)までは市町村別に震災前後5年間の公表されているデータを用いた。
2. 24)は平成21年時点での病院・診療所数で集計を行った。
2. 25)の酒類販売量は税務署ごとの消費量で後述の被災地の分類に準じるように分類を行った。
2. 27)は震災前後5年間の集計でなく、国勢調査のデータを利用しているため、国勢調査が行われた単年ごとのデータを使用した。
また、新潟県では震災の発生した平成16年前後で多くの市町村合併が行われているため、合併した市町村のデータに関しては、平成22年時点の市町村に合わせて当センターで合算した。割合に関しては、合併後の市町村のデータを基に計算式に合わせて、当センターで再計算を行った。

②本報告書において表記される被災地1、被災地2、非被災地に関しては、災害救助法の適用市町村とした場合、広範囲に広がりすぎ被災状況も事なる市町村が混在してしまうために下記に示した条件で当センターが分類を行った。

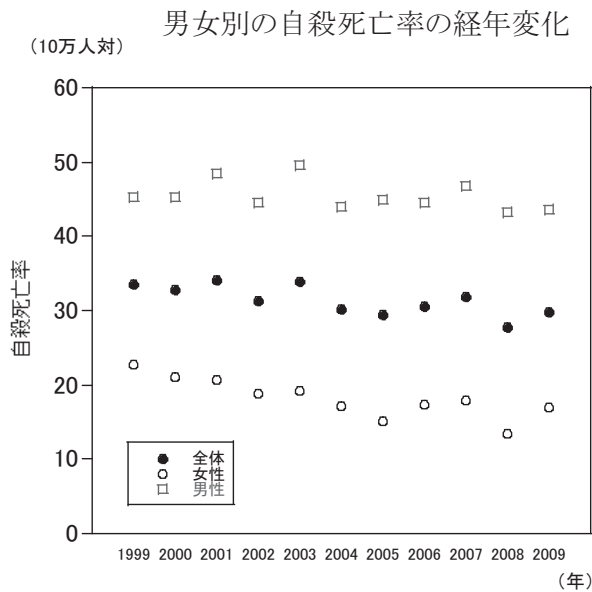
被災地1:平成16年10月27日付「新潟県中越地方を中心とする地震にかかる災害救助法の適用について」第4報時点で災害救助法適用市町村であり、かつ当センターが継続して関わりを持った市町村。
(長岡市、小千谷市、魚沼市、十日町市、川口町(現長岡市))

被災地2:平成16年10月27日付「新潟県中越地方を中心とする地震にかかる災害救助法の適用について」第4報時点で災害救助法適用市町村であり、当センターが継続的に関わっていない市町村。
(見附市、上越市、柏崎市、南魚沼市、津南町、出雲崎町、刈羽村)

非被災地:上記、被災地1、被災地2以外の市町村。
(新潟市、新発田市、加茂市、村上市、三条市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、阿賀野市、佐渡市、胎内市、田上町、阿賀町、湯沢町、聖籠町、弥彦村、関川村、粟島浦村)

1. 新潟県における自殺者の状況

1) 新潟県における男女別の自殺死亡率の経年変化



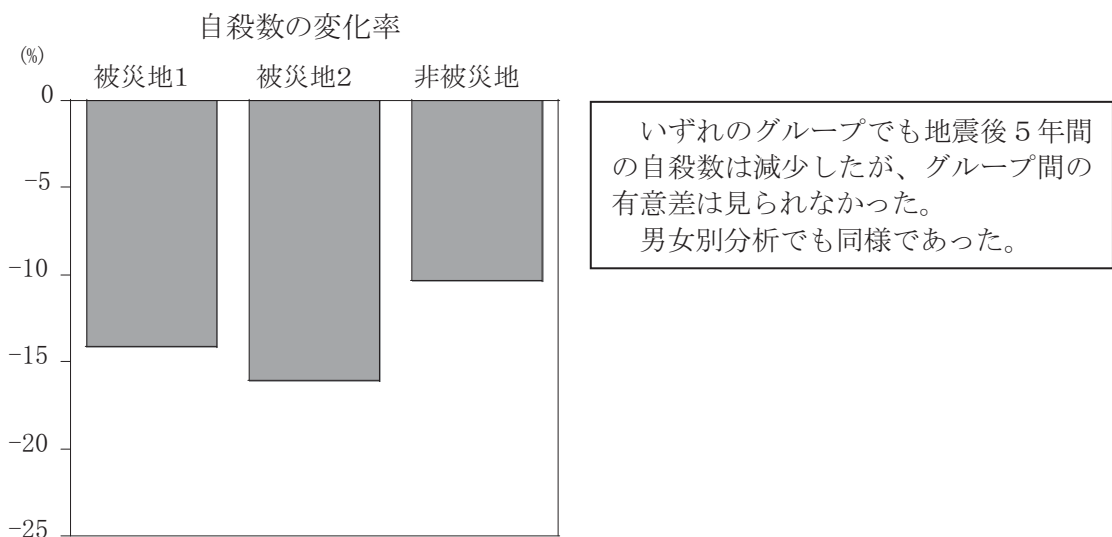
新潟県の自殺死亡率は緩やかに減少する傾向にある。

自殺死亡率の経年変化

全体	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
県内自殺者数	836	812	843	771	833	766
県内人口	2,485,835	2,475,284	2,470,402	2,463,523	2,455,311	2,535,411
自殺死亡率(10万対)	33.6	32.8	34.1	31.3	33.9	30.2
男性	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
県内自殺者数	546	544	581	533	590	541
県内人口	1,207,676	1,201,767	1,198,965	1,194,843	1,190,115	1,228,704
自殺死亡率(10万対)	45.2	45.3	48.5	44.6	49.6	44.0
女性	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
県内自殺者数	290	268	262	238	243	225
県内人口	1,278,159	1,273,517	1,271,437	1,268,680	1,265,196	1,306,707
自殺死亡率(10万対)	22.7	21.0	20.6	18.8	19.2	17.2

全体	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
県内自殺者数	718	738	767	665	711
県内人口	2,431,021	2,419,460	2,407,008	2,395,139	2,383,650
自殺死亡率(10万対)	29.5	30.5	31.9	27.8	29.8
男性	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
県内自殺者数	528	522	545	500	502
県内人口	1,176,690	1,170,723	1,164,099	1,157,999	1,152,235
自殺死亡率(10万対)	44.9	44.6	46.8	43.2	43.6
女性	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
県内自殺者数	190	216	222	165	209
県内人口	1,254,331	1,248,737	1,242,909	1,237,140	1,231,415
自殺死亡率(10万対)	15.1	17.3	17.9	13.3	17.0

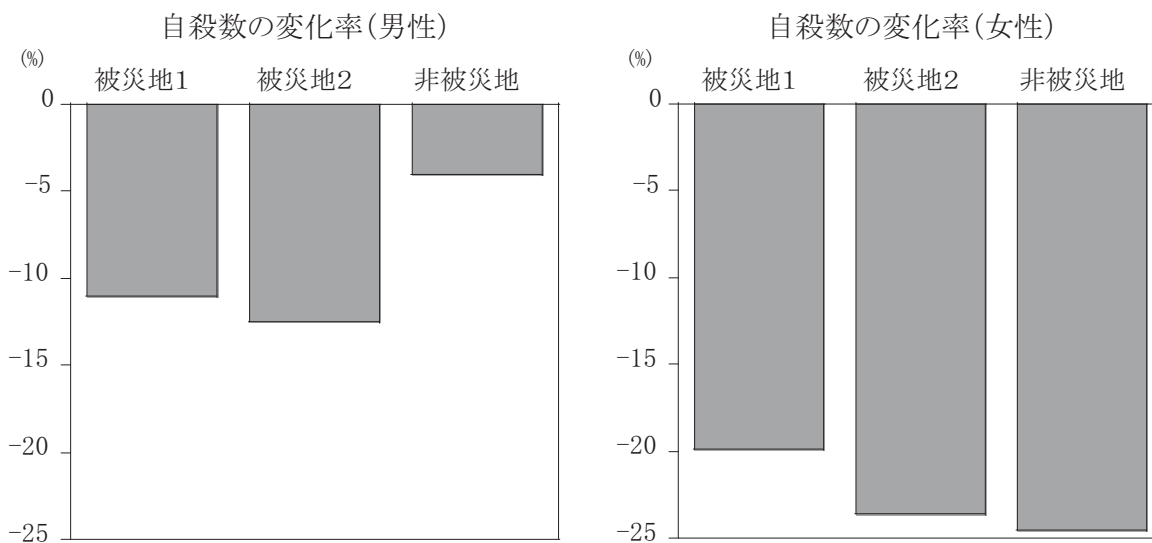
2) 被災地・非被災地別の自殺数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)



自殺数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	163.2	140.2	-23.0	-14.1%	0.4710
被災地2	164.0	137.6	-26.4	-16.1%	0.2644
非被災地	493.0	442.0	-51.0	-10.3%	基準

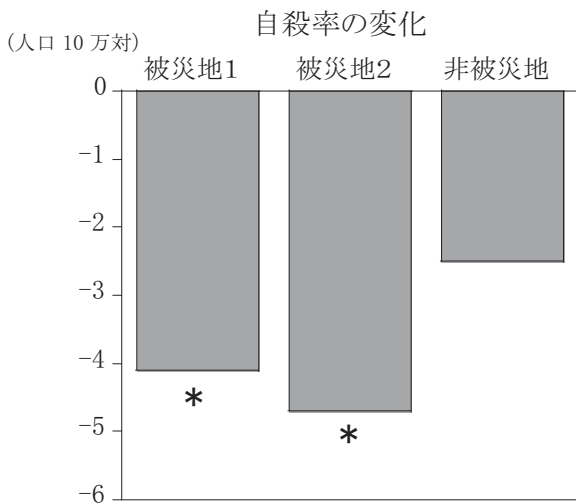
(単位:人)



男女別自殺数の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	106.8	95.0	-11.8	-11.0%	0.2918
被災地2	110.6	96.8	-13.8	-12.5%	0.1962
非被災地	341.4	327.6	-13.8	-4.0%	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	56.4	45.2	-11.2	-19.9%	0.5668
被災地2	53.4	40.8	-12.6	-23.6%	0.9087
非被災地	151.6	114.4	-37.2	-24.5%	基準

3) 被災地・非被災地別の自殺率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

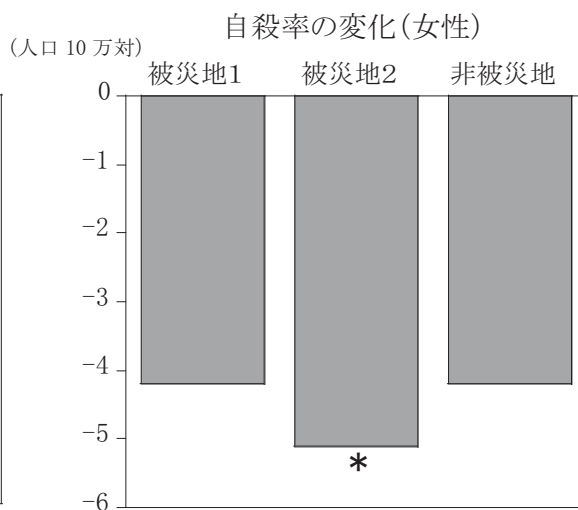
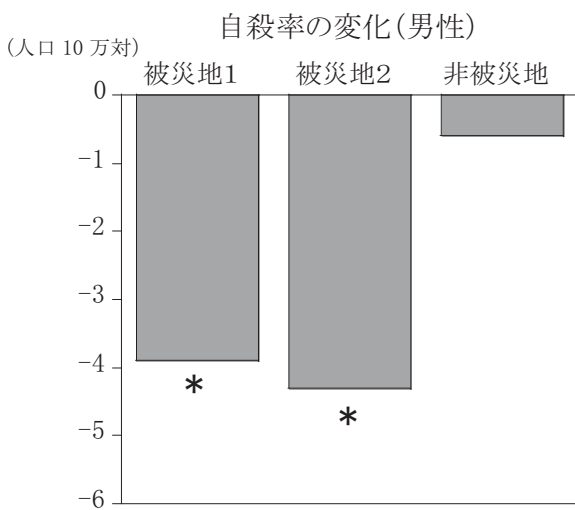


いずれのグループでも地震後5年間の自殺率は減少し、被災地1、被災地2の減少は非被災地と比べて有意に大きかった。
 男性では被災地1、被災地2の自殺率の減少は非被災地と比較し有意に大きかった(非被災地の自殺率の減少は僅か)。
 女性においては、被災地2の自殺率の減少は非被災地と比べて有意に大きかったが、被災地1と非被災地の自殺率の変化に有意差は見られなかった。

自殺率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	36.8	32.7	-4.1	-	<0.0001*
被災地2	35.6	30.9	-4.7	-	<0.0001*
非被災地	31.2	28.7	-2.5	-	基準

(単位:人口10万対)



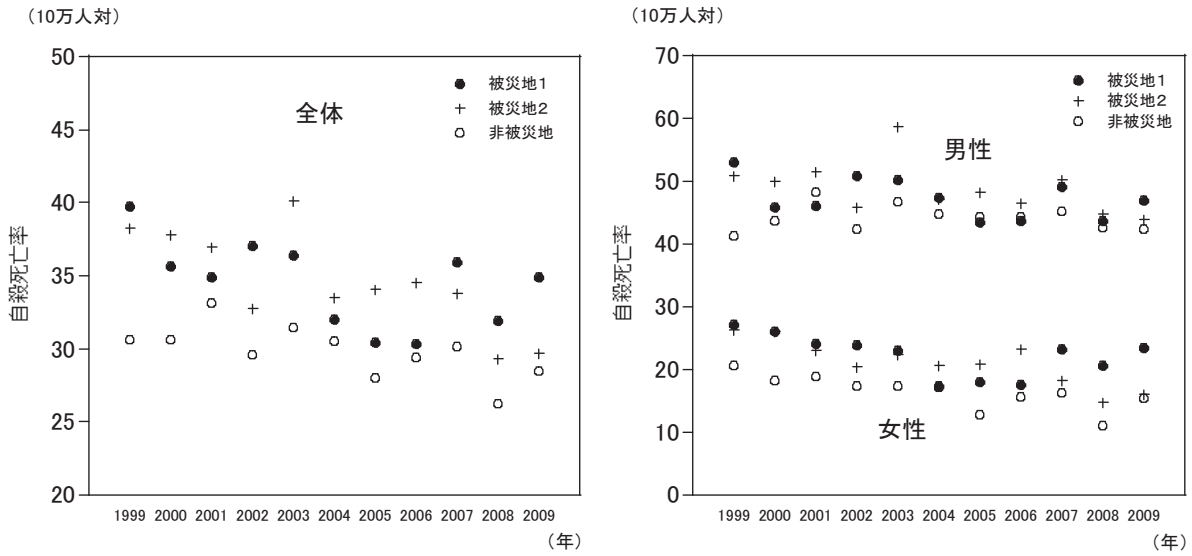
男女別自殺率の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	49.3	45.4	-3.9	-	<0.0001*
被災地2	49.4	45.1	-4.3	-	<0.0001*
非被災地	44.8	44.2	-0.6	-	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	24.9	20.6	-4.2	-	0.6144
被災地2	22.6	17.5	-5.1	-	0.0008*
非被災地	18.5	14.3	-4.2	-	基準

4) 被災地・非被災地別の自殺死亡率の経年変化

被災地・非被災地別の自殺死亡率の経年変化

被災地・非被災地別の男女別自殺死亡率の経年変化



全体的に自殺死亡率は低下傾向にあるが、中越地震後の被災地1の自殺死亡率は低下していない。これは被災地1の女性自殺死亡率が上昇傾向にあるためと考えられる。

被災地・非被災地別の自殺死亡率の経年変化

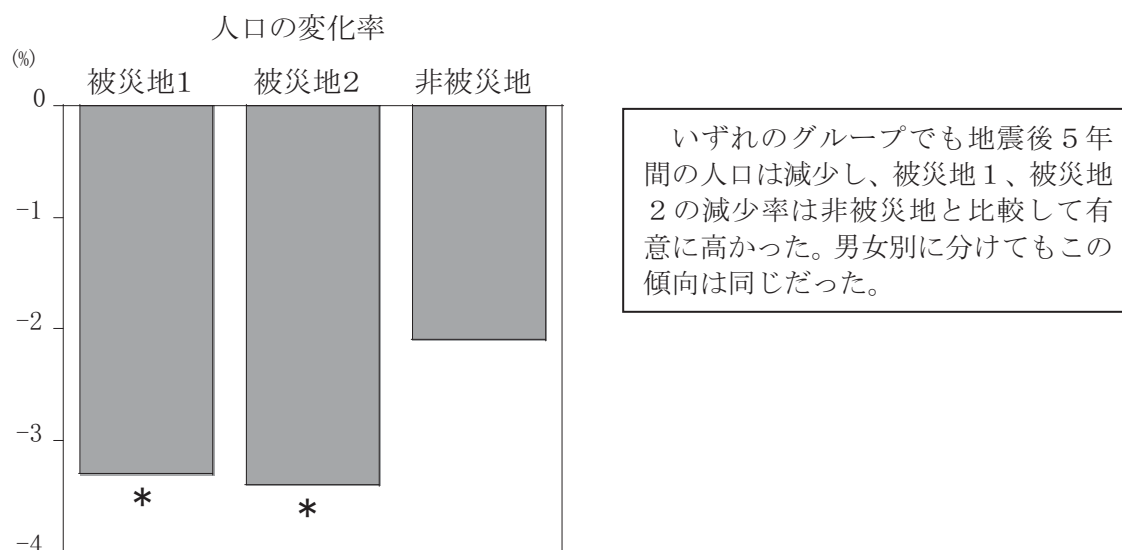
全体	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
被災地1	39.8	35.7	34.9	37.1	36.4	32.0
被災地2	38.3	37.8	37.0	32.8	40.1	33.5
非被災地	30.6	30.6	33.1	29.6	31.5	30.5
男性	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
被災地1	53.0	45.9	46.1	50.9	50.3	47.3
被災地2	50.9	50.1	51.6	45.8	58.7	47.1
非被災地	41.4	43.7	48.2	42.5	46.8	44.7
女性	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年(震災年)
被災地1	27.1	26.0	24.2	23.9	23.1	17.4
被災地2	26.3	26.0	23.0	20.5	22.3	20.6
非被災地	20.6	18.3	18.9	17.5	17.3	17.2

全体	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
被災地1	30.4	30.3	35.9	31.9	34.9
被災地2	34.1	34.5	33.8	29.3	29.7
非被災地	28.0	29.4	30.2	26.2	28.5
男性	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
被災地1	43.4	43.6	49.2	43.7	46.9
被災地2	48.2	46.5	50.2	44.7	44.0
非被災地	44.4	44.3	45.2	42.6	42.5
女性	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
被災地1	18.0	17.7	23.3	20.6	23.5
被災地2	20.8	23.2	18.3	14.7	16.2
非被災地	12.8	15.6	16.3	11.0	15.4

(単位:人口10万人対)

2. 被災地・非被災地別の諸指標の比較

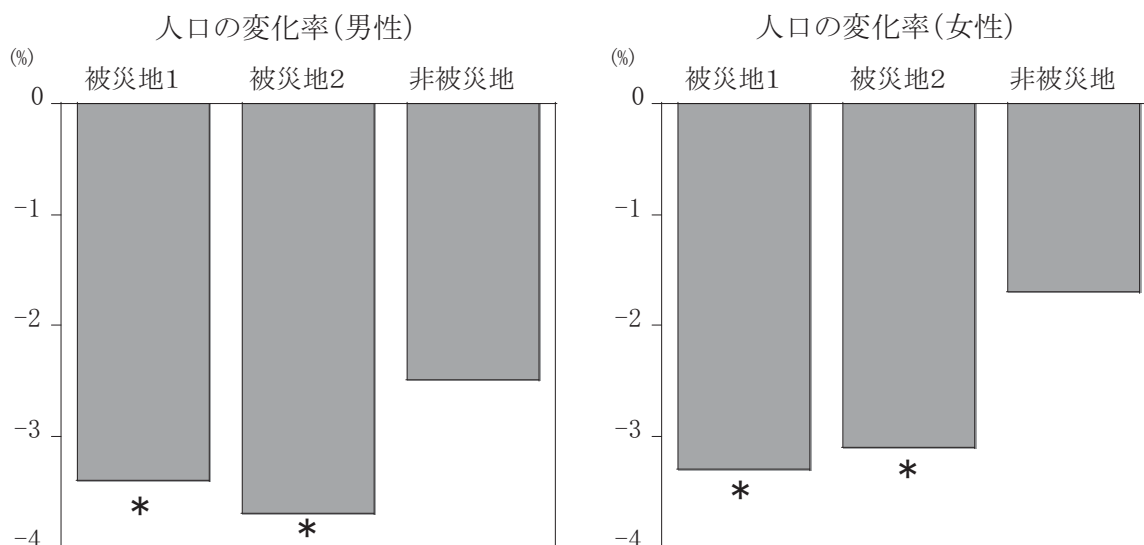
1) 被災地・非被災地別の人口の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)



被災地・非被災地別人口の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	443,673	428,894	-14,779	-3.3%	<0.0001*
被災地2	440,791	425,720	-15,072	-3.4%	<0.0001*
非被災地	1,586,046	1,552,900	-33,147	-2.1%	基準

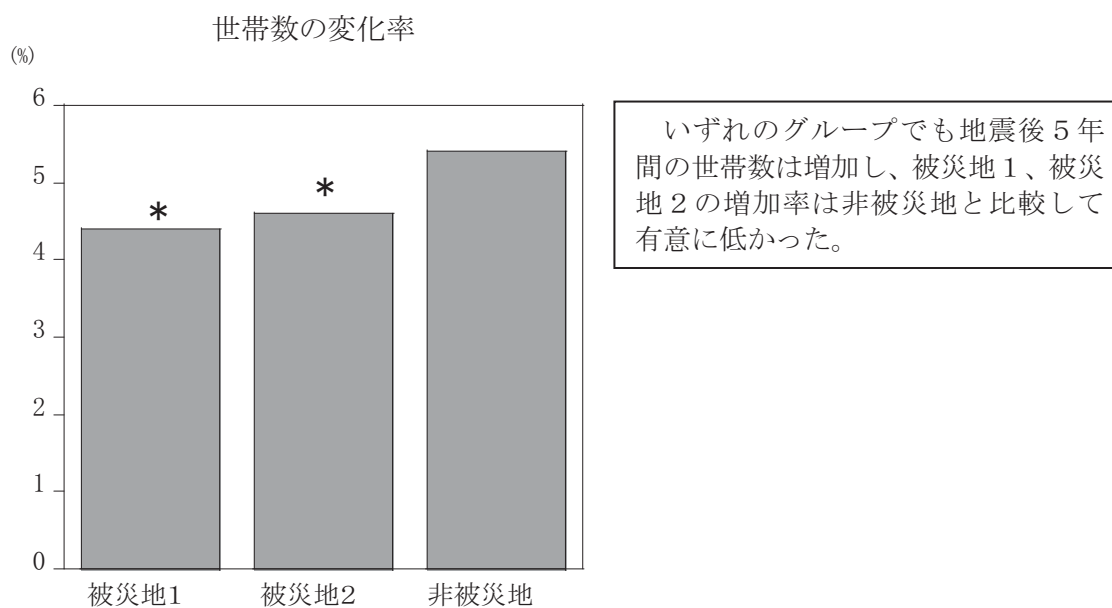
(単位:人)



男女別 人口の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	216,844	209,481	-7,364	-3.4%	<0.0001*
被災地2	215,100	207,115	-7,985	-3.7%	<0.0001*
非被災地	766,959	747,887	-19,071	-2.5%	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	226,829	219,413	-7,415	-3.3%	<0.0001*
被災地2	225,691	218,605	-7,086	-3.1%	<0.0001*
非被災地	819,088	805,012	-14,075	-1.7%	基準

2) 被災地・非被災地別の世帯数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

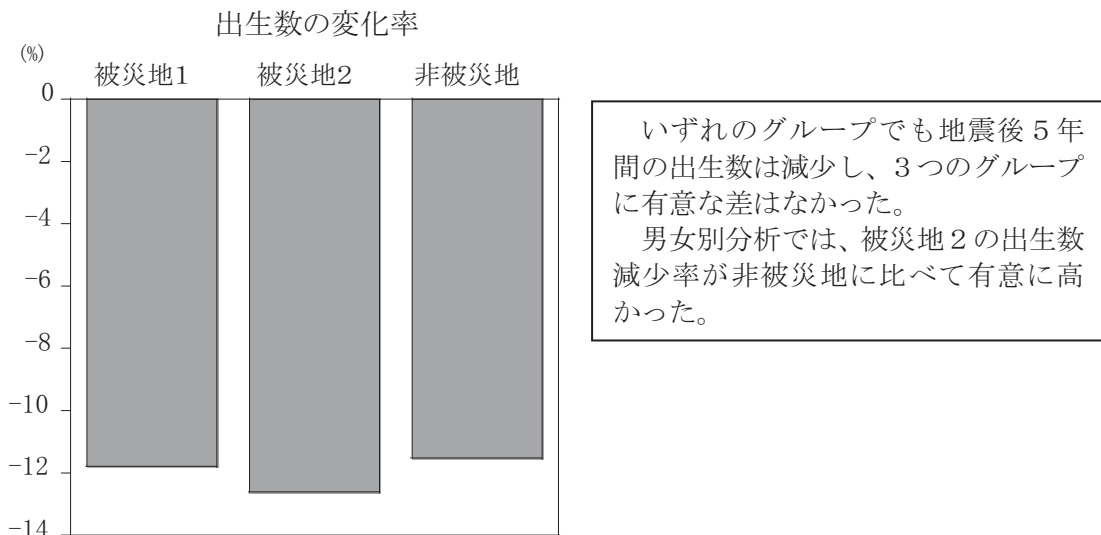


被災地・非被災地別世帯数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	137,219	143,322	6,102	4.4%	<0.0001*
被災地2	136,801	143,113	6,312	4.6%	<0.0001*
非被災地	516,063	544,172	28,109	5.4%	基準

(単位:世帯)

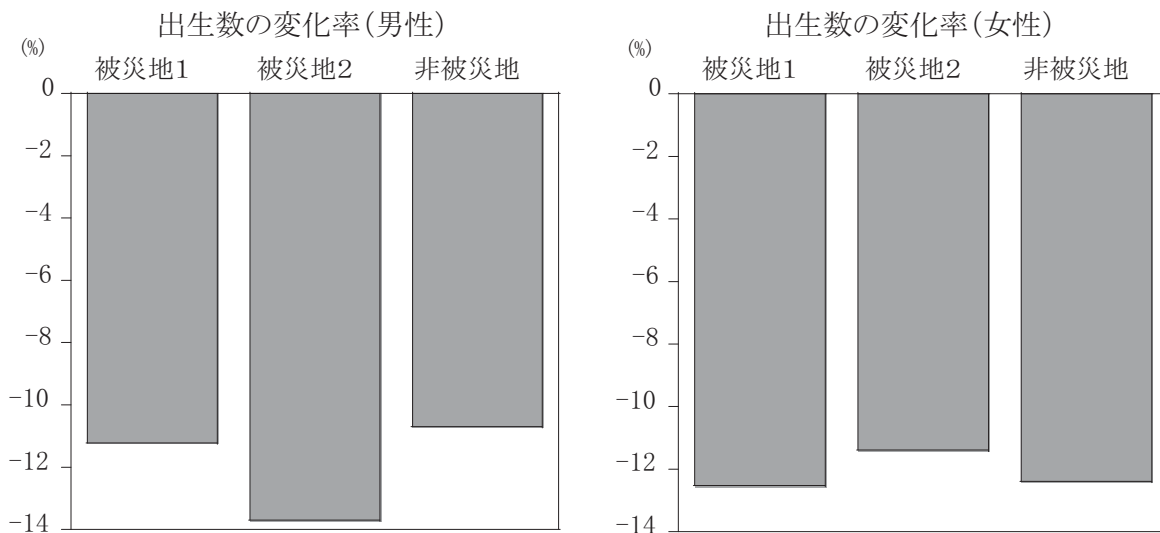
3) 被災地・非被災地別の出生数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)



被災地・非被災地別出生数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	3,842	3,388	-453	-11.8%	0.8068
被災地2	3,805	3,326	-479	-12.6%	0.3211
非被災地	13,341	11,802	-1,539	-11.5%	基準

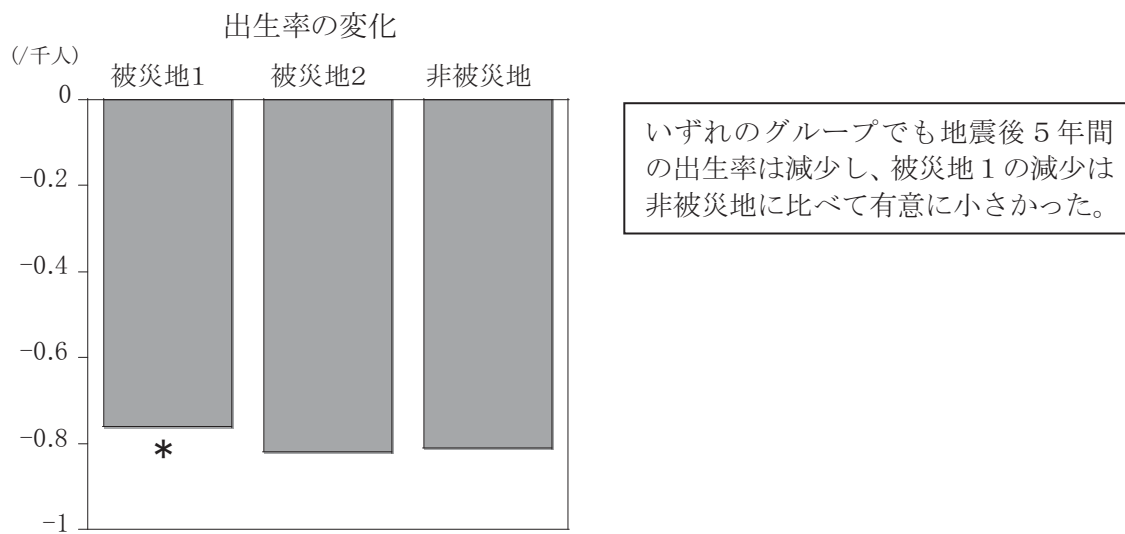
(単位:人)



男女別出生数の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,949	1,732	-218	-11.2%	0.7581
被災地2	1,969	1,699	-270	-13.7%	0.0416*
非被災地	6,832	6,100	-731	-10.7%	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,892	1,657	-236	-12.5%	0.9812
被災地2	1,836	1,627	-209	-11.4%	0.5004
非被災地	6,509	5,701	-808	-12.4%	基準

4) 被災地・非被災地別の出生率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)



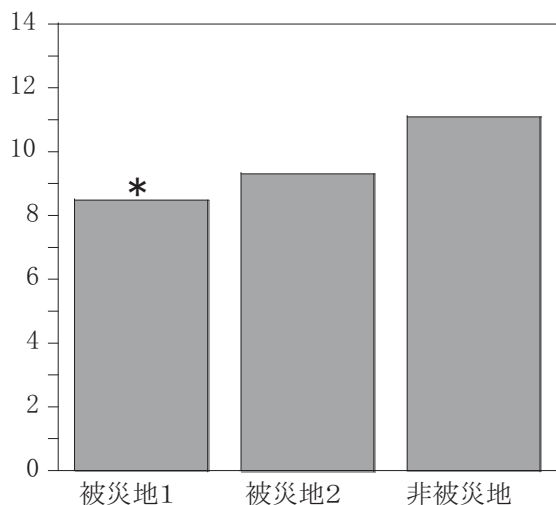
被災地・非被災地別出生率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	8.66	7.90	-0.76	-	0.0143*
被災地2	8.63	7.81	-0.82	-	0.7248
非被災地	8.41	7.60	-0.81	-	基準

(人口千対)

5) 被災地・非被災地別の死亡者数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

(%) 死亡者数の変化率



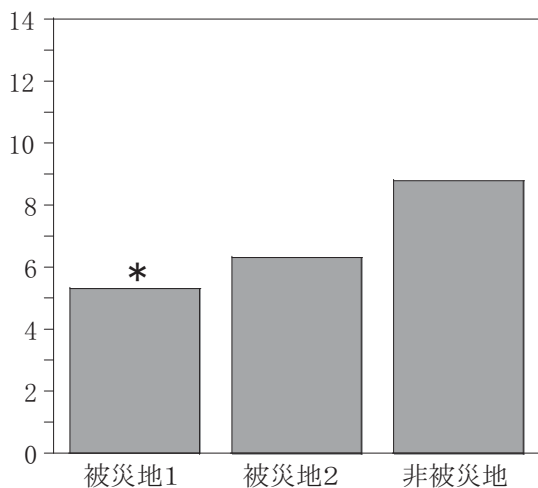
いずれのグループでも地震後5年間の死亡者数は増加し、被災地1の死亡者増加率が非被災地に比べて有意に低かった。
男女別分析でも同様の傾向であり、男性において被災地1の死亡者増加率が非被災地に比べて有意に低かった。

被災地・非被災地別死亡者数の変化

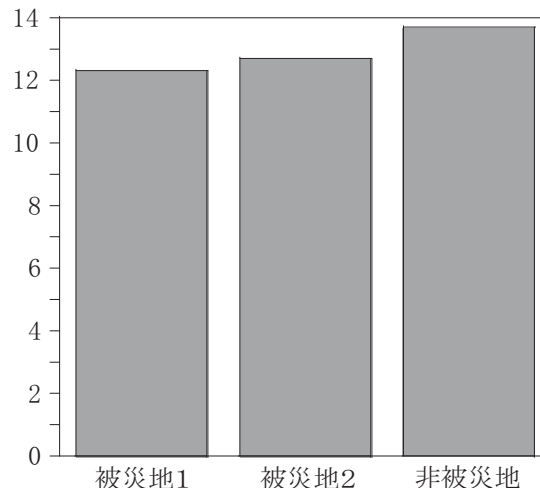
総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	4,164	4,519	354	8.5%	0.0316*
被災地2	4,247	4,642	395	9.3%	0.1318
非被災地	14,004	15,557	1,553	11.1%	基準

(単位:人)

(%) 死亡者数の変化率(男性)



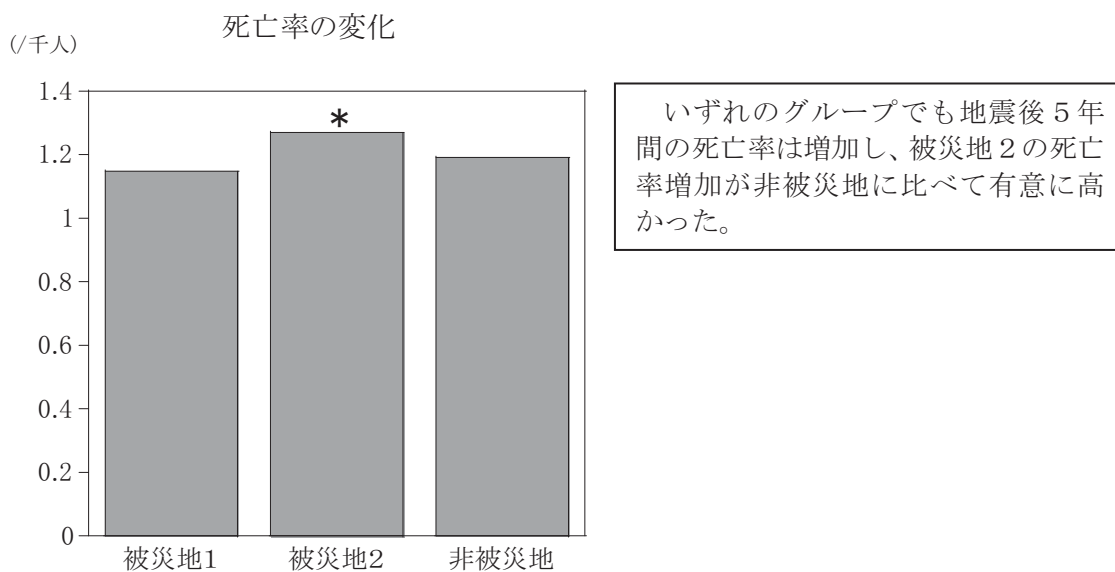
(%) 死亡者数の変化率(女性)



男女別死亡者数の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	2,245	2,364	119	5.3%	0.0268*
被災地2	2,281	2,426	144	6.3%	0.1160
非被災地	7,580	8,250	670	8.8%	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,919	2,155	236	12.3%	0.4167
被災地2	1,966	2,216	250	12.7%	0.5715
非被災地	6,424	7,307	883	13.7%	基準

6) 被災地・非被災地別の死亡率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

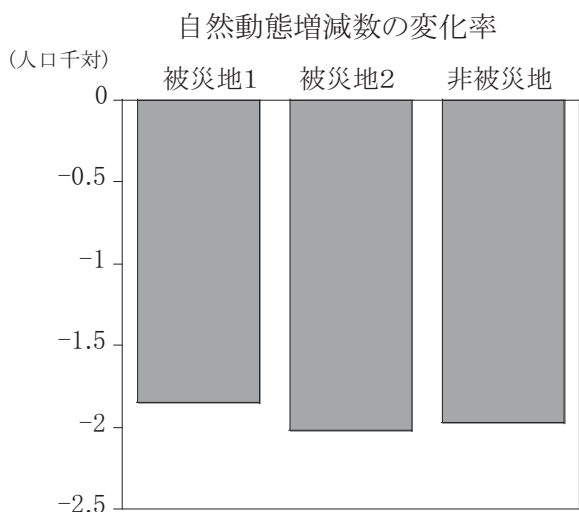


被災地・非被災地別死亡率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	9.39	10.54	1.15	-	0.1435
被災地2	9.64	10.91	1.27	-	0.0031*
非被災地	8.83	10.02	1.19	-	基準

(人口千対)

7) 被災地・非被災地別の自然動態増減数(出生数－死亡数)の変化
(地震前後5年間の年平均値の変化)

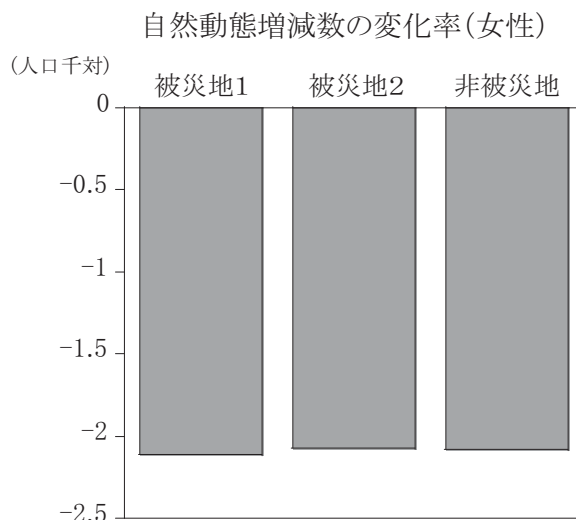
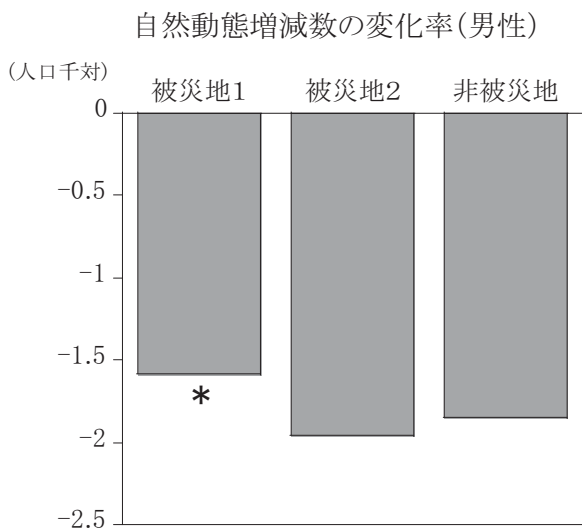


いずれのグループでも地震後5年間の自然動態は減少したが、グループ間に有意な差は見られなかった。
男女別分析では、男性において被災地1の自然動態の減少率が非被災地に比べて有意に低かった。

被災地・非被災地別自然動態増減数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	-323	-1,130	-808	-0.36	0.1144
被災地2	-442	-1,316	-874	-0.40	0.5472
非被災地	-663	-3,756	-3,092	-0.39	基準

(単位:人) (人口千対)

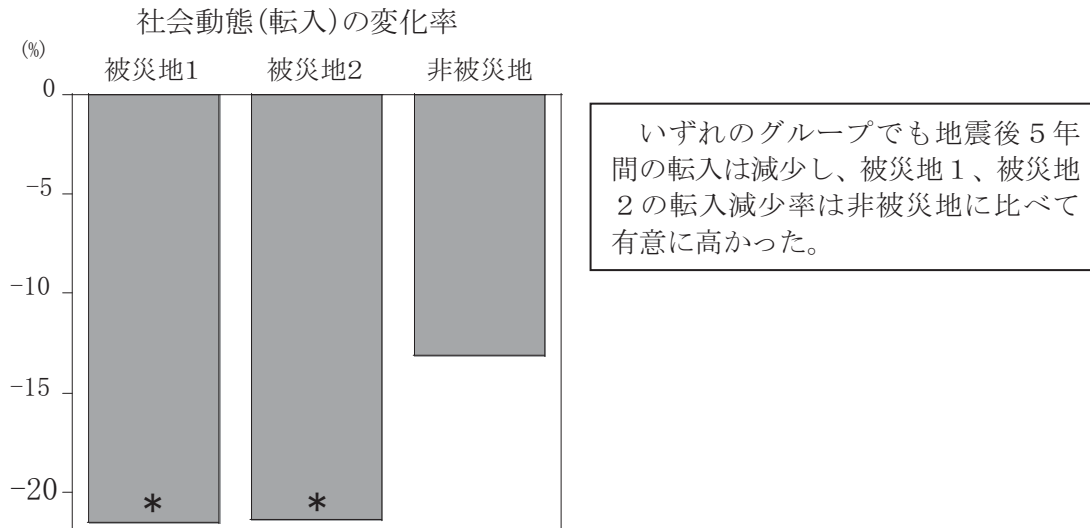


男女別の自然動態増減数の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	-296	-632	-336	-0.31	0.0088*
被災地2	-313	-727	-414	-0.39	0.2945
非被災地	-748	-2,150	-1,401	-0.37	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	-27	-498	-471	-0.42	0.7875
被災地2	-129	-589	-459	-0.41	0.8952
非被災地	85	-1,606	-1,691	-0.41	基準

(単位:人) (人口千対)

8) 被災地・非被災地別の社会動態(転入)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

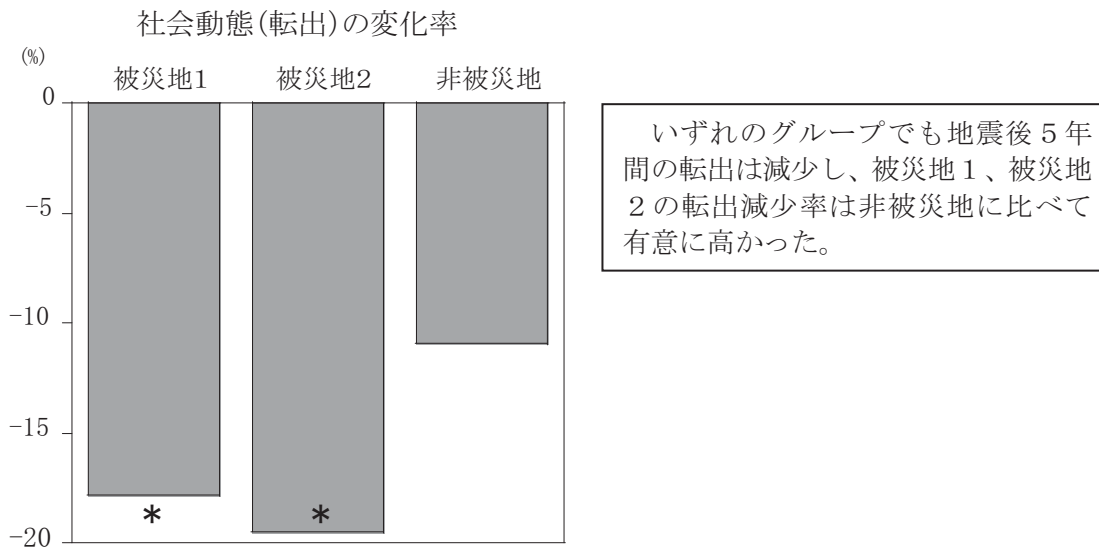


被災地・非被災地別社会動態(転入)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	14,074	11,047	-3,027	-21.5%	<0.0001*
被災地2	14,408	11,325	-3,084	-21.4%	<0.0001*
非被災地	51,835	45,044	-6,791	-13.1%	基準

(単位:人)

9) 被災地・非被災地別の社会動態(転出)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

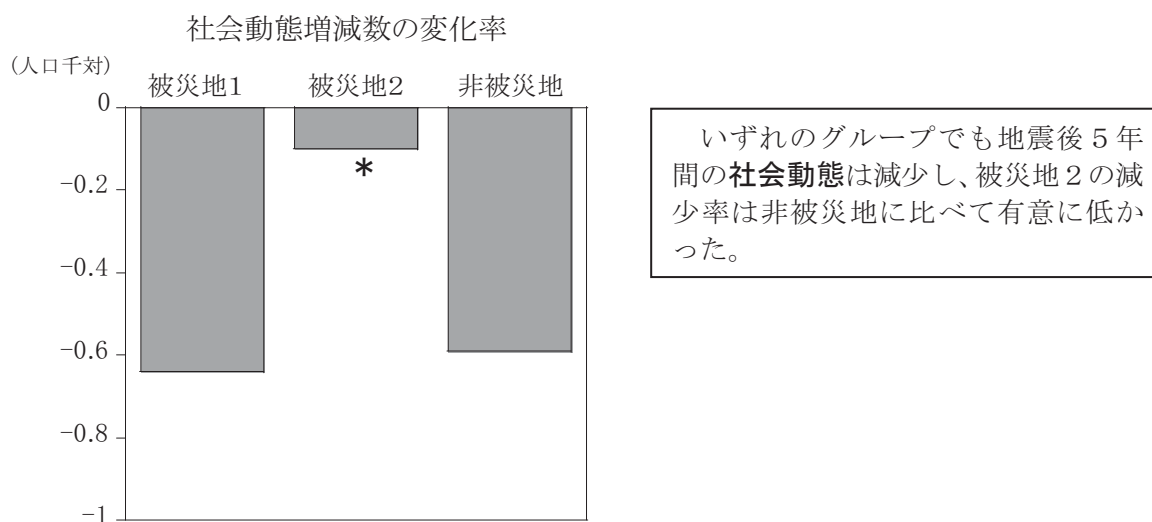


被災地・非被災地別社会動態(転出)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	15,400	12,654	-2,747	-17.8%	<0.0001*
被災地2	15,622	12,583	-3,039	-19.5%	<0.0001*
非被災地	53,943	48,072	-5,871	-10.9%	基準

(単位:人)

10) 被災地・非被災地別の社会動態(転入者数-転出者数)の変化
(地震前後5年間の年平均値の変化)



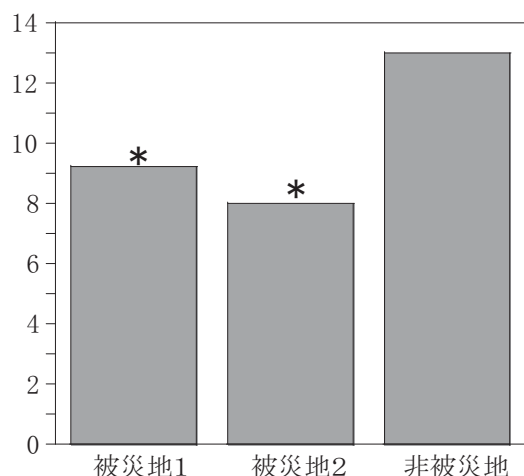
社会動態増減数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	-1,327	-1,607	-280	-0.64	0.1797
被災地2	-1,214	-1,258	-44	-0.10	<0.0001*
非被災地	-2,108	-3,028	-920	-0.59	基準

(単位:人) (人口千対)

11) 被災地・非被災地別の 65 歳以上人口(実数)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

65 歳以上人口(実数)の変化率 (%)



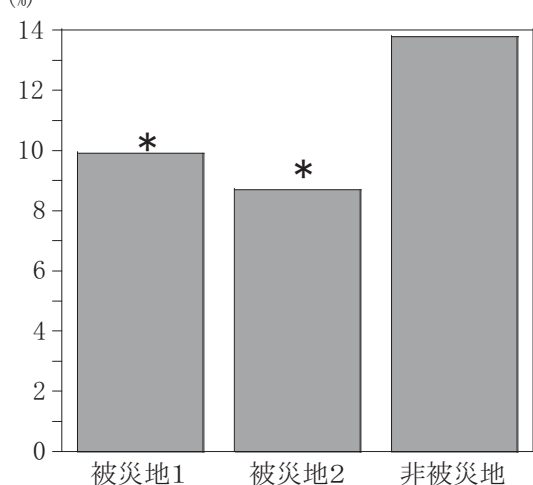
いずれのグループでも地震後5年間の65歳以上人口は増加し、被災地1、被災地2の増加率は、非被災地に比べて有意に低かった。
男女別分析でも同様であった。

被災地・非被災地別 65 歳以上人口(実数)の変化

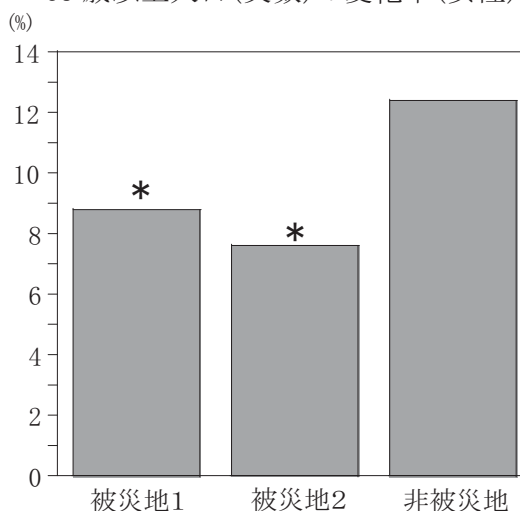
総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	101,235	110,595	9,360	9.2%	<0.0001*
被災地2	101,946	110,143	8,197	8.0%	<0.0001*
非被災地	336,540	380,165	43,625	13.0%	基準

(単位:人)

65 歳以上人口(実数)の変化率(男性) (%)



65 歳以上人口(実数)の変化率(女性) (%)

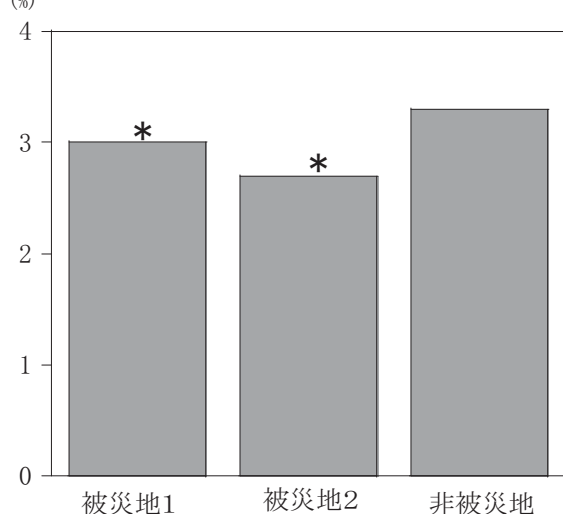


男女別 65 歳以上人口(実数)の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	42,135	46,303	4,168	9.9%	<0.0001*
被災地2	41,599	45,237	3,638	8.7%	<0.0001*
非被災地	137,349	156,261	18,913	13.8%	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	59,100	64,292	5,192	8.8%	<0.0001*
被災地2	60,347	64,906	4,559	7.6%	<0.0001*
非被災地	199,191	223,904	24,713	12.4%	基準

12) 被災地・非被災地別の 65 歳以上人口(割合)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

65 歳以上人口(割合)の変化

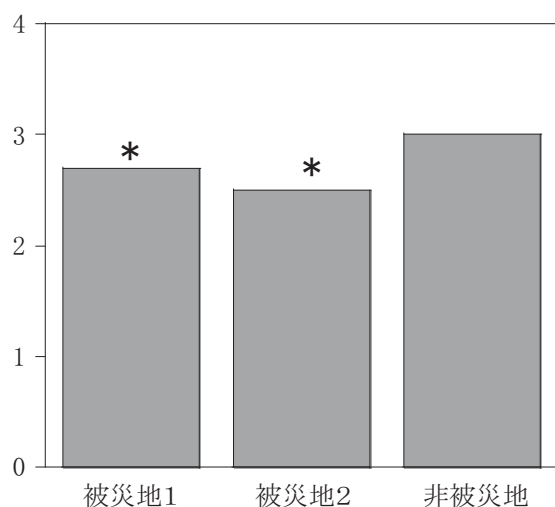


いずれのグループでも地震後 5 年間の 65 歳以上人口割合は増加し、被災地 1、被災地 2 の増加は、非被災地に比べて有意に小さかった。
男女別分析でも同様であった。

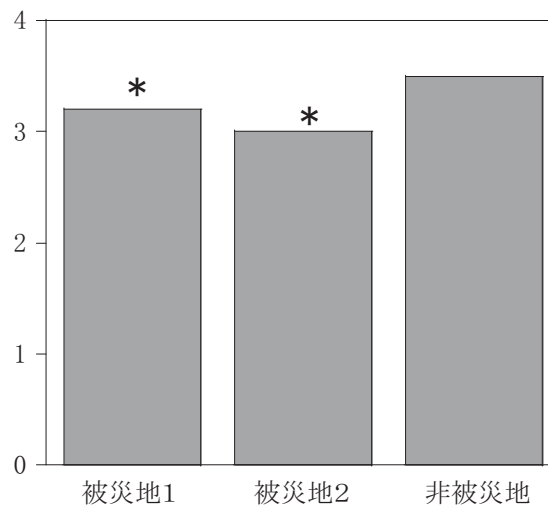
被災地・非被災地別 65 歳以上人口(割合)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	22.8%	25.8%	3.0%	-	<0.0001
被災地2	23.1%	25.9%	2.7%	-	<0.0001
非被災地	21.2%	24.5%	3.3%	-	基準

65 歳以上人口(割合)の変化(男性)



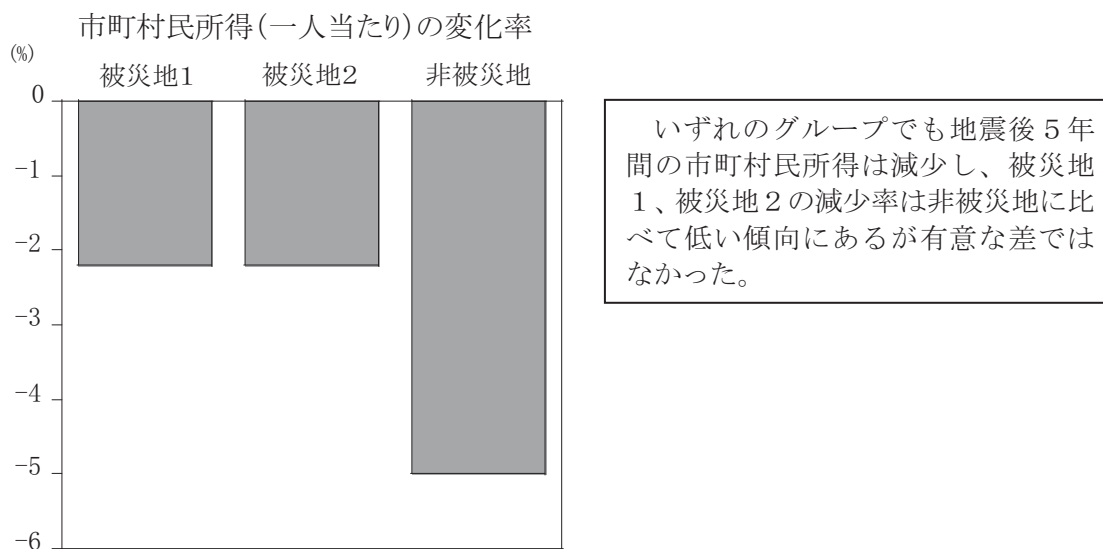
65 歳以上人口(割合)の変化(女性)



男女別 65 歳以上人口(割合)の変化

男性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	19.4%	22.1%	2.7%	-	<0.0001*
被災地2	19.3%	21.8%	2.5%	-	<0.0001*
非被災地	17.9%	20.9%	3.0%	-	基準
女性	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	26.1%	29.3%	3.2%	-	<0.0001*
被災地2	26.7%	29.7%	3.0%	-	<0.0001*
非被災地	24.3%	27.8%	3.5%	-	基準

13) 被災地・非被災地別の市町村民所得(一人当たり)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

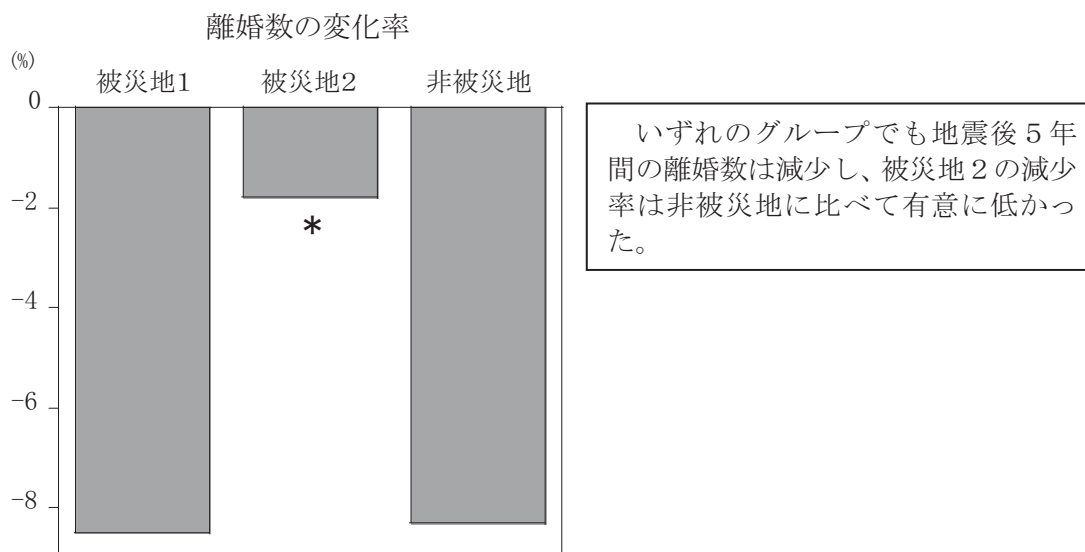


被災地・非被災地別市町村民所得(1人当たり)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	2,504	2,450	-54	-2.2%	0.0989
被災地2	2,629	2,572	-57	-2.2%	0.0947
非被災地	2,597	2,467	-130	-5.0%	基準

(単位:千円)

14) 被災地・非被災地別の離婚数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

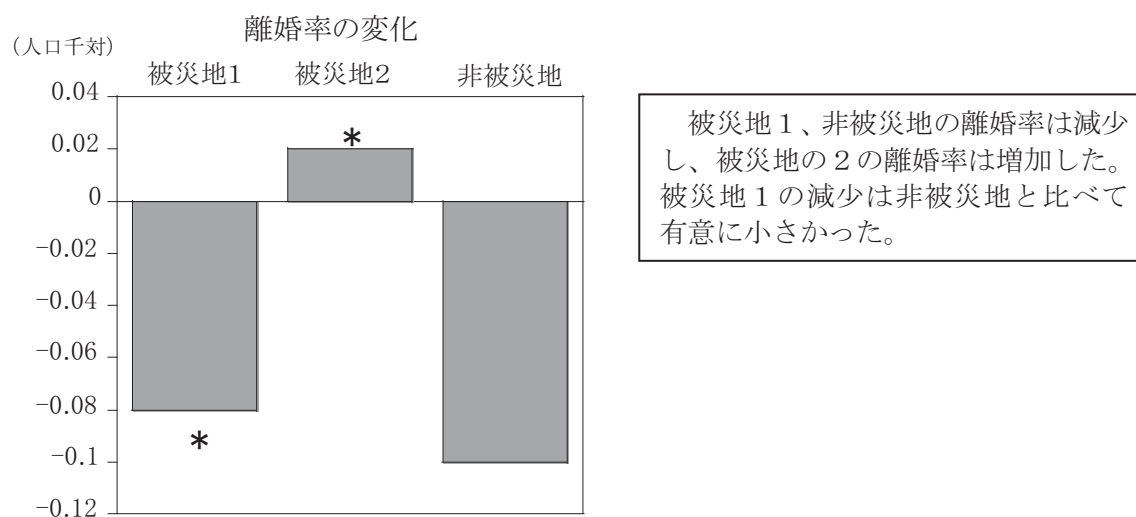


被災地・非被災地別離婚数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	631	577	-53	-8.5%	0.9309
被災地2	644	632	-12	-1.8%	0.0161*
非被災地	2,528	2,319	-209	-8.3%	基準

(単位:人)

15) 被災地・非被災地別の離婚率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

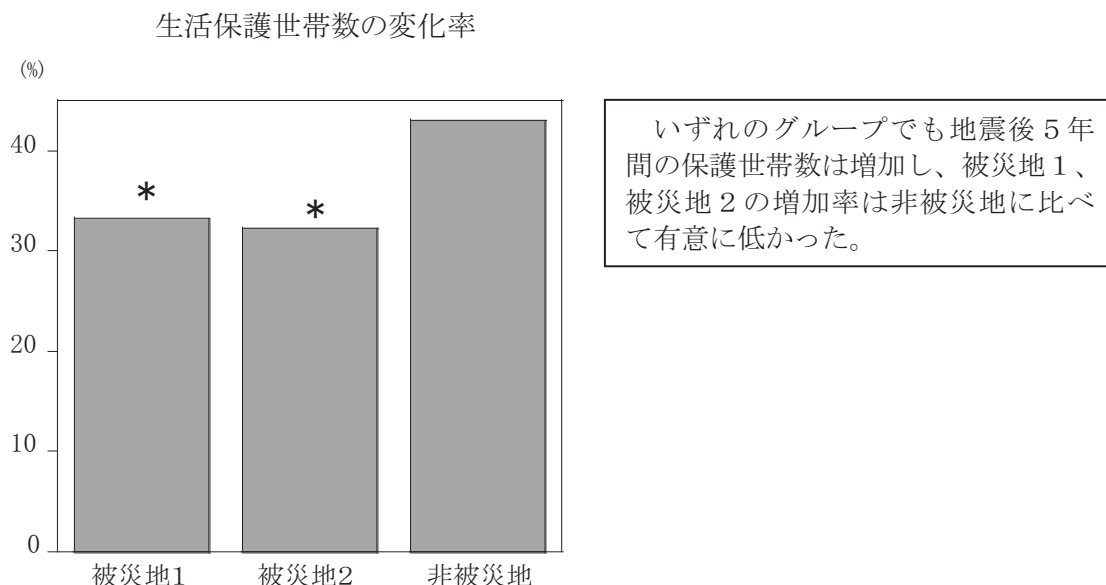


被災地・非被災地別の離婚率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1.42	1.35	-0.08	-	0.0011*
被災地2	1.46	1.48	0.02	-	<0.0001*
非被災地	1.59	1.49	-0.10	-	基準

(人口千対)

16) 被災地・非被災地別の生活保護世帯数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

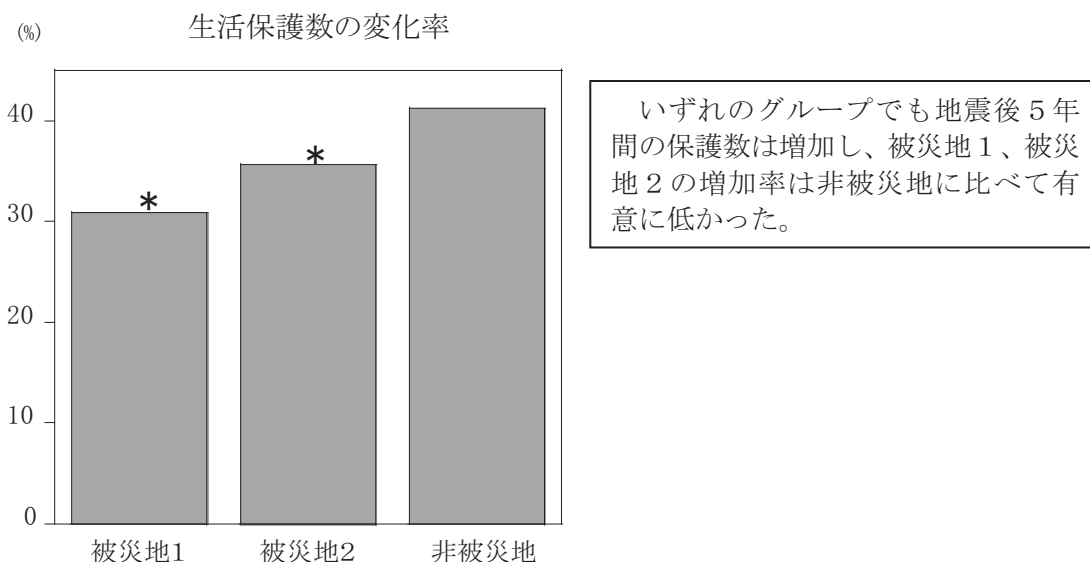


被災地・非被災地別保護世帯数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,020	1,359	339	33.2%	0.0004*
被災地2	793	1,049	256	32.3%	0.0005*
非被災地	5,685	8,135	2,450	43.1%	基準

(単位:世帯)

17) 被災地・非被災地別の生活保護数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

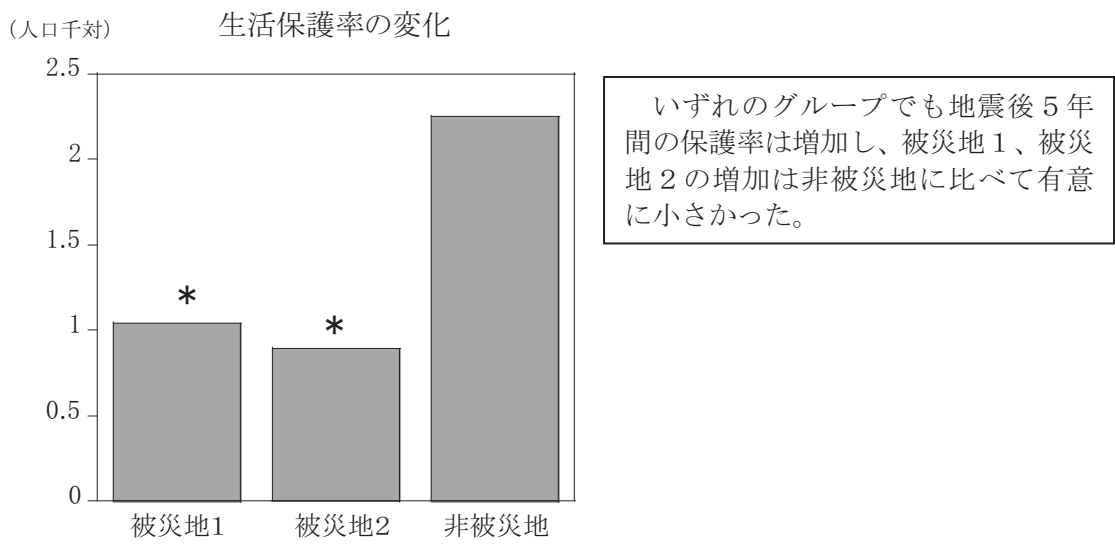


被災地・非被災地別保護数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,303	1,705	402	30.9%	<0.0001*
被災地2	967	1,313	346	35.7%	0.0446*
非被災地	8,061	11,391	3,331	41.3%	基準

(単位:人)

18) 被災地・非被災地別の生活保護率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

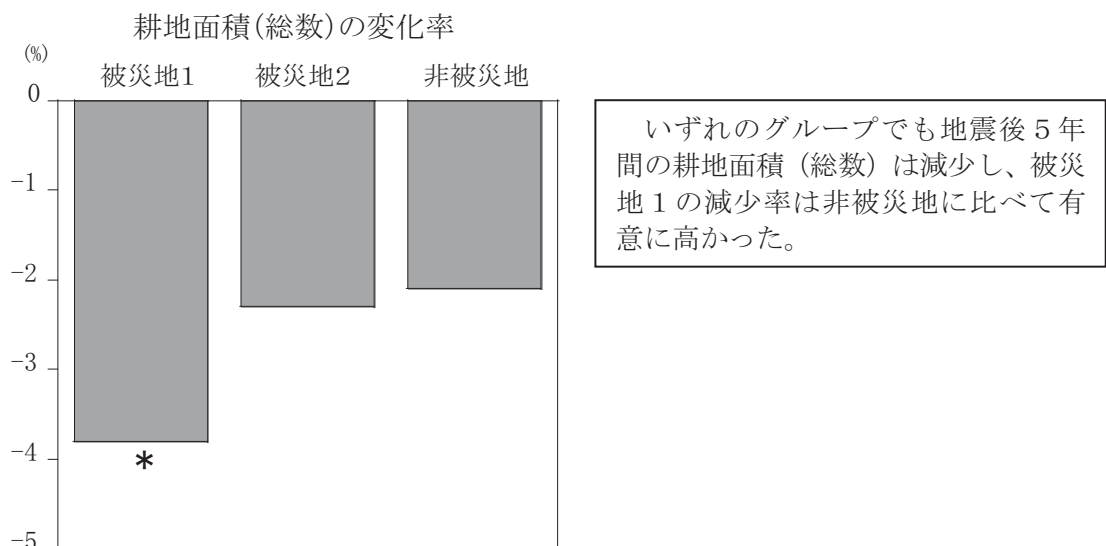


被災地・非被災地別保護率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	2.94	3.98	1.04	-	<0.0001*
被災地2	2.20	3.09	0.89	-	<0.0001*
非被災地	5.08	7.34	2.25	-	基準

(人口千対)

19) 被災地・非被災地別の耕地面積(総数)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

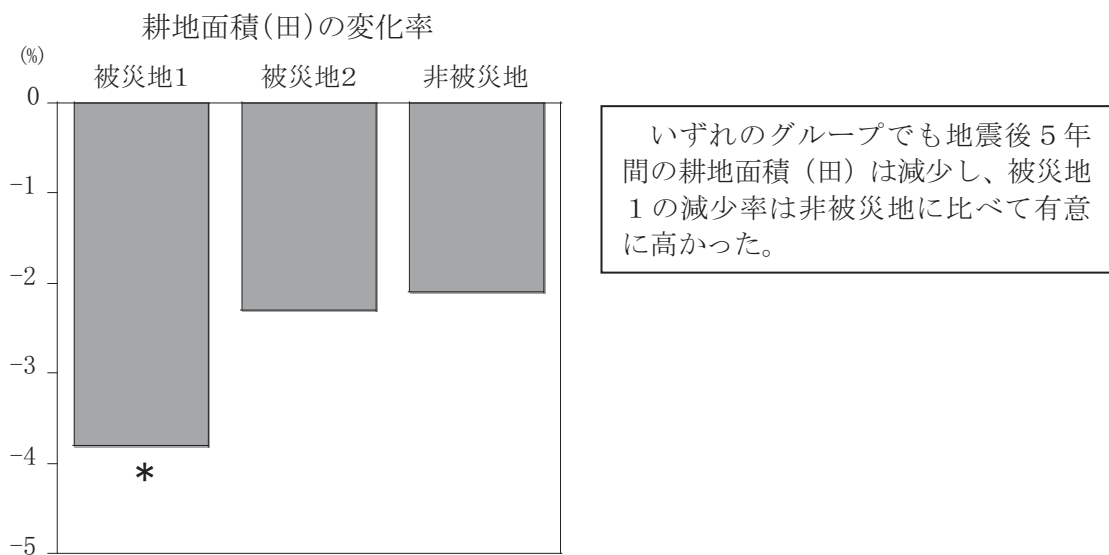


被災地・非被災地別耕地面積(総数)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	34,381	33,077	-1,304	-3.8%	<0.0001*
被災地2	37,644	36,740	-904	-2.4%	0.5038
非被災地	108,792	106,450	-2,342	-2.2%	基準

(単位:ha)

20) 被災地・非被災地別の耕地面積(田)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

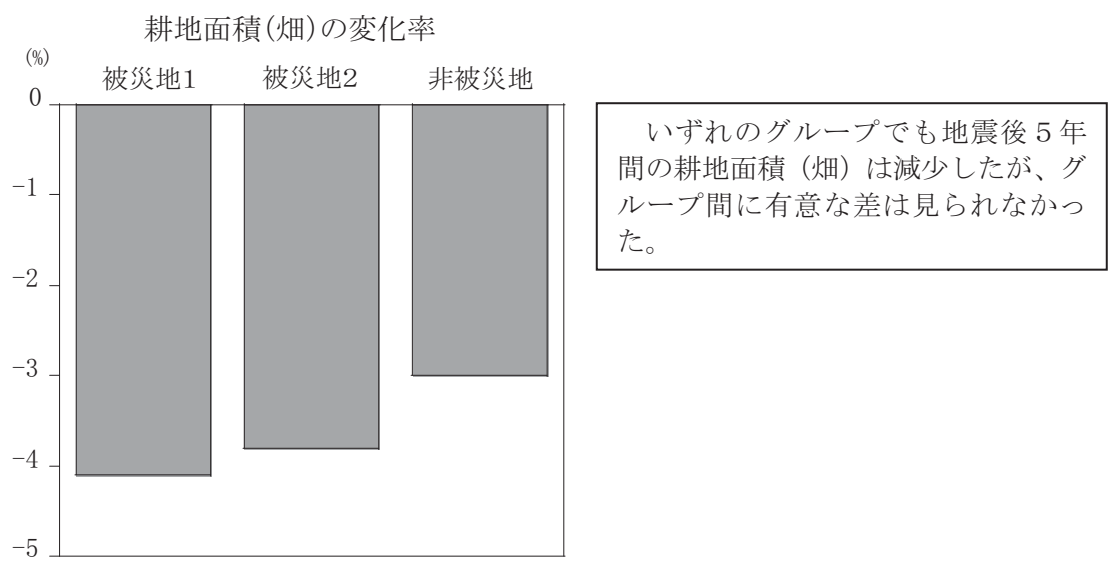


被災地・非被災地別耕地面積(田)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	30,696	29,524	-1,172	-3.8%	<0.0001*
被災地2	34,189	33,408	-781	-2.3%	0.5669
非被災地	95,438	93,472	-1,966	-2.1%	基準

(単位:ha)

21) 被災地・非被災地別の耕地面積(畑)の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

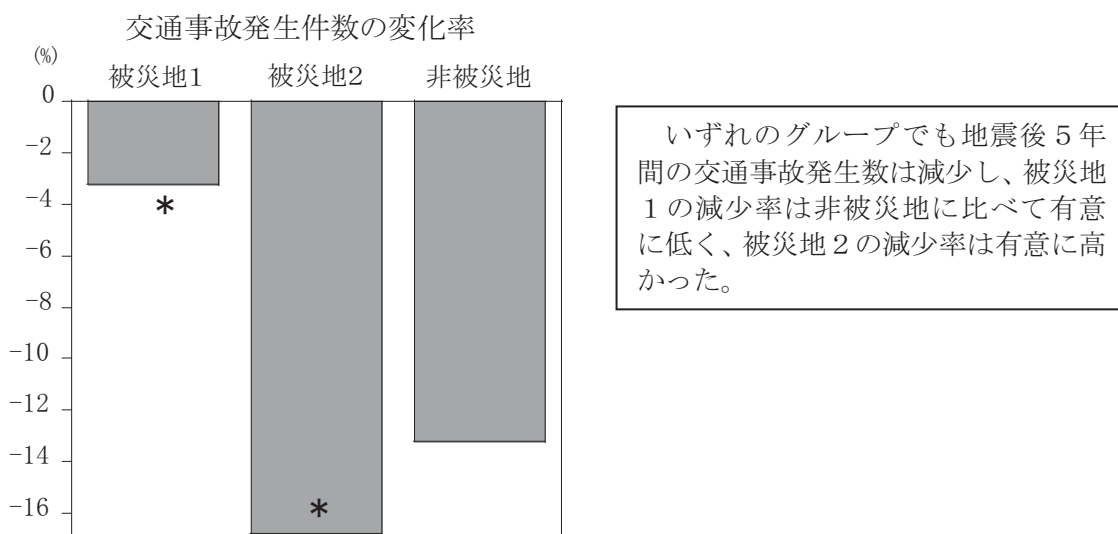


被災地・非被災地別耕地面積(畑)の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	3,687	3,537	-150	-4.1%	0.3356
被災地2	3,457	3,324	-132	-3.8%	0.4617
非被災地	13,321	12,927	-395	-3.0%	基準

(単位:ha)

22) 被災地・非被災地別の交通事故発生件数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

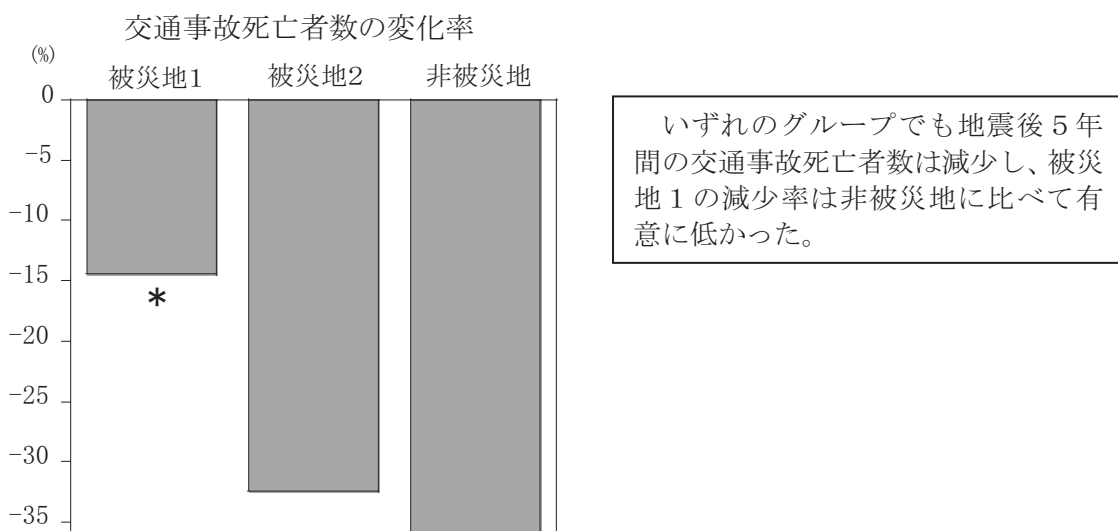


被災地・非被災地別交通事故発生件数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	2,060	1,993	-67	-3.2%	<0.0001*
被災地2	2,296	1,911	-386	-16.8%	0.0061*
非被災地	10,004	8,681	-1,323	-13.2%	基準

(単位:人)

23) 被災地・非被災地別の交通事故死亡者数の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

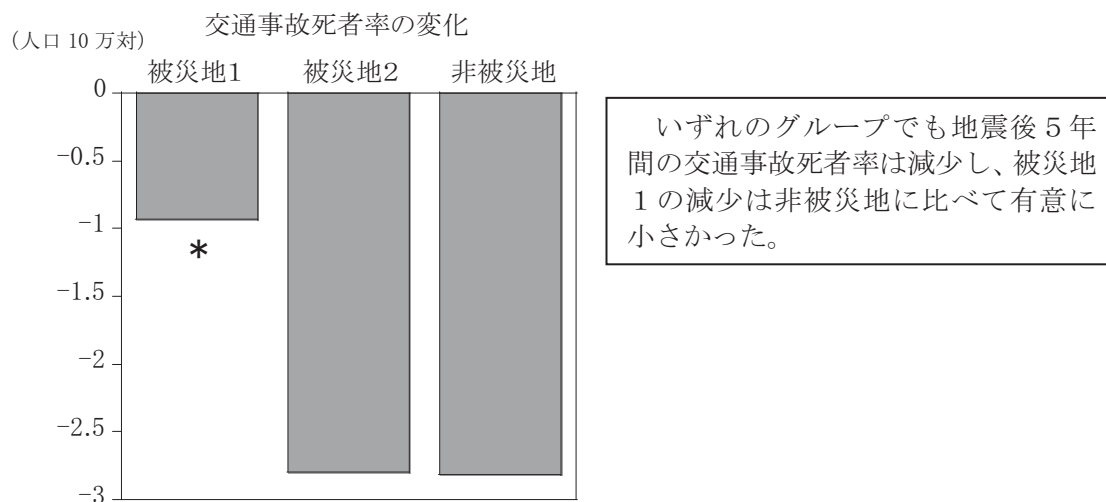


被災地・非被災地別交通事故死亡者数の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	36	31	-5	-14.4%	0.0226*
被災地2	41	28	-13	-32.4%	0.6741
非被災地	129	83	-46	-35.9%	基準

(単位:人)

24) 被災地・非被災地別の交通事故死者率の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)



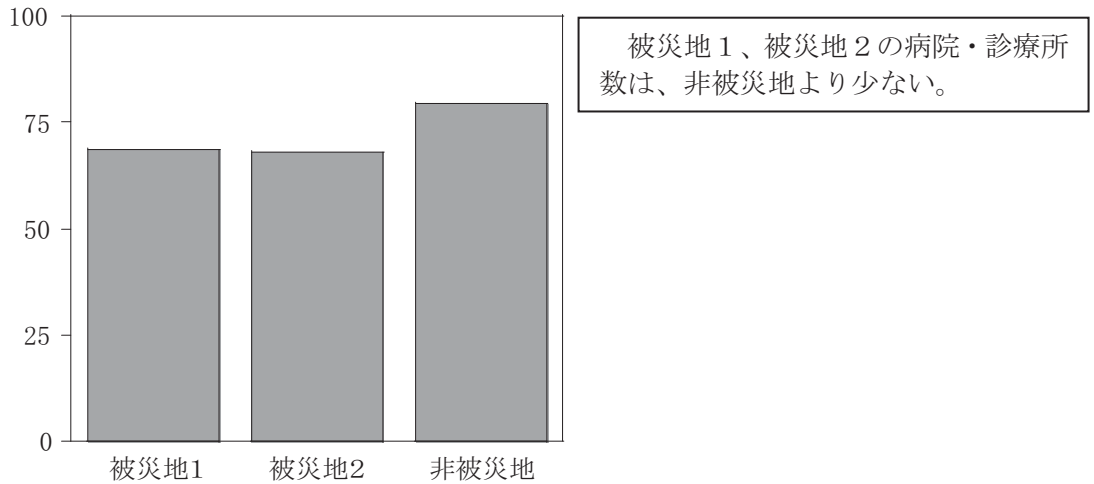
被災地・非被災地別交通事故死者率の変化

総数	地震前5年	地震後5年	変化(差)	変化率	P
被災地1	8.11	7.18	-0.93	-	<0.0001*
被災地2	9.26	6.47	-2.79	-	0.9439
非被災地	8.12	5.31	-2.81	-	基準

(人口 10 万対)

25) 被災地・非被災地別の病院・診療所数

(数) 病院・診療所数(人口 10 万対)

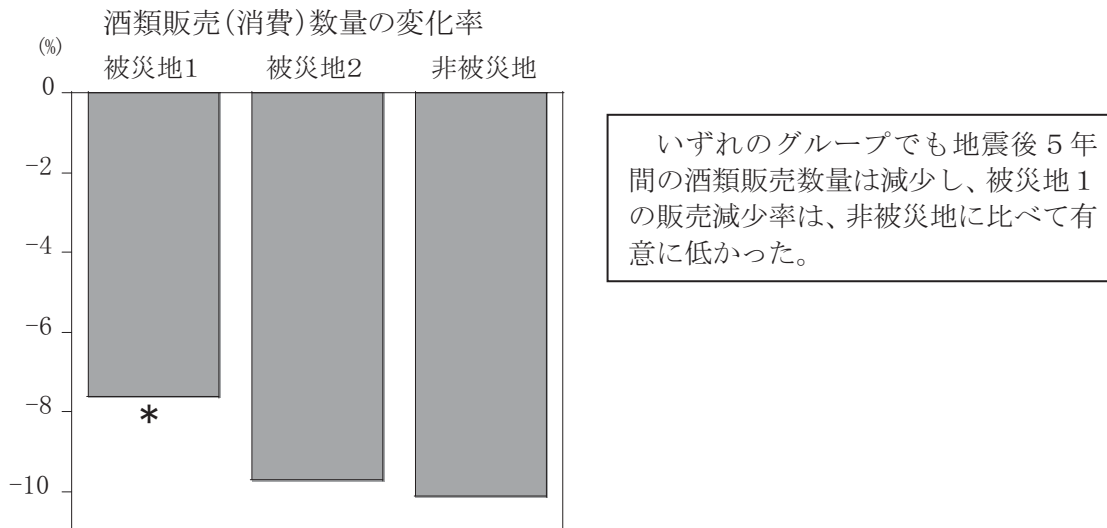


被災地・非被災地別 病院・診療所数

	病院		診療所	合計	人口 10 万人対率
	精神科	一般			
被災地1	3	19	269	291	68.7
被災地2	5	17	264	286	68.0
非被災地	88	1208	2354	1221	79.3

人口 10 万対率 = H21 年 10 月時点被災地別病院・診療所の総数 ÷ H21 年 10 月の被災地別人口 × 100000

26) 被災地・非被災地別の酒類販売(消費)数量の変化(地震前後5年間の年平均値の変化)

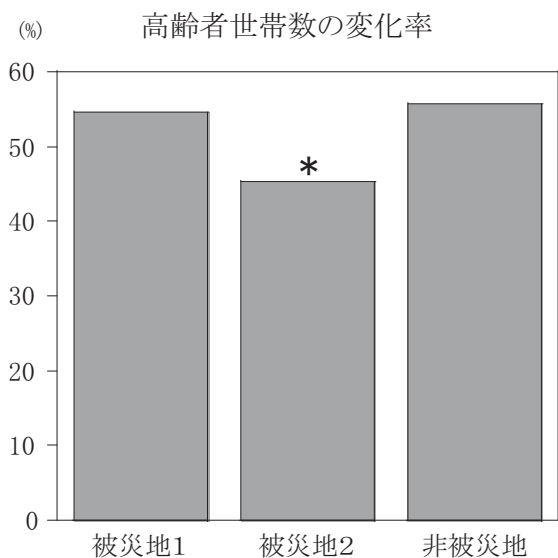


被災地・非被災地別酒類販売(消費量)数量の変化

総数	地震前 4 年	地震後 5 年	変化(差)	変化率	P
被災地1	45,421	41,983	-3,438	-7.6%	<0.0001*
被災地2	31,108	28,092	-3,016	-9.7%	0.2735
非被災地	141,035	126,763	-14,271	-10.1%	基準

(単位: k0)

27) 被災地・非被災地別の高齢者世帯数の変化(地震前後の年平均値の変化)



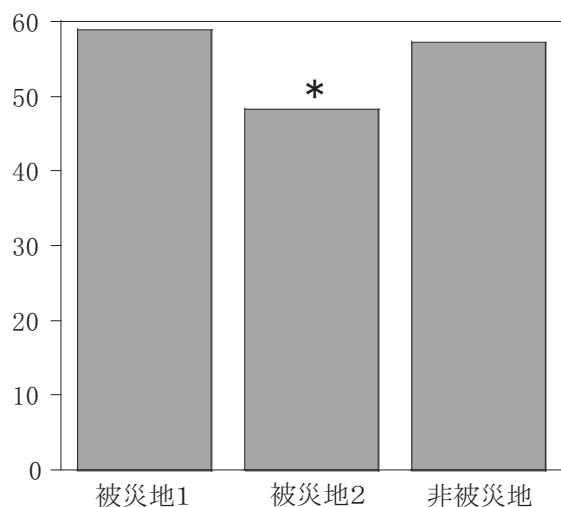
いずれのグループでも地震後6年間の高齢者世帯数は増加し、被災地2の増加率は非被災地と比べて有意に低かった。

被災地・非被災地別高齢者世帯数の変化

総数	地震前4年	地震後6年	変化(差)	変化率	P
被災地1	15,062	23,285	8,223	54.6%	0.5582
被災地2	16,548	24,043	7,495	45.3%	<0.0001*
非被災地	59,525	92,655	33,130	55.7%	基準

28) 被災地・非被災地別の単身高齢者世帯数の変化(地震前後の年平均値の変化)

(%) 単身高齢者世帯数の変化率



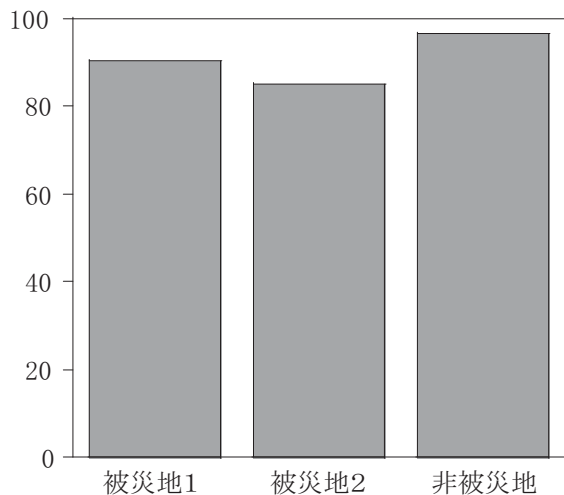
いずれのグループでも地震後6年間の単身高齢者世帯数は増加し、被災地2の増加率は非被災地と比べて有意に低かった。
男女別分析では、男女とも同様な傾向が見られ、女性においては全体同様の有意差が見られた。

被災地・非被災地別単身高齢者世帯数の変化

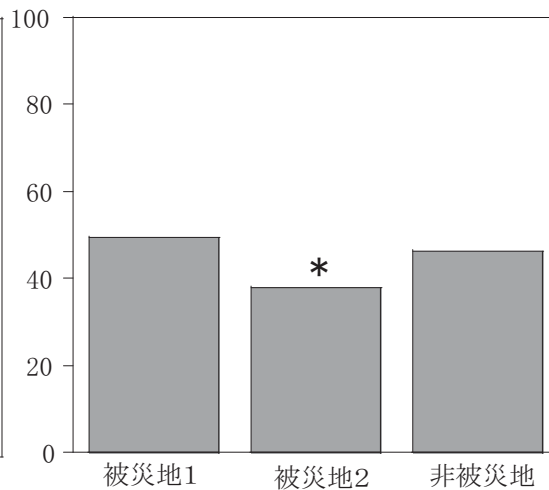
総数	地震前4年 (平成12年)	地震後6年 (平成22年)	変化(差)	変化率	P
被災地1	6,359	10,104	3,745	58.9%	0.5443
被災地2	7,306	10,835	3,529	48.3%	0.0006*
非被災地	28,047	44,088	16,041	57.2%	基準

(単位:人)

(%) 単身高齢者世帯数の変化率(男性)



(%) 単身高齢者世帯数の変化率(女性)



男女別単身高齢者世帯数の変化

男性	地震前4年	地震後6年	変化(差)	変化率	P
被災地1	1,484	2,826	1,342	90.4%	0.3663
被災地2	1,618	2,996	1,378	85.2%	0.0819
非被災地	6,001	11,803	5,802	96.7%	基準
女性	地震前4年	地震後6年	変化(差)	変化率	P
被災地1	4,875	7,278	2,403	49.3%	0.3466
被災地2	5,688	7,839	2,151	37.8%	0.0018
非被災地	22,046	32,285	10,239	46.4%	基準

3. まとめ

1) 地震前後5年間の変化の所見のサマリー

- ①被災地1、被災地2の人口減少は非被災地と比較して有意に多かった。
- ②被災地1、被災地2の世帯増加は非被災地と比較して有意に少なかった。
- ③被災地1の男性の自然動態の減少は非被災地に比べて有意に少なかった。
- ④被災地1、被災地2の65歳以上人口割合の増加は、非被災地に比べて有意に少なかった。
- ⑤被災地1の酒類販売の減少は、非被災地に比べて有意に少なかった。
- ⑥被災地1、被災地2の市町村民所得の減少は非被災地に比べて少ない傾向にあった。
- ⑦被災地1、被災地2の離婚率は非被災地と比較して多くなった。
- ⑧被災地1、被災地2の保護世帯数(保護率)の増加は非被災地に比べて有意に少なかった。
- ⑨被災地1の耕地面積(総数、田)の減少は非被災地に比べて有意に大きかった。
- ⑩被災地1の交通事故発生数および交通事故死者数の減少は非被災地に比べて有意に少なかった。
- ⑪被災地1、被災地2の自殺死亡率の減少は非被災地と比べて有意に大きかった。男性では、被災地1、被災地2の自殺死亡率の減少が著明であった。女性では被災地2の自殺率の減少は非被災地より有意に大きかったが、被災地1の自殺死亡率の減少は非被災地と差がなかった。しかしながら、経年変化を見ると、被災地1における女性の自殺死亡率は上昇傾向にある(被災地2および非被災地の自殺死亡率は上昇していない)。

2) 統計編の考察及び提言

今回の分析により、中越地震後5年間の観察により、被災地1(ケアセンター活動の対象地域)の男性および被災地2(ケアセンター活動の非対象地域)の男女の自殺死亡率が、非被災地に比べて有意に低下したことが明らかにされた。地震後における短期的な自殺死亡率の低下は阪神淡路大震災の際にも見られた現象であり、同様のことは中越地震にも当てはまる可能性がある。

しかし、気になるのは、被災地1における女性の自殺死亡率に低下が見られず、経年的にはむしろ増加傾向にある点である。Oyamaら*が被災地1に含まれる川口町で実施した調査によれば、地震3年後の時点において、主婦・無職の者の心的苦痛 *psychological distress* がそれ以外の者に比べて著しく高かったという。このことは、女性の自殺死亡率上昇と矛盾しない。被災地女性における地震後の中長期的な精神的負担の増加が問題である可能性がある。なお、被災地における女性の心的苦痛という点から興味深いのは、被災地2では女性の自殺死亡率が他地域に比べて減少しており、しかしその一方で、被災地2のみにおいて離婚率の上昇が見られる点である。やや穿ちすぎた推測になるが、被災地2の女性は、離婚という選択をとることで、自殺につながるような苦痛を回避した可能性も考えられる。その意味では、非被災地に比べれば相対的に増加しているとはいえ、離婚率自体は減少した被災地1において、女性の自殺死亡率が減少していない、という事実が何を意味しているのかについては、慎重に検討する必要があるだろう。たとえば、家庭生活における様々な困難に追い詰められた女性が、離婚という「逃げ場を失っている」状況がないかどうか、といったことを念頭に置きながら、地域保健活動を実践していく必要があるかもしれない。

他にも一つ気になる現象がある。それは、被災地1において、人口が減少しているにもかかわらず、酒類販売量と交通事故発生件数が相対的に増加している、ということである。災害後の中長期的なメンタルヘルス問題としてしばしば指摘されているのは、アルコール問題である。実際、阪神淡路大震災の際にも避難所や仮設住宅におけるアルコール問題が、さまざまな社会的トラブルや健康被害、ひいては仮設住宅における高齢者の孤独死を引き起こしたことがよく知られている。今回の調査で確認された交通事故の相対的増加が、果たして飲酒運転によるものかどうかは不明であるが、今後も引き続き被災地におけるアルコール問題の推移を注視していく必要があるだろう。

以上、今回の調査結果を踏まえた考察を試みたが、本調査は被災地と非被災地に関するマクロな統計情報にもとづいて、地域内の諸指標間の関連を検討したものである。したがって、今回得られた知見は、今後、地域保健活動の実践のなかで慎重に検証される必要があることを、最後に付言しておきたい。

* Oyama M, Nakamura K, Suda Y, Someya T. Social network disruption as a major factor associated with psychological distress three years after the 2004 Niigata-Chuetsu earthquake in Japan. *Environ Health Prev Med*2012; 17: 118-123.

事 例 編

Ⅲ 被災地域自死者の実態について

【対象】

中越大震災以後平成 16 年 11 月～平成 24 年 6 月の間に被災地域で発生した自殺既遂者のうち、保健師（長岡市、小千谷市、魚沼市、十日町市、津南町）が情報を収集し得た 56 事例。

【調査方法・期間】

56 事例について、調査票（巻末資料参照）を用いて対象者について保健師と面談を実施し聞き取り調査を行った。聞き取り調査は平成 24 年 3 月～7 月の間に実施した。

【分析・統計処理】

分析に関しては、保健師の関わりの有無が自死に及ぼした影響と、年齢の影響をみるため、56 事例を 65 歳未満、65 歳以上の 2 群に分けた分析及び、保健師の関わりのあり、なしの 2 群に分けた分析を行った。

クロス集計表においては、関わりの有無別に各項目の特性の人数と、その項目におけるいずれかの特性を持つ者の割合をパーセントで示した。各項目におけるいずれかの特性を持つ者の割合の比較はグラフでも示した。複数回答を求める質問項目については、各回答を選んだ場合を「あり」、選んでない場合を「なし」としてクロス集計を行った（この場合欠損値は発生しない）。いずれかの特性を持つ者の割合が 2 群で異なるかどうかについては Fisher の検定を行い、P 値を示した。P 値が 0.05 未満の場合に統計的な有意差ありとした。

1. 基本属性

1)年代

	n	%
10代	1	1.8
20代	1	1.8
30代	5	8.9
40代	8	14.3
50代	6	10.7
60代	8	14.3
70代	14	25.0
80代	12	21.4
90代	1	1.8
合計	56	100.0

2)性別

	n	%
男性	42	75.0
女性	14	25.0
合計	56	100.0

3)婚姻状況

	n	%
既婚	21	37.5
未婚	15	26.8
離婚	3	5.4
再婚	1	1.8
死別	16	28.6
不詳	0	0.0
その他	0	0.0
合計	56	100.0

4)自死時の職業

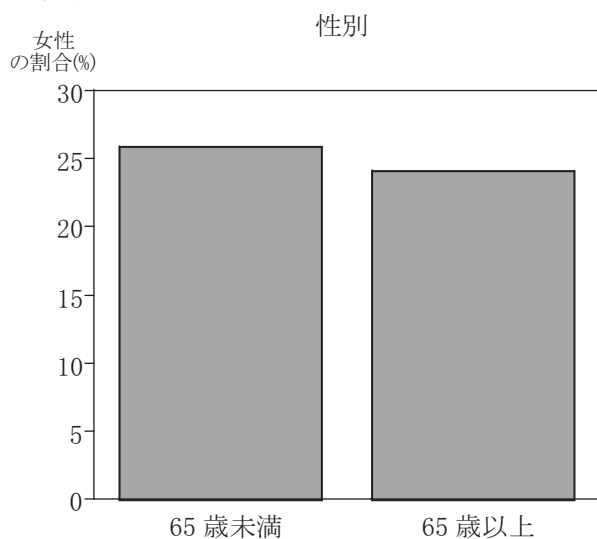
	n	%
自営(家族従事)	8	14.3
勤め人	2	3.6
農業	0	0.0
パート・アルバイト	9	16.1
学生	1	1.8
主婦	5	8.9
失業	1	1.8
無職	24	42.9
その他	6	10.7
合計	56	100.0

5)家族構成(同居人数)

	n	%
1人(单身)	10	17.9
2人	15	26.8
3人	12	21.4
4人	7	12.5
5人	8	14.3
6人	2	3.6
7人	2	3.6
合計	56	100.0

2. 65歳未満、65歳以上別のクロス集計

1) 性別



両群で男女の割合に差はない。

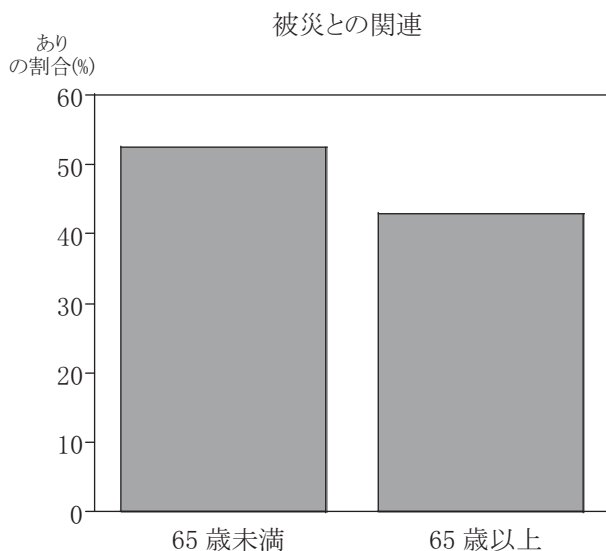
65歳未満、65歳以上別 性別

	65歳未満	65歳以上
男性	20	22
女性	7	7
女性の割合	25.9%	24.1%

P 値
1

欠損 0

2) 被災との関連



65歳未満で「被災との関連」ありの割合は大きい有意差はない。

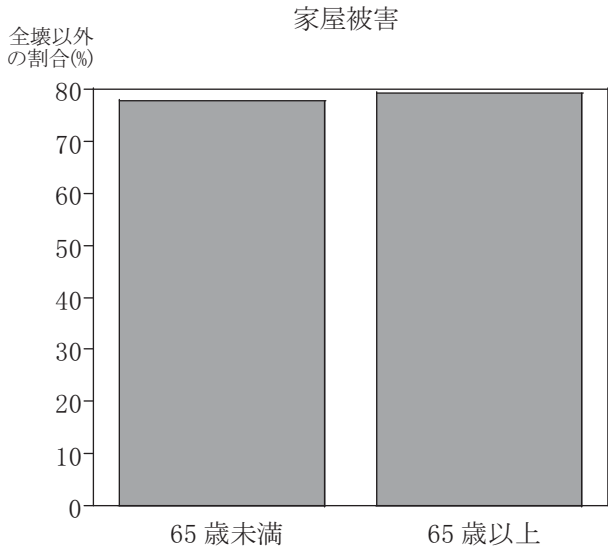
65歳未満、65歳以上別 被災との関連

	65歳未満	65歳以上
なし	10	12
あり	11	9
ありの割合	52.4%	42.9%

P 値
0.7579

欠損 14

3) 家屋被害状況



両群で全壊ありの割合に差はなかった。

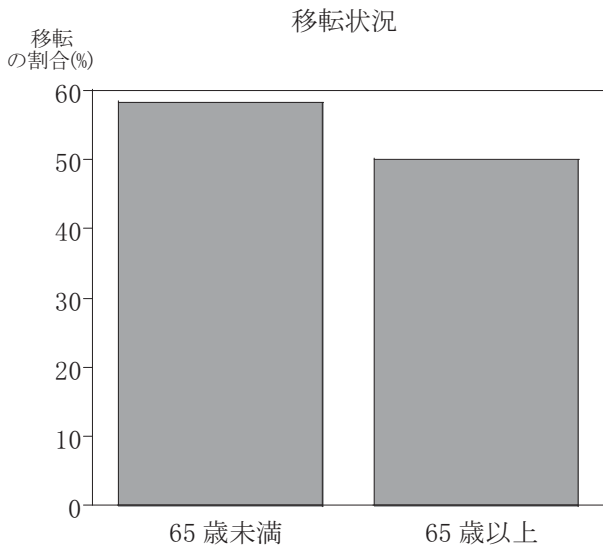
65歳未満、65歳以上別 家屋被害状況

	65歳未満	65歳以上
全壊	6	6
全壊以外	21	23
全壊以外の割合	77.8%	79.3%

P 値
1

欠損 0

4) 移転状況



両群で移転ありの割合に差はない。

65歳未満、65歳以上別 移転状況

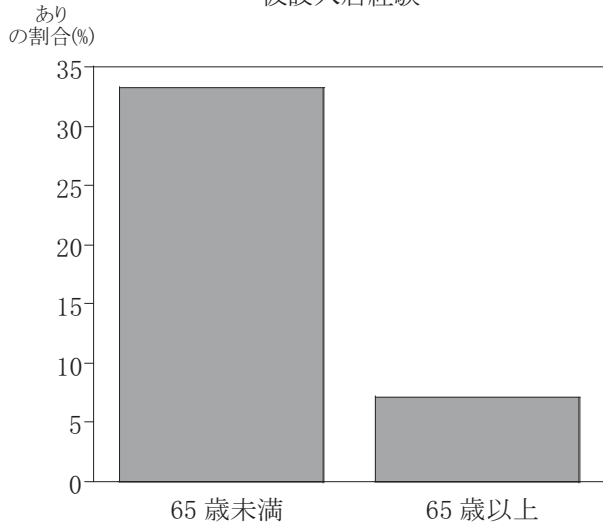
	65歳未満	65歳以上
移転以外	5	3
移転	7	3
ありの割合	58.3%	50.0%

P 値
1

欠損 38

5) 仮設入居経験

仮設入居経験



65歳未満で仮設入居経験ありの割合は大きい有意差はない。

65歳未満、65歳以上別 仮設入居経験の有無

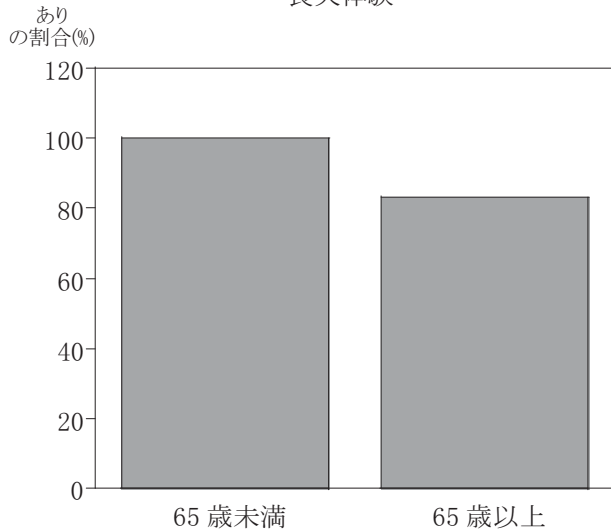
	65歳未満	65歳以上
なし	8	13
あり	4	1
ありの割合	33.3%	7.1%

P 値
0.1478

欠損 30

6) 喪失体験

喪失体験



65歳未満で喪失体験ありの割合は大きい有意差はない。

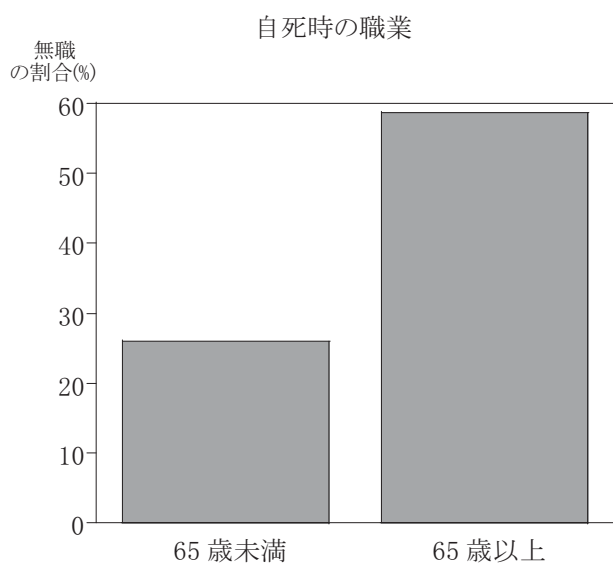
65歳未満、65歳以上別 喪失体験の有無

	65歳未満	65歳以上
なし	0	2
あり	9	10
ありの割合	100.0%	83.3%

P 値
0.4857

欠損 35

7) 自死時の職業



65歳以上で無職の割合は有意に大きい。

65歳未満、65歳以上別自死時の職の有無

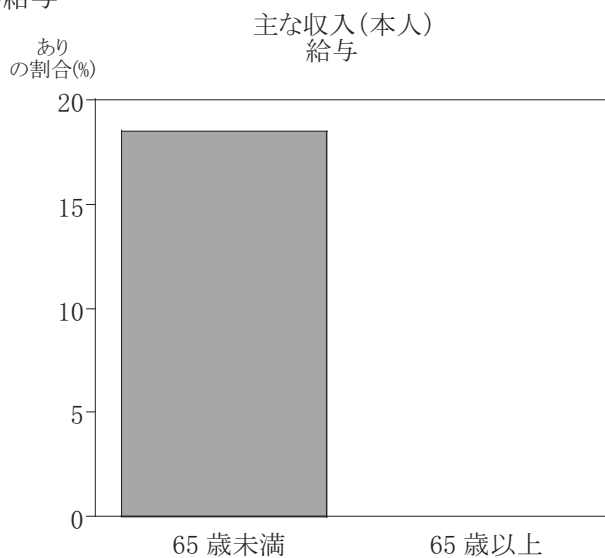
	65歳未満	65歳以上
無職以外	20	12
無職	7	17
無職の割合	25.9%	58.6%

P 値
0.0169

欠損 0

8) 主な収入(本人)

①給与



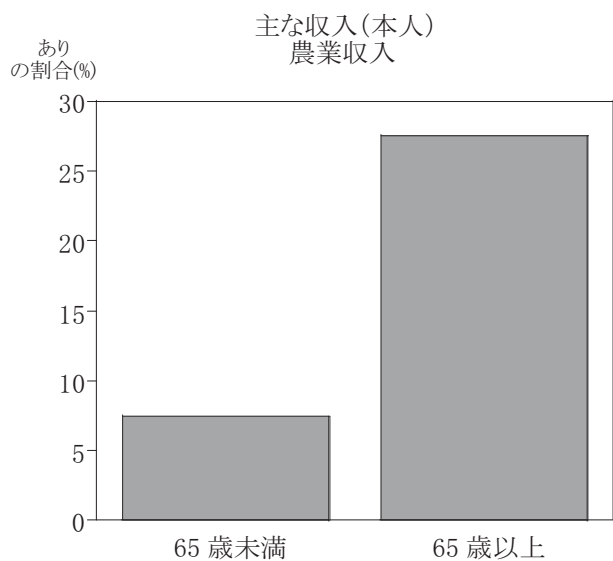
65歳未満で給与所得者の割合は有意に大きい。

主な収入(本人):給与

	65歳未満	65歳以上
なし	22	29
あり	5	0
ありの割合	18.5%	0.0%

P 値
0.0211

②農業収入



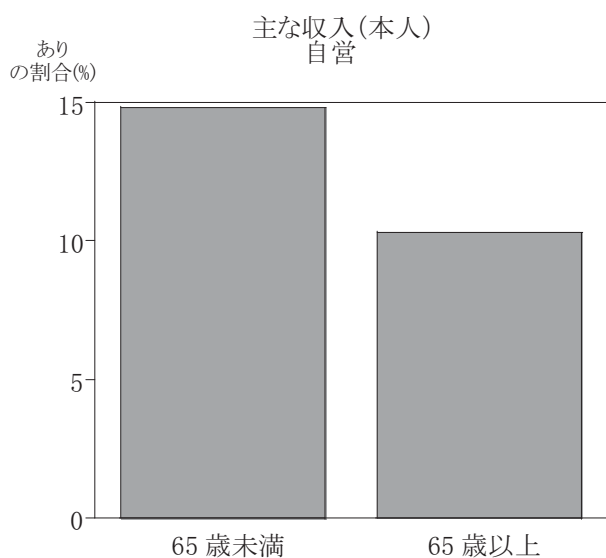
65歳以上で農業収入ありの割合は大きい傾向にある(P<0.1)。

主な収入(本人):農業収入

	65歳未満	65歳以上
なし	25	21
あり	2	8
ありの割合	7.4%	27.6%

P値
0.0798

③自営



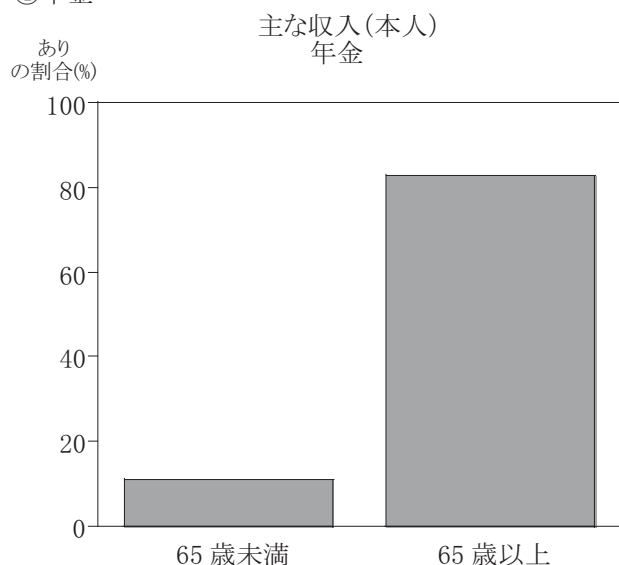
65歳未満で自営の割合は大きい
が有意差はない。

主な収入(本人):自営

	65歳未満	65歳以上
なし	23	26
あり	4	3
ありの割合	14.8%	10.3%

P値
0.7004

④年金



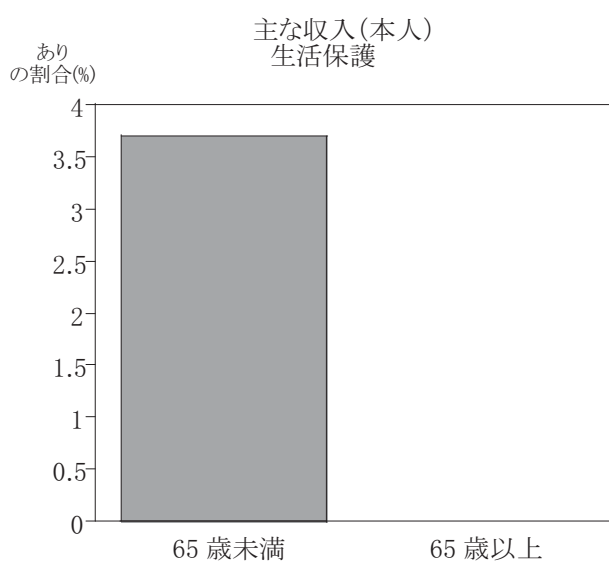
65歳以上で年金収入ありの割合は有意に大きい。

主な収入(本人):年金

	65歳未満	65歳以上
なし	24	5
あり	3	24
ありの割合	11.1%	82.8%

P 値
<0.0001

⑤生活保護



65歳未満で生活保護が1名見られるが有意差はない。

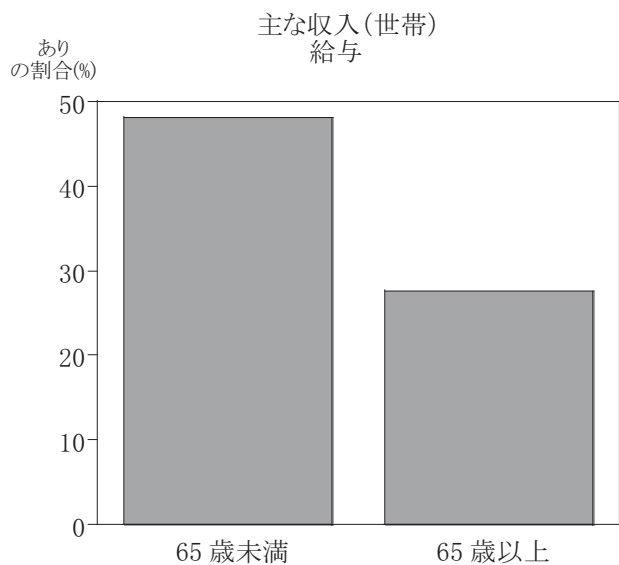
主な収入(本人):生活保護

	65歳未満	65歳以上
なし	26	29
あり	1	0
ありの割合	3.7%	0.0%

P 値
0.4821

9) 主な収入(世帯)

①給与



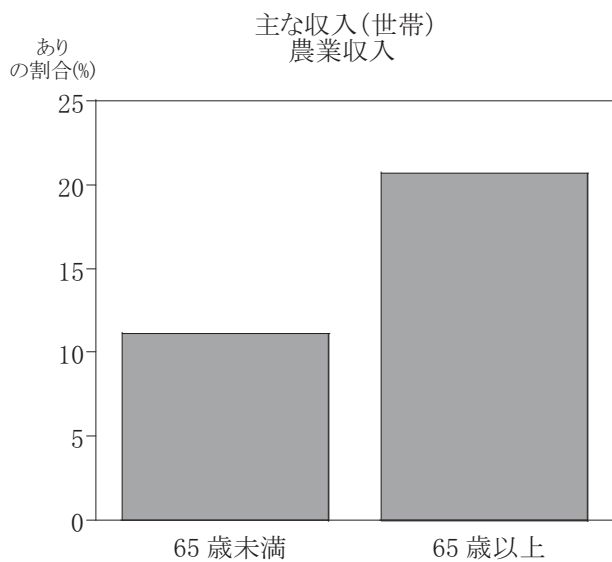
65歳未満で給与所得の割合は大きい有意差はない。

主な収入(世帯): 給与

	65歳未満	65歳以上
なし	14	21
あり	13	8
ありの割合	48.1%	27.6%

P 値
0.1676

②農業収入



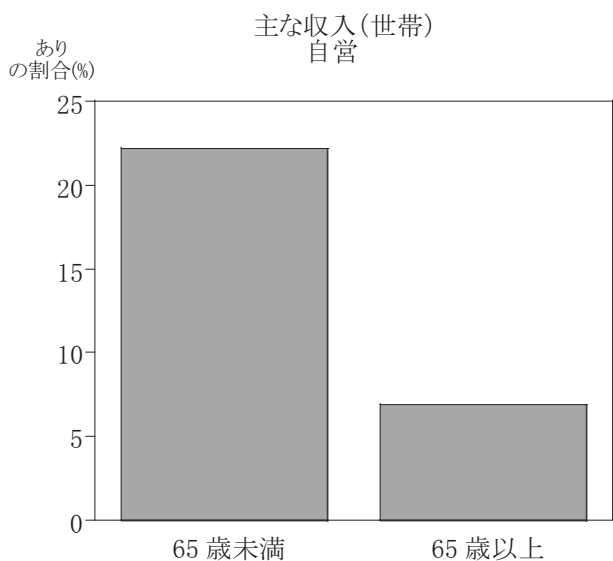
65歳以上で農業収入ありの割合は大きい有意差はない。

主な収入(世帯): 農業収入

	65歳未満	65歳以上
なし	24	23
あり	3	6
ありの割合	11.1%	20.7%

P 値
0.4718

③ 自営



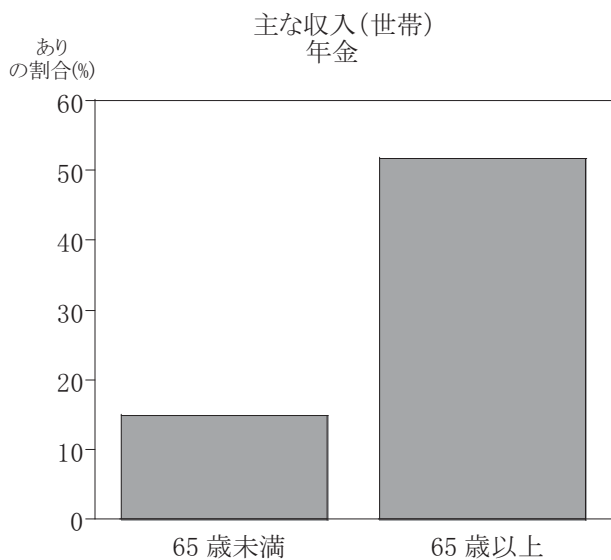
65歳未満で自営の割合は大きい
が有意差はない。

主な収入(世帯): 自営

	65歳未満	65歳以上
なし	21	27
あり	6	2
ありの割合	22.2%	6.9%

P 値
0.137

④ 年金



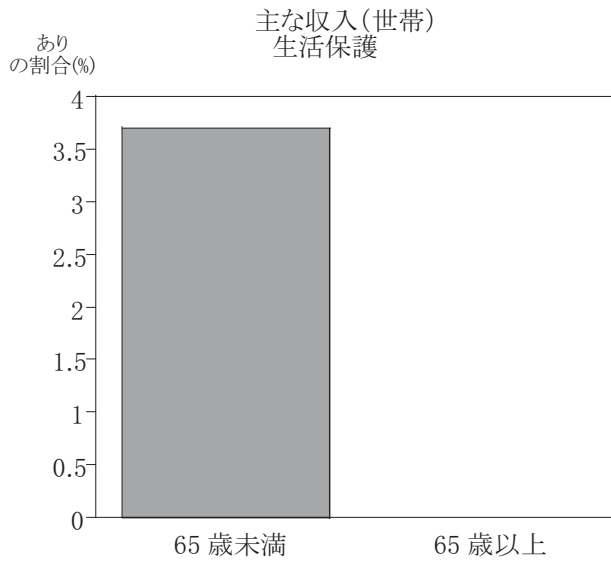
65歳以上で年金の割合は有意
に大きい。

主な収入(世帯): 年金

	65歳未満	65歳以上
なし	23	14
あり	4	15
ありの割合	14.8%	51.7%

P 値
0.0048

⑤生活保護



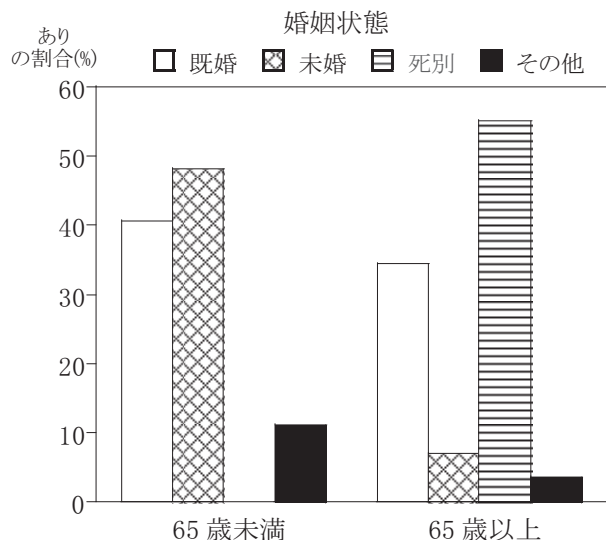
65歳未満で生活保護が1名見られるが有意差はない。

主な収入(世帯):生活保護

	65歳未満	65歳以上
なし	26	29
あり	1	0
ありの割合	3.7%	0.0%

P 値
0.4821

10) 婚姻状況



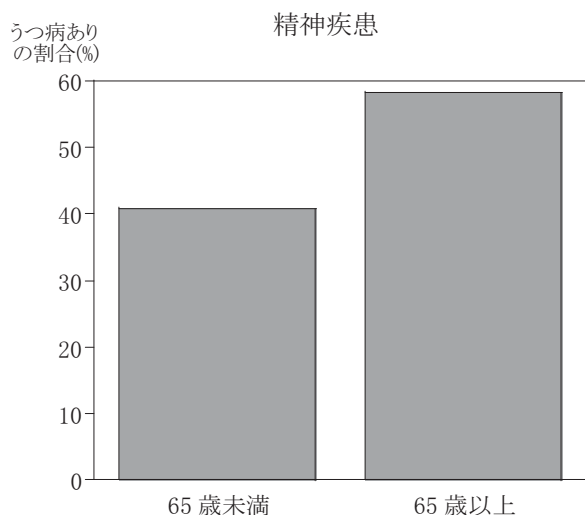
65歳未満で未婚者は多い傾向にある。

65歳未満、65歳以上別婚姻状況

人数	65歳未満	65歳以上
既婚	11	10
未婚	13	2
死別	0	16
その他	3	1
割合	65歳未満	65歳以上
既婚の割合	40.7%	34.5%
未婚の割合	48.2%	6.9%
死別の割合	0.0%	55.2%
その他の割合	11.1%	3.5%

χ² 二乗検定
P 値
0.0786

11) 精神疾患



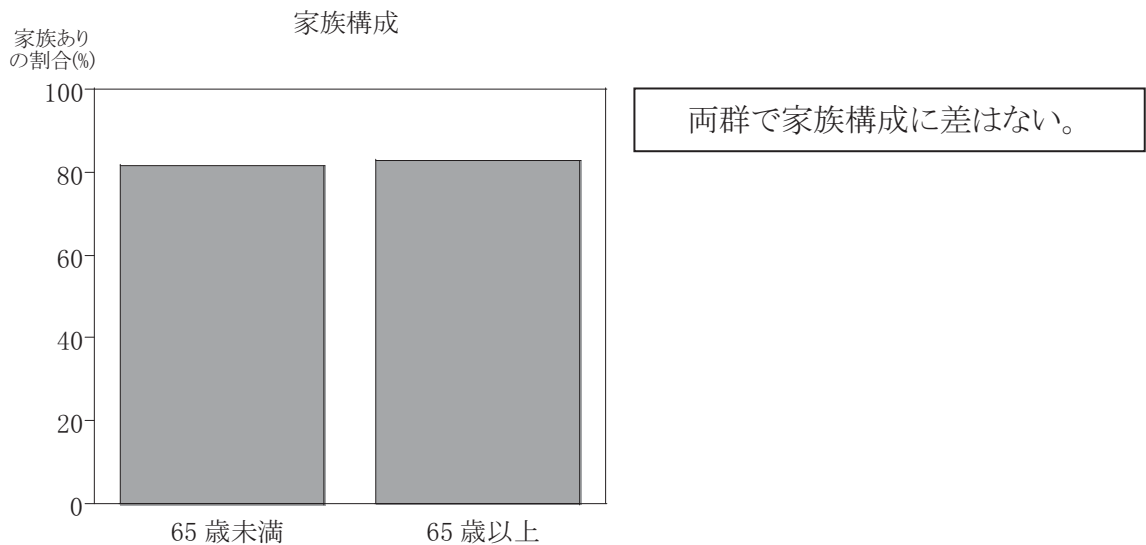
65歳以上でうつ病ありの割合は大きい有意差はない。

65歳未満、65歳以上別 精神疾患

	65歳未満	65歳以上
うつ病あり以外	13	5
うつ病あり	9	7
うつ病ありの割合	40.9%	58.3%

P 値
0.4754

12) 家族構成



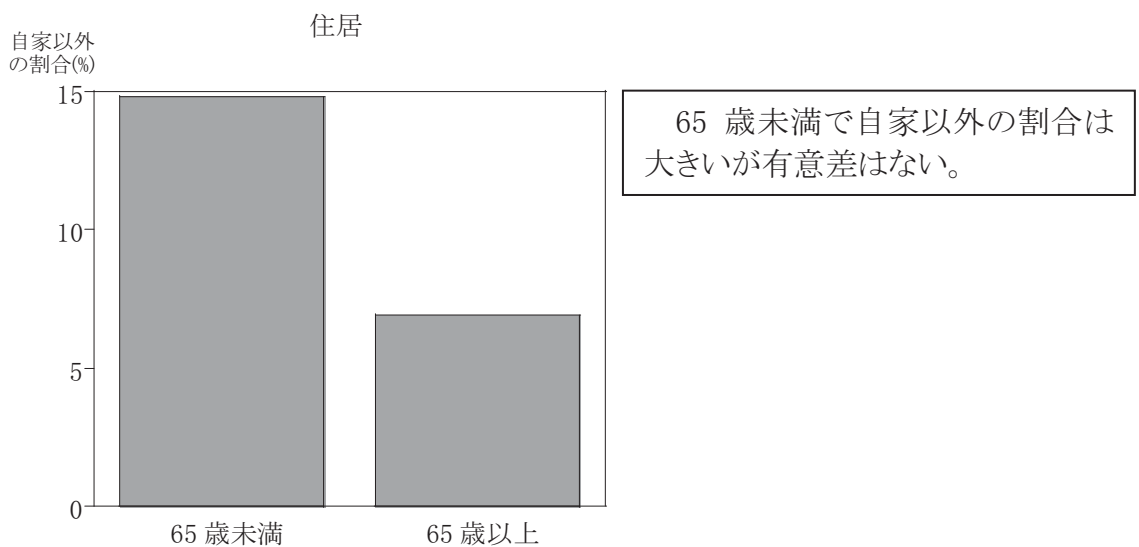
65歳未満、65歳以上別家族構成

	65歳未満	65歳以上
単身	5	5
家族あり	22	24
家族ありの割合	81.5%	82.8%

P 値
1

欠損 0

13) 住居



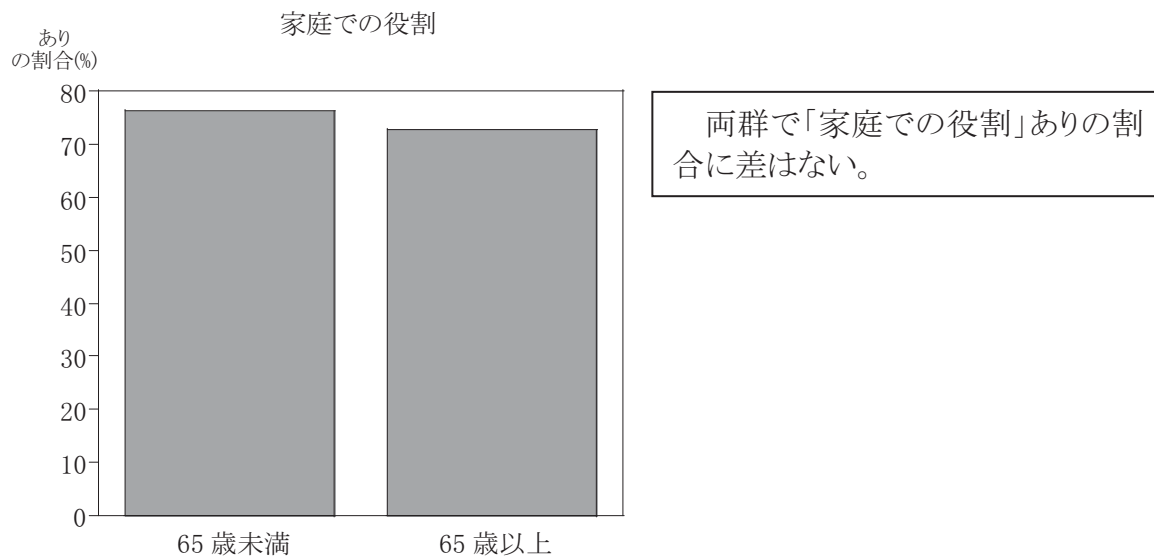
65歳未満、65歳以上別 住居状況

	65歳未満	65歳以上
自家	23	27
自家以外	4	2
自家以外の割合	14.8%	6.9%

P 値
0.4141

欠損 0

14) 家庭での役割



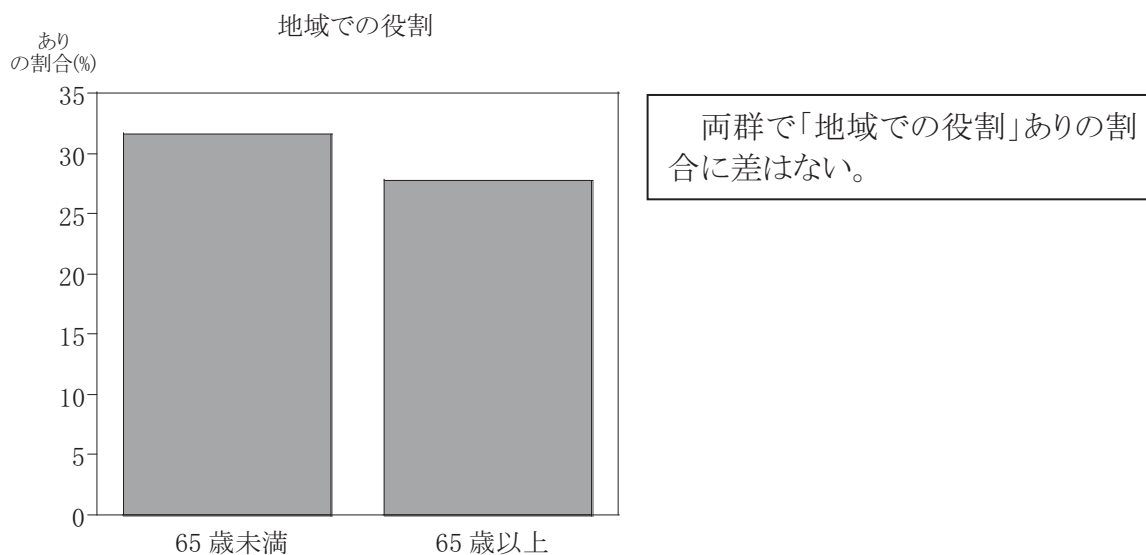
65歳未満、65歳以上別 家庭での役割の有無

	65歳未満	65歳以上
なし	5	6
あり	16	16
ありの割合	76.2%	72.7%

P 値
1

欠損 13

15) 地域での役割



65歳未満、65歳以上別 地域での役割の有無

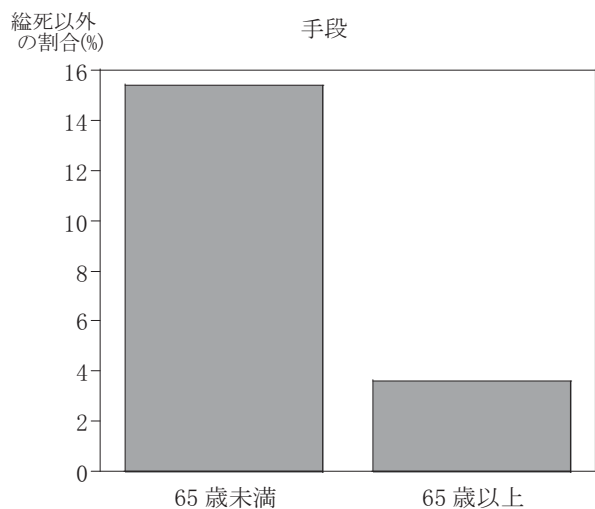
	65歳未満	65歳以上
なし	13	13
あり	6	5
ありの割合	31.6%	27.8%

P 値
1

欠損 19

16) 自死の状況

①自死の手段



65歳未満で縊死以外の手段の割合は大きい有意差はない。

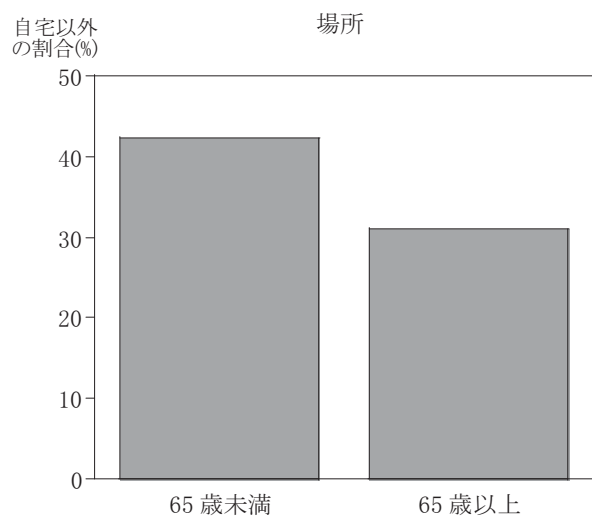
65歳未満、65歳以上別 自死の手段

	65歳未満	65歳以上
縊死	22	27
縊死以外	4	1
縊死以外の割合	15.4%	3.6%

P 値
0.1842

欠損 2

②自死の場所



65歳未満で自宅以外での自死の割合は大きい有意差はない。

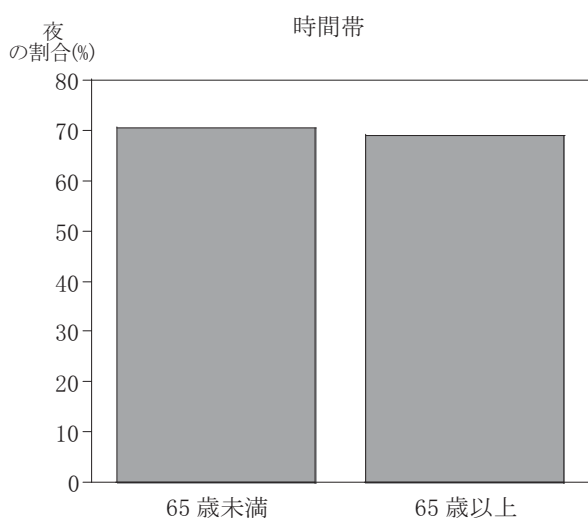
65歳未満、65歳以上別 自死の場所

	65歳未満	65歳以上
自宅	15	20
自宅以外	11	9
自宅以外の割合	42.3%	31.0%

P 値
0.4148

欠損 1

③自死の時間帯



両群で自死の時間帯に差はない。

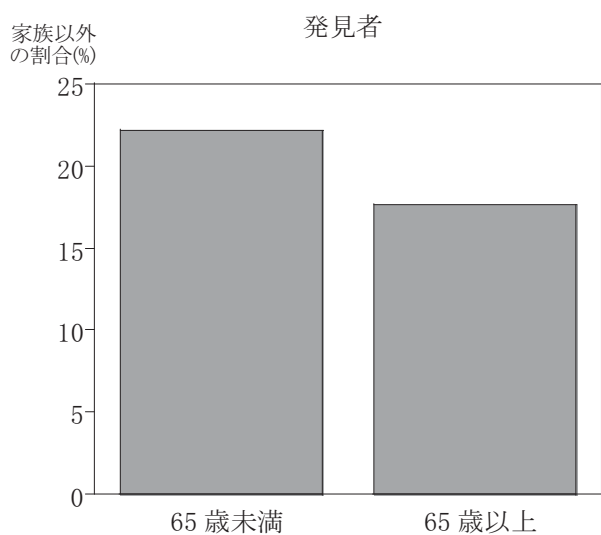
65歳未満、65歳以上別 自死の時間帯

	65歳未満	65歳以上
昼(6時～18時)	8	9
夜(18時～6時)	19	20
夜の割合	70.4%	69.0%

P値
1

欠損 0

④自死者の発見者



両群で発見者に差はない。

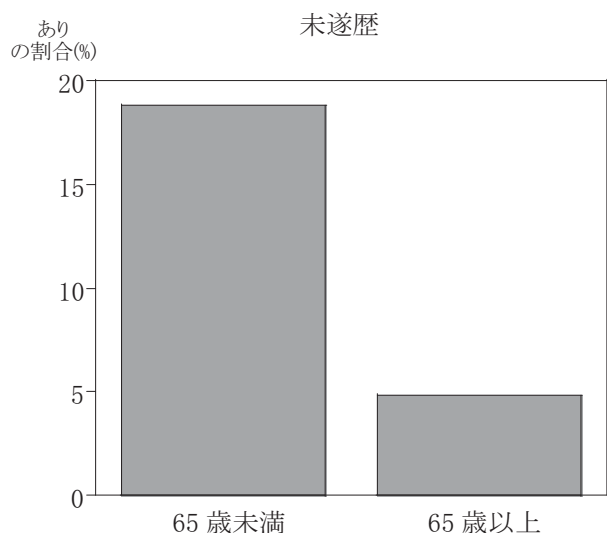
65歳未満、65歳以上別 自死者の発見者

	65歳未満	65歳以上
家族	14	14
家族以外	4	3
家族以外の割合	22.2%	17.6%

P値
1

欠損 21

⑤自殺未遂歴の有無



65歳未満で自死未遂歴の割合は大きい有意差はない。

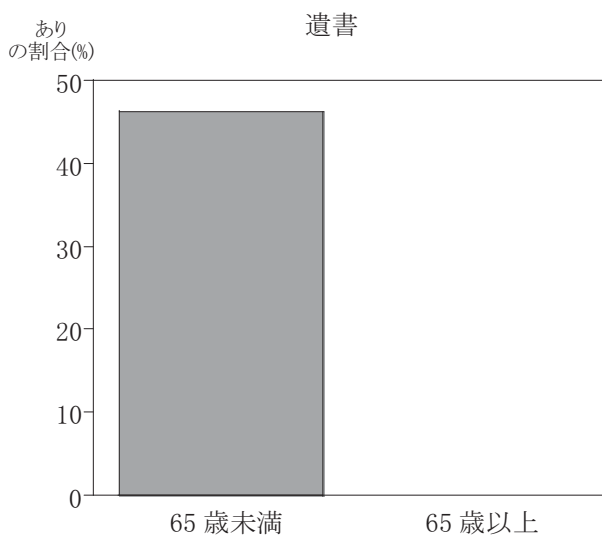
65歳未満、65歳以上別 自殺未遂歴の有無

	65歳未満	65歳以上
なし	13	20
あり	3	1
ありの割合	18.8%	4.8%

P 値
0.2962

欠損 19

⑥遺書の有無



65歳未満で遺書を残す割合は有意に大きい。

65歳未満、65歳以上別 遺書の有無

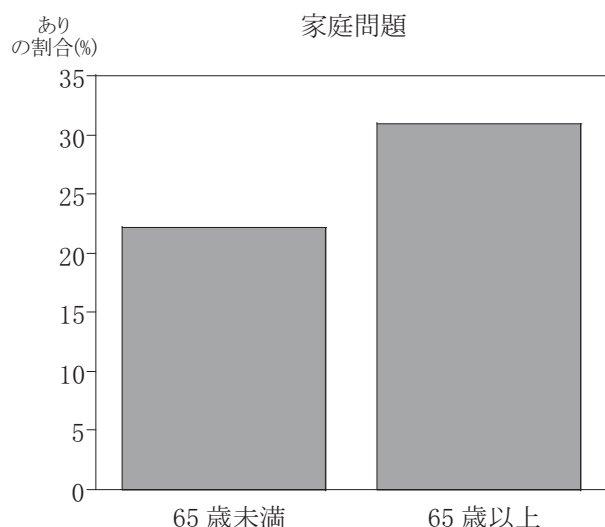
遺書	65歳未満	65歳以上
なし	7	12
あり	6	0
ありの割合	46.2%	0.0%

P 値
0.0149

欠損 31

17) 自死の原因・動機

①家庭問題



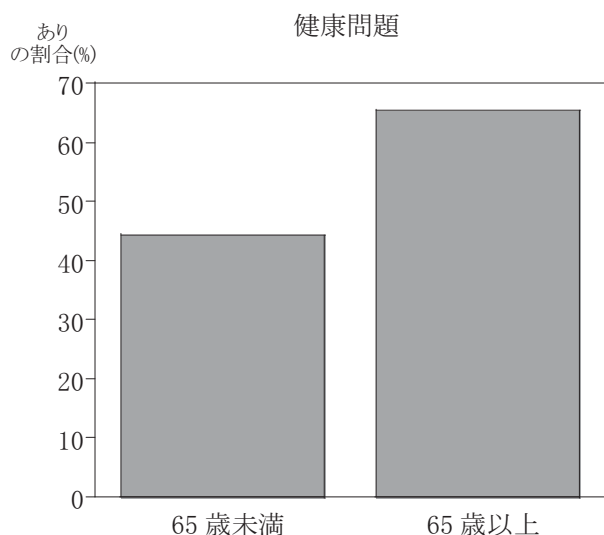
65歳以上で家庭問題の割合は大きいが有意差はない。

原因・動機:家庭問題

	65歳未満	65歳以上
なし	21	20
あり	6	9
ありの割合	22.2%	31.0%

P 値
0.5523

②健康問題



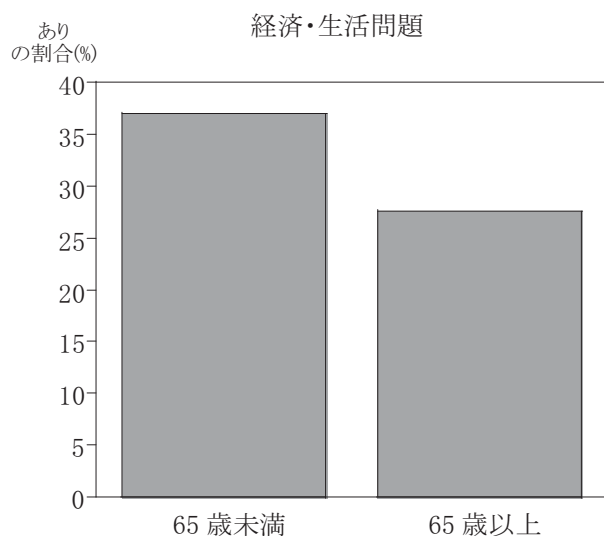
65歳以上で健康問題の割合は大きいが有意差はない。

原因・動機:健康問題

	65歳未満	65歳以上
なし	15	10
あり	12	19
ありの割合	44.4%	65.5%

P 値
0.1784

③経済・生活問題



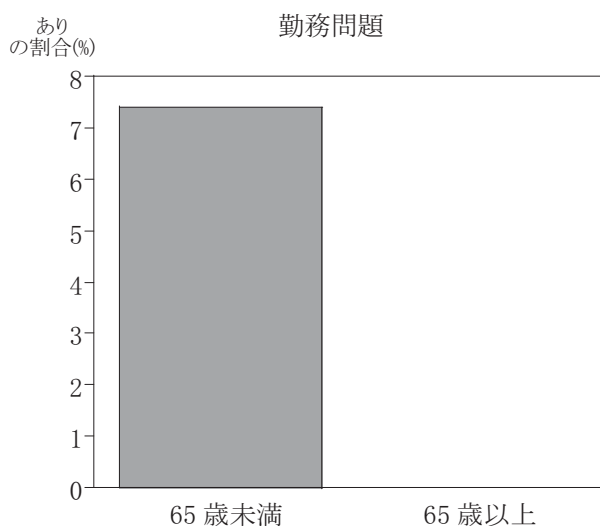
65歳未満で経済・生活問題の割合は大きい有意差はない。

原因・動機:経済・生活問題

	65歳未満	65歳以上
なし	17	21
あり	10	8
ありの割合	37.0%	27.6%

P 値
0.5695

④勤務問題



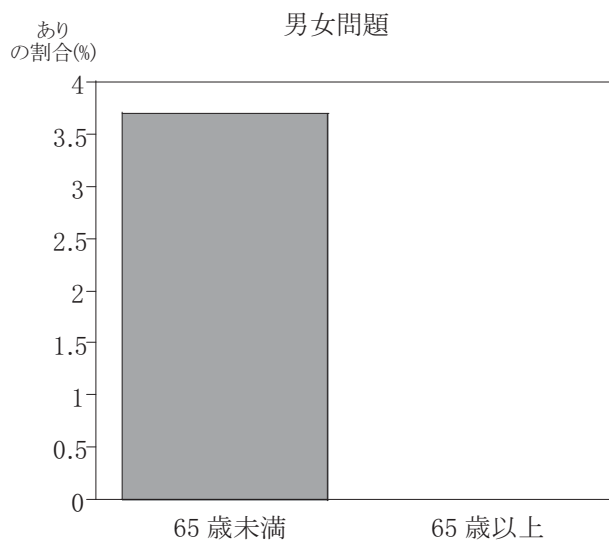
65歳未満で勤務問題の割合は大きい有意差はない。

原因・動機:勤務問題

	65歳未満	65歳以上
なし	25	29
あり	2	0
ありの割合	7.4%	0.0%

P 値
0.2279

⑤男女問題



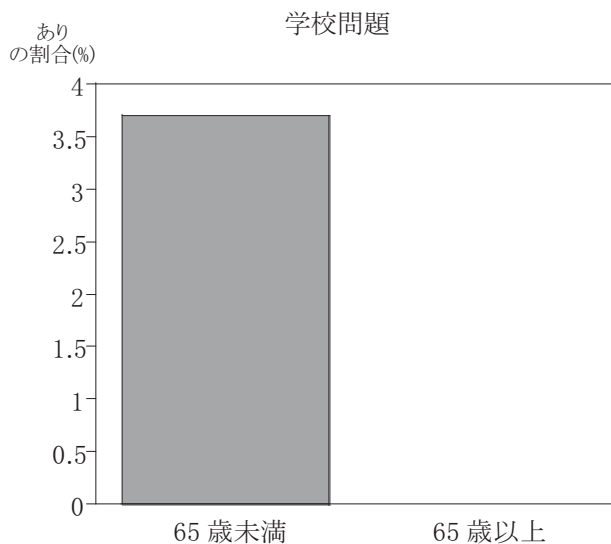
65歳未満で男女問題が1件見られるが有意差はない。

原因・動機:男女問題

	65歳未満	65歳以上
なし	26	29
あり	1	0
ありの割合	3.7%	0.0%

P 値
0.4821

⑥学校問題



65歳未満で学校問題の割合は大きい有意差はない。

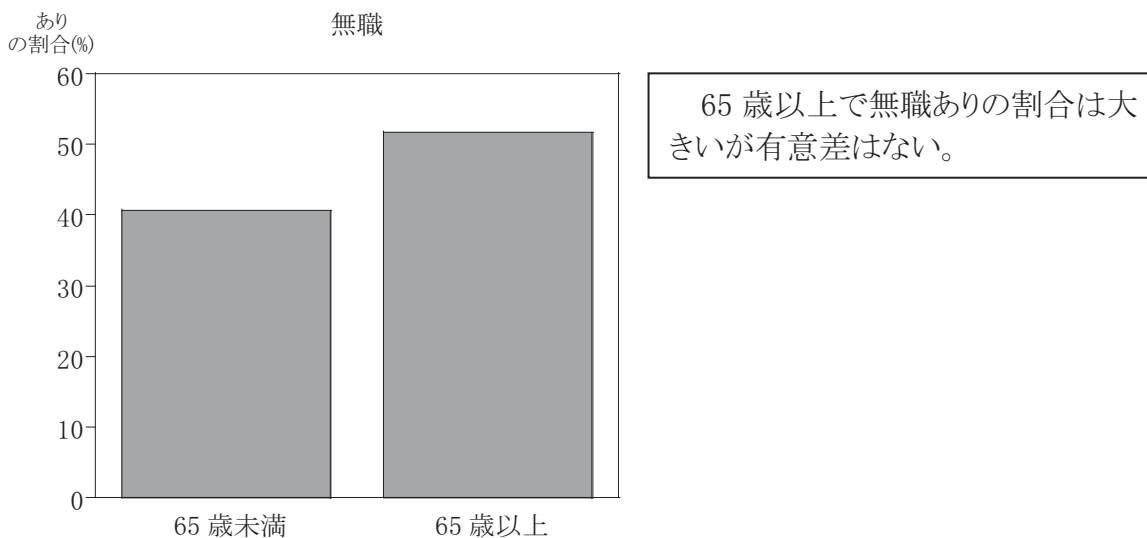
原因・動機:学校問題

	65歳未満	65歳以上
なし	26	29
あり	1	0
ありの割合	3.7%	0.0%

P 値
0.4821

18) 自死の原因と考えられる本人の状況

①無職である

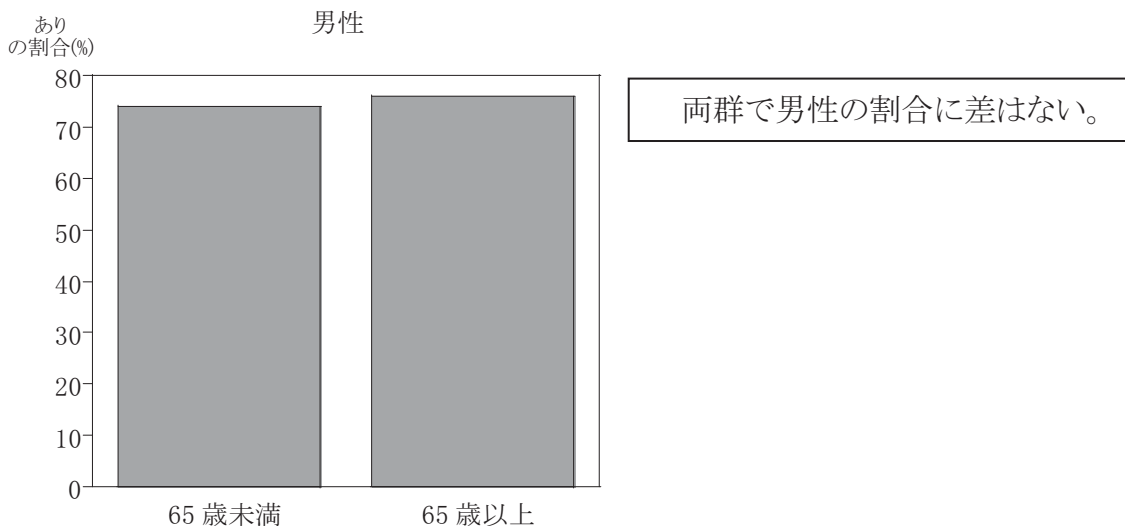


自死の原因と考えられる本人状況:無職である

	65歳未満	65歳以上
なし	16	14
あり	11	15
ありの割合	40.7%	51.7%

P 値
0.4357

②男性である

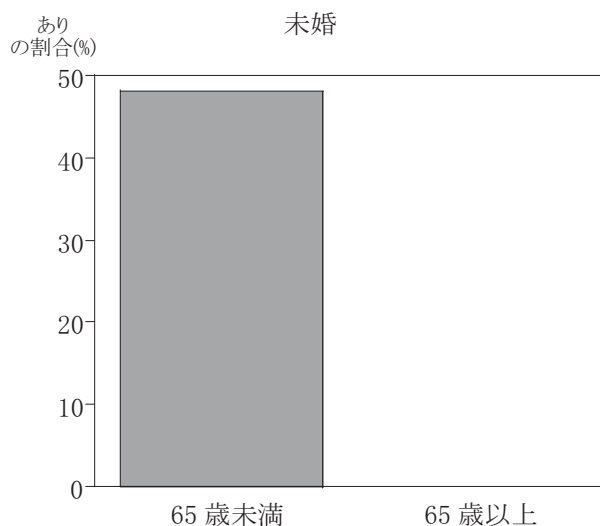


自死の原因と考えられる本人状況:男性である

	65歳未満	65歳以上
なし	7	7
あり	20	22
ありの割合	74.1%	75.9%

P 値
1

③未婚である



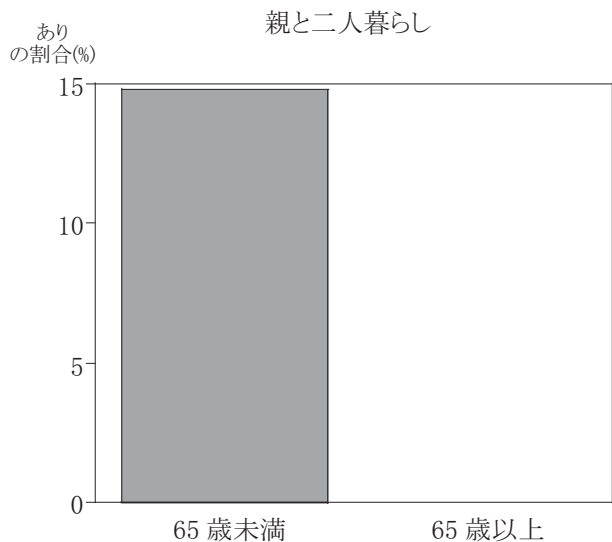
65歳未満では未婚者がほとんどで、65歳以上では見られない(有意差あり)。

自死の原因と考えられる本人状況: 未婚である

	65歳未満	65歳以上
なし	14	29
あり	13	0
ありの割合	48.1%	0.0%

P 値
<0.0001

④親と二人暮らしである



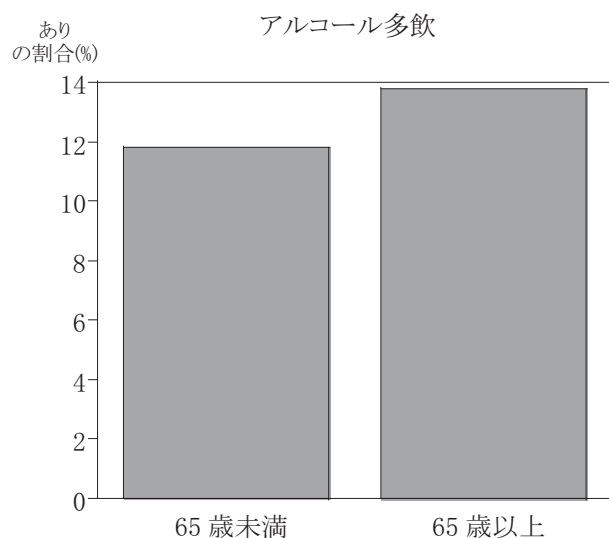
親と二人暮らしは65歳未満に見られ、65歳以上では見られない(有意差あり)。

自死の原因と考えられる本人状況: 親と二人暮らしである

	65歳未満	65歳以上
なし	23	29
あり	4	0
ありの割合	14.8%	0.0%

P 値
0.0478

⑤アルコール多飲



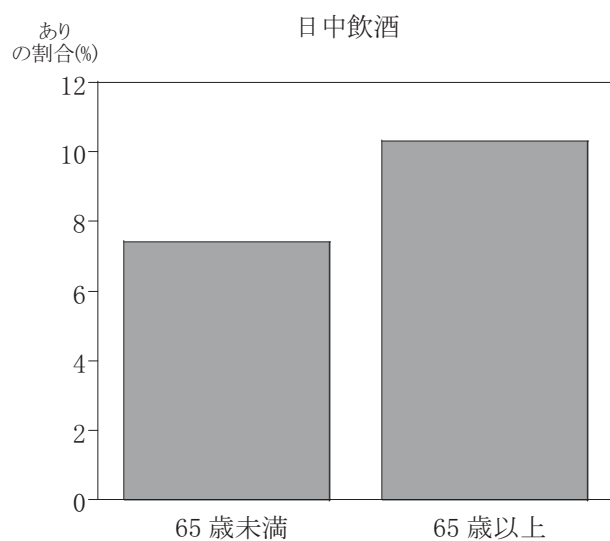
両群でアルコール多飲者の割合に差はない。

自死の原因と考えられる本人状況:アルコール多飲

	65歳未満	65歳以上
なし	24	25
あり	3	4
ありの割合	11.1%	13.8%

P 値
1

⑥日中飲酒



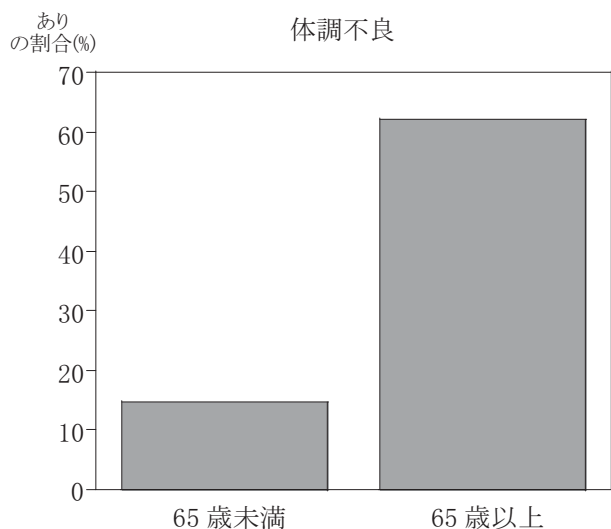
両群で日中飲酒者の割合に差はない。

自死の原因と考えられる本人状況:日中飲酒

	65歳未満	65歳以上
なし	25	26
あり	2	3
ありの割合	7.4%	10.3%

P 値
1

⑦体調不良



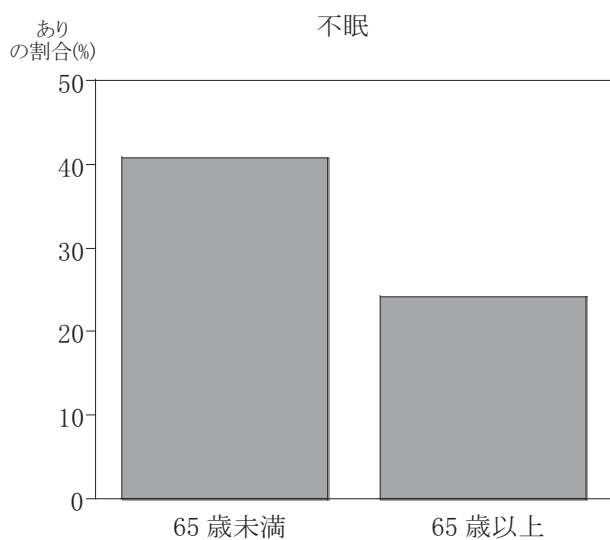
65歳以上で体調不良の割合は有意に大きい。

自死の原因と考えられる本人状況: 体調不良

	65歳未満	65歳以上
なし	23	11
あり	4	18
ありの割合	14.8%	62.1%

P 値
<0.0003

⑧不眠



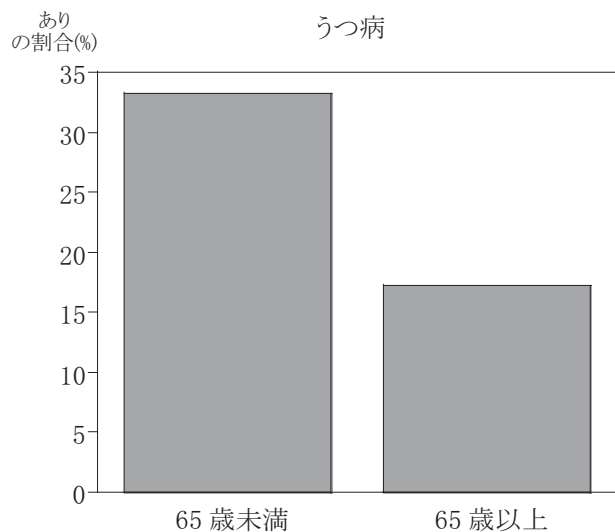
65歳未満で不眠の割合は大きい
が有意差はない。

自死の原因と考えられる本人状況: 不眠

	65歳未満	65歳以上
なし	16	22
あり	11	7
ありの割合	40.7%	24.1%

P 値
0.2543

⑨うつ病



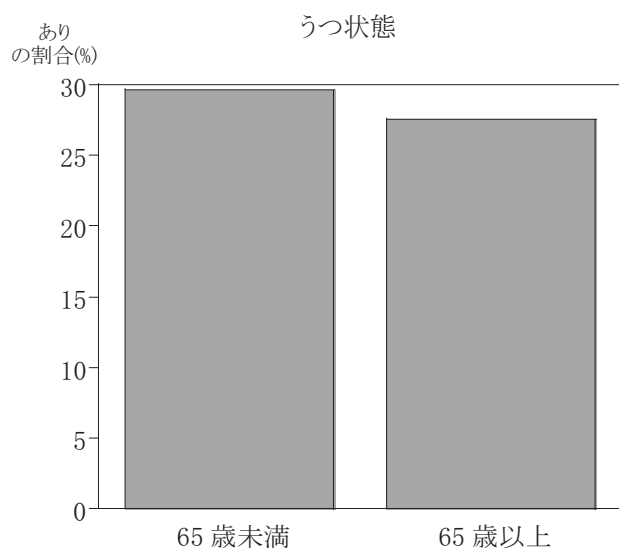
65歳未満でうつ病の割合は大きい有意差はない。

自死の原因と考えられる本人状況:うつ病

	65歳未満	65歳以上
なし	18	24
あり	9	5
ありの割合	33.3%	17.2%

P 値
0.2214

⑩うつ状態



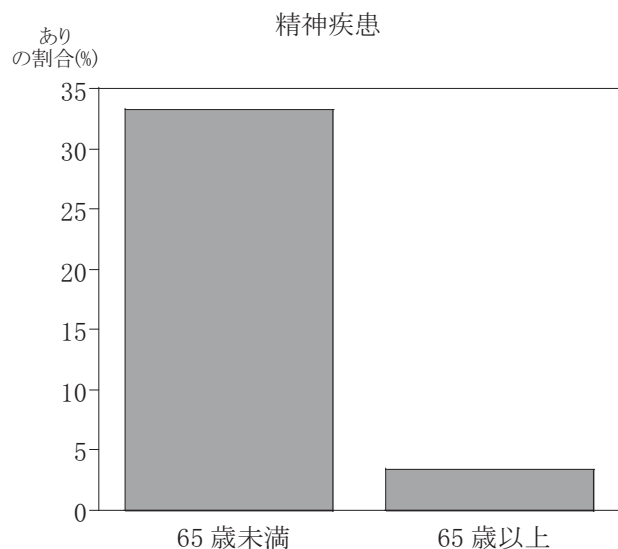
両群でうつ状態の割合に差はない。

自死の原因と考えられる本人状況:うつ状態

	65歳未満	65歳以上
なし	19	21
あり	8	8
ありの割合	29.6%	27.6%

P 値
1

⑪精神疾患



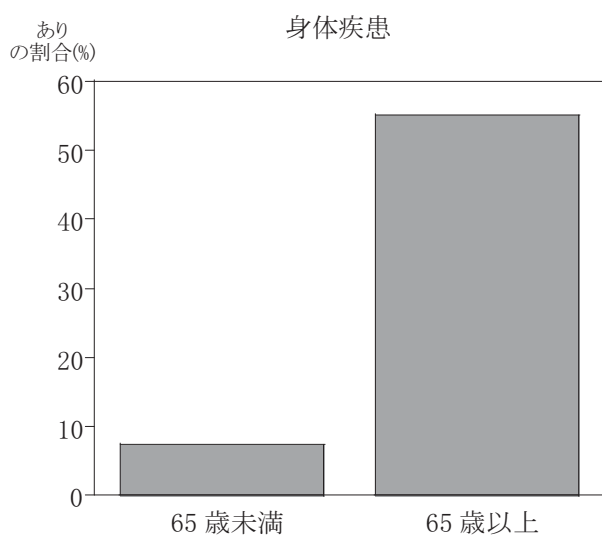
65歳未満で精神疾患のありの割合は有意に大きい。

自死の原因と考えられる本人状況:精神疾患

	65歳未満	65歳以上
なし	18	28
あり	9	1
ありの割合	33.3%	3.4%

P 値
0.0046

⑫身体疾患



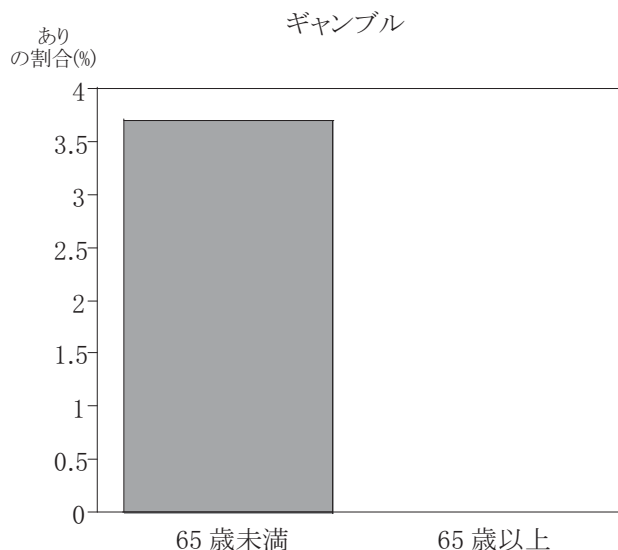
65歳以上で身体疾患ありの割合は有意に大きい。

自死の原因と考えられる本人状況:身体疾患

	65歳未満	65歳以上
なし	25	13
あり	2	16
ありの割合	7.4%	55.2%

P 値
<0.0001

⑬ギャンブル



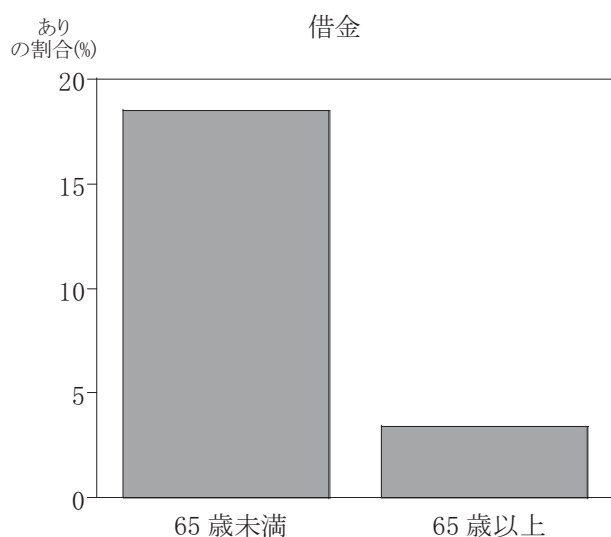
65歳未満でギャンブルありが1件あるが65歳以上では0件で割合に有意差はない。

自死の原因と考えられる本人状況:ギャンブル

	65歳未満	65歳以上
なし	26	29
あり	1	0
ありの割合	3.7%	0.0%

P 値
0.4821

⑭借金



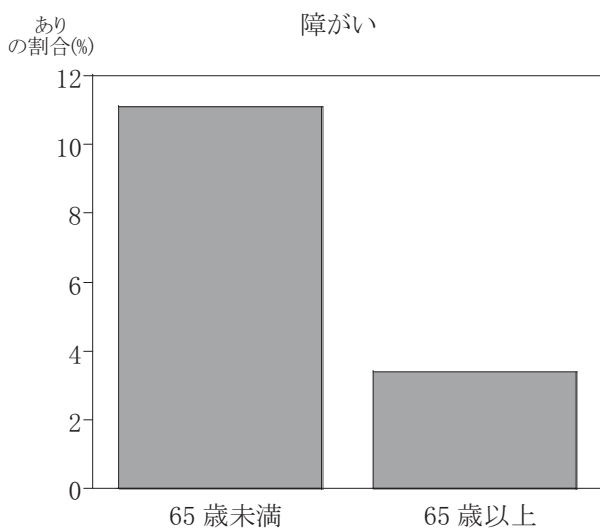
65歳未満で借金ありの割合は大きい傾向にある(有意差はない)。

自死の原因と考えられる本人状況:借金

	65歳未満	65歳以上
なし	22	28
あり	5	1
ありの割合	18.5%	3.4%

P 値
0.0959

⑮障がいがある



65歳未満で障がいありの割合は大きいが有意差はない。

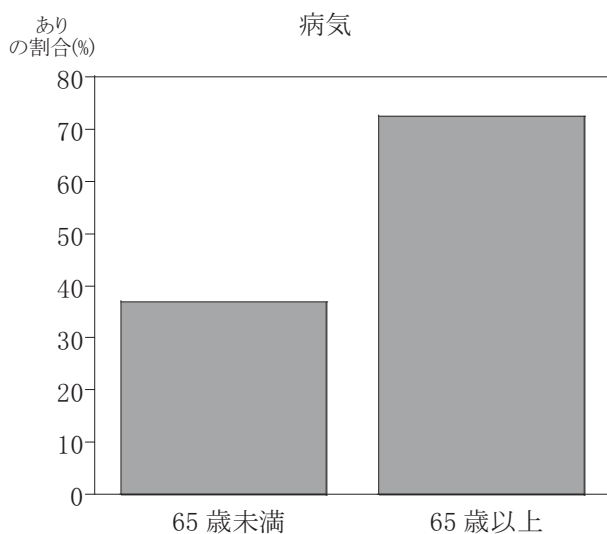
自死の原因と考えられる本人状況:障がいがある

	65歳未満	65歳以上
なし	24	28
あり	3	1
ありの割合	11.1%	3.4%

P 値
0.3434

19) 生活上の出来事

①病気



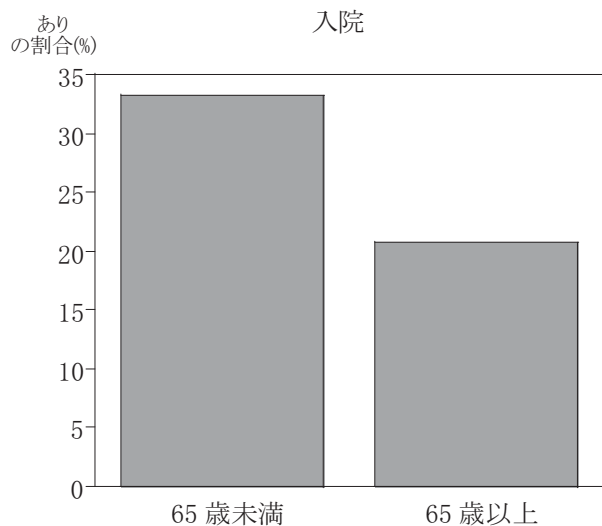
65歳以上で病気ありの割合は有意に大きい。

生活上的出来事: 病気

	65歳未満	65歳以上
なし	17	8
あり	10	21
ありの割合	37.0%	72.4%

P 値
0.0148

②入院



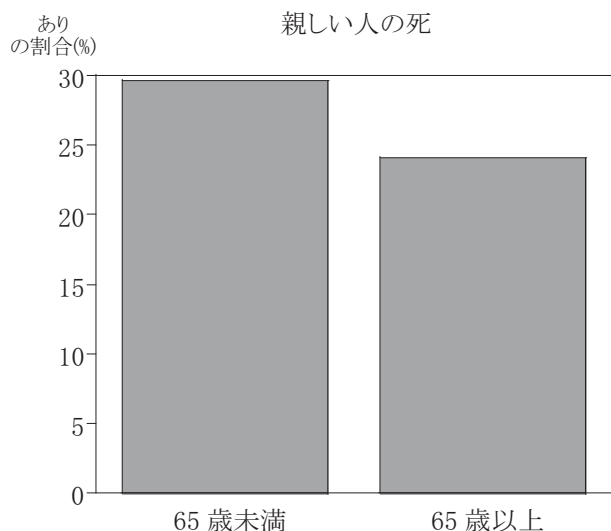
65歳未満で入院ありの割合は大きい有意差はない。

生活上的出来事: 入院

	65歳未満	65歳以上
なし	18	23
あり	9	6
ありの割合	33.3%	20.7%

P 値
0.3699

③親しい人の死



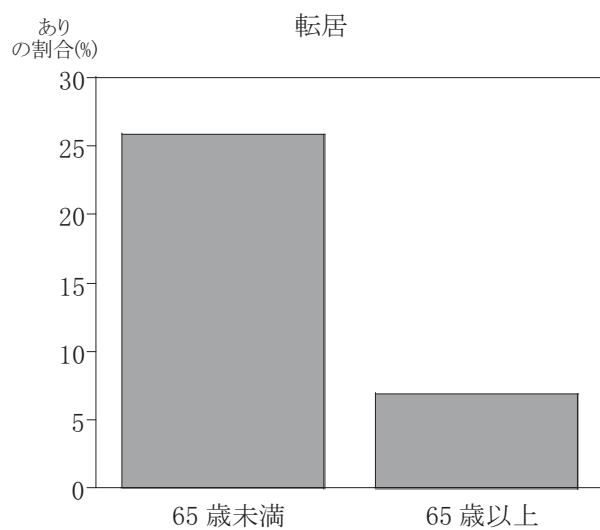
65歳未満で「親しい人の死」ありの割合は大きい有意差はない。

生活上の出来事:親しい人の死

	65歳未満	65歳以上
なし	19	22
あり	8	7
ありの割合	29.6%	24.1%

P 値
0.7655

④転居



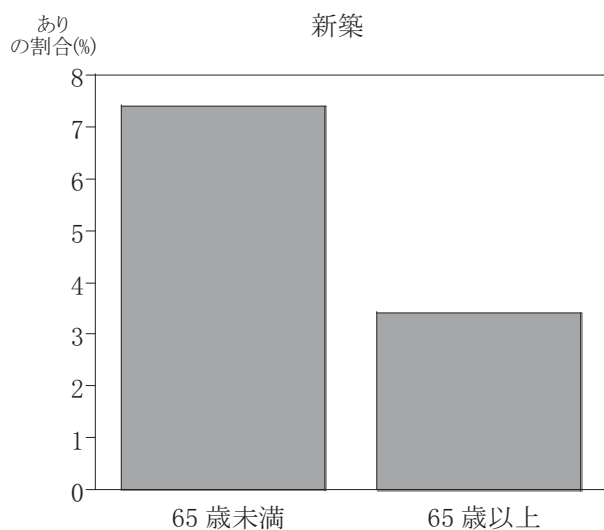
65歳未満で転居ありの割合は大きい傾向にある(P<0.1)。

生活上の出来事:転居

	65歳未満	65歳以上
なし	20	27
あり	7	2
ありの割合	25.9%	6.9%

P 値
0.0733

⑤新築



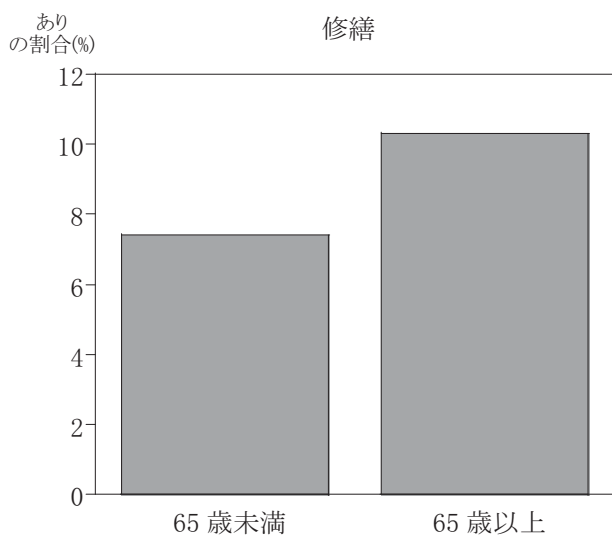
65歳未満で新築ありの割合は大きいが有意差はない。

生活上の出来事:新築

	65歳未満	65歳以上
なし	25	28
あり	2	1
ありの割合	7.4%	3.4%

P 値
0.6045

⑥修繕



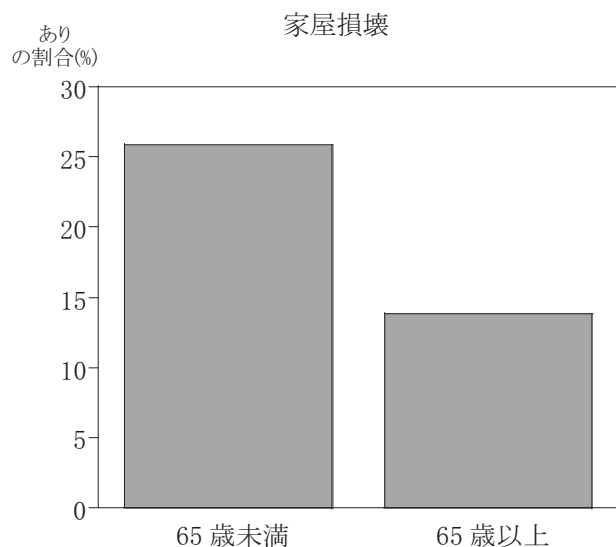
両群で修繕ありの割合に差はない。

生活上の出来事:修繕

	65歳未満	65歳以上
なし	25	26
あり	2	3
ありの割合	7.4%	10.3%

P 値
1

⑦家屋損壊



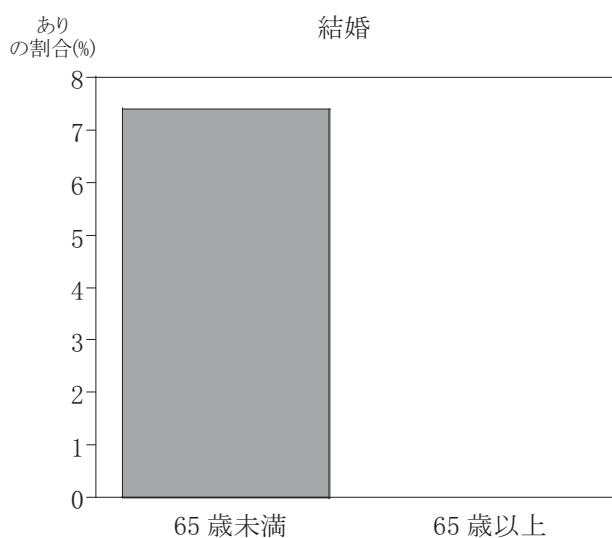
65歳未満で家屋損壊ありの割合は大きい有意差はない。

生活上の出来事:家屋損壊

	65歳未満	65歳以上
なし	20	25
あり	7	4
ありの割合	25.9%	13.8%

P 値
0.3224

⑧結婚



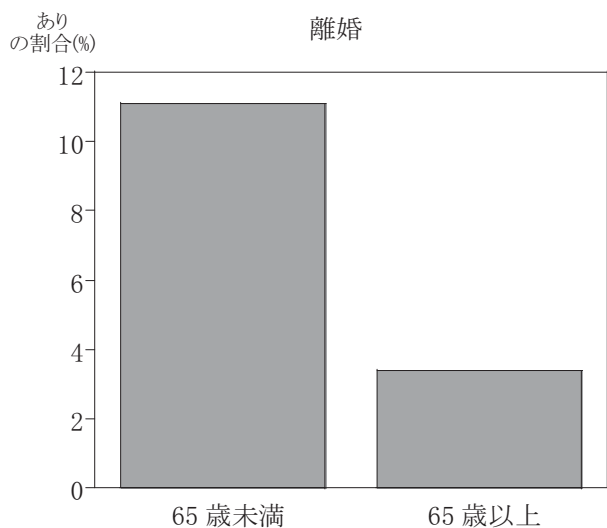
65歳未満で結婚ありの割合は大きい有意差はない。

生活上の出来事:結婚

	65歳未満	65歳以上
なし	25	29
あり	2	0
ありの割合	7.4%	0.0%

P 値
0.2279

⑨離婚



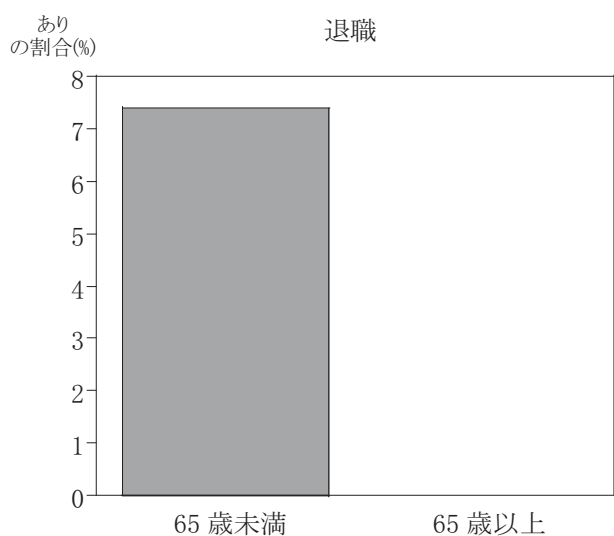
65歳未満で離婚ありの割合は大きいが有意差はない。

生活上の出来事:離婚

	65歳未満	65歳以上
なし	24	28
あり	3	1
ありの割合	11.1%	3.4%

P 値
0.3434

⑩退職



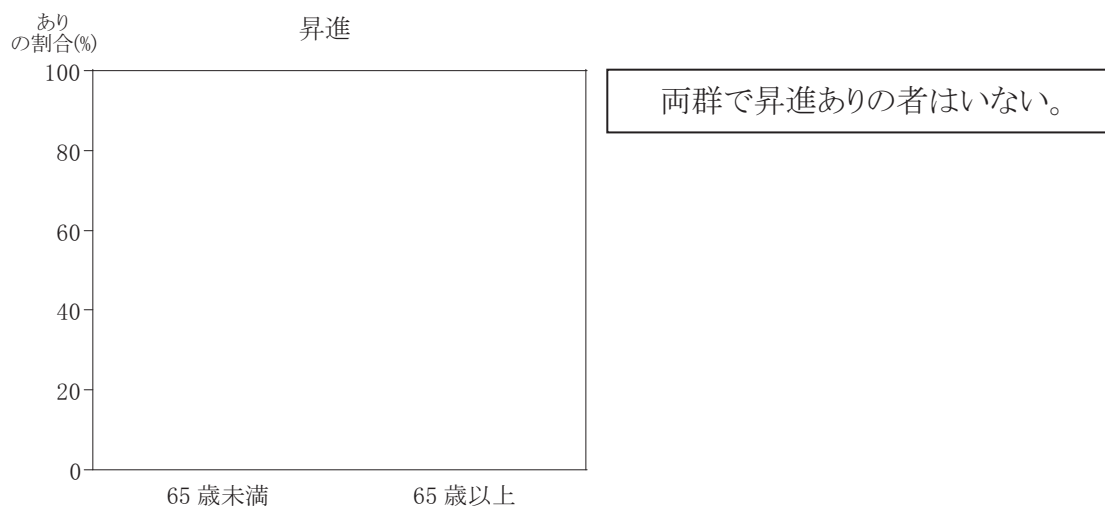
65歳未満で退職ありの割合は大きいが有意差はない。

生活上の出来事:退職

	65歳未満	65歳以上
なし	25	29
あり	2	0
ありの割合	7.4%	0.0%

P 値
0.2279

⑪昇進

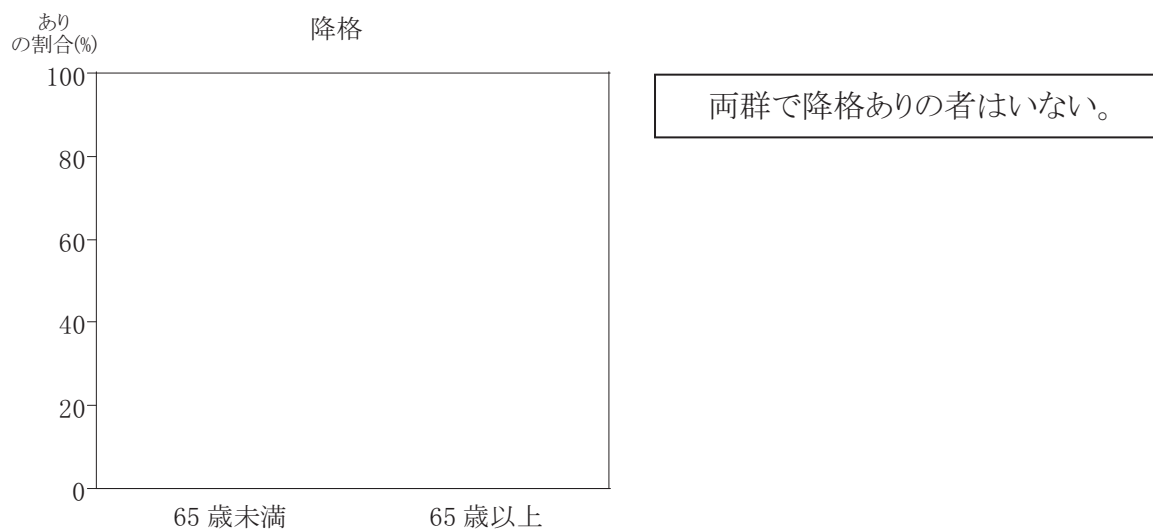


生活上の出来事:昇進

	65歳未満	65歳以上
なし	27	29
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑫降格

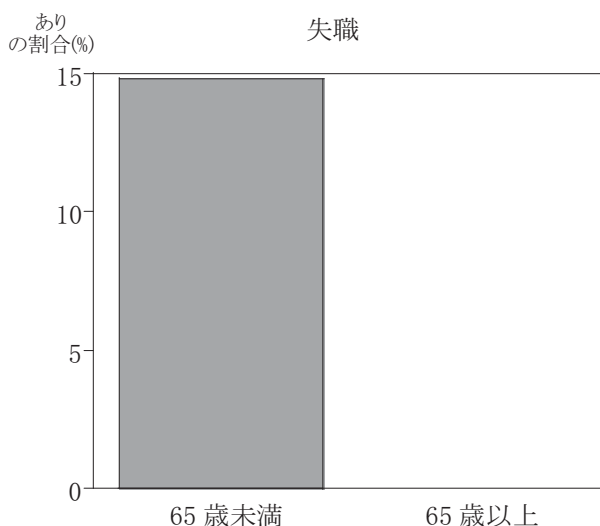


生活上の出来事:降格

	65歳未満	65歳以上
なし	27	29
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑬失職



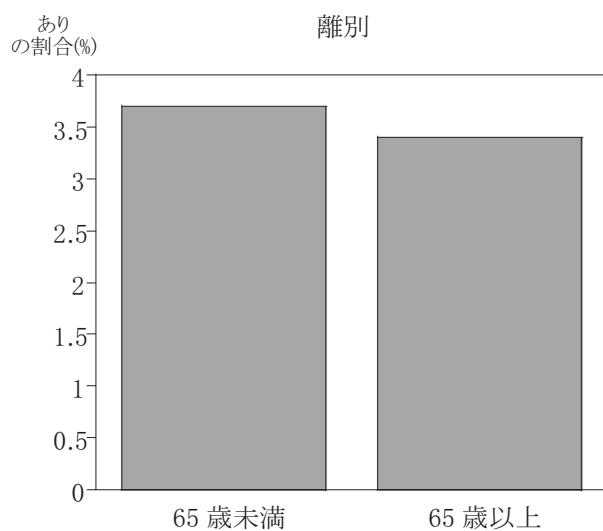
65歳未満で失職ありの割合は有意に大きい。

生活上の出来事:失職

	65歳未満	65歳以上
なし	23	29
あり	4	0
ありの割合	14.8%	0.0%

P 値
0.0478

⑭離別



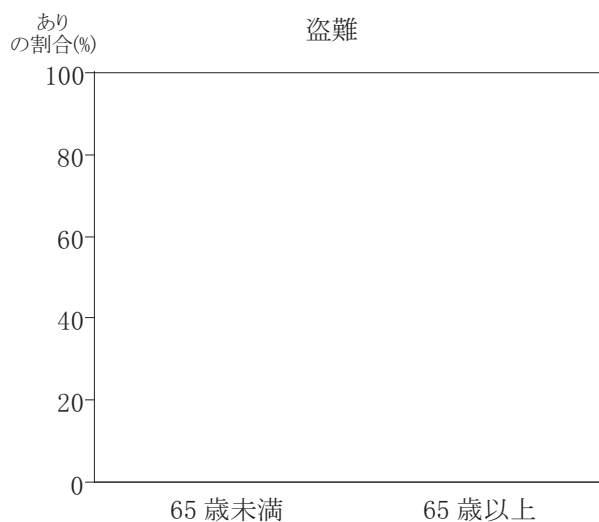
両群で離別ありの割合に差はない。

生活上の出来事:離別

	65歳未満	65歳以上
なし	26	28
あり	1	1
ありの割合	3.7%	3.4%

P 値
1

⑮盗難



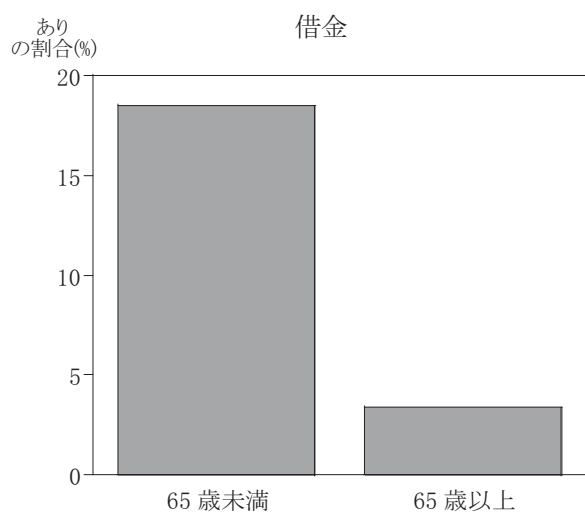
両群で盗難ありの者はいない。

生活上の出来事:盗難

	65歳未満	65歳以上
なし	27	29
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑯借金



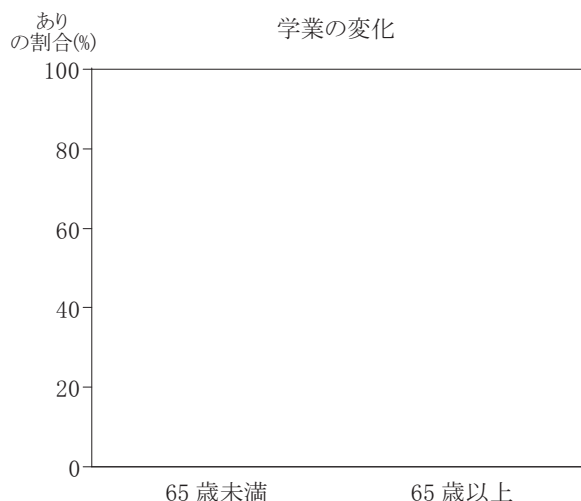
65歳未満で借金ありの割合は大きい有意差はない。

生活上の出来事:借金

	65歳未満	65歳以上
なし	23	28
あり	4	1
ありの割合	14.8%	3.4%

P 値
0.1855

⑰学業の変化



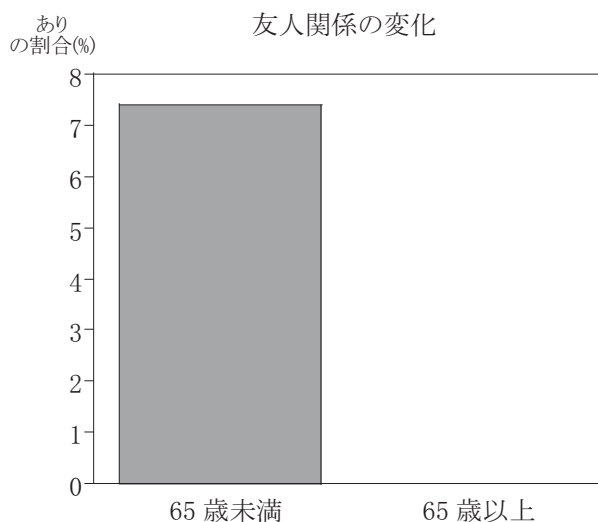
両群で「学業の変化」ありの者はいない。

生活上の出来事:学業の変化

	65歳未満	65歳以上
なし	27	29
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値

⑱友人関係の変化



65歳未満で「友人関係の変化」ありの割合は大きい有意差はない。

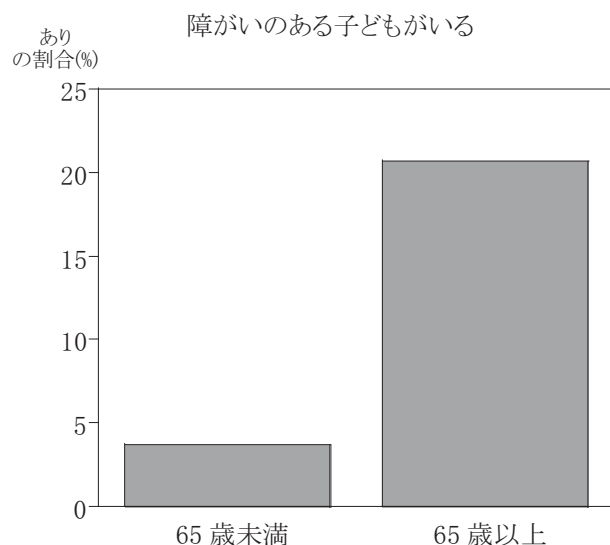
生活上の出来事:友人関係の変化

	65歳未満	65歳以上
なし	25	29
あり	2	0
ありの割合	7.4%	0.0%

P 値
0.2279

20) 家庭・周囲の状況

①障がいのある子どもがいる



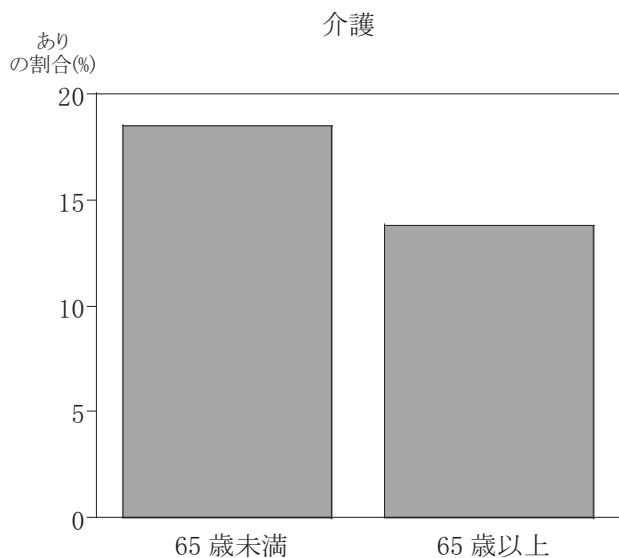
65歳以上で「障がいのある子どもがいる」ありの割合は大きいが無意差はない。

家庭・周囲の状況:障がいのある子どもがいる

	65歳未満	65歳以上
なし	26	23
あり	1	6
ありの割合	3.7%	20.7%

P 値
0.1029

②介護を必要とする人がいる



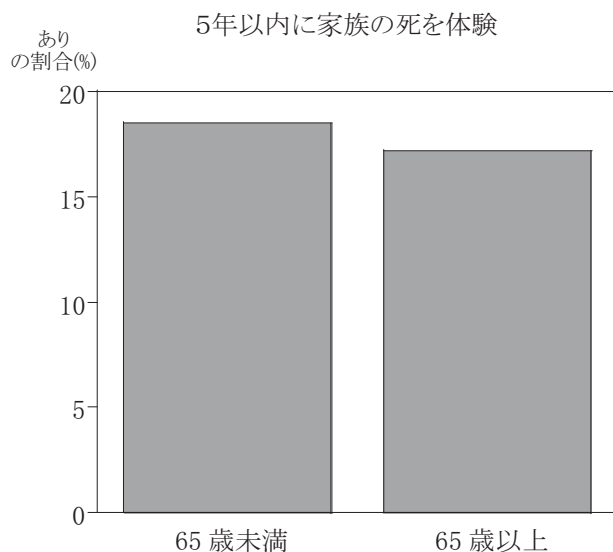
65歳未満で介護を必要とする人がいる割合は大きいが無意差はない。

家庭・周囲の状況:介護を必要とする人がいる

	65歳未満	65歳以上
なし	22	25
あり	5	4
ありの割合	18.5%	13.8%

P 値
0.7249

③5年以内に家族の死を体験した



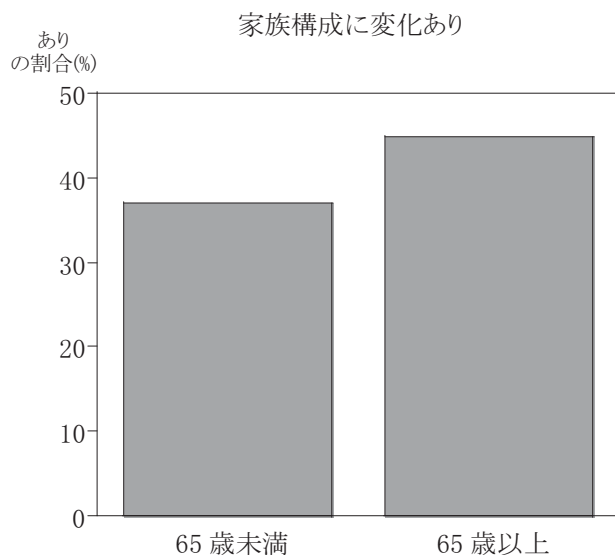
両群で「5年以内に家族の死を体験」ありの割合に差はない。

家庭・周囲の状況:5年以内に家族の死を体験した

	65歳未満	65歳以上
なし	22	24
あり	5	5
ありの割合	18.5%	17.2%

P 値
1

④家族構成に変化あり



65歳以上で「家族構成に変化あり」の割合は大きい有意差はない。

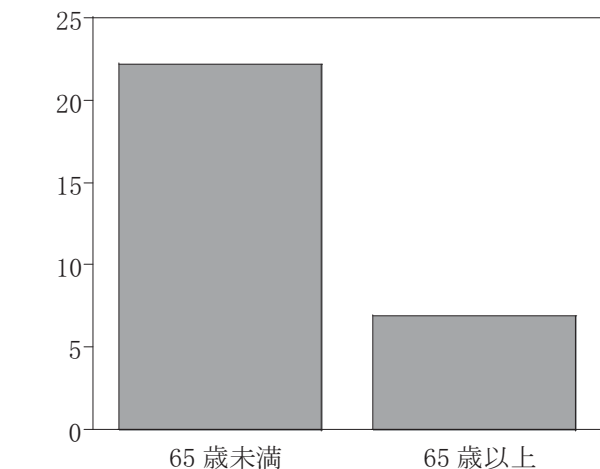
家庭・周囲の状況:家族構成に変化あり

	65歳未満	65歳以上
なし	17	16
あり	10	13
ありの割合	37.0%	44.8%

P 値
0.5965

⑤中越・沖地震後生活環境に変化あり

中越・沖地震後生活環境に変化あり
ありの割合(%)



65歳未満で「中越・沖地震後生活環境に変化あり」の割合は大きい
が有意差はない。

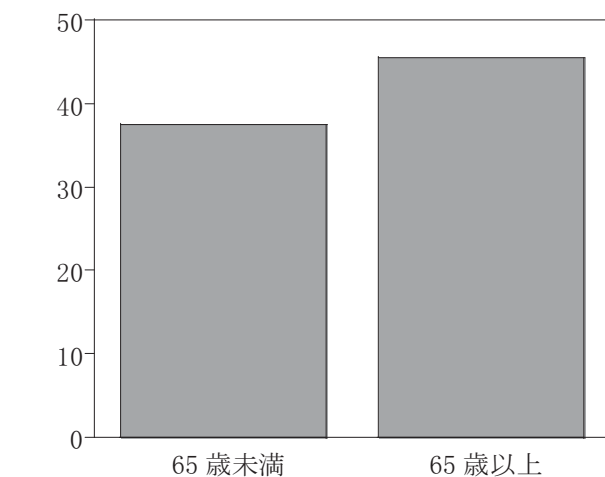
家庭・周囲の状況:中越・中越沖地震後生活環境に変化あり

	65歳未満	65歳以上
なし	21	27
あり	6	2
ありの割合	22.2%	6.9%

P 値
0.137

⑥家族自死歴

家族自死歴
ありの割合(%)



両群で「家族自死歴」ありの割合
に差はない。

家庭・周囲の状況:家族自死歴

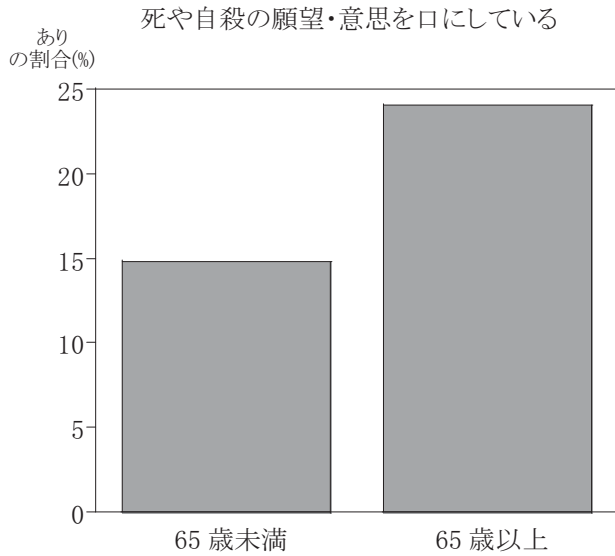
	65歳未満	65歳以上
なし	5	6
あり	3	5
ありの割合	37.5%	45.5%

P 値
1

欠損 37

21) 自殺調査のためのチェックリスト

①死や自殺の願望・意思を口にしている



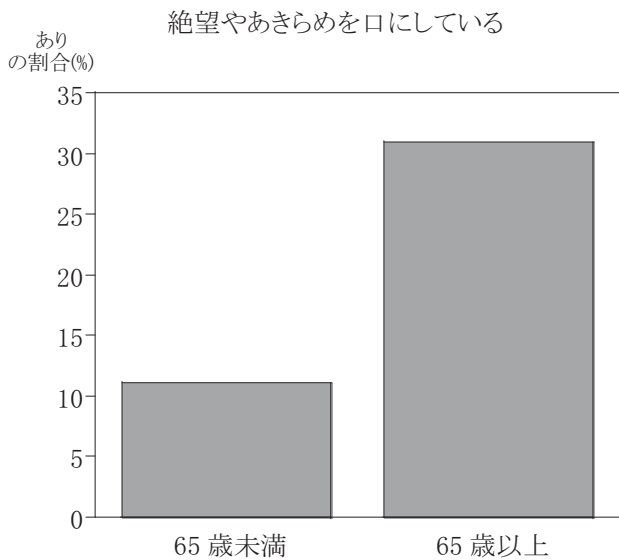
65歳以上で「死や自殺の願望・意思を口にしている」者の割合は大きい有意差はない。

死や自殺の願望・意思を口にしている

	65歳未満	65歳以上
なし	23	22
あり	4	7
ありの割合	14.8%	24.1%

P 値
0.5064

②絶望やあきらめを口にしている



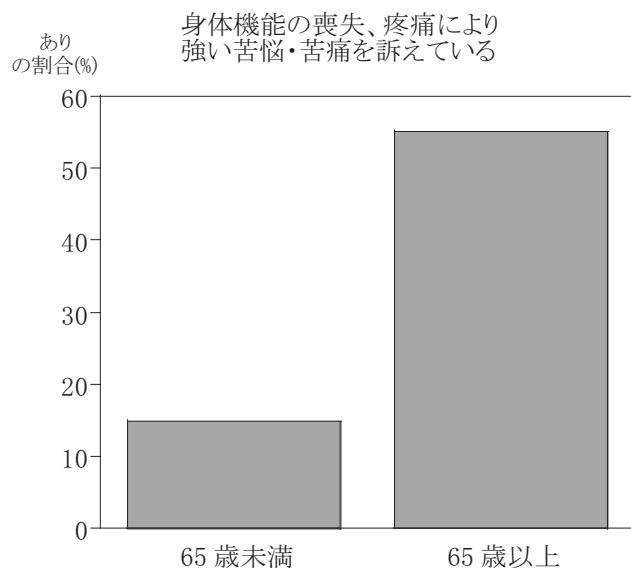
65歳以上で「絶望やあきらめを口にしている」者の割合は大きい有意差はない。

絶望やあきらめを口にしている

	65歳未満	65歳以上
なし	24	20
あり	3	9
ありの割合	11.1%	31.0%

P 値
0.1043

③身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩・苦痛を訴えている



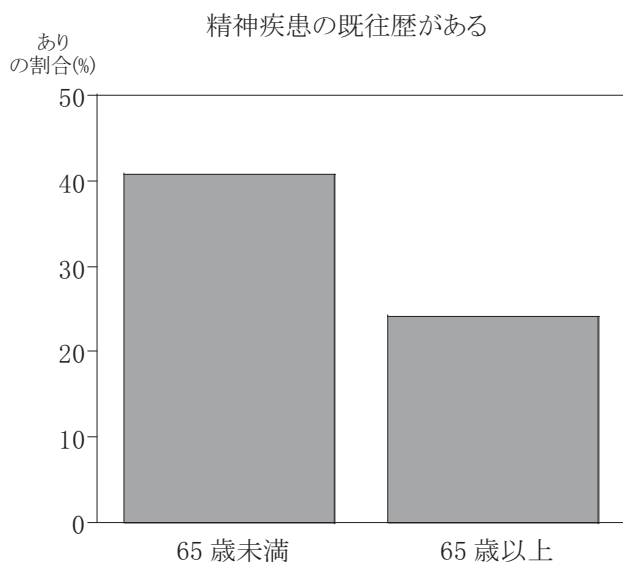
65 歳以上で「身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩・苦痛を訴えている」者の割合は有意に大きい。

身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩・苦痛を訴えている

	65 歳未満	65 歳以上
なし	23	13
あり	4	16
ありの割合	14.8%	55.2%

P 値
0.0022

④精神疾患の既往歴がある



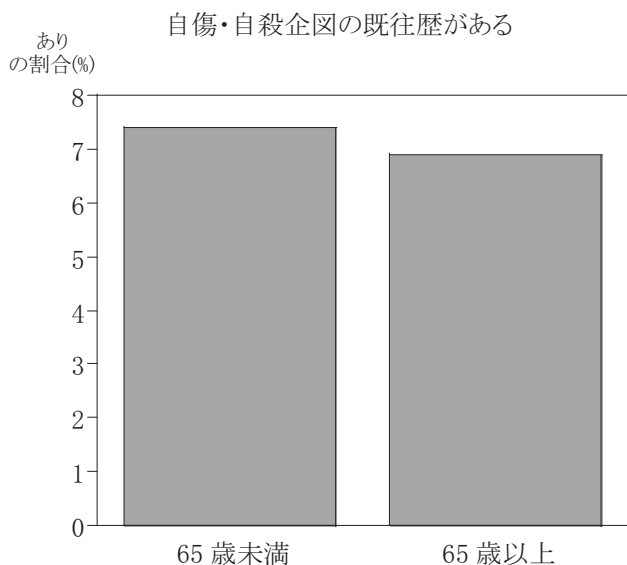
65 歳未満で「精神疾患の既往歴がある」者の割合は大きい有意差はない。

精神疾患の既往歴がある

	65 歳未満	65 歳以上
なし	16	22
あり	11	7
ありの割合	40.7%	24.1%

P 値
0.2543

⑤自傷・自殺企図の既往歴がある



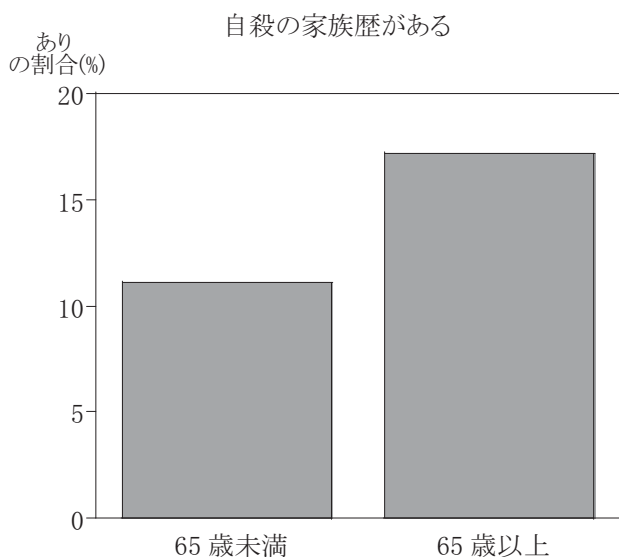
両群で「自傷・自殺企図の既往歴がある」者の割合に差はない。

自傷・自殺企図の既往歴がある

	65歳未満	65歳以上
なし	25	27
あり	2	2
ありの割合	7.4%	6.9%

P 値
1

⑥自殺の家族歴がある



65歳以上で「自殺の家族歴がある」者の割合は大きい有意差はない。

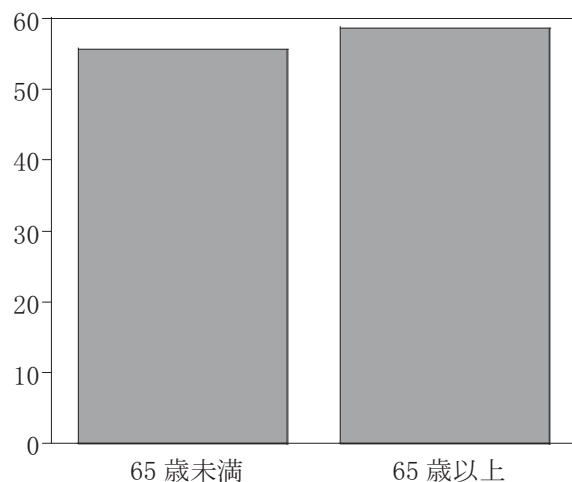
自殺の家族歴がある

	65歳未満	65歳以上
なし	24	24
あり	3	5
ありの割合	11.1%	17.2%

P 値
0.7066

⑦最近の喪失体験(親しい者との離別・死別、生き甲斐の喪失)

最近の喪失体験
ありの割合(%)
(親しい者との離別・死別、生き甲斐の喪失)



両群で「最近の喪失体験」ありの割合に差はない。

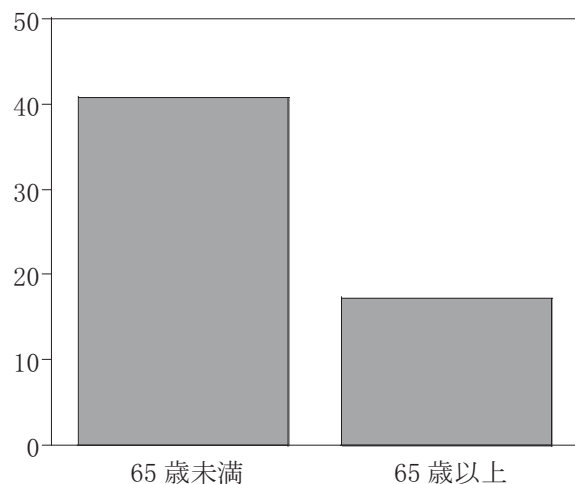
最近の喪失体験(親しい者との離別・死別、生き甲斐の喪失)

	65歳未満	65歳以上
なし	12	12
あり	15	17
ありの割合	55.6%	58.6%

P 値
1

⑧失業や経済的破綻を経験した

失業や経済的破綻を経験した
ありの割合(%)



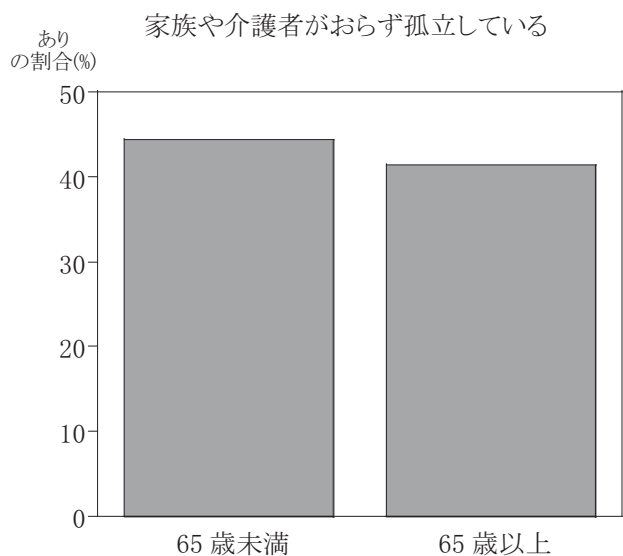
65歳未満で「失業や経済的破綻を経験した」者の割合は大きい傾向にある(P<0.1)。

失業や経済的破綻を経験した

	65歳未満	65歳以上
なし	16	24
あり	11	5
ありの割合	40.7%	17.2%

P 値
0.0764

⑨家族や介護者がおらず孤立している



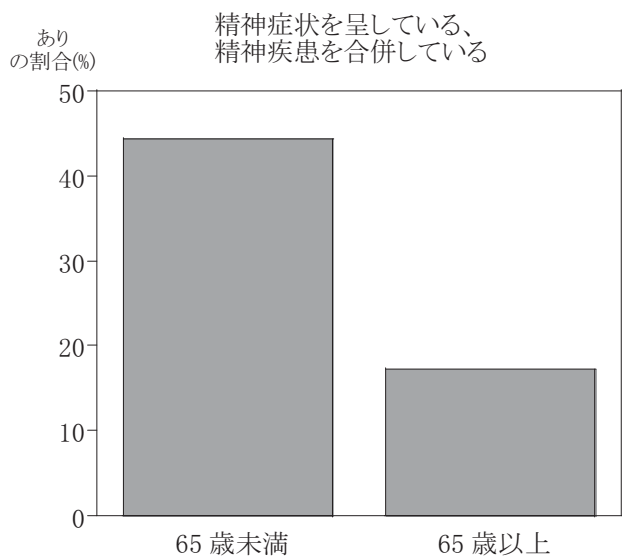
両群で「家族や介護者がおらず孤立している」ありの割合に差はない。

家族や介護者がおらず孤立している

	65歳未満	65歳以上
なし	15	17
あり	12	12
ありの割合	44.4%	41.4%

P 値
1

⑩精神症状を呈している、精神疾患を合併している



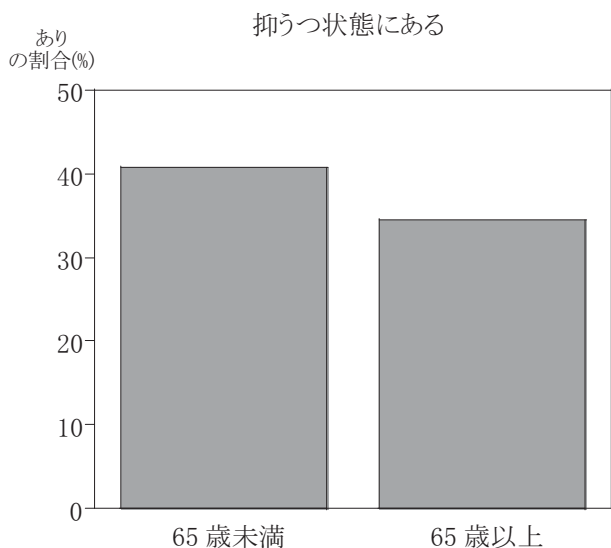
65歳未満で「精神症状を呈している、精神疾患を合併している」者の割合は有意に大きい。

精神症状を呈している、精神疾患を合併している

	65歳未満	65歳以上
なし	15	24
あり	12	5
ありの割合	44.4%	17.2%

P 値
0.0415

①抑うつ状態にある



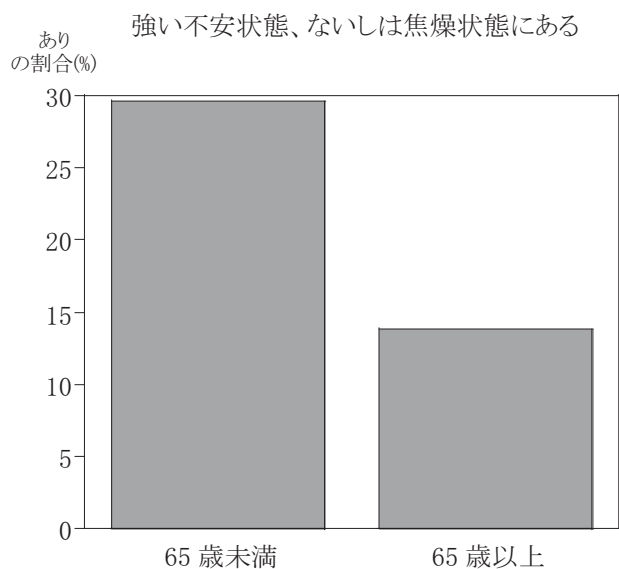
65歳未満で「抑うつ状態にある」者の割合は大きい有意差はない。

抑うつ状態にある

	65歳未満	65歳以上
なし	16	19
あり	11	10
ありの割合	40.7%	34.5%

P 値
0.7833

②強い不安状態、ないしは焦燥状態にある



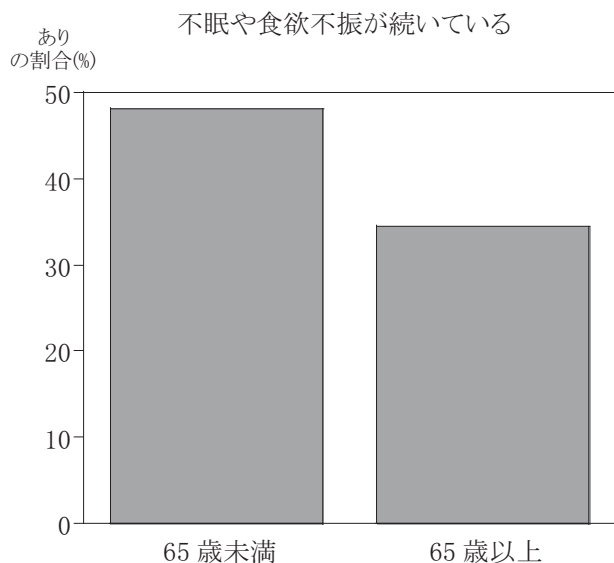
65歳未満で「強い不安状態、ないしは焦燥状態にある」者の割合は大きい有意差はない。

強い不安状態、ないしは焦燥状態にある

	65歳未満	65歳以上
なし	19	25
あり	8	4
ありの割合	29.6%	13.8%

P 値
0.1988

⑬不眠や食欲不振が続いている



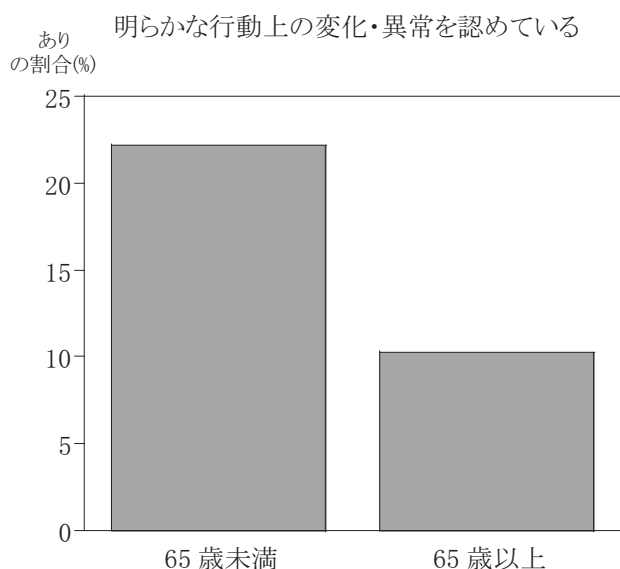
65歳未満で「不眠や食欲不振が続いている」者の割合は大きい有意差はない。

不眠や食欲不振が続いている

	65歳未満	65歳以上
なし	14	19
あり	13	10
ありの割合	48.1%	34.5%

P 値
0.4157

⑭明らかな行動上の変化・異常を認めている



65歳未満で「明らかな行動上の変化・異常を認めている」者の割合は大きい有意差はない。

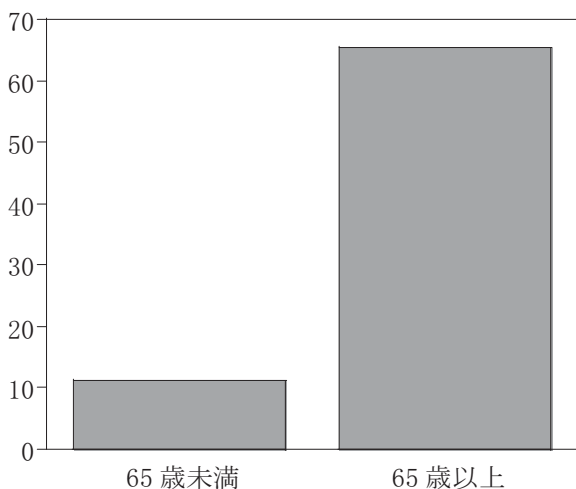
明らかな行動上の変化・異常を認めている

	65歳未満	65歳以上
なし	21	26
あり	6	3
ありの割合	22.2%	10.3%

P 値
0.2884

⑮慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している

慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している
ありの割合(%)



65歳以上で「慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している」者の割合は有意に大きい。

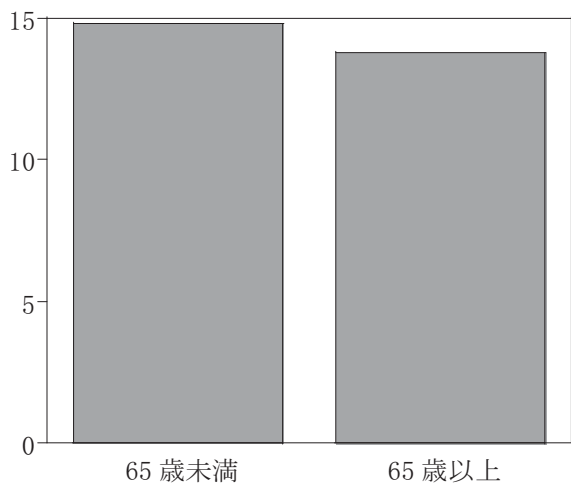
慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している

	65歳未満	65歳以上
なし	24	10
あり	3	19
ありの割合	11.1%	65.5%

P 値
<0.0001

⑯自身の身体や健康に無頓着・無謀な行動・アルコール乱用

自身の身体や健康に無頓着・
ありの割合(%) 無謀な行動・アルコール乱用



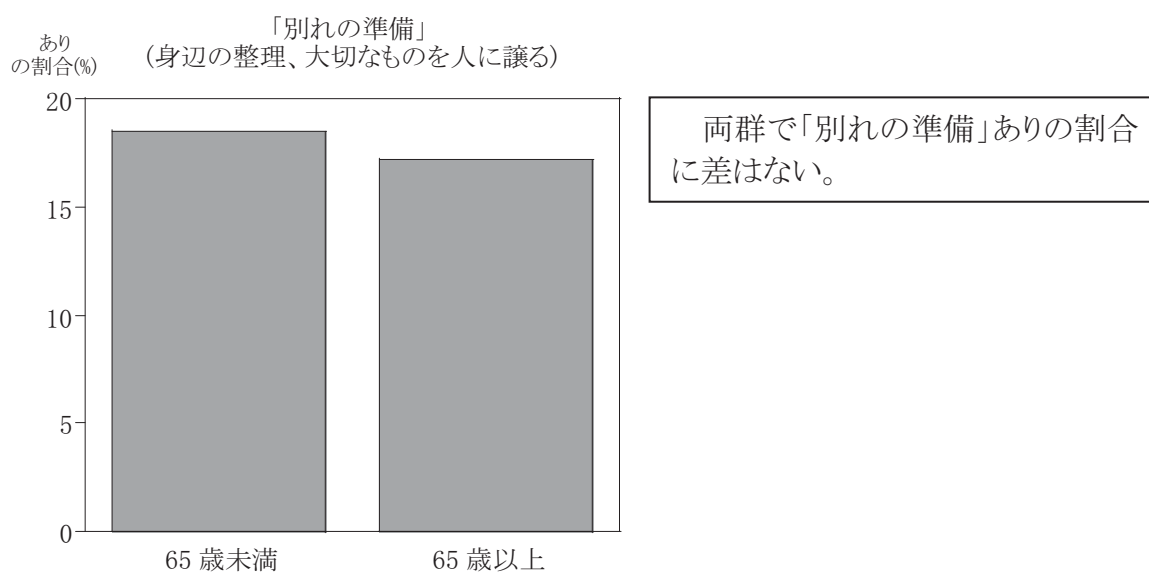
両群で「自身の身体や健康に無頓着・無謀な行動・アルコール乱用」者の割合に差はない。

自身の身体や健康に無頓着・無謀な行動・アルコール乱用

	65歳未満	65歳以上
なし	23	25
あり	4	4
ありの割合	14.8%	13.8%

P 値
1

⑰「別れの準備」(身の整理、大切なものを人に譲る)



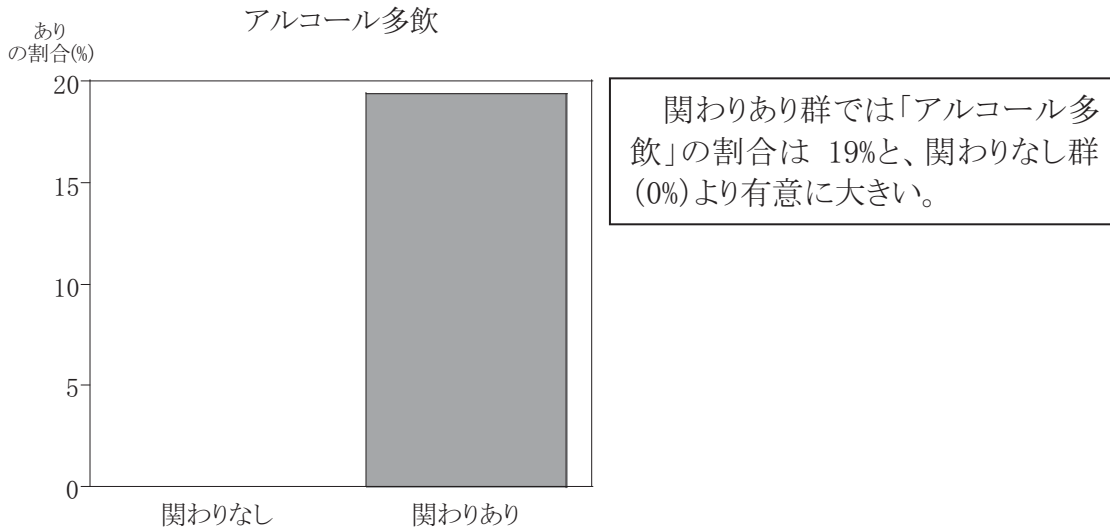
「別れの準備」(身の整理、大切なものを人に譲る)

	65歳未満	65歳以上
なし	22	24
あり	5	5
ありの割合	18.5%	17.2%

P 値
1

3. 「保健師によるこれまでの関わりの有無」別のクロス集計(抜粋)

1) 自死の原因と考えられる本人状況：アルコール多飲

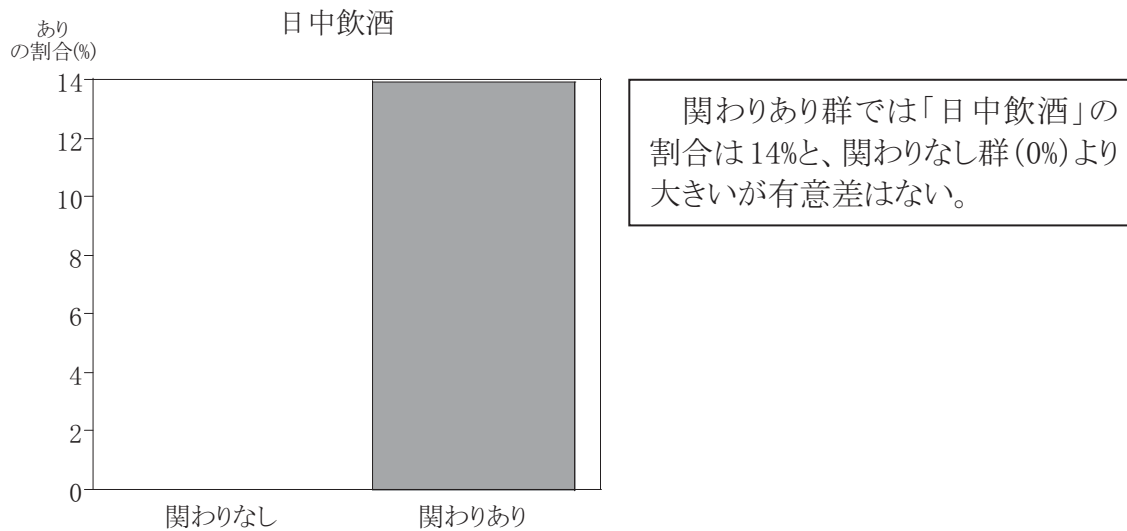


自死の原因と考えられる本人状況:アルコール多飲

	関わりなし	関わりあり
なし	20	29
あり	0	7
ありの割合	0.0%	19.4%

P 値
0.0423

2) 自死の原因と考えられる本人状況：日中飲酒



自死の原因と考えられる本人状況:日中飲酒

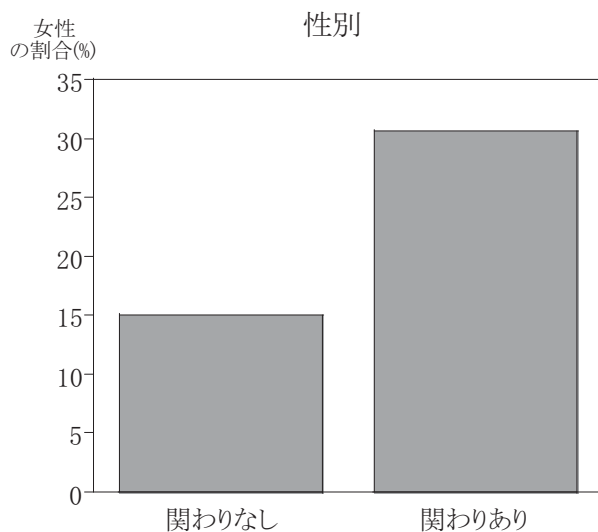
	関わりなし	関わりあり
なし	20	31
あり	0	5
ありの割合	0.0%	13.9%

P 値
0.1484

4. 参考

「保健師によるこれまでの関わりの有無」別のクロス集計(資料)

1) 性別



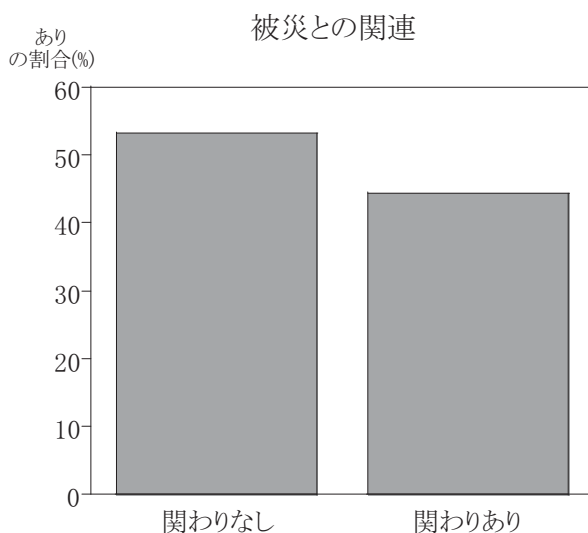
保健師によるこれまでの関わりの有無別 性別

	関わりなし	関わりあり
男性	17	25
女性	3	11
女性の割合	15.0%	30.6%

P 値
0.3343

欠損 0

2) 被災との関連



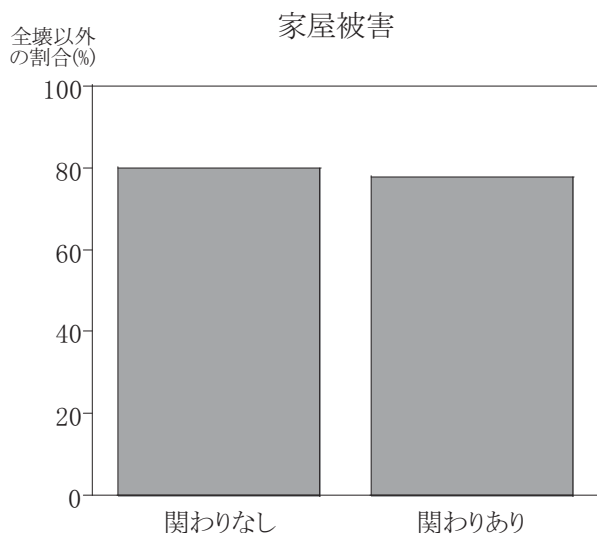
保健師によるこれまでの関わりの有無別 被災との関連

	関わりなし	関わりあり
なし	7	15
あり	8	12
ありの割合	53.3%	44.4%

P 値
0.7488

欠損 14

3) 家屋被害



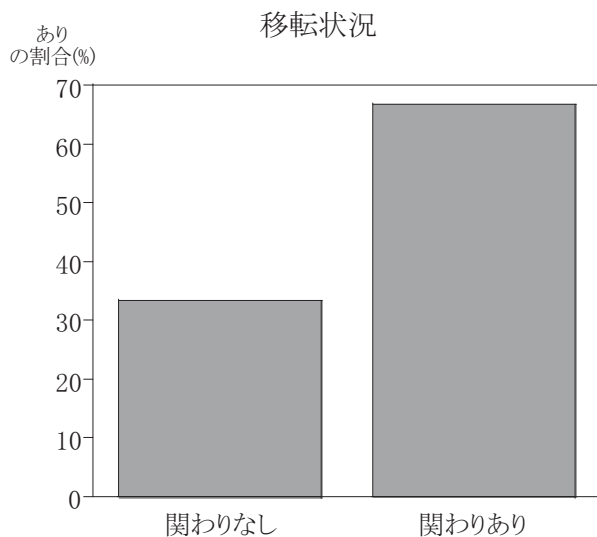
保健師によるこれまでの関わりの有無別 家屋被害

	関わりなし	関わりあり
全壊	4	8
全壊以外	16	28
全壊以外の割合	80.0%	77.8%

P 値
1

欠損 0

4) 移転状況



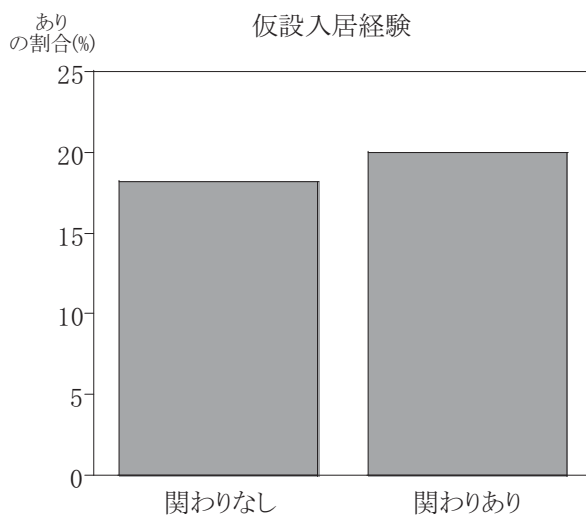
保健師によるこれまでの関わりの有無別 移転状況

	関わりなし	関わりあり
移転以外	4	4
移転	2	8
ありの割合	33.3%	66.7%

P 値
0.3213

欠損 35

5) 仮設入居経験



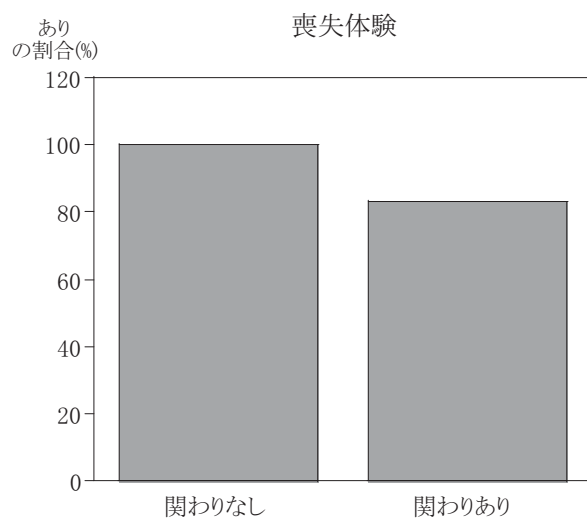
保健師によるこれまでの関わりの有無別 仮設入居経験

	関わりなし	関わりあり
なし	9	12
あり	2	3
ありの割合	18.2%	20.0%

P 値
1

欠損 30

6) 喪失体験



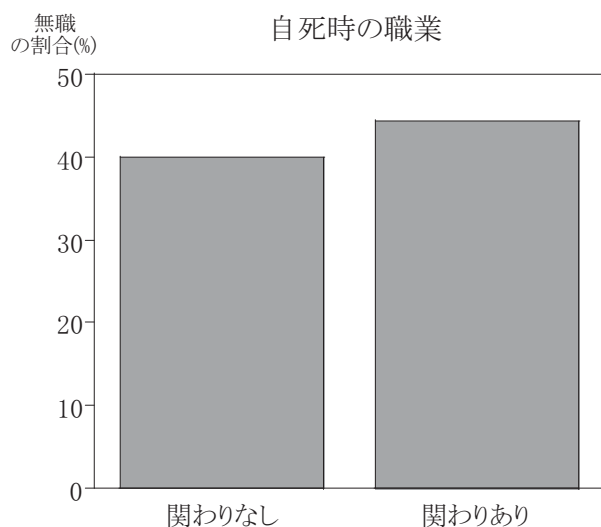
保健師によるこれまでの関わりの有無別 喪失体験

	関わりなし	関わりあり
なし	0	2
あり	9	10
ありの割合	100.0%	83.3%

P 値
0.4857

欠損 35

7) 自死時の職業



保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死時の職業

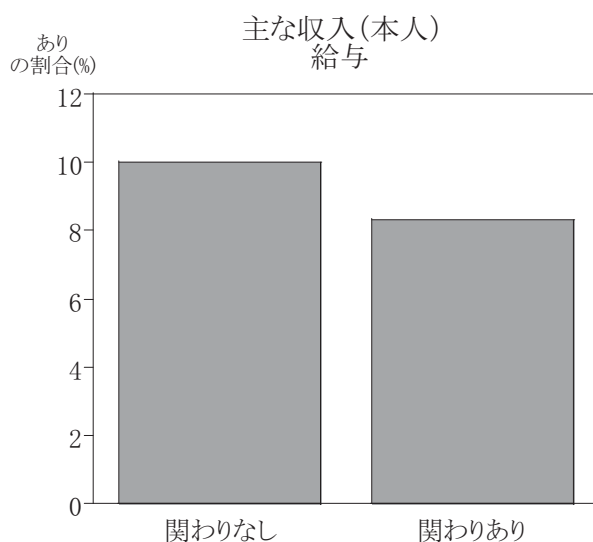
	関わりなし	関わりあり
無職以外	12	20
無職	8	16
無職の割合	40.0%	44.4%

P 値
0.7853

欠損 0

8) 主な収入(本人)

①給与

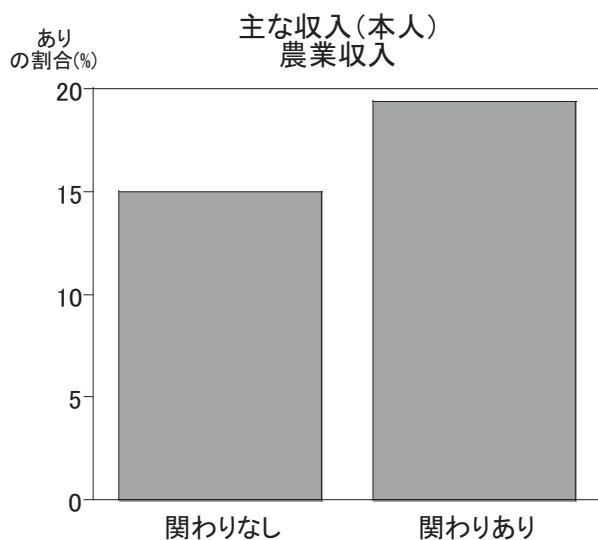


主な収入(本人):給与

	関わりなし	関わりあり
なし	18	33
あり	2	3
ありの割合	10.0%	8.3%

P 値
1

②農業収入

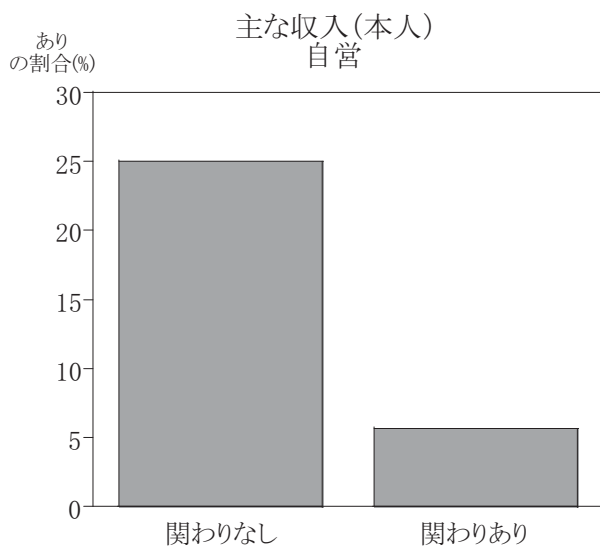


主な収入(本人):農業収入

	関わりなし	関わりあり
なし	17	29
あり	3	7
ありの割合	15.0%	19.4%

P 値
1

③自営

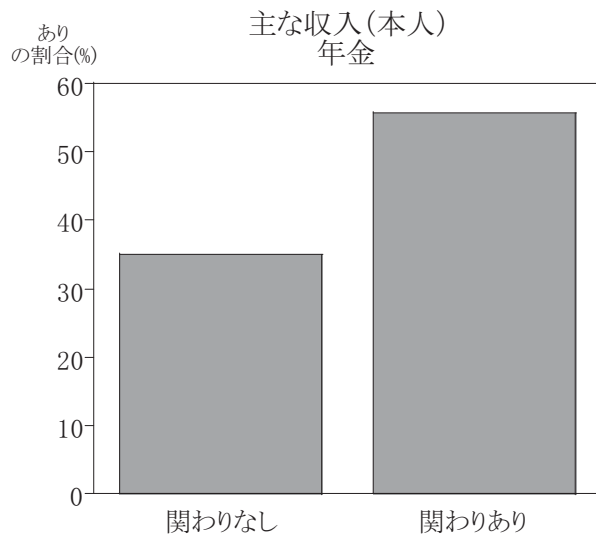


主な収入(本人):自営

	関わりなし	関わりあり
なし	15	34
あり	5	2
ありの割合	25.0%	5.6%

P 値
0.0845

④年金

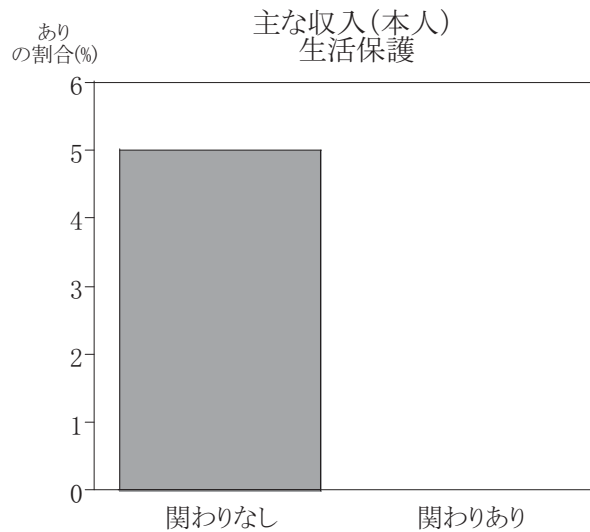


主な収入(本人):年金

	関わりなし	関わりあり
なし	13	16
あり	7	20
ありの割合	35.0%	55.6%

P 値
0.1707

⑤生活保護



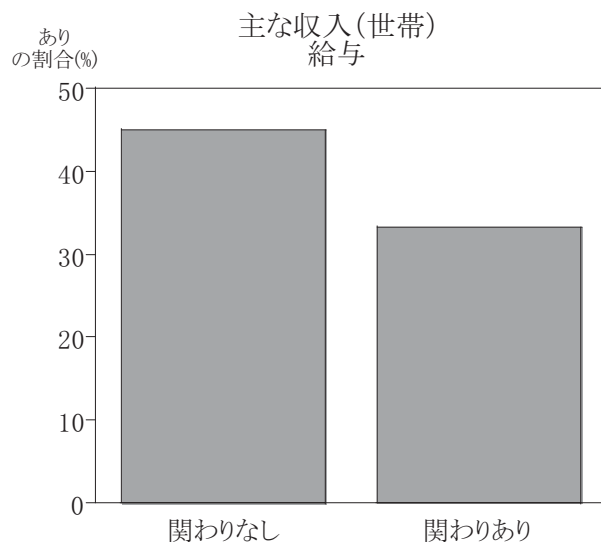
主な収入(本人):生活保護

	関わりなし	関わりあり
なし	19	36
あり	1	0
ありの割合	5.0%	0.0%

P 値
0.3571

9) 主な収入(世帯)

①給与

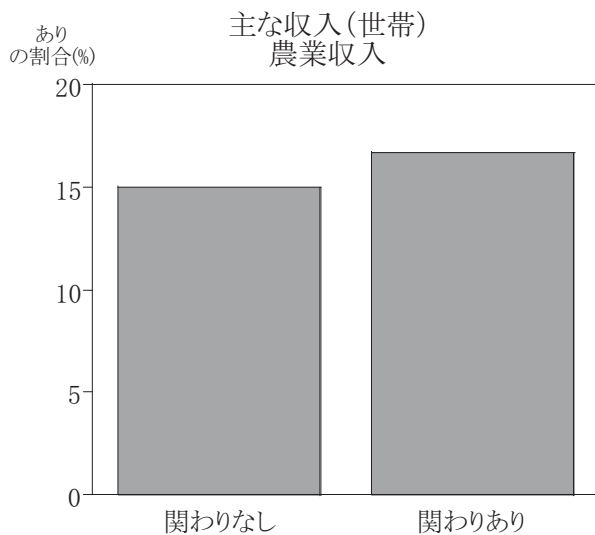


主な収入(世帯):給与

	関わりなし	関わりあり
なし	11	24
あり	9	12
ありの割合	45.0%	33.3%

P 値
0.4051

②農業収入

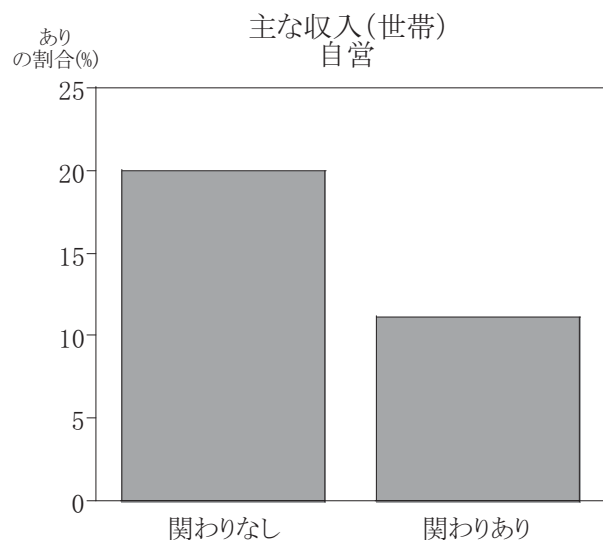


主な収入(世帯):農業収入

	関わりなし	関わりあり
なし	17	30
あり	3	6
ありの割合	15.0%	16.7%

P 値
1

③ 自営

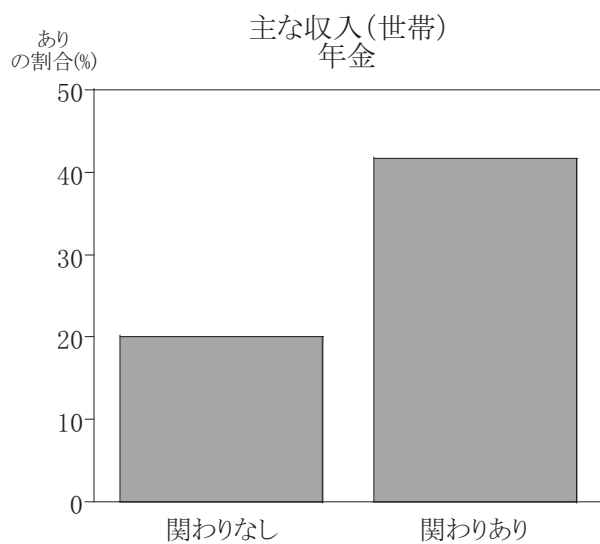


主な収入(世帯):自営

	関わりなし	関わりあり
なし	16	32
あり	4	4
ありの割合	20.0%	11.1%

P 値
0.4369

④ 年金

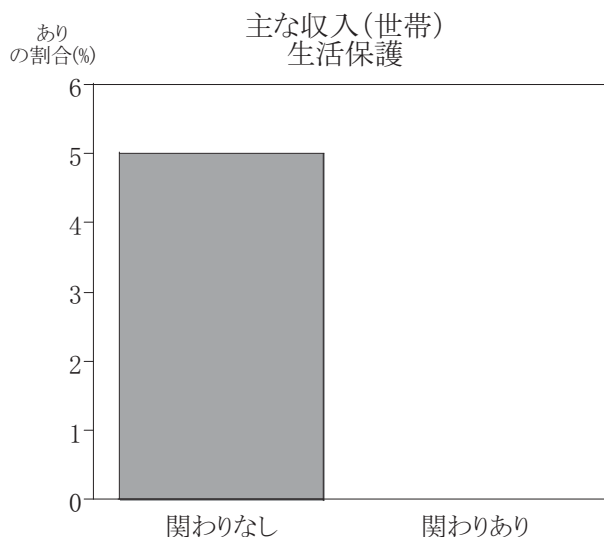


主な収入(世帯):年金

	関わりなし	関わりあり
なし	16	21
あり	4	15
ありの割合	20.0%	41.7%

P 値
0.1432

⑤生活保護

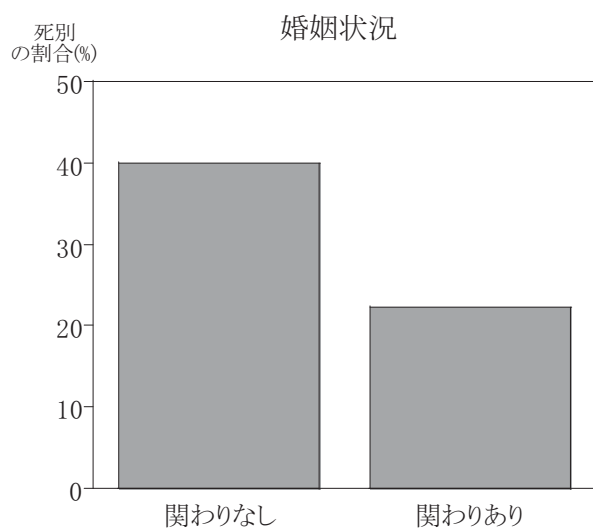


主な収入(世帯):生活保護

	関わりなし	関わりあり
なし	19	36
あり	1	0
ありの割合	5.0%	0.0%

P 値
0.3571

10) 婚姻状況



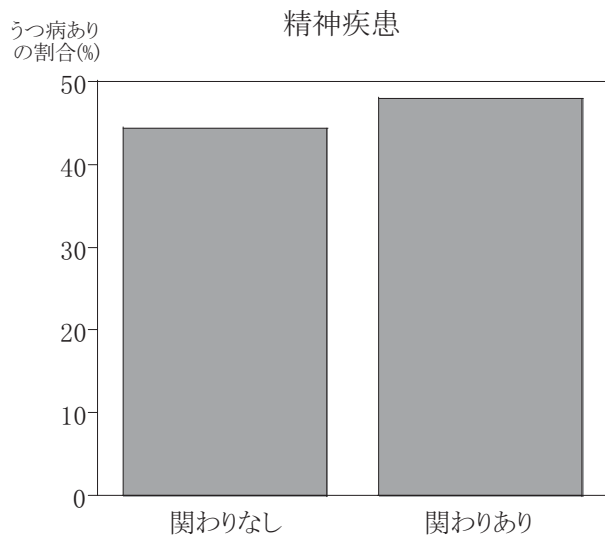
保健師によるこれまでの関わりの有無別 婚姻状況

	関わりなし	関わりあり
死別以外	12	28
死別	8	8
死別の割合	40.0%	22.2%

P 値
0.219

欠損 0

11) 精神疾患



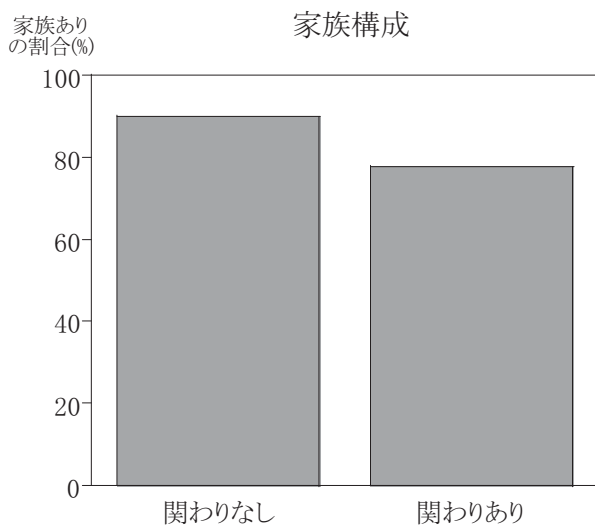
保健師によるこれまでの関わりの有無別 精神疾患

	関わりなし	関わりあり
うつ病あり以外	5	13
うつ病あり	4	12
うつ病ありの割合	44.4%	48.0%

P 値
1

欠損 22

12) 家族構成



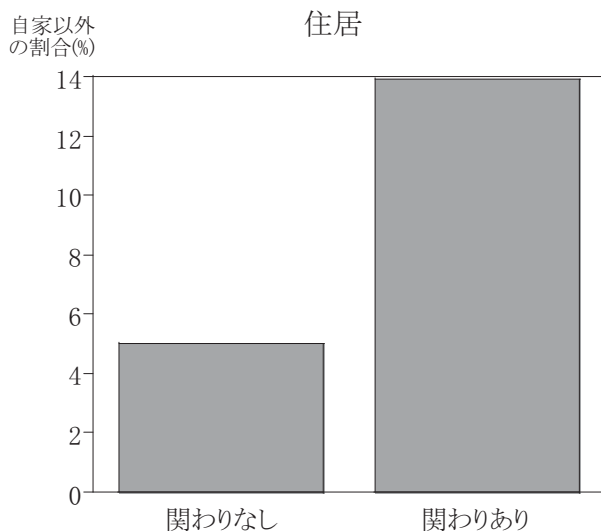
保健師によるこれまでの関わりの有無別 家族構成

	関わりなし	関わりあり
単身	2	8
家族あり	18	28
家族ありの割合	90.0%	77.8%

P 値
0.3036

欠損 0

13) 住居



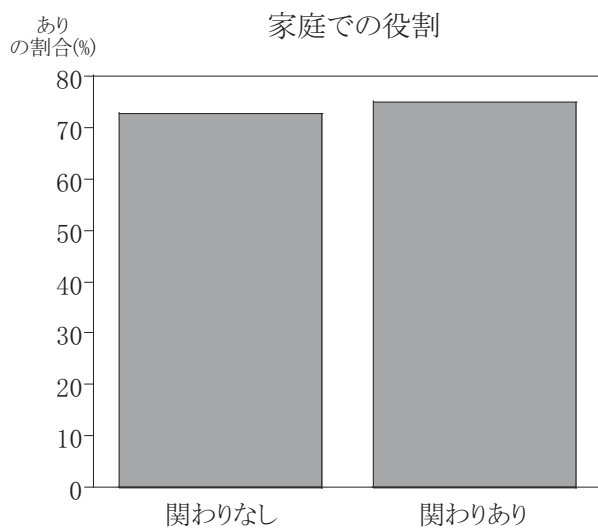
保健師によるこれまでの関わりの有無別 住居

	関わりなし	関わりあり
自家	19	31
自家以外	1	5
自家以外の割合	5.0%	13.9%

P 値
0.4046

欠損 0

14) 家庭での役割



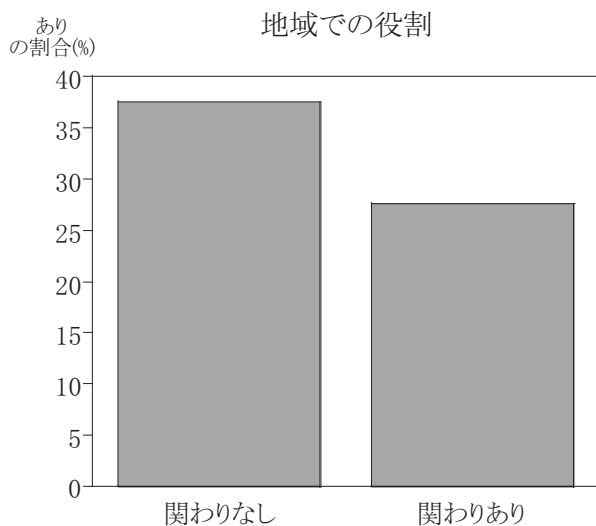
保健師によるこれまでの関わりの有無別 家庭での役割

	関わりなし	関わりあり
なし	3	8
あり	8	24
ありの割合	72.7%	75.0%

P 値
1

欠損 13

15) 地域での役割



保健師によるこれまでの関わりの有無別 地域での役割

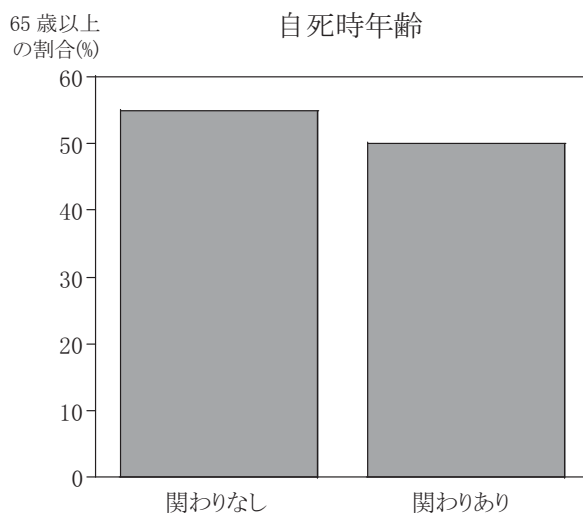
	関わりなし	関わりあり
なし	5	21
あり	3	8
ありの割合	37.5%	27.6%

P 値
0.672

欠損 19

16) 自死の状況

①自死時の年齢

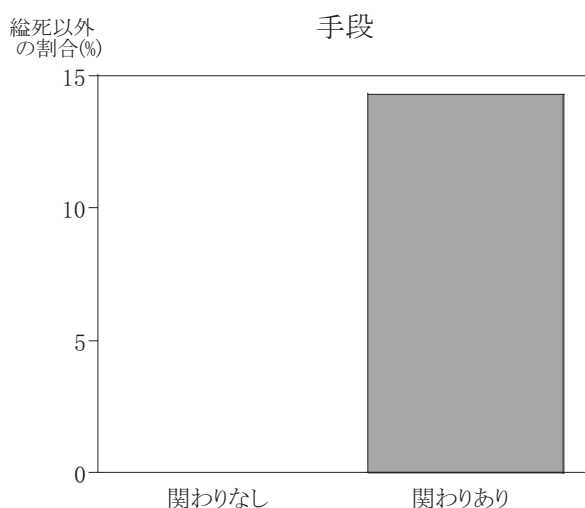


保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死時の年齢

	関わりなし	関わりあり
65歳未満	9	18
65歳以上	11	18
65歳以上の割合	55.0%	50.0%

P 値
0.7849

②自死の手段



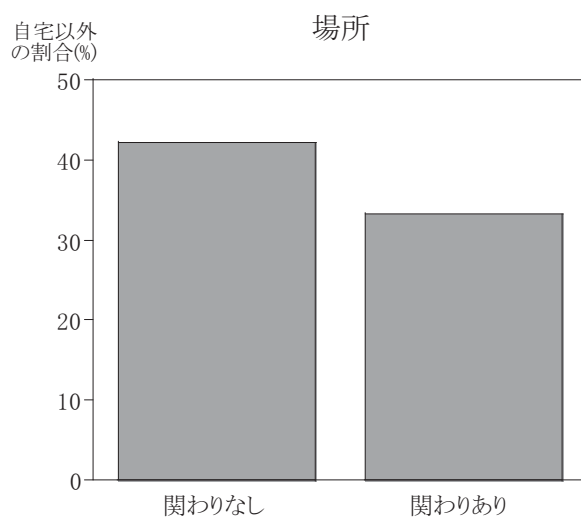
保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死の手段

	関わりなし	関わりあり
縊死	19	30
縊死以外	0	5
縊死以外の割合	0.0%	14.3%

P 値
0.1492

欠損 2

③自死の場所



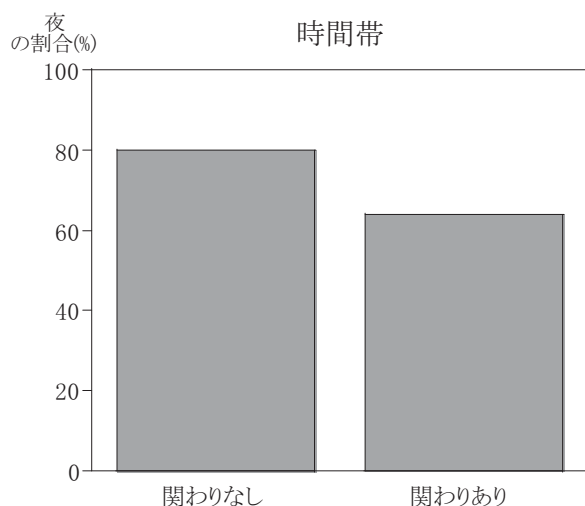
保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死の場所

	関わりなし	関わりあり
自宅	11	24
自宅以外	8	12
自宅以外の割合	42.1%	33.3%

P 値
0.5655

欠損 1

④自死の時間帯



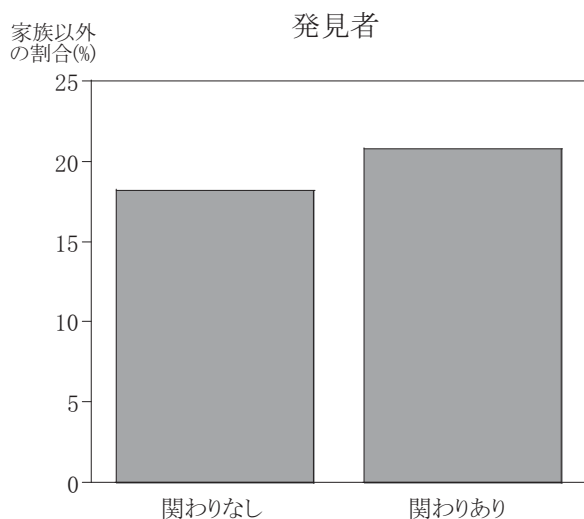
保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死の時間帯

	関わりなし	関わりあり
昼(6時～18時)	4	13
夜(18時～6時)	16	23
夜の割合	80.0%	63.9%

P 値
0.2423

欠損 0

⑤自死者の発見者



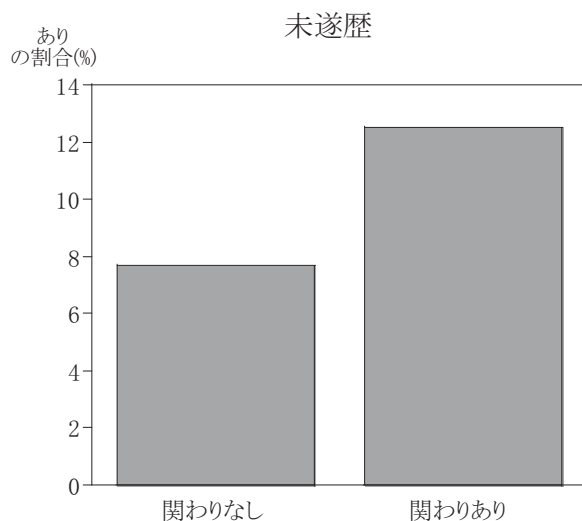
保健師によるこれまでの関わりの有無別 自死者の発見者

	関わりなし	関わりあり
家族	9	19
家族以外	2	5
家族以外の割合	18.2%	20.8%

P 値
1

欠損 21

⑥自殺未遂歴の有無



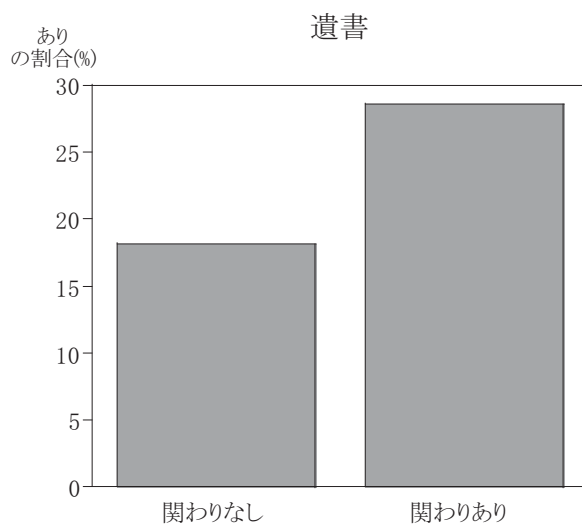
保健師によるこれまでの関わりの有無別 自殺未遂歴の有無

	関わりなし	関わりあり
なし	12	21
あり	1	3
ありの割合	7.7%	12.5%

P 値
1

欠損 19

⑦遺書の有無



保健師によるこれまでの関わりの有無別 遺書の有無

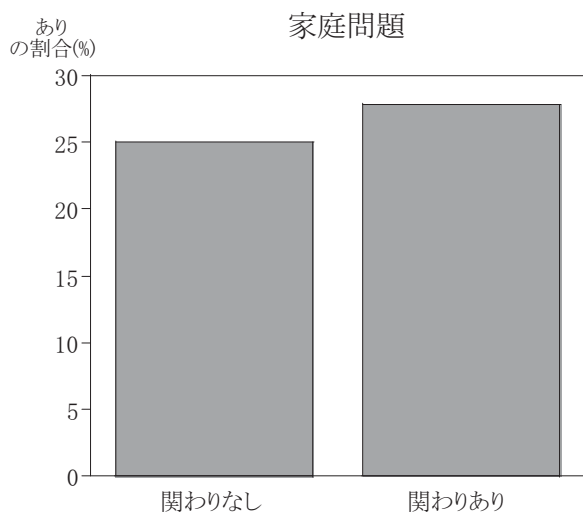
	関わりなし	関わりあり
なし	9	10
あり	2	4
ありの割合	18.2%	28.6%

P 値
0.6609

欠損 31

17) 自死の原因・動機

①家庭問題

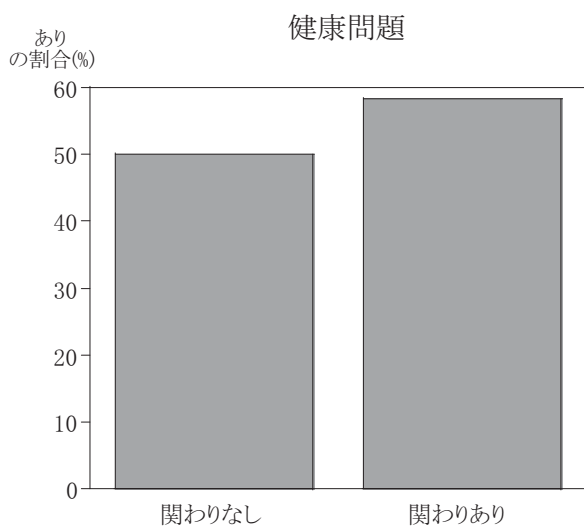


原因・動機:家庭問題

	関わりなし	関わりあり
なし	15	26
あり	5	10
ありの割合	25.0%	27.8%

P 値
1

②健康問題

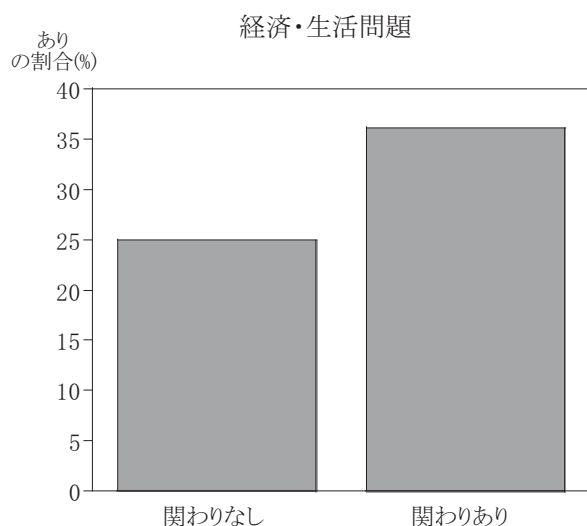


原因・動機:健康問題

	関わりなし	関わりあり
なし	10	15
あり	10	21
ありの割合	50.0%	58.3%

P 値
0.5855

③経済・生活問題

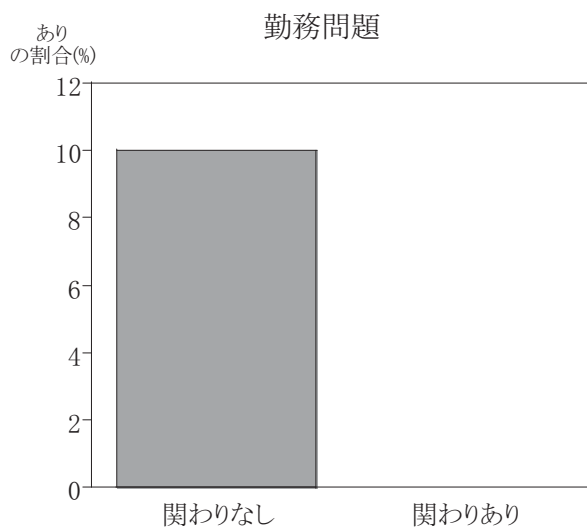


原因・動機:経済・生活問題

	関わりなし	関わりあり
なし	15	23
あり	5	13
ありの割合	25.0%	36.1%

P 値
0.5522

④勤務問題

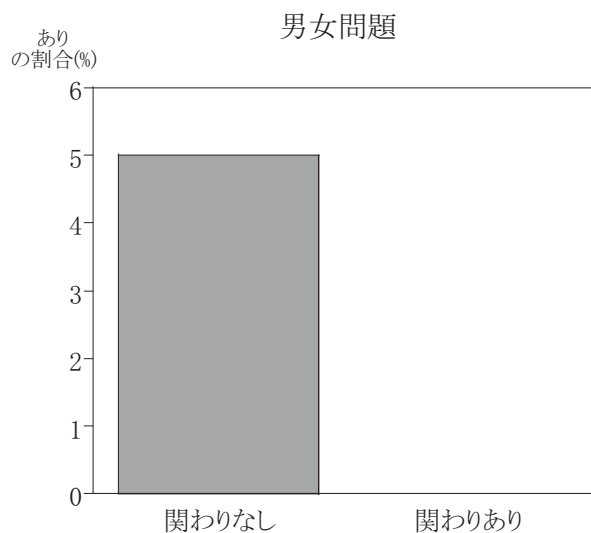


原因・動機:勤務問題

	関わりなし	関わりあり
なし	18	36
あり	2	0
ありの割合	10.0%	0.0%

P 値
0.1234

⑤男女問題

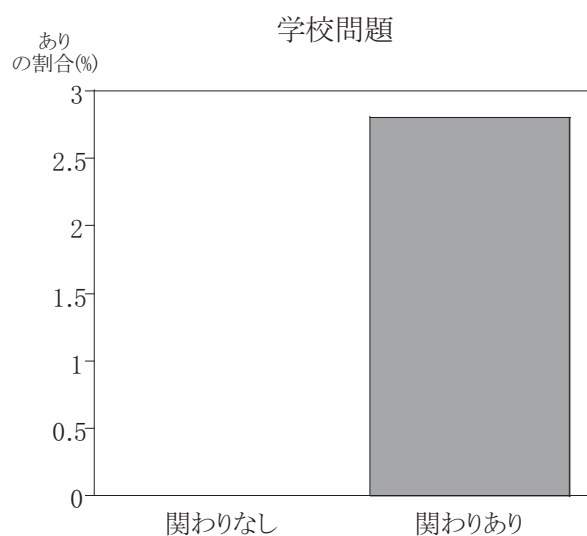


原因・動機:男女問題

	関わりなし	関わりあり
なし	19	36
あり	1	0
ありの割合	5.0%	0.0%

P 値
0.3571

⑥学校問題



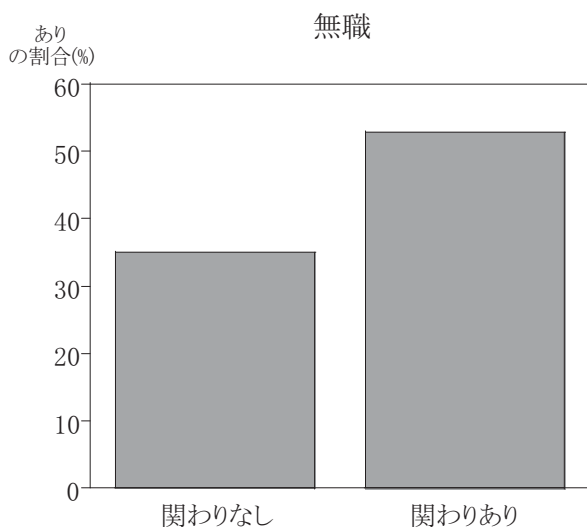
原因・動機:学校問題

	関わりなし	関わりあり
なし	20	35
あり	0	1
ありの割合	0.0%	2.8%

P 値
1

18) 自死の原因と考えられる本人状況

①無職である

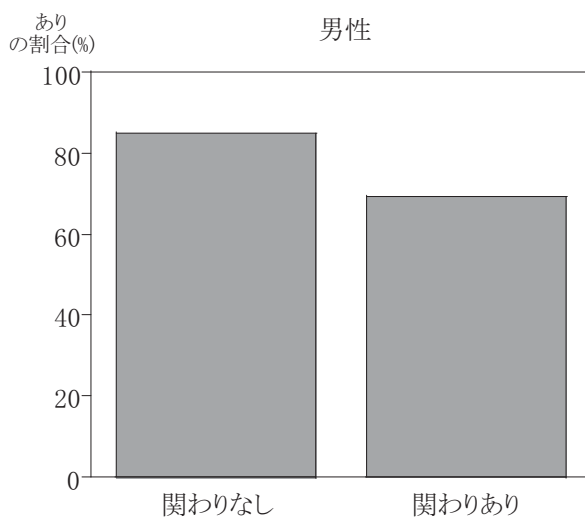


自死の原因と考えられる本人状況:無職である

	関わりなし	関わりあり
なし	13	17
あり	7	19
ありの割合	35.0%	52.8%

P 値
0.2669

②男性である

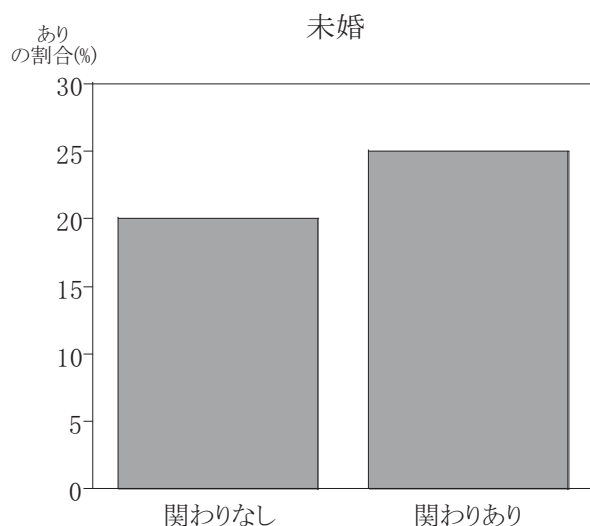


自死の原因と考えられる本人状況:男性である

	関わりなし	関わりあり
なし	3	11
あり	17	25
ありの割合	85.0%	69.4%

P 値
0.3343

③未婚である

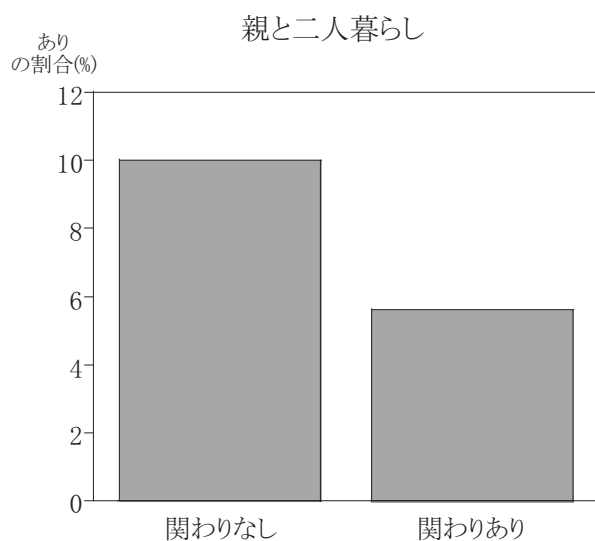


自死の原因と考えられる本人状況:未婚である

	関わりなし	関わりあり
なし	16	27
あり	4	9
ありの割合	20.0%	25.0%

P 値
0.7518

④親と二人暮らしである

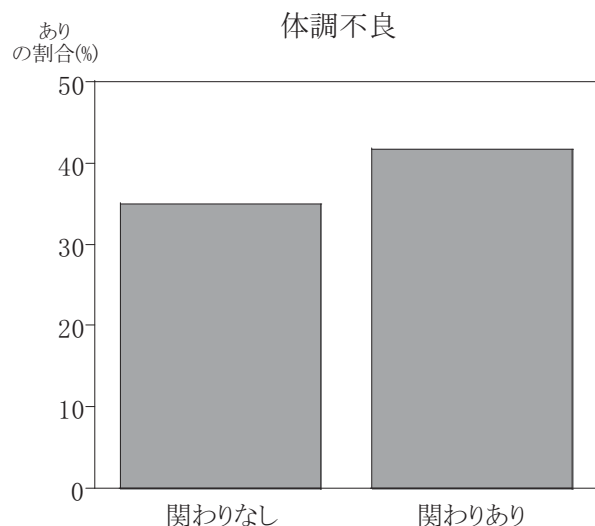


自死の原因と考えられる本人状況:親と二人暮らしである

	関わりなし	関わりあり
なし	18	34
あり	2	2
ありの割合	10.0%	5.6%

P 値
0.6112

⑤体調不良

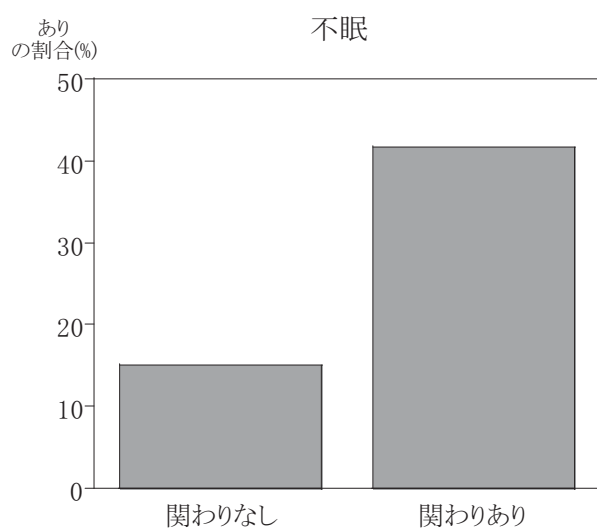


自死の原因と考えられる本人状況: 体調不良

	関わりなし	関わりあり
なし	13	21
あり	7	15
ありの割合	35.0%	41.7%

P 値
0.7768

⑥不眠

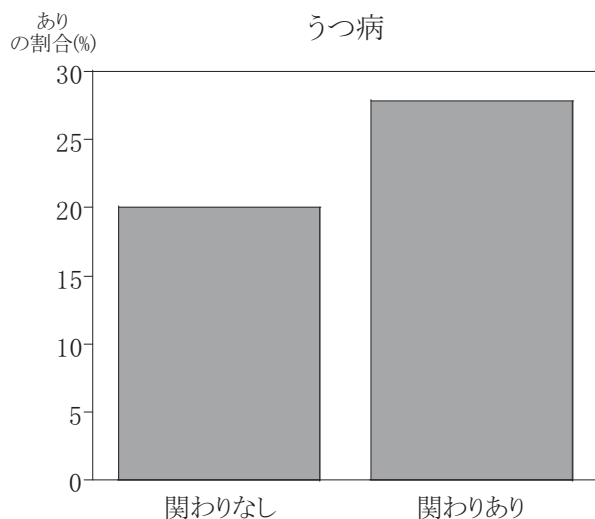


自死の原因と考えられる本人状況: 不眠

	関わりなし	関わりあり
なし	17	21
あり	3	15
ありの割合	15.0%	41.7%

P 値
0.0715

⑦うつ病

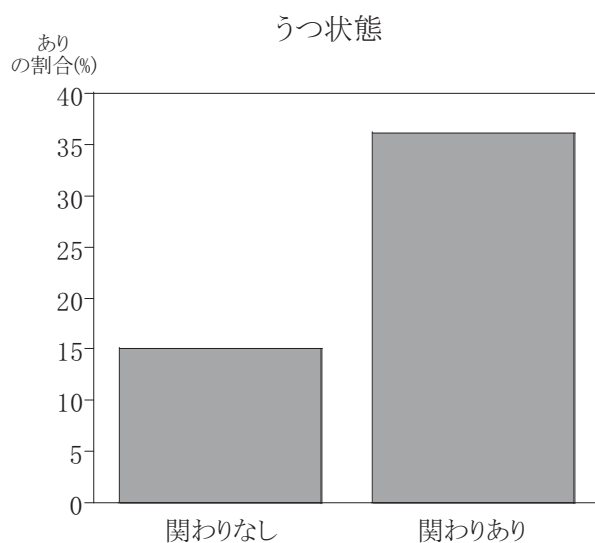


自死の原因と考えられる本人状況:うつ病

	関わりなし	関わりあり
なし	16	26
あり	4	10
ありの割合	20.0%	27.8%

P 値
0.7486

⑧うつ状態

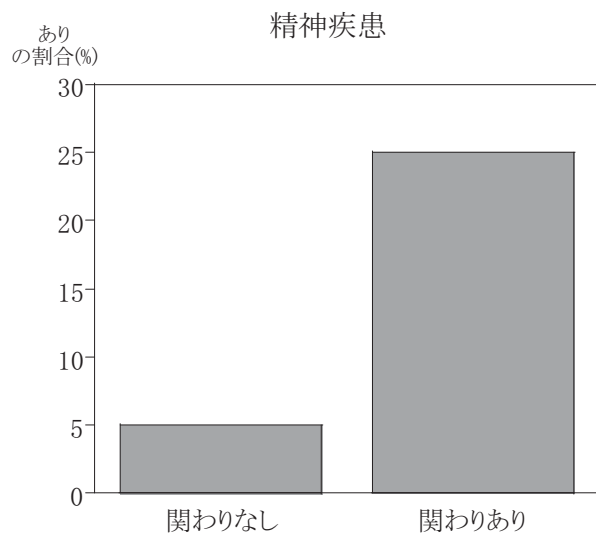


自死の原因と考えられる本人状況:うつ状態

	関わりなし	関わりあり
なし	17	23
あり	3	13
ありの割合	15.0%	36.1%

P 値
0.1274

⑨精神疾患

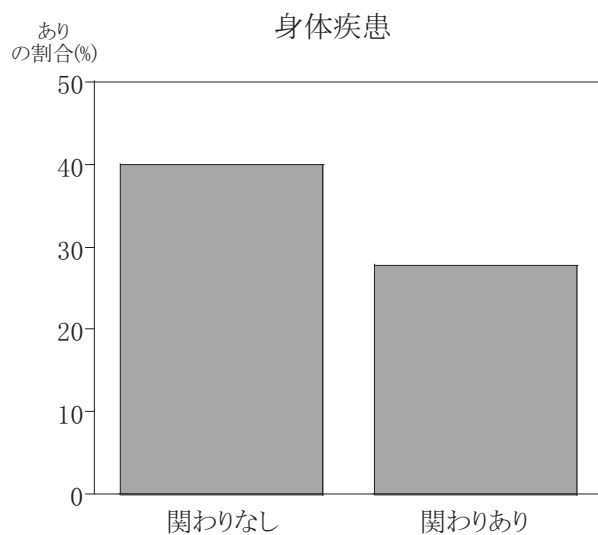


自死の原因と考えられる本人状況:精神疾患

	関わりなし	関わりあり
なし	19	27
あり	1	9
ありの割合	5.0%	25.0%

P 値
0.078

⑩身体疾患

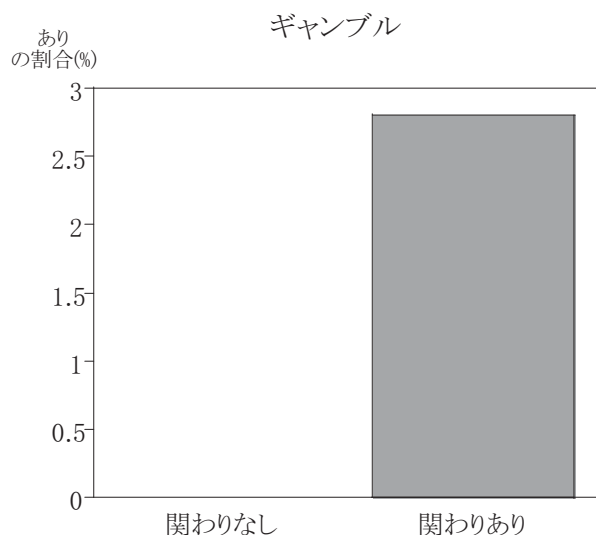


自死の原因と考えられる本人状況:身体疾患

	関わりなし	関わりあり
なし	12	26
あり	8	10
ありの割合	40.0%	27.8%

P 値
0.3834

⑪ギャンブル

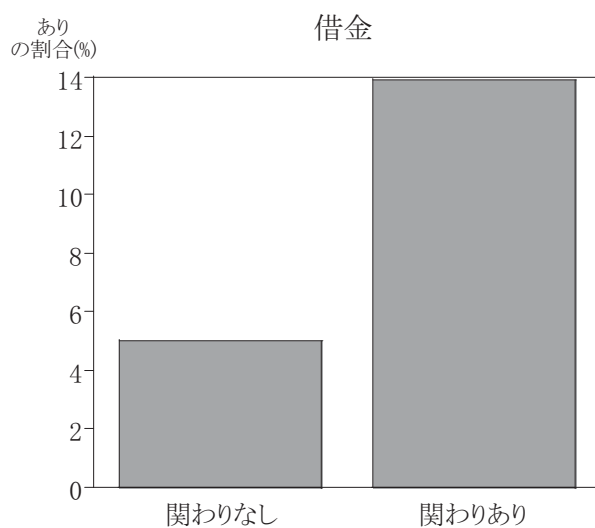


自死の原因と考えられる本人状況:ギャンブル

	関わりなし	関わりあり
なし	20	35
あり	0	1
ありの割合	0.0%	2.8%

P 値
1

⑫借金

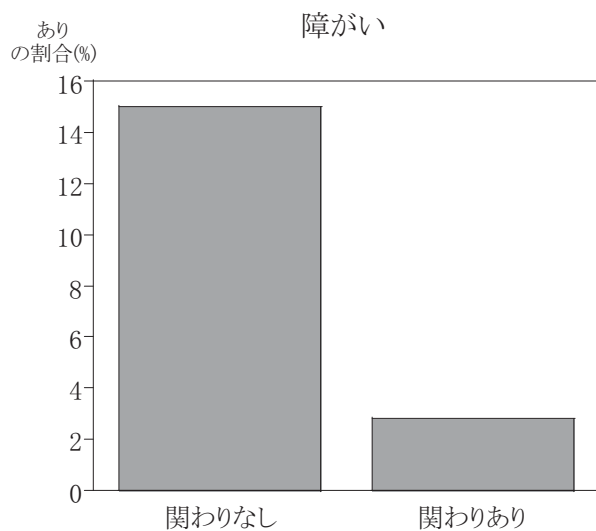


自死の原因と考えられる本人状況:借金

	関わりなし	関わりあり
なし	19	31
あり	1	5
ありの割合	5.0%	13.9%

P 値
0.4046

⑬障がい



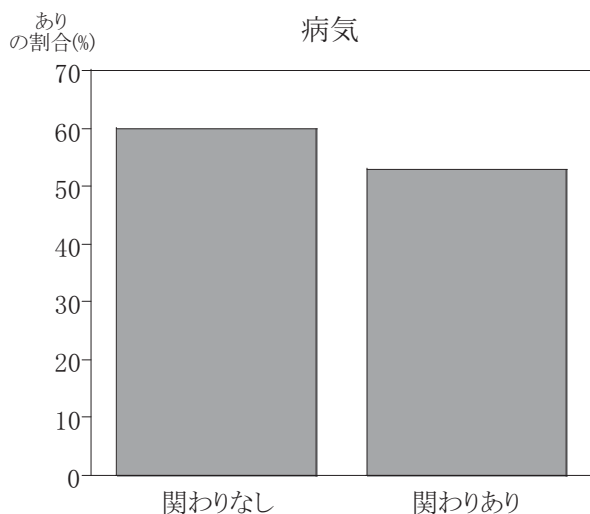
自死の原因と考えられる本人状況:障がい

	関わりなし	関わりあり
なし	17	35
あり	3	1
ありの割合	15.0%	2.8%

P 値
0.1249

19) 生活上の出来事

①病気

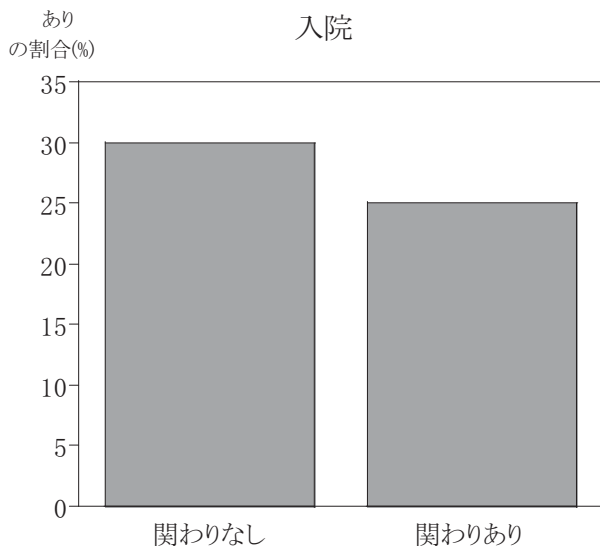


生活上の出来事:病気

	関わりなし	関わりあり
なし	8	17
あり	12	19
ありの割合	60.0%	52.8%

P 値
0.7798

②入院

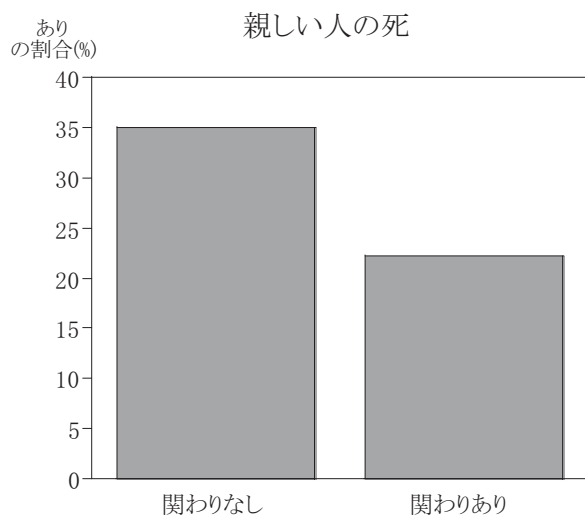


生活上の出来事:入院

	関わりなし	関わりあり
なし	14	27
あり	6	9
ありの割合	30.0%	25.0%

P 値
0.7575

③親しい人の死

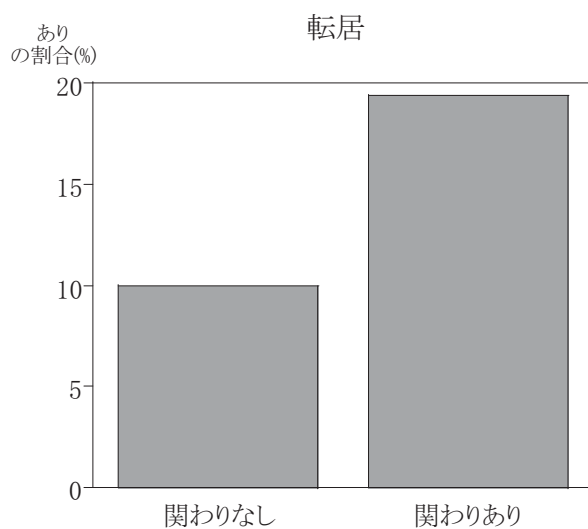


生活上の出来事:親しい人の死

	関わりなし	関わりあり
なし	13	28
あり	7	8
ありの割合	35.0%	22.2%

P 値
0.3539

④転居

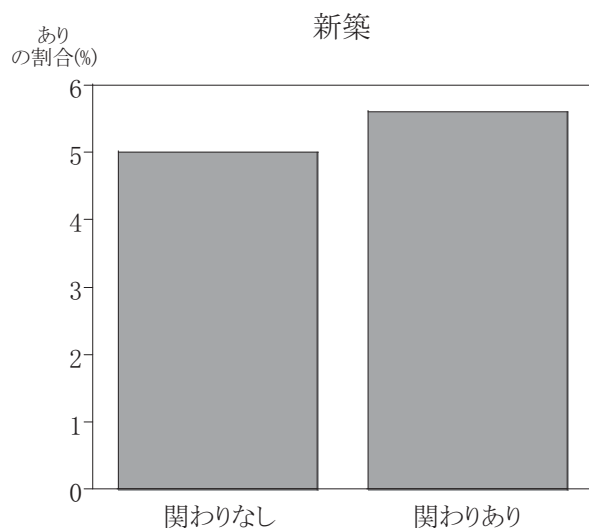


生活上の出来事:転居

	関わりなし	関わりあり
なし	18	29
あり	2	7
ありの割合	10.0%	19.4%

P 値
0.4658

⑤新築

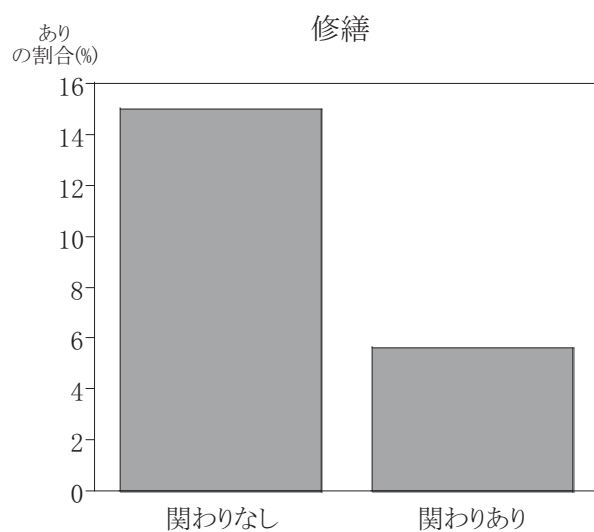


生活上の出来事:新築

	関わりなし	関わりあり
なし	19	34
あり	1	2
ありの割合	5.0%	5.6%

P 値
1

⑥修繕

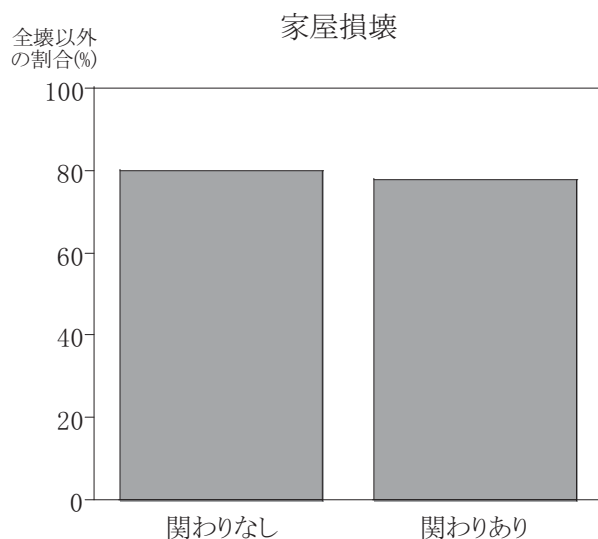


生活上の出来事:修繕

	関わりなし	関わりあり
なし	17	34
あり	3	2
ありの割合	15.0%	5.6%

P 値
0.3364

⑦家屋損壊

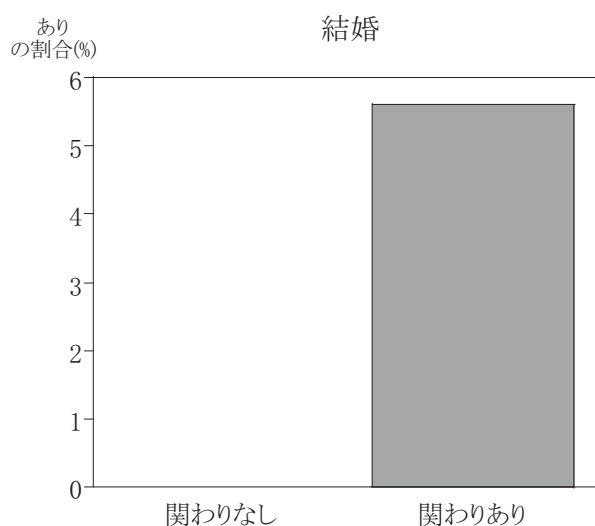


生活上の出来事:家屋損壊

	関わりなし	関わりあり
なし	16	29
あり	4	7
ありの割合	20.0%	19.4%

P 値
1

⑧結婚

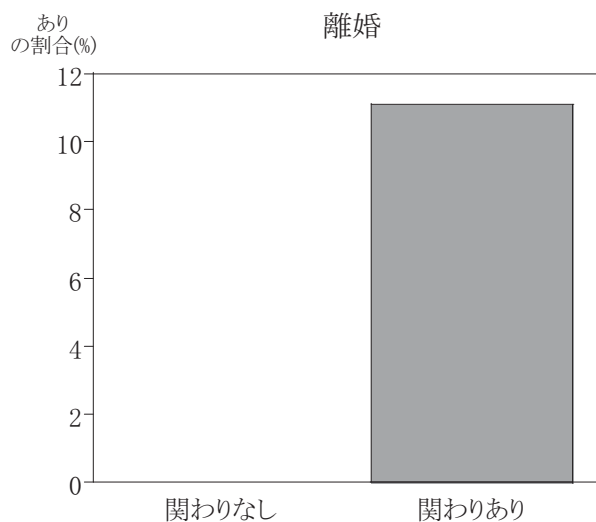


生活上の出来事:結婚

	関わりなし	関わりあり
なし	20	34
あり	0	2
ありの割合	0.0%	5.6%

P 値
0.5325

⑨離婚

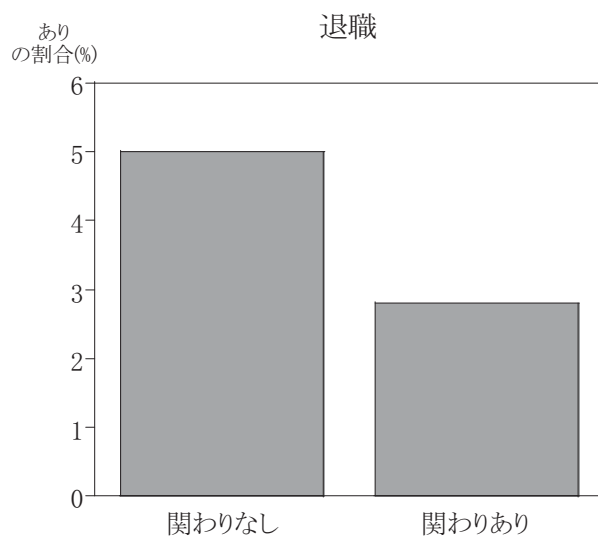


生活上の出来事:離婚

	関わりなし	関わりあり
なし	20	32
あり	0	4
ありの割合	0.0%	11.1%

P 値
0.2853

⑩退職

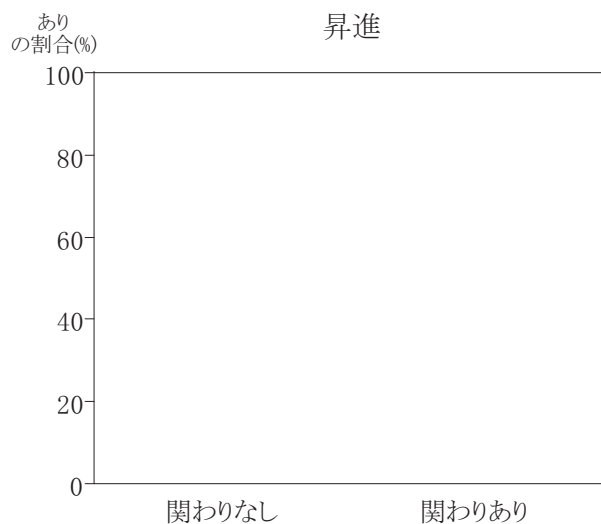


生活上の出来事:退職

	関わりなし	関わりあり
なし	19	35
あり	1	1
ありの割合	5.0%	2.8%

P 値
1

⑪昇進

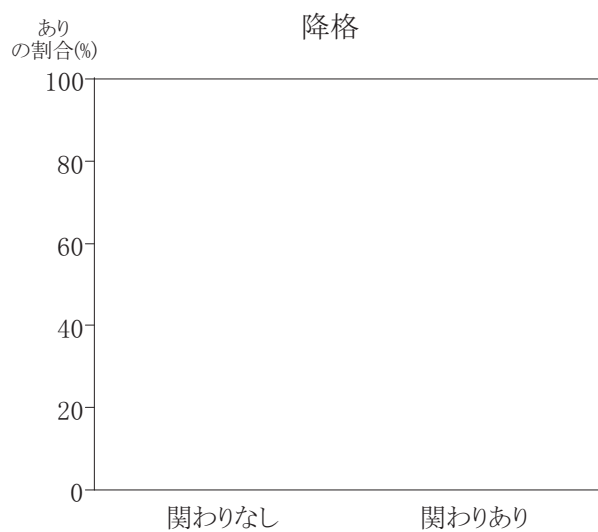


生活上の出来事:昇進

	関わりなし	関わりあり
なし	20	36
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑫降格

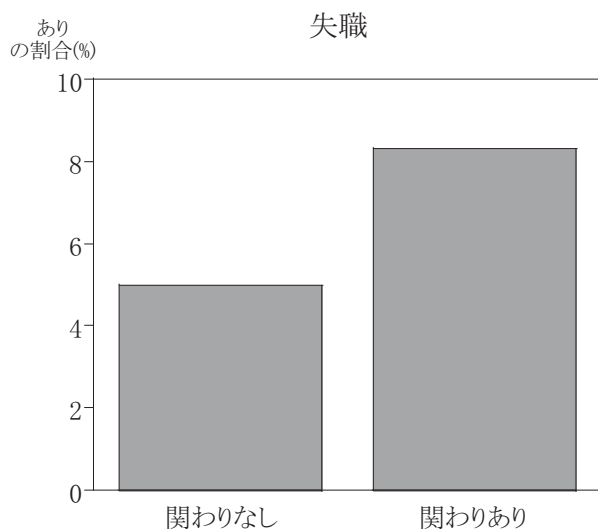


生活上の出来事:降格

	関わりなし	関わりあり
なし	20	36
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑬失職

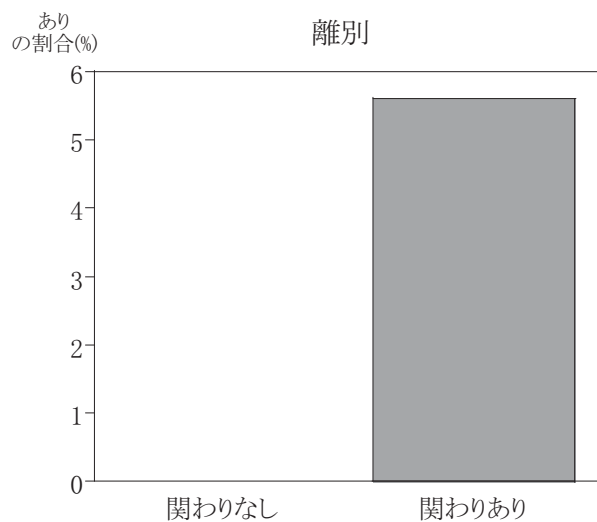


生活上の出来事:失職

	関わりなし	関わりあり
なし	19	33
あり	1	3
ありの割合	5.0%	8.3%

P 値
1

⑭離別

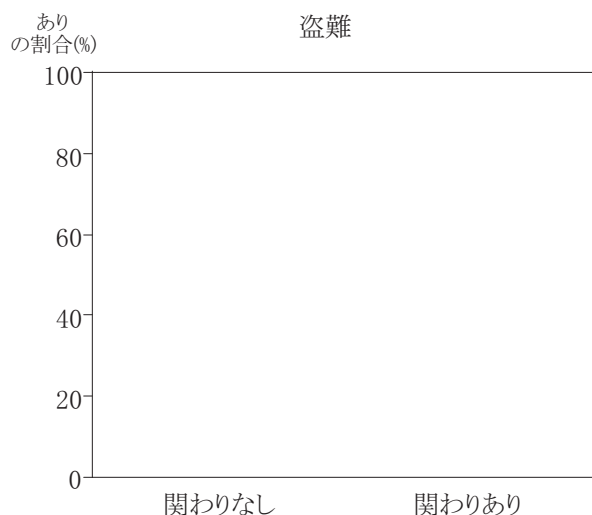


生活上の出来事:離別

	関わりなし	関わりあり
なし	20	34
あり	0	2
ありの割合	0.0%	5.6%

P 値
0.5325

⑮盗難

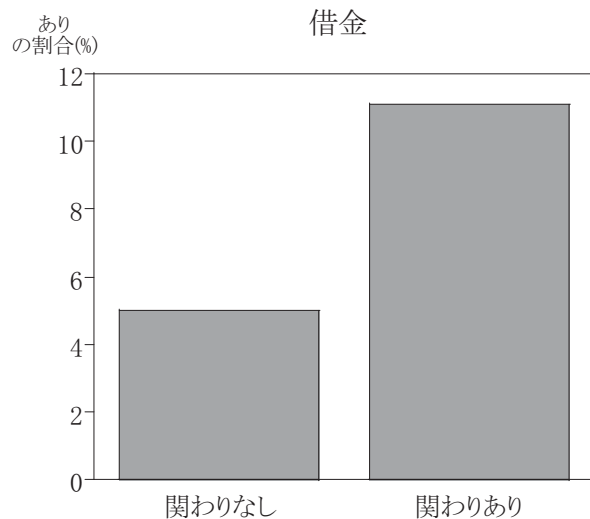


生活上の出来事:盗難

	関わりなし	関わりあり
なし	20	36
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
-

⑯借金

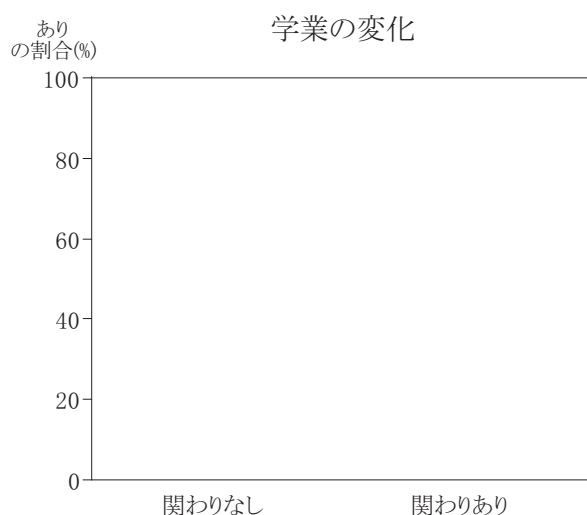


生活上の出来事:借金

	関わりなし	関わりあり
なし	19	32
あり	1	4
ありの割合	5.0%	11.1%

P 値
0.6449

⑰学業の変化

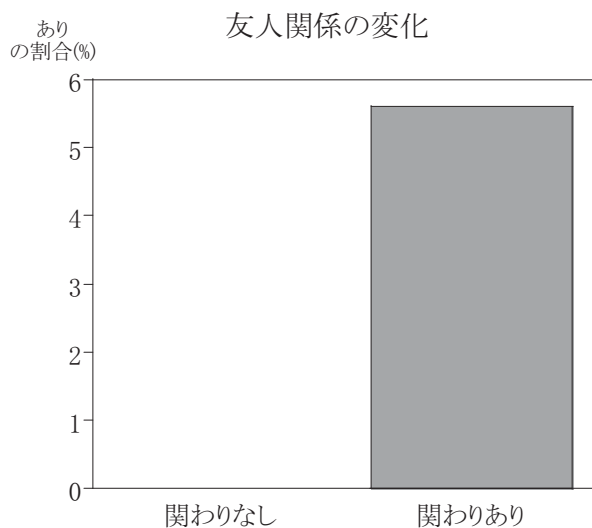


生活上の出来事:学業の変化

	関わりなし	関わりあり
なし	20	36
あり	0	0
ありの割合	0.0%	0.0%

P 値
0

⑱友人関係の変化



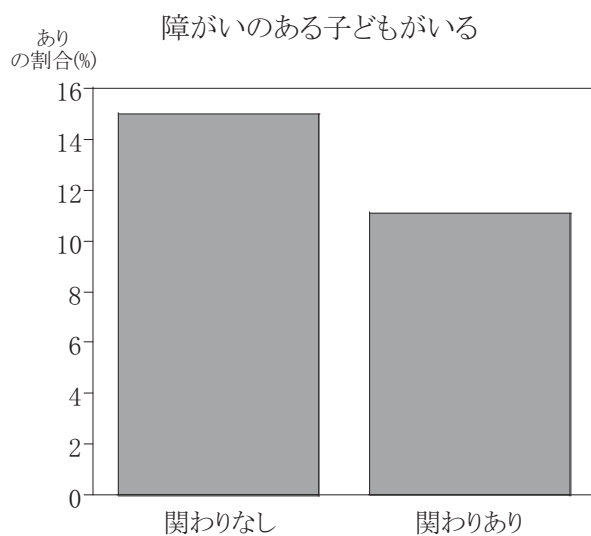
生活上の出来事:友人関係の変化

	関わりなし	関わりあり
なし	30	34
あり	0	2
ありの割合	0.0%	5.6%

P 値
0.5325

20) 家庭・周囲の状況

①障がいのある子どもがいる

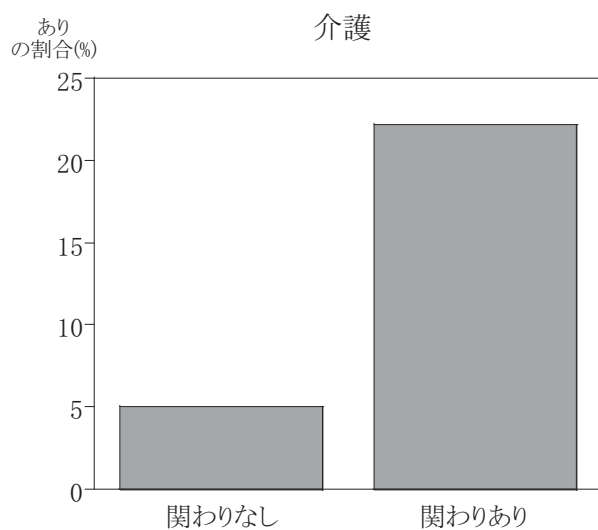


家庭・周囲の状況:障がいのある子どもがいる

	関わりなし	関わりあり
なし	17	32
あり	3	4
ありの割合	15.0%	11.1%

P 値
0.6911

②介護を必要とする人がいる

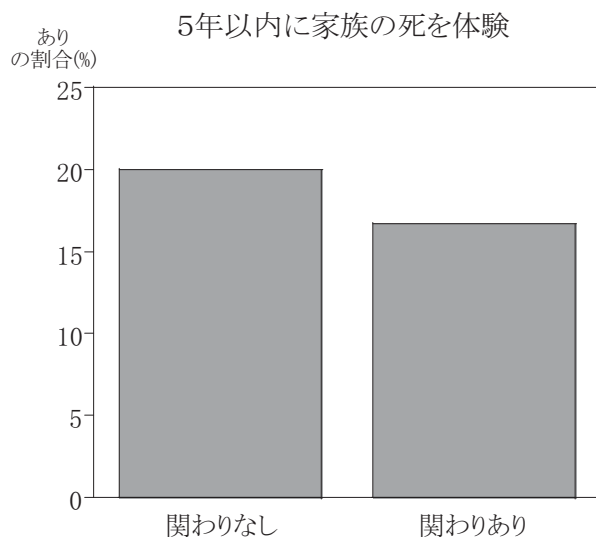


家庭・周囲の状況:介護を必要とする人がいる

	関わりなし	関わりあり
なし	19	28
あり	1	8
ありの割合	5.0%	22.2%

P 値
0.1359

③5年以内に家族の死を体験

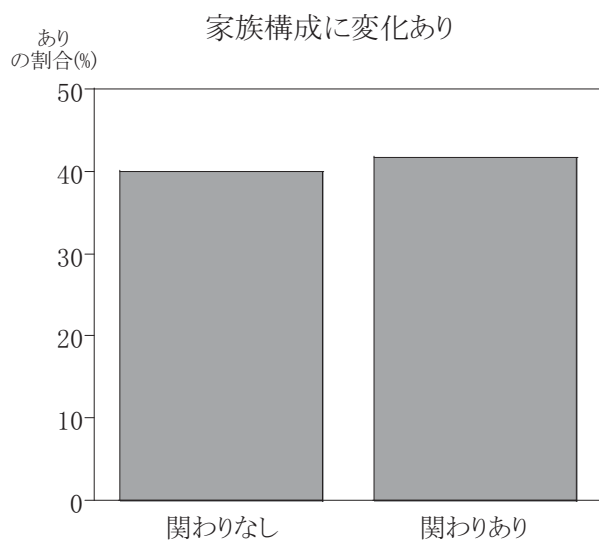


家庭・周囲の状況:5年以内に家族の死を体験

	関わりなし	関わりあり
なし	16	30
あり	4	6
ありの割合	20.0%	16.7%

P 値
0.7327

④家族構成に変化あり

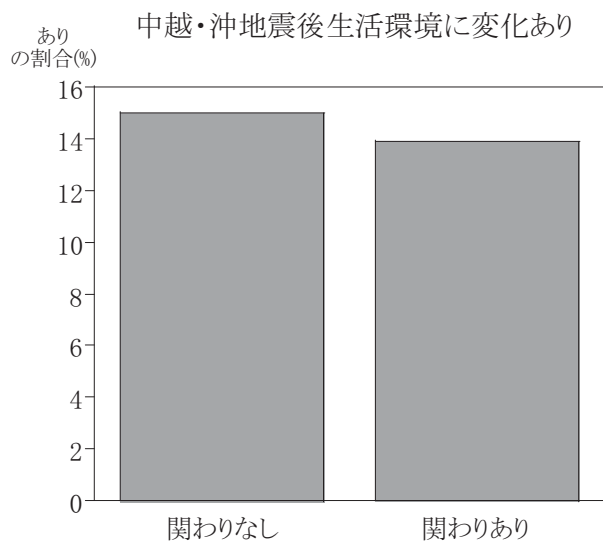


家庭・周囲の状況:家族構成に変化あり

	関わりなし	関わりあり
なし	12	21
あり	8	15
ありの割合	40.0%	41.7%

P 値
1

⑤中越・沖地震後生活環境に変化あり

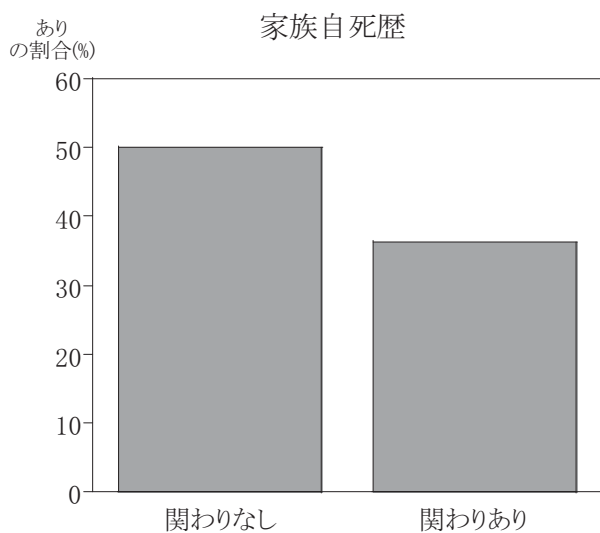


家庭・周囲の状況:中越・沖地震後生活環境に変化あり

	関わりなし	関わりあり
なし	17	31
あり	3	5
ありの割合	15.0%	13.9%

P 値
1

⑥家族自死歴



家庭・周囲の状況:家族自死歴

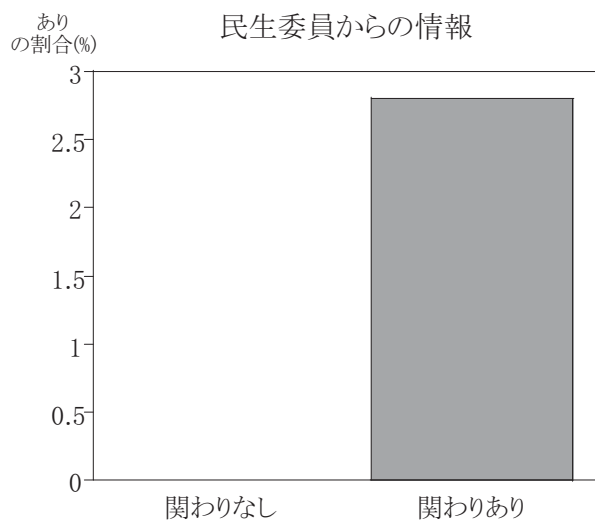
	関わりなし	関わりあり
なし	4	7
あり	4	4
ありの割合	50.0%	36.4%

P 値
0.6577

欠損 37

21) 自死を知った経緯

①民生委員からの情報

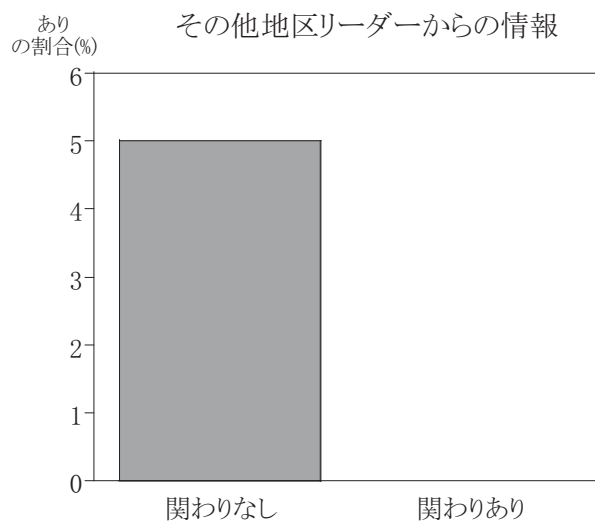


事実を知った経緯:民生委員からの情報

	関わりなし	関わりあり
なし	20	35
あり	0	1
ありの割合	0.0%	2.8%

P 値
1

②その他地区リーダーからの情報

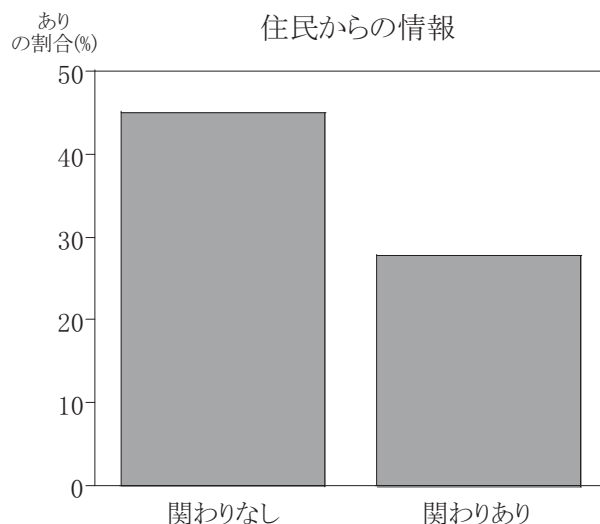


事実を知った経緯:その他の地区リーダーからの情報

	関わりなし	関わりあり
なし	19	36
あり	1	0
ありの割合	5.0%	0.0%

P 値
0.3571

③住民からの情報

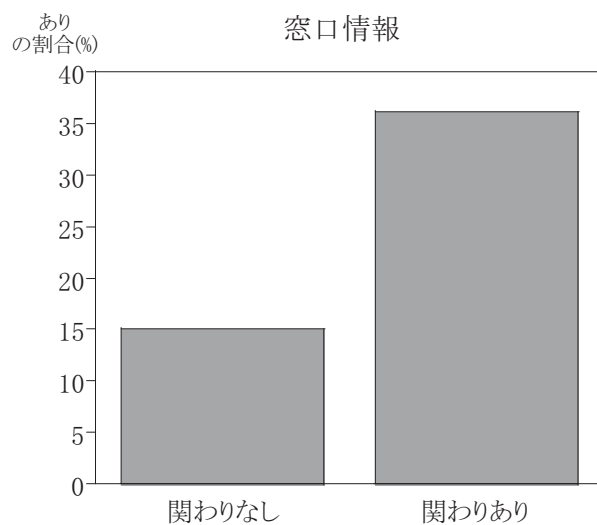


事実を知った経緯:住民からの情報

	関わりなし	関わりあり
なし	11	26
あり	9	10
ありの割合	45.0%	27.8%

P 値
0.2438

④窓口情報

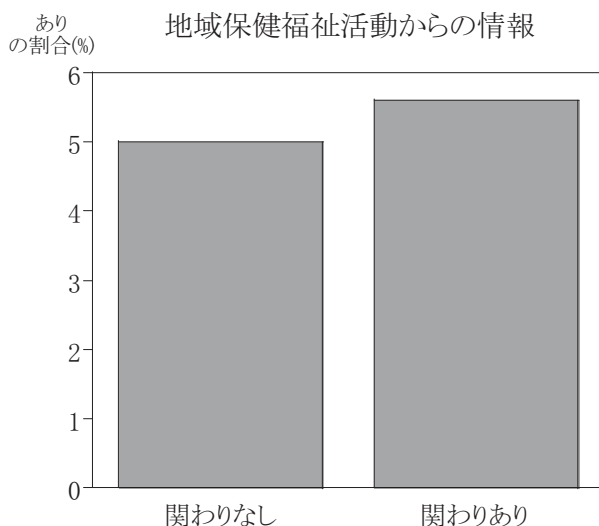


事実を知った経緯:窓口情報

	関わりなし	関わりあり
なし	17	23
あり	3	13
ありの割合	15.0%	36.1%

P 値
0.1274

⑤地域保健福祉活動からの情報



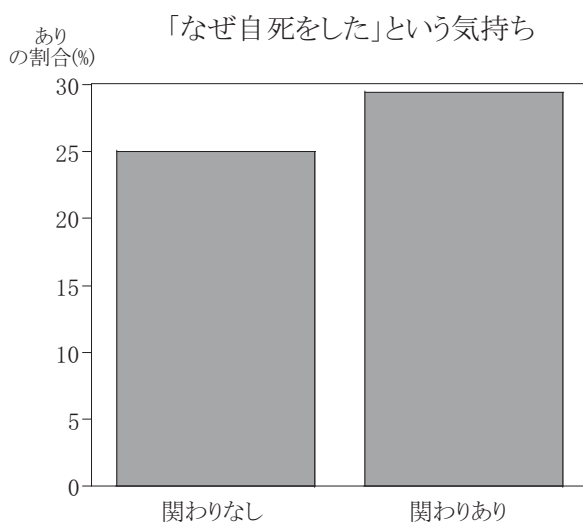
事実を知った経緯: 地域保健福祉活動からの情報

	関わりなし	関わりあり
なし	19	34
あり	1	2
ありの割合	5.0%	5.6%

P 値
1

22) 事実を知った時の気持ち

①「なぜ自死をした」という気持ち

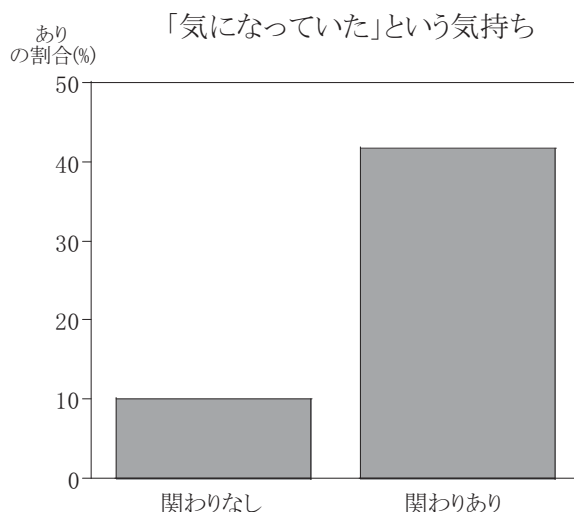


事実を知った時の気持ち: 「なぜ自死をした」という気持ち

	関わりなし	関わりあり
なし	15	24
あり	5	12
ありの割合	25.0%	33.3%

P 値
0.5613

②「気になっていた」という気持ち



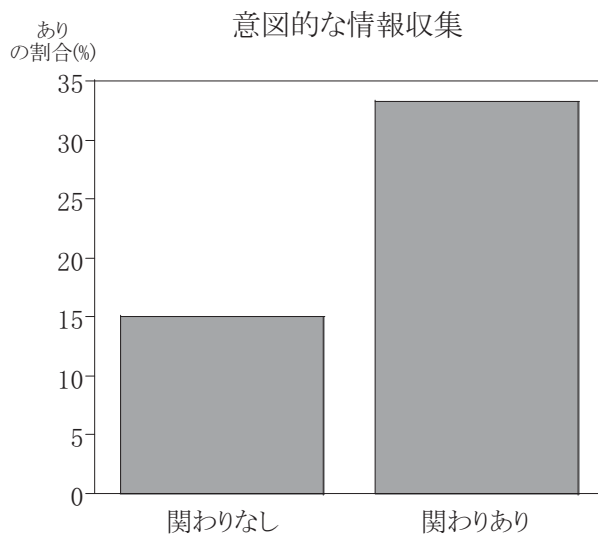
事実を知った時の気持ち:「気になっていた」という気持ち

	関わりなし	関わりあり
なし	18	21
あり	2	15
ありの割合	10.0%	41.7%

P 値
0.0162

23) 事実を知った後の行動

①意図的な情報収集

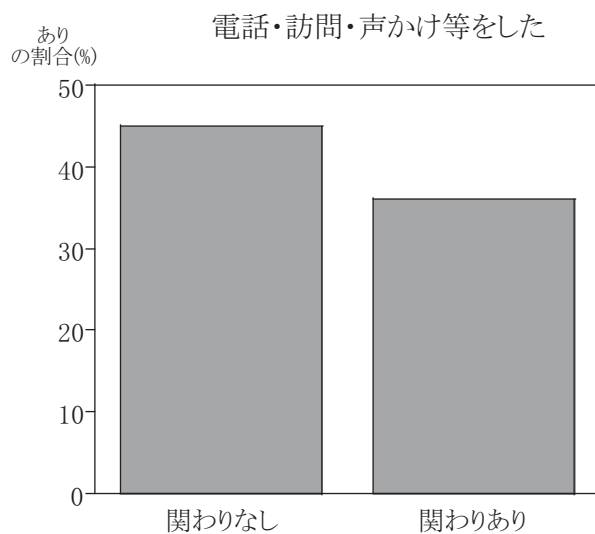


事実を知った後の行動:意図的な情報収集

	関わりなし	関わりあり
なし	17	24
あり	3	12
ありの割合	15.0%	33.3%

P 値
0.2096

②電話・訪問・声かけ等をした

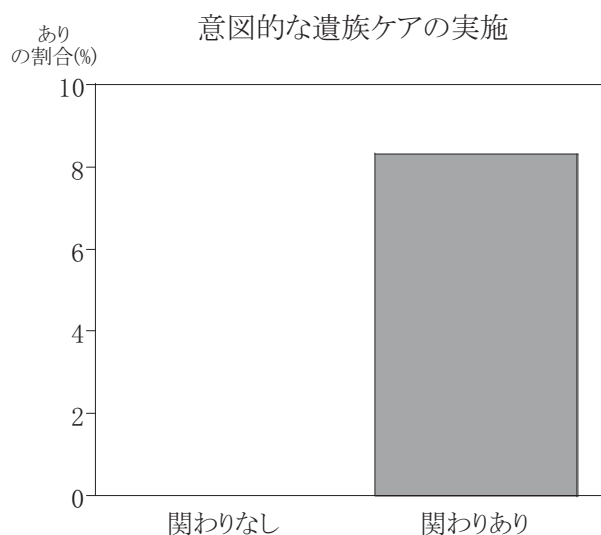


事実を知った後の行動:電話・訪問・声かけ等をした

	関わりなし	関わりあり
なし	11	23
あり	9	13
ありの割合	45.0%	36.1%

P 値
0.5754

③意図的な遺族ケアの実施

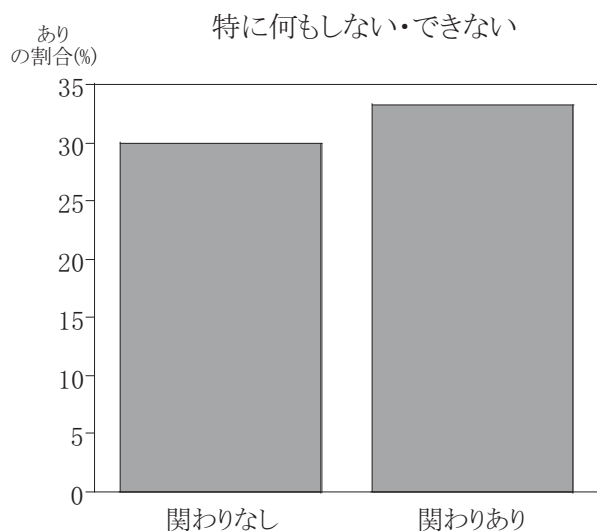


事実を知った後の行動:意図的な遺族ケアの実施

	関わりなし	関わりあり
なし	20	33
あり	0	3
ありの割合	0.0%	8.3%

P 値
0.5455

④特に何もしない・できない



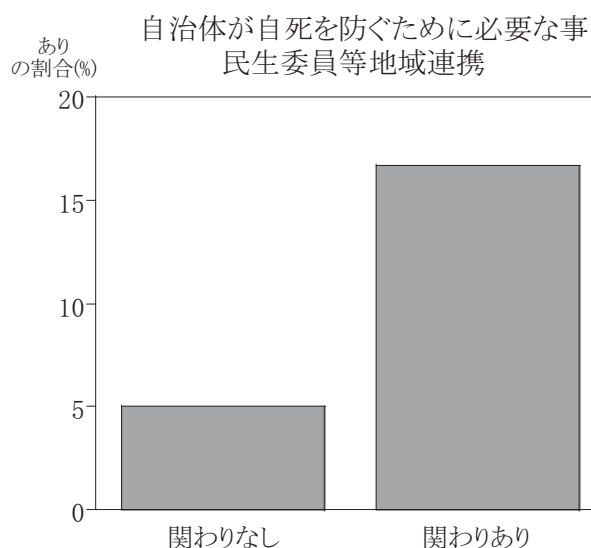
事実を知った後の行動:特に何もしない・できない

	関わりなし	関わりあり
「特に何もしない・できない」を選択しない	14	24
「特に何もしない・できない」を選択	6	12
「特に何もしない・できない」を選択した者の割合	30.0%	33.3%

P 値
1

24) 事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと

①民生委員等地域連携

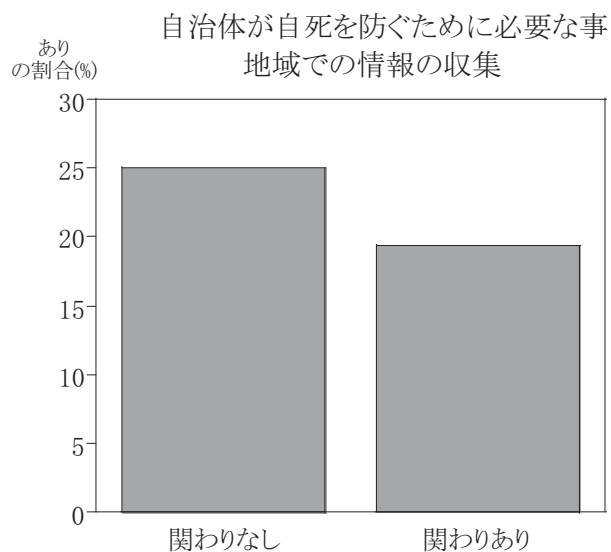


事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと:民生委員等地域連携

	関わりなし	関わりあり
なし	19	30
あり	1	6
ありの割合	5.0%	16.7%

P 値
0.4016

②地域での情報の収集

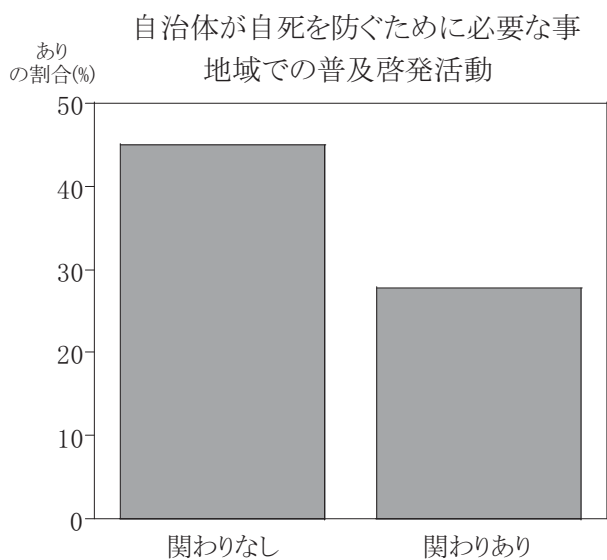


事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと: 地域での情報収集

	関わりなし	関わりあり
なし	15	29
あり	5	7
ありの割合	25.0%	19.4%

P 値
0.7374

③地域での普及啓発活動

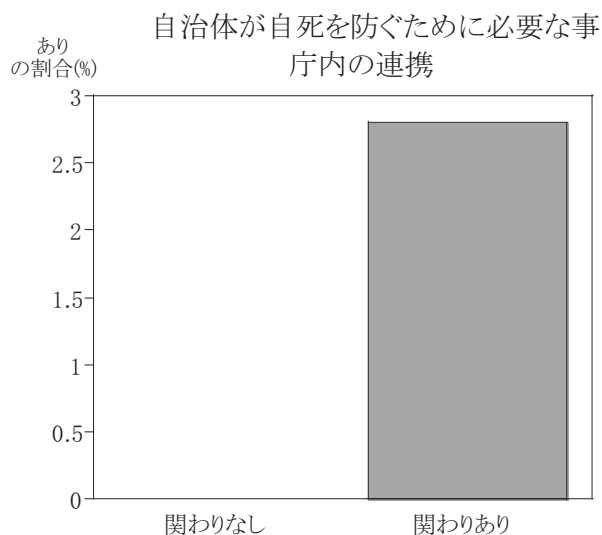


事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと: 地域での普及啓発活動

	関わりなし	関わりあり
なし	11	26
あり	9	10
ありの割合	45.0%	27.8%

P 値
0.2438

④庁内の連携

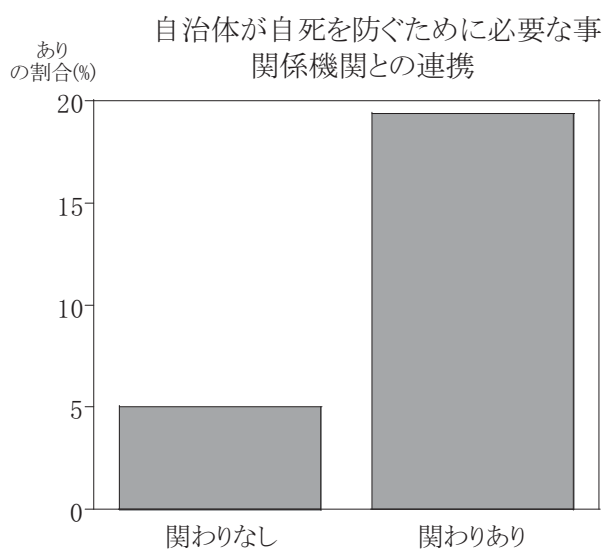


事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと: 庁内の連携

	関わりなし	関わりあり
なし	20	35
あり	0	1
ありの割合	0.0%	2.8%

P 値
1

⑤関係機関との連携

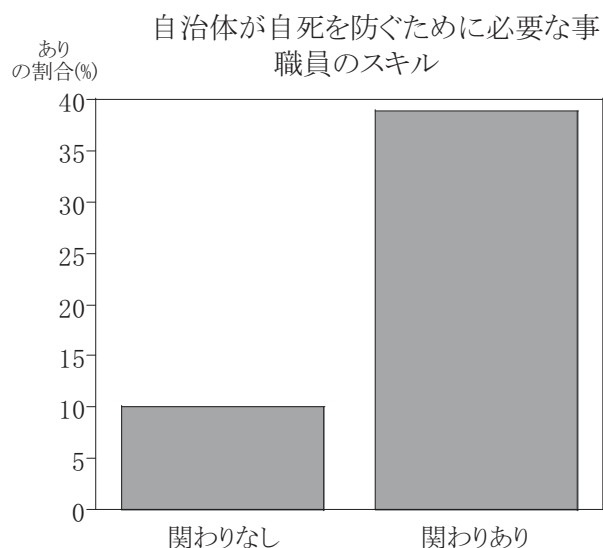


事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと: 関係機関との連携

	関わりなし	関わりあり
なし	19	29
あり	1	7
ありの割合	5.0%	19.4%

P 値
0.236

⑥職員のスキル



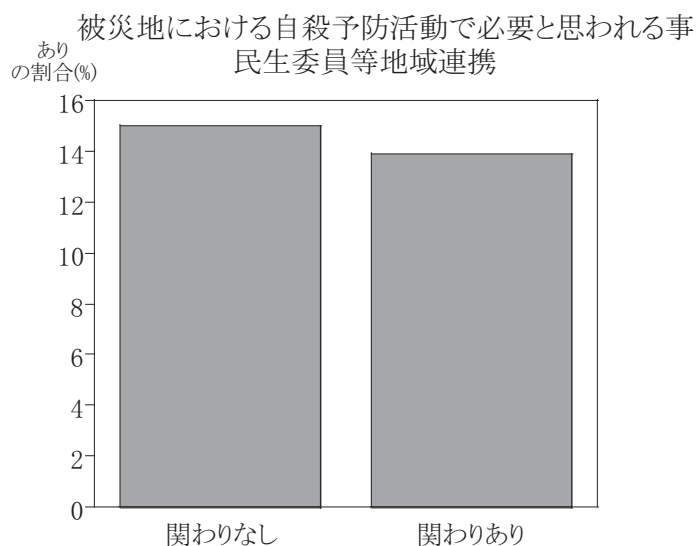
事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要なこと: 職員のスキル

	関わりなし	関わりあり
なし	18	22
あり	2	14
ありの割合	10.0%	38.9%

P 値
0.0305

25) 被災地域における自殺予防活動で必要と思われること

①民生委員等地域連携



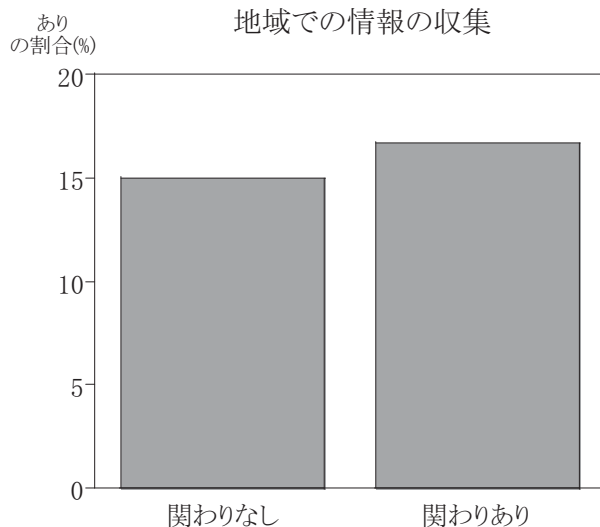
被災地域における自殺予防活動で必要と思われること: 民生委員等地域連携

	関わりなし	関わりあり
なし	17	31
あり	3	5
ありの割合	15.0%	13.9%

P 値
1

②地域での情報の収集

被災地における自殺予防活動で必要と思われる事
地域での情報の収集



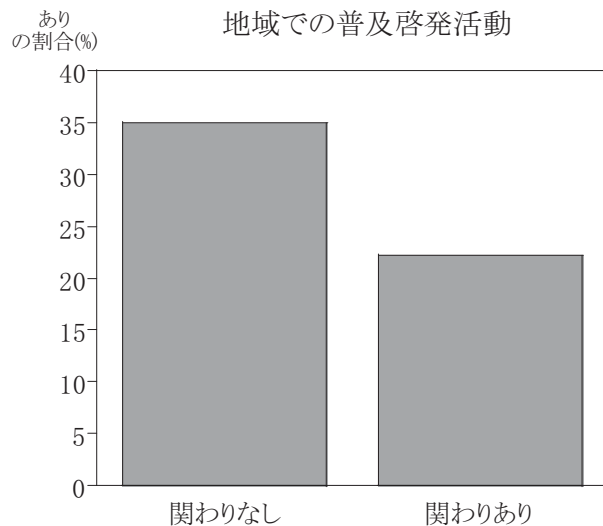
被災地域における自殺予防活動で必要と思われること:地域での情報収集

	関わりなし	関わりあり
なし	17	30
あり	3	6
ありの割合	15.0%	16.7%

P 値
1

③地域での普及啓発活動

被災地における自殺予防活動で必要と思われる事
地域での普及啓発活動



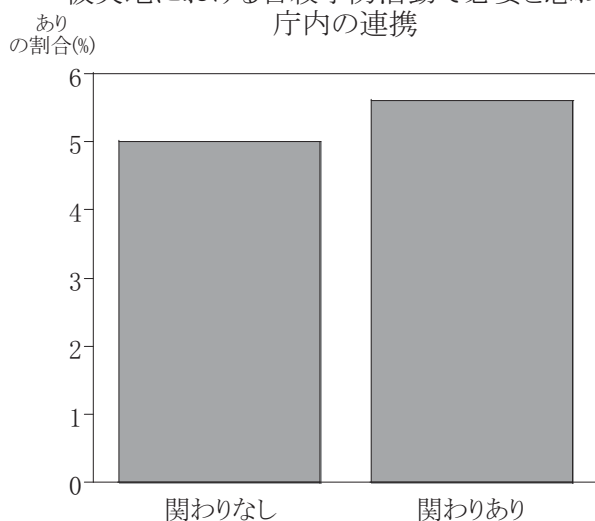
被災地域における自殺予防活動で必要と思われること:地域での普及啓発活動

	関わりなし	関わりあり
なし	13	28
あり	7	8
ありの割合	35.0%	22.2%

P 値
0.3539

④庁内の連携

被災地における自殺予防活動で必要と思われる事
庁内の連携



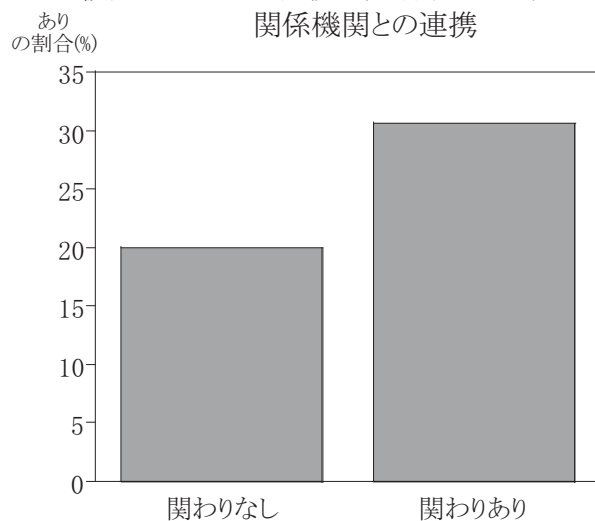
被災地域における自殺予防活動で必要と思われること:庁内連携

	関わりなし	関わりあり
なし	19	34
あり	1	2
ありの割合	5.0%	5.6%

P 値
1

⑤関係機関との連携

被災地における自殺予防活動で必要と思われる事
関係機関との連携



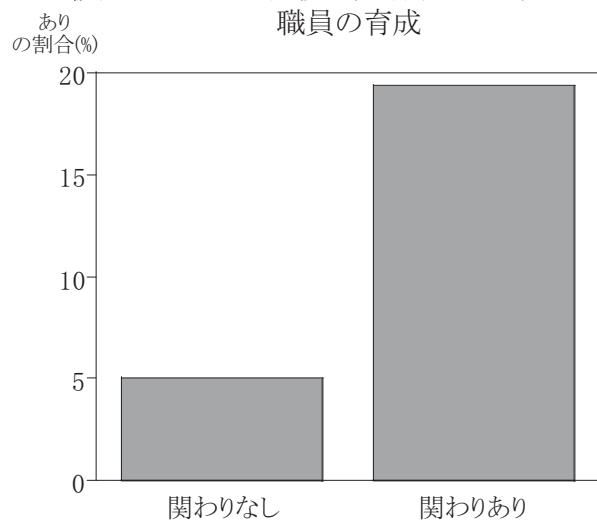
被災地域における自殺予防活動で必要と思われること:関係機関との連携

	関わりなし	関わりあり
なし	16	25
あり	4	11
ありの割合	20.0%	30.6%

P 値
0.533

⑥職員の育成

被災地における自殺予防活動で必要と思われる事
職員の育成



被災地域における自殺予防活動で必要と思われること:職員の育成

	関わりなし	関わりあり
なし	19	29
あり	1	7
ありの割合	5.0%	19.4%

P 値
0.236

5.まとめ

1) 被災地自死者の実態についての所見のサマリー

- ①遺書を残す割合は 65 歳未満 (46%) が 65 歳以上 (0%) より有意に大きい。
- ②未婚者の割合は 65 歳未満 (48%) が 65 歳以上 (0%) より有意に大きい。
- ③親と二人暮らしの割合は 65 歳未満 (15%) が 65 歳以上 (0%) より有意に大きい。
- ④体調不良の割合は 65 歳以上 (62%) が 65 歳未満 (15%) より有意に大きい。
- ⑤精神疾患ありの割合は 65 歳未満 (33%) が 65 歳以上 (3%) より有意に大きい。
- ⑥身体疾患ありの割合は 65 歳以上 (55%) が 65 歳未満 (7%) より有意に大きい。
- ⑦借金ありの割合は 65 歳未満 (19%) が 65 歳以上 (3%) より大きい傾向にある ($P<0.1$)。
- ⑧病気ありの割合は 65 歳以上 (72%) が 65 歳未満 (37%) より有意に大きい。
- ⑨転居ありの割合は 65 歳未満 (26%) が 65 歳以上 (7%) より大きい傾向にある ($P<0.1$)。
- ⑩失職ありの割合は 65 歳未満 (15%) が 65 歳以上 (0%) より有意に大きい。
- ⑪無職の割合は 65 歳以上 (26%) が 65 歳未満 (59%) より有意に大きい。
- ⑫給与所得者の割合は 65 歳未満 (19%) が 65 歳以上 (0%) より有意に大きい。
- ⑬農業収入ありの割合は 65 歳以上 (28%) が 65 歳未満 (7%) より有意に大きい。
- ⑭年金収入ありの割合は 65 歳以上 (83%) が 65 歳未満 (11%) より有意に大きい。
- ⑮「身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩・苦痛を訴えている」者の割合は 65 歳以上 (55%) が 65 歳未満 (15%) より有意に大きい。
- ⑯「失業や経済的破綻を経験した」者の割合は 65 歳未満 (41%) が 65 歳以上 (17%) より大きい傾向にある ($P<0.1$)。
- ⑰「精神症状を呈している、精神疾患を合併している」者の割合は 65 歳未満 (44%) が 65 歳以上 (17%) より有意に大きい。
- ⑱「慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している」者の割合は 65 歳以上 (66%) が 65 歳未満 (11%) より有意に大きい。
- ⑲「アルコール多飲」の割合は、関わりあり群 (19%) が関わりなし群 (0%) より有意に大きい。

2)事例編の考察及び提言

本調査は、中越地震後の被災地における自死者のうち、死亡以前より自治体保健師がかかわっていたか、あるいは、かかわっていなかったが、故人の生活状況や経済的、心身の健康状態に関する情報を把握し得た56名を対象として、被災地における自死の実態、ならびにその類型を検討したものである。

今回の検討では、次の二つの観点を重視して分析を進めた。一つは、新潟県においてかねてより問題となっている高齢者の自死の特徴を明らかにするために、対象を死亡時点で65歳以上／65歳未満で2群に分類し、その2群間で生活状況や経済的状況、心身の健康状態に関して比較した。もう一つは、今後の地域保健活動に際して自殺予防に資する知見を得るために、対象を死亡前における自治体保健師のかかわりの有無で2群に分類し、同様に生活状況、経済的状況、心身の健康状態に関する比較を行った。

以上の検討の結果、65歳以上の自死者、ならびに保健師がかかわりを持っていた自死者に関して、いくつかの興味深い結果が得られたので、以下に考察を行う。

①被災地における高齢自死者の特徴

まず、本調査から明らかにされた65歳以上の自死者の特徴について述べる。65歳以上・未満とのあいだの比較では、多数の項目に関して有意な関連が認められたが、その多くは自死者の特徴というよりも、一般の高齢者に広く見られる可能性が高いものであった。しかしそのなかでも、高齢者の自殺予防という観点から重要と考えられた特徴は、65歳未満の自死者に比べて、体調不良の訴えをしていた者、身体疾患を持つ者、身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩を訴えていた者、慢性ないしは進行性の身体疾患に罹患していた者が有意に多い、という結果であった。

確かに身体的不調は一般の高齢者にも広く見られる現象と考えるべきであるが、しかし、それでも今回この点を改めて強調する必要があると感じたのには、理由がある。それは、本調査では、65歳以上の自死者では、従来、自殺の重要な危険因子の一つされてきた、借金や経済的破綻、あるいは精神疾患への罹患といった要因を持つ者が少ないという結果も得られていたからである。このことは、高齢者の場合、経済的な困窮や精神疾患に罹患していない、一見すると自死とはさほど縁薄く感じられる者であっても、身体疾患への罹患という、高齢になれば少なくない者が体験する出来事が、その人を自死へと傾ける重要な要因になりうる可能性を示唆している。

②高齢者の自死予防のための提言

以上を踏まえれば、被災地における高齢者の自死予防対策としては、精神保健的問題に限定されない、健康全般に対する総合的な取り組みが必要である。なかでも、身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩を訴えている高齢者に対しては、積極的かつ高頻度のかかわりや見まもりを行いながら、折に触れて自殺念慮に関する評価を繰り返し行っていく必要がある。

③保健師のかかわりのあった自死者の特徴

続いて、本調査から明らかにされた、自治体保健師がかかわりを持っていた自死者の特徴について述べる。

本調査では、生前より保健師がかかわりを持っていた自死者の特徴として、アルコール多飲を呈していた者が有意に多く認められた。この結果は3通りの解釈が可能である。第一に、そもそもアルコール多飲によるさまざまな問題を呈していたからこそ、保健師が関与せざるを得なくなったことを反映したものと捉える解釈があり、第二に、保健師が関与していたからこそ、その者のアルコール問題に気づくことができたことと捉える解釈も成り立つ。そして最後に、アルコール問題を抱えている者は、地域保健的支援があっても自死を防ぐことが困難かもしれないという解釈である。

これら三つの解釈のうち、いずれがより妥当であるのかについては、今回の調査から得られた情報だけでは判断することはむずかしい。しかし、最後の可能性については、この機会に改めて援助者側が十分に認識しておく必要がある。というのも、すでに国内外の多くの研究により、たとえ依存症水準に達していない程度のアルコール多飲でも、自死のリスクを著しく高くすることが明らかにされているからである。実際、連日大量の飲酒を続けていると、二次的にうつ状態が誘発されやすくなり、また、すでにうつ病などの精神疾患に罹患している者が飲酒をしていると、うつ病が難治化し、薬物療法抵抗性となり、治療経過中の自傷や自殺企図の頻度が高くなることがわかっている。さらに、アルコールの薬理作用は、すでに存在する自殺念慮を増幅させるとともに、衝動性を高めて、自殺の行動化を促進するはたらきがある。

④被災地における自死予防のために

自死に関連する精神保健的問題としては、ともすればうつ病ばかりが脚光を浴びているが、実は働き盛り世代の男性に対する自死予防といった観点からいえば、アルコール問題対策は、うつ病とほぼ同等かそれ以上に重要である。しかしわが国では、精神保健・精神科医療関係におけるアルコール乱用・依存患者に対する苦手意識が強く、新潟県内においても専門医療機関の整備体制は十分とはいえない状況である。こうした状況を踏まえると、被災地における自死予防対策として、地域保健活動のなかでアルコール問題に対するスクリーニングと早期介入、ならびに依存者家族の支援をしていけるよう、保健師のアルコール問題対応能力を高めていく必要がある。併せて、被災地域における専門医療体制の整備も必要といえよう。

< 特別寄稿 >

東日本大震災 被災地における
自殺予防の取り組み

「岩手県の被災地におけるこころのケアと自殺対策」

岩手医科大学医学部神経精神科学講座 災害・地域精神医学講座

岩手県こころのケアセンター 副センター長 大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

岩手県こころのケアセンター センター長 酒井 明夫

1. 中長期的な被災地のこころのケアのモデル (図1)

こころのケアの中長期的目標としては、地域が主体となること、そして地域の医療や保健活動を通じた被災住民の支援が行き届くこと、被災住民が援助を求めたとき、支援を享受できる体制を構築することである。そして、被災地が健康な暮らしを享受しながら生活再建や地域の復興を目指すことの基盤を支援していくことがもとめられる。

第一に、仮設住居入居が開始されると、それまでの避難所の集団生活から個々の生活へ状況が変化するため、巡回、訪問のニーズだけでなく、援助希求を背景として相談の場を求めるニーズも高まることを想定し、相談の拠点を整備する必要がある。第二として、精神医学的介入の強度を低下させていくときに、地域精神保健福祉的介入を強め、最終的に住民主体で住民力が向上するような目標が必要である。地域精神保健的介入を実践する上で、関係従事者へのケア的な視点や、教育的アプローチが求められる。第三として、地域への介入を検討する上で、地域を被災状況やこれまでの精神保健的問題からリスク区分し、それぞれの地域の状況に合わせて介入を行うことを目標とする。

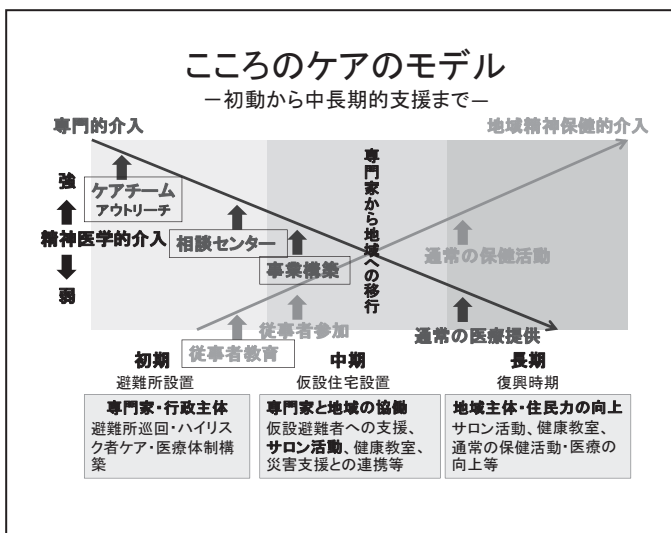


図1. こころのケアモデル

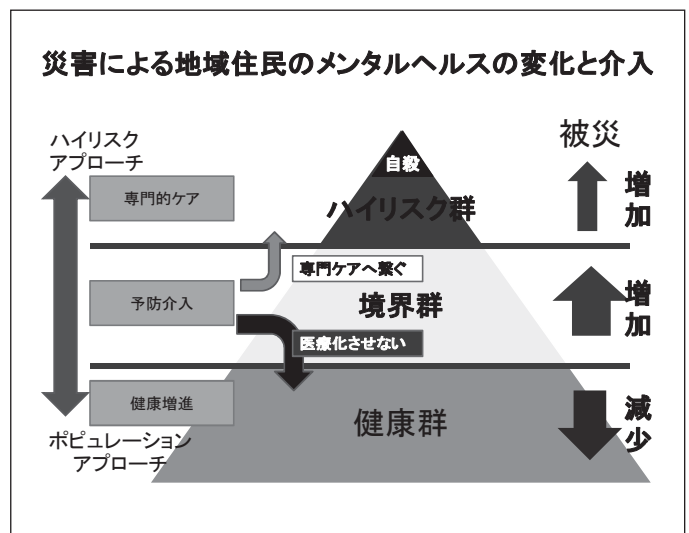


図2. 災害による地域住民のメンタルヘルスの変化と介入

2. 地域リスク区分と介入について (図2)

地域ではメンタルヘルスの危機にあり、不調をきたしている疾患群レベルのハイリスク者に対しては、専門的ケアが重要である。また、境界群は必要なものを専門的ケアに結びつける必要がある一方で、医療化させないアプローチも重要で、予防介入が必要である。また、健康レベルにあるものに対しても広く健康増進の観点で

メンタルヘルスを向上させていくアプローチが必要である。岩手県では被災地のこころのケアモデルと自殺対策を組み合わせながらこころの健康づくりを進めている。

3. 岩手県における自殺対策：久慈モデル

我が国の自殺者数は1990年代より毎年2万人前後で推移していたが、1998年以降急増し、3万人を超えていた。岩手県は自殺の高率県の一つである。岩手県では保健医療圏ごとにみた県内の自殺率の地域格差が大きい。特に北部の久慈地域、二戸地域の自殺死亡率は2002年時点で、過去20年間を通じて著しく高い。

我々の調査では（高谷，2006）、1986年-1991年、1992年-1997年、そして日本全体の自殺者数が急増した1998年-2003年の岩手県内の9医療圏（経済・文化的背景を共有する行政単位）の自殺SMRを期間毎に求め、「各医療圏の地域の社会指標」との相関関係（Spearmanの順位相関係数）を示したものである。1986年-1991年では、男性では自殺SMRと精神病院数、一般診療所数との間に負の相関、年少人口割合（15歳未満）との間に正の相関を認めた。しかし、女性では相関を認めた項目は存在しなかった。1992年-1997年においては、男性では一般診療所病床数、人口密度、一般診療所数との間に負の相関があり、女性では1986年-1991年と同様、相関する項目はなかった。

1998年-2003年では、男性では医師数、人口密度、人口1人当たりの分配所得、一般診療所数、一般診療所病床数との間に負の相関、女性では、病院数との間に負の相関があった。統計的な検討から、岩手県の自殺集積性に過疎化、医療資源の乏しさ、失業という経済問題と関連している事が明らかとなった。

このように自殺集積性の高い地域住民は乏しい社会資源・低い人口密度・低い分配所得と高い失業率という社会的な困難を抱えている。こうした現状を踏まえた上で自殺対策を立てていく際には、これら自殺の危険因子を現実的に除去できるのか、またはそれが無理で防御因子を高める方略を採用すべきなのかを判断しなければならない。前者の場合、例えば、医師数を増やすことや失業率を減らすなど、社会問題に真正面から取り組む必要がある。しかし、こうした社会的問題を直ちに解決することには非常に多く困難が伴う。したがって早急な自殺対策は望めない。以上から久慈地域の自殺対策は包括的なプログラムの実践、地域の自殺率や社会的指標の検討、事業の進め方、自殺対策の対象領域の拡大などを重要視してきた。

久慈の自殺対策モデル【久慈モデル】を下記に要約する。

1. 6つの骨子（ネットワーク、一次・二次・三次予防、精神障害・職域）に基づく対策
2. 既存の事業と新規の事業（ネットワークと人材養成）による事業構成
3. さまざまな人、組織、場を活用した地域づくりの視点に基づく対策
4. 地域診断を反映し、時間軸に沿った活動計画と計画修正

久慈地域の自殺対策は地域の住民、医療、行政を巻き込んだ包括的な取り組みであり、対策・評価を行うには保健医療圏単位で行うことが望ましいという視点にたち、久慈保健所管轄の4市町村が連携して岩手医科大学が協力して、自殺対策を行ってきた。

4. 住民のメンタルヘルスリテラシーを向上させる

WHO（Towards Evidence-based suicide prevention programmes）では、自殺予防をある一定の地域集団への全体的な介入、ハイリスク者支援やゲートキーパー養成などの選択的介入、自殺の危険性があるものへの個別介入の三つのレベルで説明している。全体的介入としては、自殺のアクセスを制限させる

介入とメンタルヘルスリテラシーを向上させる介入が重要である。メンタルヘルスリテラシーとは、メンタルヘルスに対する知識、理解、支援の活用能力で構成される。例えば普及啓発はメンタルヘルスリテラシーを強化させる取組であり、メンタルヘルスに対する偏見や否定的イメージを和らげることに つながり、一般住民の援助希求行動を促進させる。

Nutbeam D (Health Promot. Int. 2000) によるヘルスプロモーションのアウトカムのモデルとしては、教育、アドボカシー、社会的動員というヘルスプロモーション活動のアウトカムとして、ヘルスリテラシー、社会の行動と影響、公衆衛生の政策や機関での実践が設定される。そして、健康なライフスタイル、効果的な健康サービス、健康的な環境が健康のアウトカムとなり、最終的な健康や社会のアウトカムがもたらされる。メンタルヘルスにおいても、ヘルスプロモーションとして、メンタルヘルスの教育効果や権利擁護、広がりという点が非常に重要である。社会的動員という観点でも、メンタルヘルスに関わる様々な領域が加わるネットワークによる活動が必要な視点や、わかりやすく、共有しやすいメッセージを伝えていくことが求められる。

5. 既存の事業

ヘルスプロモーションとしてメンタルヘルスリテラシーを向上させるという点では、自殺対策という単独の事業だけではなく、検診や保健指導などの保健事業との連携を行う必要がある。なぜなら、メンタルヘルスの危機にあるものは、必ずしも自殺対策の単独事業の対象とならないばかりであり、キャッチメントエリアは広く健康問題に広げていく必要もある。その上では、たとえば検診の場でのリーフレットやパネル設置、相談体制、スクリーニングなども効果的であると考えられる。また、保健指導でもメンタルヘルスについても少しの時間でもいいからあててみるというような工夫も必要である。

また、地域では健診をはじめとした住民への保健事業が毎年行われてきた。現場では、災害支援を行う一方で、通常の保健事業を実施しなければならない状況に直面している。こころのケアだけでなく、全体の地域の保健事業を念頭におきながら支援を考えていく必要がある。岩手県においては、うつスクリーニングを久慈地域での取組をモデルに、全医療圏域で研修会等を行い、普及に努めてきた。特定健診やがん検診、その他の場でのスクリーニングや健康チェック等とその後のフォロー体制の礎にもなっている。スクリーニングではその後のフォロー体制が重要であり、特に関係機関の連携や、対応する人材の育成が求められる。

6. 自殺対策の仕組みづくりとネットワークの意義

地域における自殺対策では、自殺の一次予防から三次予防までを包括的に実践することが必要である。また、自殺のハイリスク者の抱える問題は多次元的であり、医療モデルに加えて社会モデルとしてのソーシャルサポートや、行政的な社会保障の方策など複合的な対応が必要となる。当地域でも既存の事業と新規の事業の中でどのように自殺対策を行っていくか、という点を考慮しながら進めている。

自殺対策を地域で実践する上では、地域の実情に合わせて対策の在り方を構築していく「地域づくり」という観点が必要となる。「地域づくり」としては、対策に関わる従事者を育成する「人づくり」と関連する領域の「システム（ネットワーク）づくり」が重要と考えられる。

地域における総合的な自殺対策には、様々な機関や団体に関わる。行政、医療機関、関係機関、そして住民組織を代表として、社会モデルや医療モデルの組織、行政や公共団体、民間団体という次元で地域にはさまざまな社会資源が存在する。

地域で自殺対策を包括的に行う際に中核となるのは、地域の行政、医療機関、関係機関などから成るネットワークである。包括的な自殺対策を実践する場合、これらの領域がネットワークを構築し、地域の問題点を共有し、対策を検討し合い、そして現場レベルでの情報を共有することや連携をとることにつなげていくことが重要と考えられる。

自殺のハイリスク者の抱える問題は多次元的であり、加えて、普及啓発活動により関連機関にさまざまな相談が持ち込まれるため、実効性のあるネットワークは極めて重要な要素である。

地域の自殺対策として設置される自殺対策のネットワーク活動は被災後のメンタルヘルス対策の支援ネットワークとしても機能し、自殺対策と災害支援を並行してすすめることが可能となる。

システム：関連機関および従事者ネットワーク

ネットワークは、大きく関連機関のネットワークと実務者のネットワークに分けられる。都道府県単位、市町村単位のネットワークは、関連機関や団体がそれぞれの領域における自殺対策を検討し、相互に連携して地域全体の取り組みを促進する働きがある。ネットワークの構成機関が自殺予防の問題点を共有し、対策を検討し合い、特に現場レベルでの情報を共有することや連携をとることはきわめて効果的である。

都道府県単位、市町村単位のネットワークは、関連機関や団体がそれぞれの領域における自殺対策を検討し、相互に連携して地域全体の取り組みを促進する働きがある。

これに加えて、関連機関・団体の実務者ネットワークが構築されれば、実務者同士の交流が促進され、実務者同士が顔の見える関係となり、人と人とを繋ぐ地域の連携が実現される。ネットワークを構築することは、従来の関連領域の対策を強化することに加えて、これまで可視化されていなかった問題点や関連性に注目し、新たなシステムを構築することのような変化をもたらすという効果もある。たとえば、経済問題を動機とした自殺への対策として保健医療の領域で行われてきた自殺対策と、多重債務対策などの社会問題への対策、遺族への対策が連動して行われることになれば、新たな可能性をうむと考えられる。

7. 支援の階層モデルと人づくり：自殺対策に従事する者への支援

一般にメンタルヘルスに関する支援は一般住民レベルの気軽な相談、ボランティアや社会福祉協議会などの生活困りごと相談のような生活支援レベルの相談と各機関の連携、行政や関係機関における問題解決的支援や専門家との連携、専門家における専門的解決（医療福祉的・法的等）の次元があり、各支援が階層化されフィルターを形成している。地域においては専門家しか支援に関わらないということは、支援の敷居が高く、偏見も強まってしまふと考えられる。また、問題を抱えたものが本来必要ではない支援が提供されるか、もしくは支援が得られないということが起きてします。したがって、地域ではフィルターが多く設定されるほうが、適切な支援をうけることができ、豊かな地域ケアが展開されると考えられる。自殺対策では「人づくり」、すなわち従事者の育成や支援という点も重要である。

そして、支援の介入レベルが階層化されている一方で、悩みを抱えた人が支援にたどり着くまでにアクセス性の検討も重要である。たとえば、精神医療の受療についても、たとえば英国では一般医と専門医が役割分担をされていたり、米国では保険により制約をうける。その他、受療までの抑止策を講じられているなど、精神医療へのアクセスのフローが存在する。一方、日本では精神医療へのアクセスは原則として制限はない。利点としては自己決定権が生かされるという面があり、どの階層や領域の支援も自由に選択が可能である。階層化レベルでのさまざまな次元の支援が入り口となるが、適切な支援にたどり着くには連携した支援システムが

必要となり、連携していないと適切な支援をうけることができない可能性がある。我が国の自殺対策においてネットワークが重要な役割を担うのは、このような支援へのアクセス性の問題が存在するのもその理由としてあげられる。

自殺対策に関わる者は精神医療従事者等専門家から保健師等行政担当者、ゲートキーパー、一般住民まで幅広い。特に、自殺対策の従事者は自殺のハイリスク者や遺族を支援することや、周囲との協力体制や連携体制を構築していく時に、しばしば心理的な負担や疲労、葛藤を抱え、しばしば燃え尽きや孤立を経験することも少なくない。ネットワーク構成員に対して、スキルアップの研修会や事例検討会を行っていくことは、そのような困難を解決するために大切な取り組みである。また、ネットワークを定期的開催し、顔の見える関係を構築していくことは、自殺対策を共有したり、従事者同士の信頼と共感的な関わりが促されることもあり、心理的なエンパワメントとしても効果的であると考えられる。

各領域で求められるスキルはそれぞれの職種で異なるものの、これらに共通した骨子は「語りを大切に」することである。

スキルをそれぞれに発揮してもらうことが、地域での支援体制やライフラインの整備につながると考えられた。

7. ゲートキーパー養成

ハイリスク者支援やゲートキーパー養成などの選択的介入は²⁾、自殺のリスクのあるものの精神保健サービスの活用を促進させる。ゲートキーパー養成プログラムを実施することが知識やスキルを向上させるために重要である。ゲートキーパー養成プログラムでは自殺のリスクや抑うつ症状への対応の知識や意識、スキルが向上することが期待される。

筆者の研究班（平成 22 年度科学研究費補助金基盤 C「医療、精神保健、および家族に対する精神科的危機対応の習得を目的とした介入研究」、主任研究者）も作成に加わったメンタルヘルス・ファーストエイドをもとにした内閣府のゲートキーパー養成プログラム（内閣府 HP：http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/kyoukagekkan/gatekeeper_text.html）は、自殺対策のゲートキーパーに求められる知識やスキルを習得できる。ゲートキーパー向けプログラムは、視覚教材である DVD ビデオ（普及啓発用、ゲートキーパー養成研修用）、テキスト（ゲートキーパー養成研修用テキスト；解説、ロールプレシナリオ）、簡易型リーフレット、ゲートキーパーQ&A、という一連のキットとして作成されている。ビデオ視聴は一般住民、ゲートキーパーへの普及啓発、知識/意識/スキル向上が目的とされ、ビデオ視聴とロールプレイによりゲートキーパー養成研修等での知識/意識/スキル向上に役立つものである。また、Q&A は双方向性教育と達成度確認になり、ゲートキーパー手帳は学習の継続効果を期待され、また、テキストによる学習も視野に入れている。また、内閣府HPでもビデオ視聴が可能であり、e-learnig の要素も取り入れている。

メンタルヘルス・ファーストエイド（Mental Health First Aid, 以下 MHFA）は、メンタルヘルスの問題を有する人に対して、適切な初期支援を行うための5つのステップからなる行動計画で、オーストラリアの Betty A Kitchener と Anthony F Jorm により開発されたものである。このプログラムは、心理的危機に陥った方に対して、専門家の支援が提供される前にどのような支援を提供すべきか、どのように行動すべきか、という対応法を身につけるプログラムで下記の5つの基本ステップで構成されている。

- 1) 自傷・他害のリスクをチェックしましょう (り；リスク評価)
- 2) 判断・批判せずに話を聞きましょう (は；はんだん、批評せずに話を聞く)
- 3) 安心と情報を与えましょう (あ；あんしん、情報を与える)
- 4) 適切な専門家のもとへ行くよう伝えましょう (さ；サポートを得るように勧める)
- 5) 自分で対応できる対処法（セルフ・ヘルプ）を勧めましょう (る；セルフヘルプ)

同プログラムを基にした内閣府主催の研修会も平成 23 年度に 2 回に開催され、テキストも内閣府 HP よりダウンロード化になっており、被災者のケアに携わる従事者の教育として活用が期待される。

8. 従事者支援

また、地域の従事者への支援が被災地では必須の課題である。たとえば、消防署員や消防団員は人命救助の最前線で、自己犠牲の精神で、非常事態の中で懸命に業務にあたってきた。遺体搜索活動や津波時の救助活動等、心的外傷体験を持つものも少なくない。また、行政職員も大震災の復旧復興業務等に係り勤務時間の増加など被災後の強いストレスを経験したのも多数おり、職員の健康状態が懸念されている。職員自ら健康について考え、健康チェックを行うことで、自己の健康状態に気づき、早期に対処、対応することで未然に病気を防ぐことを目的として、職員の健康チェックとその後のフォローに協力した。健康チェックとして一部にメンタル部分を含めることで、全職員が気軽に回答できるようにした。また、健康度チェックは、病気を判定（診断）するものではないということを周知した。実施にあたっては、庁議メンバー（首長、全部課長）の説明会、産業医とも連携を図り、ラインによるケアを生かした体制を整備した。個別に結果を通知し、その後の健康相談会にて個別支援も提供していくことなどが行われている。

9. 久慈モデルの自殺対策の普及

活動開始後、包括的な事業展開により一次予防から三次予防、ネットワーク活動まで包括的に自殺対策が実践されている。また、自殺者数は、対策開始時に久慈管内で年間 30 人台後半で推移していたが、現在は 10～20 人台で推移している。その背景の住民の意識では、たとえば、平成 14 年と 16 年、23 年との比較において、例えば「気分が落ち込んだ時、精神科を受診してみようと思う」と回答する割合は、17%、22%から 33%に上昇するなど地域の意識の向上が認められている。久慈地域の自殺対策が「久慈モデルによる自殺対策」（大塚、酒井）としてマニュアル化され、岩手県精神保健福祉センターにおいて全県の保健所、市町村担当者向けに平成 21 年度よりワークショップ形式の研修会として開催されている。平成 22 年度までに、34 市町村の中で 28 市町村が方法論を取り入れてきた。自殺対策を全県的に推進してきたことは、東日本大震災津波においても、保健医療保健福祉従事者がこれまで得た自殺対策の方法論を活用、応用しながら被災地の住民への支援に取り組むことにつながっている。また、地域のネットワークは、被災地において地域の資源を活用した支援を行うことを可能とした。そして、支援の階層化がすすめられており、傾聴ボランティアや地域の老人クラブや社会福祉協議会等によるサロン活動は、岩手県のこころの健康を視野に入れたサロン活動の礎となっていた。このような取り組みは、全県的な取組にも広がり、被災地においても災害発生早期からサロン活動を実践することにつながったと考えられる。

謝辞 本稿を終えるにあたり、岩手県の被災後のこころのケアに、温かい支援を賜りました新潟こころのケアセンターの皆様にご心より感謝申し上げます。

参考文献

1. 大塚 耕太郎 , 酒井 明夫 : 岩手医科大学における被災地ケア : 中長期的対策に向けて (特集 東日本大震災の復興計画と中長期的支援) . 精神神経学雑誌 114(3), 211-217, 2012
2. 高谷友希, 智田文徳, 大塚耕太郎, ほか.: 岩手県における自殺の地域集積性とその背景要因に関する検討. 岩手医学雑誌. 2006;58(3):205-216.
3. (大塚耕太郎, 鈴木友理子, 藤澤大介, ほか監修) . ゲートキーパー養成研修用テキスト第 2 版. 東京: 内閣府; 2012.

「宮城県における震災後支援の現状と課題」

東北大学大学院医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学教室

みやぎ心のケアセンター 地域支援部長 福地 成

東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄付講座

みやぎ心のケアセンター 副センター長 松本 和紀

はじめに

我が国は地震大国であり、過去の地震と津波の記録は多く存在する。東北地方は明治三陸地震（1896）と昭和三陸地震（1933）を経験しており、各種の「いいたえ」やモニュメントが存在する。こうした警鐘にも関わらず、結果的に甚大な爪痕を残し、誰もが「もっと自分にできることはなかったのか」と感じている。今後同規模の災害が東北以外の地域に生じる可能性もあり、急時に迅速な支援を行うことができるよう、その糸口となる実情を報告することが被災地に生きる専門職の責務と感じる。

被災地では急性期を過ぎて中長期のフェーズに至り、地域生活や支援活動には時々刻々と変化が見られる。人々が居住する空間から瓦礫は撤去され、一部の廃材置き場に寄せ集められ山積している。地域住民は避難所から仮設住宅へ移動し、それぞれが抱える社会問題と対峙している。全ての根源はいずれも将来が見えないことへの不安感にあり、時期や地域によって抱える問題が異なっている。もはや「こころのケア」だけに焦点付けた対応では不十分であり、雇用や経済情勢に即した政策を必要としている。そこには地域公衆衛生学としての知識に基づいたアプローチ手法と、個別の地域事情に即した発想の双方が必要とされている。

本稿では「みやぎ心のケアセンター」の活動について報告し、宮城県の災害後支援の現状と課題について記し、最後に地域作りへの提言も含めて筆者の所感を述べる。

みやぎ心のケアセンターの概要

東日本大震災の被害を受けて、震災復興に特化したメンタルヘルス事業を担う役割で、平成23年12月に当センターは開所された。被災主要都市を拠点として、基幹（仙台）、石巻、気仙沼の3地域センターを設置し（図1）、それぞれの地域センター長は地域で活動する主要医療機関の精神科医に依頼する形をとった。職員は常勤34名、非常勤24名の計58名で（平成24年12月現在）、職種は医師、保健師、精神保健福祉士、心理士、看護師、事務職など多職種で構成されている。常勤職員のうち、被災県外からは10名が採用されており、県内外出身の職員が協力しながら職務に当たっている。非常勤職員の多くは、地元の精神科医療機関や東北大学の職員が兼務する形となっており、地域の精神科医療関係者との連携も重視している。当センターでは、①普及啓発、②支援者支援、③人材育成、④地域住民支援、⑤各種活動支援、⑥調査・研究の6本の柱で事業を展開している。実際には、震災により傾いた地域精神保健活動の再構築が最大の目標である。つまり、当センターの活動指針に沿った活動方針を貫徹するのではなく、各自治体で立てられた精神保健指針に応じた支援を原則としている。各地域の文化的な背景や既存のシステムに準じて、それぞれの地域で行う支援を変えていくことが求められる。開所から1年経たない組織であり、未だ手さぐり状態での活動を行っているのが実情である。

人口動態の変化に伴う問題

津波による浸水や原発による警戒区域により、東北地方では人口動態が大きく変化した。働き盛りの年代は雇用を求めて被災地を離れ、残された地域はより一層の高齢化を招いている。介護サービスの利用を求めて要介護認定の申請が増えているものの、復旧の遅れのため利用可能な施設は限られており、現場で働く介護従事者が不足しているのが実情である。震災後に身体活動が制限され、一層運動機能の低下を来したことも要介護者増加の一因と考えられた。また、今まで家族同士で支え合ってきたものの、若年層が地域を離れたことにより老々介護を余儀なくされているケースも少なくなかった。今後は復興住宅の建設に伴い、応急仮設住宅の利用者が減少し、集約化されていく可能性がある。復興住宅には生活に困窮する事情を抱える住民が優先して入居することが想定され、それゆえに生じる問題への対処も必要になると考えられる。

東南北部に居住している家族は、原発事故の放射能に対する不安から他県に避難することが多い。しかし、避難先に安定した雇用が約束されている訳ではないため、必然的に母子だけで避難することになった。父親のみが居住地に残り仕事を続け、週末に家族が再会するという生活様式になった。母子だけで不慣れた土地で生活し、放射能に晒され続ける父親の身を案じ、二重生活のための経済的負担も重くのしかかるのである。特に乳幼児を抱えた母子、妊産婦にとってはあまりに重すぎる負担である。また、避難先が人口流入している地域であれば、元々の住人との間に軋轢を生じ、肩身の狭い思いをして生活することもある。こうした家族にとって、この生活がいつまで続くのか見通しがつかず、その不安たるや想像を超える。子ども達はこうした全ての事情を正確に認識することは難しく、保護者の不安を肌で感じて生活を続けることになる⁴。

地域住民調査の結果から

被災地では各種団体を母体として、被災住民を対象とした健康調査が行われた。平成24年1月～3月には宮城県医療整備課が主体となり、民間賃貸住宅を仮設住宅として家賃の支援を受けている住民を対象として健康調査が行われた。対象世帯は12,826世帯に対して9,414世帯から回答があった（回収率73.4%）。調査用紙の中には、うつや不安・気分障害などの症状を有する住人を把握するためのK6⁵という質問紙が含まれた。今回の県内調査では、13点以上の「重症精神障害以上」と判定されたのは8.1%に上った。平成18年に川上らがK6を用いて全国調査を行い、一般住民の中で13点以上は3%だったと報告している⁶。一概に両者を比較することはできないもの、今回の調査結果では被災地住民の健康状態はすぐれないと考えられた。

こうした種々の調査結果に基づき、リスクが高いと判断された住民に対して、当センターが中心となり根気強い戸別訪問を行っている。平成24年4月～10月までの活動実績では、面接相談（戸別訪問および来所）が2,663件、電話相談が1,476件だった。主訴の多くは不眠や身体症状などであり、いわゆるトラウマに関連した症状を自覚して相談に繋がるケースは多くはなかった。また、リスクが高い仮設住宅では、社会的な孤立を防ぎ、地域の繋がりを強化するための各種「集い」が運営されている。地域が抱える事情により内容は様々であり、子育て世代を対象とした広場であったり、高齢者を対象としたお茶のみ場であったり、単身男性を対象とした「おとこの料理教室」などもある。その中に自然な形で専門職が溶け込み、普及啓発の講話や研修を行うこともあった。

職域のメンタルヘルス（資料1）

大規模災害では、支援者に惨事ストレスが起こることが知られているが、被災地で復興業務や住民への支援業務に当たる職員や支援者には、長期のストレス状況が続いた。特に震災以前から現地に勤める職員や支援者は家族、同僚、友人が

犠牲者となったり、自宅が被害に遭った者もいた。また、外部から派遣された職員や支援者も多数働いているが、仕事上のストレスに加えて、新たな土地で孤立するリスクも想定された。当センターと東北大学予防精神医学寄附講座で共働して、職域に対する自殺予防対策も兼ねたメンタルヘルス対策を宮城県内の被災地で実施した。要請に応じて宮城県沿岸部の一部の市町村職員、各種労働組合、社会福祉協議会職員を対象として支援を実施した。職域に応じた研修会をマネジメントして提供し、メンタルヘルスに関わる冊子を配布、うつやトラウマ症状を含む質問紙により健康調査を行い、希望者やハイリスク者に対して個別相談を行った。健康調査の結果の報告も兼ねて啓発事業を行った。

地域の底上げ

どこの自治体も専門職が不足しており、人材の確保に困窮している現状がある。人材を外部から呼び込むと同時に、被災地域内で養成する動きも少しずつ見られている。精神保健に関わる職種に対する人材育成と、専門職ではなく地域を支えるキーパーソンの底上げである。前者に関しては、当センターと東北会病院で取り組んでいる「アルコール関連人材育成事業」について紹介する。東北会病院は宮城県内で唯一、アルコールをはじめとする依存症の治療の専門プログラムを有している精神科単科病院である。計6日間で集中的に研修を行い、講義と実習が組み込まれたプログラムになっている(表1)。初年度、対象は当センターの職員および被災した精神科病院の職員として、合計10クールで計29名が受講をした。実際の訪問時に身に着けた事柄が役立つことが多く、今後は受講対象を広めていく必要があるだろう。こうした人材育成事業をモデルとして、専門的な知識や実習を要する領域の人材を養成することが考えられる(児童・青年期、母子保健や高齢者など)。また、地元の専門職養成コースの学生実習への協力、短期間の専門職の研修受け入れなども考えていく必要がある。

仮設支援員、民生委員、ボランティアなどの非専門職を対象として、傾聴や自殺予防ゲートキーパー養成⁴⁾などを題材として研修会をマネジメントした。対象とする地域のニーズに合わせて、講話、ロールプレイ、グループワーク、リラクゼーションなどを組み合わせて提供した。多くは単発ではなく数回のシリーズであり、実践の中で生じる困難をフォローできるような体制で実施した。一方で、こうした対象者は自分自身が何らかの被災・喪失体験をしており、研修会の後には個別相談の時間を要することも少なくなかった。

地域精神保健の見直し

我が国の精神科医療は病院中心のシステムであり、「来る」人を専門職が「待つ」体制が根強く残っている。ゆえに、地域精神保健を支える公衆衛生としての精神医学が学問として十分に発展されてこなかった経緯がある。震災以降からは一転して、専門職が地域へ出向いて啓発活動を行い、ハイリスクの地域住人をピックアップする動きが強まり、既存の地域の力を底上げするような促しが急速に進んでいる。こうした地域精神保健の変容はあたかも急時に生じた特別なもののように感じるが、本来は当たり前のことであり、平時に戻っても継続するべき取り組みに違いない。我々は震災を契機に、地域精神保健の在り方について再考する必要があると強く感じる。

誰もが今回のような規模の災害は想定していなかった。備えることは大切だが、備えで対応可能な出来事ばかりが生じるとは限らない。どんなことが起きても対応できるような人材作り、地域作りを考えるべきである。今回のような規模の災害が生じると、コミュニティーを管理する組織そのものが壊滅し、通常の機能を取り戻すまでの間に「繋ぎ」をする役割が必要になる。地域として育成するべきはカリスマ性のある「リーダー」ではなく、各種の関連機関を繋げるような「ハブ役」である。「ハブ役」は平時より自由度の高い活動を与えられ、地域へ出て各種機関へ顔を売り、渡り歩いている必要

がある。大卒後に職に就いてから流動的な役割を与えても、なかなか動けるものではない。所定の学校教育の中でこうした思想を広め、「自由人」を許容する文化を根付かせていく必要がある。こうした人材を早い時期から育成し、地域に複数配置することが地域のレジリエンスを高めることに繋がる。複数のネットワークが、生き物のようにその時々で有機的に繋がったり離れたりしていくのが理想と考える。

参考文献

- 1) 福地成, (2012). 震災が養育環境に与えたもの. 子どもの虐待とネグレクト14 : 14-19.
- 2) Kessler RC, Andrews G, Colpe LJ, et al. Short screening scales to monitor population prevalences and trends in non-specific psychological distress. Psychol Med. 2002;32:959-76.
- 3) 川上憲人. 全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成 18 年度厚生労働省科学研究費補助金「国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究」分担研究書.
- 4) 内閣府ゲートキーパープログラム (内閣府 HP <http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/kyoukagekkan/gatekeeper-about.html>) .

資料 1. 被災地の職域における支援者へのメンタルヘルス対策

大規模災害では、支援者に惨事ストレスが起こることが知られているが、被災地で震災復興業務や住民への支援業務に当たる職員や支援者には、長期のストレス状況が続く。特に、被災地の職員や支援者は、同時に被災者でもあり、家族、同僚、友人が犠牲者となったり、自宅が被害に遭った者もいる。また、外部から派遣された職員や支援者も被災地では多く働いているが、仕事上のストレスに加えて、新たな土地で孤立するリスクもある。しかし、震災前から地方の市町自治体や中小の支援組織のメンタルヘルス対策は、一般的に不十分なものであることが多く、新たに震災に対応する形でメンタルヘルス対策を行うことが難しいことが多い。そこで、東北大学予防精神医学寄附講座がみやぎ心のケアセンターと共同で実施した、職域に対する自殺予防対策も兼ねたメンタルヘルス対策について、以下にまとめた。

対象：宮城県沿岸部の気仙沼市、南三陸町、石巻地方広域水道企業団、石巻地区広域行政事務組合、および、社会福祉協議会（気仙沼市、石巻市、女川町、七ヶ浜町、南三陸町、多賀城市、仙台市）

支援方法

- ・ 人事担当者との打合せ
- ・ 管理監督者への教育：研修会の開催、ワークショップ
- ・ 一般職員への啓発：研修会の開催、メンタルヘルスに関する冊子の配布
- ・ 精神的健康調査：うつやトラウマ症状を含む質問紙票の利用
- ・ 希望者に対する相談：健康調査後の都度開催、定期開催

支援内容

- ・ 人事課担当者との打合せは重要であり、自治体側のニーズを汲んだ上で提供できる対策について検討する。自治体ごとに、これまでとられてきたメンタルヘルス対策には違いがあり、震災の影響により、職場の課題は様々であった。
- ・ 管理監督者等に対する教育は重要であり、管理監督者に対するラインによるケアを強化する上でも、管理者に対してメンタルヘルス対策の意義や必要性を認知してもらうための取り組みが必要であった。
- ・ 一般職員への啓発は、健康調査の実施後に、その結果報告も兼ねた研修会を実施する形で行われた。小さな職場では、職員のほぼ全てが研修に参加することも可能であったが、大きな職場では、各部署から数名ずつが代表で参加するという形式をとる場合もあった。
- ・ 精神的健康調査は、職員全体の精神的健康度を把握することで職場全体の対策に活かすこと、質問紙票の利用により個々の職員のセルフチェックを促すこと、質問紙票によるハイリスク者の把握などの目的があった。今回は、多くの職域において、人事課側でハイリスク者を把握することが、人事に影響を及ぼしたり、職員側の過小報告を招く恐れがあり、人事課側には個別の結果を報告しないという対策がとられたが、この点については、今後検討の余地がある。
- ・ 健康調査の結果は、職域や実施時期によっても異なったが、これまでの解析では、一般的に被災地の公

的機関で働く職員の精神的健康度は、一般に比べて悪化していることが推定された。

- ・健康調査後の相談希望者は、概ね 5-10%の範囲にあった。そこで、相談希望について、「希望する」「どちらでもよい」「希望しない」の3択とし、どちらでもよいを選択した場合には、質問紙票の得点でハイリスク者に該当する者に対して相談を行った。相談を希望しないハイリスク者への働きかけをどのようにするかについては、今後の検討課題である。

まとめ

被災地の復興までの期間は長期に及ぶと予想されている。被災地において復興業務や支援業務に当たる人々は、長期間のストレス状況が続くことが予想される。従来から、こうした職員者や支援者へのメンタルヘルス対策の必要性は認識されているが、その方法論はまだ確立していない。今後とも自殺予防も兼ねた職場のメンタルヘルス対策を継続していく必要性は高く、中長期的に職場のメンタルヘルスのためのシステムづくりに役立つ支援を行いたいと考えている。

図1 みやぎ心のケアセンターの配置

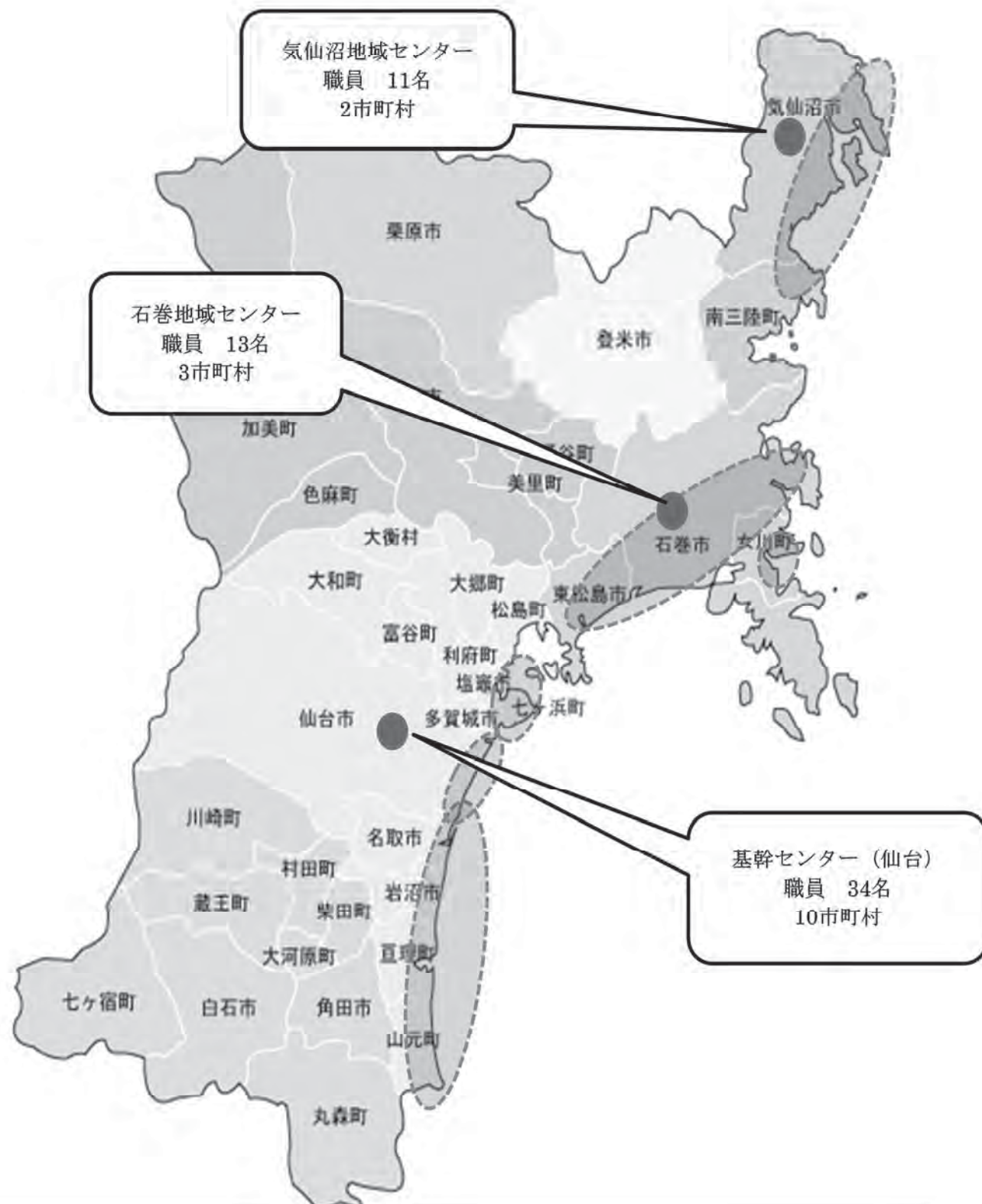


表1 アルコール関連人材育成事業

1 日 目	9:30～11:00	オリエンテーション	病院概要、外来(デイケア含む)・入院治療、AL 病棟について、看護部長・課長より講義
	11:00～12:00	院内 AA	入院患者を対象とした AA ミーティングの陪席
	13:00～14:00	DCにてグループセラピーを見学	ストレスケアマネジメントのグループか対人グループのどちらかを見学
	15:30～16:30	被災地におけるアルコール簡易介入法活用についての講義	飲酒について、社会問題、早期介入方法、AUDIT の活用方法についての講義。その後スクリーニング用紙・飲酒日記を実際に記入
	16:30～17:30	事例検討	専門スタッフが被災地支援の事例検討をしている場面に同席
	2 日 目	9:30～11:00	ビギナープログラム(AL 依存症外来患者及び家族のグループセラピー)
11:00～12:00		院内断酒会	入院患者を対象とした断酒会の陪席
13:30～15:00		アディクションオープンセミナー	依存症についての心理教育プログラムを見学し、専門医からの講義
15:30～16:30		家族グループセラピー	依存症者の家族だけのグループセラピーを見学
3 日 目	10:15～11:15	AL 病棟の認知行動療法	入院後2週間経過(初外泊・離脱期を脱した後)した患者で、10人弱を対象とした認知行動療法を行う場に陪席
	13:30～15:30	アルコール簡易介入の実践	デイケアメンバーに協力をいただき、AUDIT を用いての聞き取りを実際に行う。
	16:00～17:30	当事者メッセージ	AL 依存症である当事者の体験談を聴く。
4 日 目	9:30～12:00	アルコールの入院治療について	アルコール依存症がどのような病気か、その症状、認知行動療法を活用した治療についての講義
	14:00～15:00	薬物依存症リハビリ施設訪問	仙台ダルクを訪問し、施設内で行われているグループミーティングを陪席
	15:30～17:00	トラウマとアディクション関連ビデオ視聴	アダルトチャイルドのビデオの鑑賞とディスカッション
5 日 目	9:00～12:00	新患インテーク・外来診察	AL 依存を主訴として受診した患者の初回インテーク面接及び外来診察の陪席
	14:00～15:30	AL 病棟のグループセラピー	グループに初めて参加するような患者を対象として、メンバーが設定したテーマについてディスカッション
	16:00～17:30	AL 依存症者の家族支援	AL 病棟担当スタッフより、AL 依存症患者の家族の特徴、対応のポイントについての講義
6 日 目	10:00～12:00	患者へのオリエンテーション	系列のクリニックにて、ストレスとこころの病気(うつ・嗜癖・AL 依存症等)についてのワークショップ

* 1 日目から5 日目の研修終了後、オプションプログラムとして、地域のAAや断酒会を見学。(おおよそ 18:00～20:00)

「福島県における東日本大震災・原発事故災害後の自殺対策」

福島県精神保健福祉センター所長 畑 哲信

1. 精神保健の立場から見た災害の現状

(1) 急性のストレス

外傷体験や喪失体験は、急性ストレス障害 (ASD) や外傷後ストレス障害 (PTSD)、複雑性悲嘆など、専門的関わりが必要な状態をもたらす要因となる。今回の災害は、地震・津波と原発事故の複合災害であるが、それぞれの災害で異なる特徴を持つ。すなわち、地震や津波については被災体験が直接的であるが、原発事故については、爆発音を聞いて怖かったなどの体験はあったものの、一部の原発作業員以外、急性の人的被害を体験することはなかった。一方、原発事故では、避難者が多く、しかも原発に対する不安の中で遠方への避難を強いられ、4回、5回と避難所を転々とさせられた、という避難に伴うストレスが大きかった (表1) (表2)。

表1. 死者・行方不明者数・避難者数の比較 (県内避難者数は他県からの避難者を含む)

(平成24年11月21日現在、避難者数は11月1日現在、いずれも復興庁による)

	死者数	行方不明者数	県内避難者数	県外への避難者数
岩手	4671	1192	41057	1681
宮城	9530	1337	112689	8120
福島	1606	211	99139	58608

(人)

表2. 急性のストレスをもたらす要因 (災害体験)

地震、津波	・家屋の倒壊、すぐそばの崖が崩れた、家族が津波にさらわれた等
原発事故	・爆発音を聞いた等、原発に対する不安 ・避難のストレス (遠方への避難、避難所を転々とする)

(2) 慢性のストレス

慢性的なストレスはうつ病等の誘因となる。慢性のストレスをもたらす要因として、避難生活のストレス、経済・雇用面のストレス、放射能被ばくと汚染の長期化に伴うストレスなどがある。地震・津波も慢性のストレスをもたらすが、原発事故・放射能汚染の影響は、避難生活や経済・雇用面にも影響を与えて、それらのストレスをより大きくしている。原発事故では賠償金が支払われているが、仕事を失った、あるいは作ったものが売れない、というストレスは、生きがい、仕事のやりがい、生活習慣の変化といった経済面以外の側面も少なくない上、賠償金への不満や訴訟ストレスが加わると、さらにストレスが大きくなる。放射能の精神保健面への影響としては、放射能不安のストレスのほかに、屋外活動の回避などの生活習慣の変化を介した影響がある。特に、子供については、大人と比べてガン発生率等の影響が大きいと考えられているため、不安も大きく、生活の制限も大きくなりがちである。さらに、

子供自身の不安もさることながら、親の不安を介した子供への影響、親子関係への影響も加わる。

このように、福島県においては、原発事故による避難や放射能汚染があつて、全県に影響が及んでいることが特徴である。

表 3. 慢性のストレスをもたらす要因

避難生活	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先の環境として、居住空間の問題や地域生活に馴染めない ・遠方への避難の場合、気候や風土にも馴染めない ・いつ故郷に戻れるか分からない不安
経済・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・被災、避難に伴う雇用喪失 ・遠方への避難、避難の長期化と帰住の見通しのなさなどによる就業困難 ・一次産業に対する放射能汚染の影響
放射能	<ul style="list-style-type: none"> ・被ばくに伴う健康不安、汚染による継続的被ばく ・屋外活動回避などの生活習慣への影響 ・親の不安を介した子どもへのストレス
賠償	<ul style="list-style-type: none"> ・賠償金への不満、訴訟のストレス

(3) サポートの低下

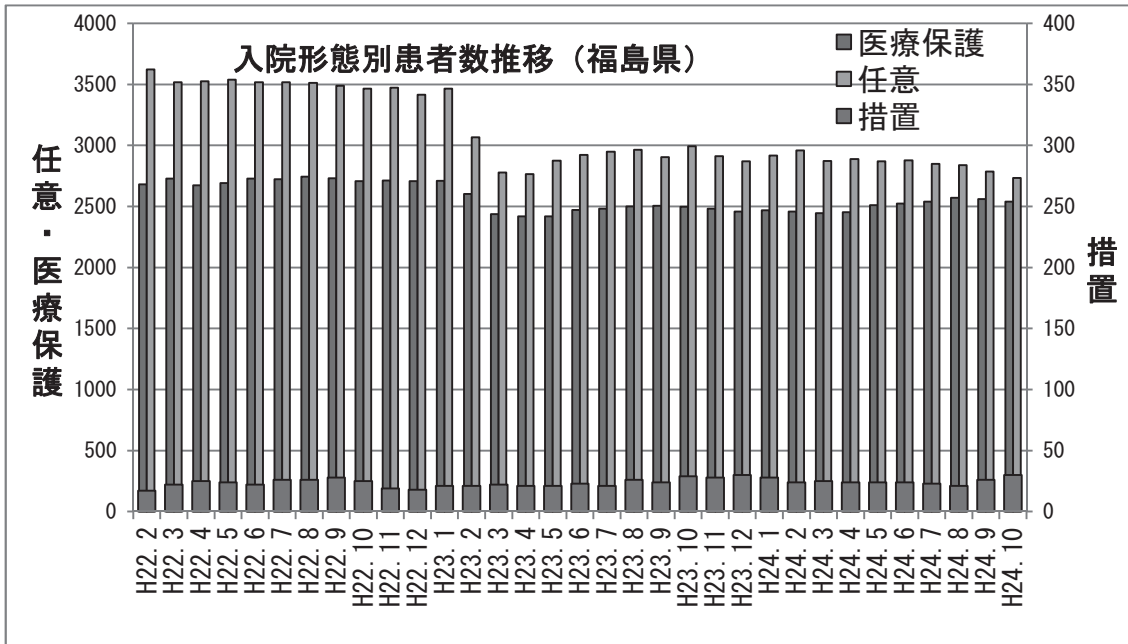
医療・福祉などの公的資源が被災や避難によって機能を損なわれるとともに、人材流出や、原発事故に伴う立ち入りや居住の規制によって、再建も困難となっている。特に、原発北側に位置する相双地域については、入院機能がほとんど回復していない。県全体で見ても、人口の減少を大きく上回る割合で入院病床が減少し、不足した状態が続いている（図 1）。その結果、特に任意入院が抑制される傾向が強く、医療保護＋措置／任意の比率が上昇している。すなわち、入院が遅れ、重症化してようやく入院に至っている可能性がある。

また、私的サポートについても、避難に伴って同居家族員の構成や地域社会が変化した。その結果、それまで家族内や地域で支えられていた高齢者や障害者が生活の困難をきたし、事例化することが見られている。また、放射能汚染に伴う母子避難によって母子家庭化し、大きなストレスを抱えてしまう例も見られる。

表 4. 被災によるサポートの低下

公的サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉などの公的資源の損傷 ・人材流出による再建困難
私的サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の支えが損なわれる ・家族の支えの低下（高齢者・障害者の孤立や母子避難）

図1. 福島県における入院形態別入院患者数の変化

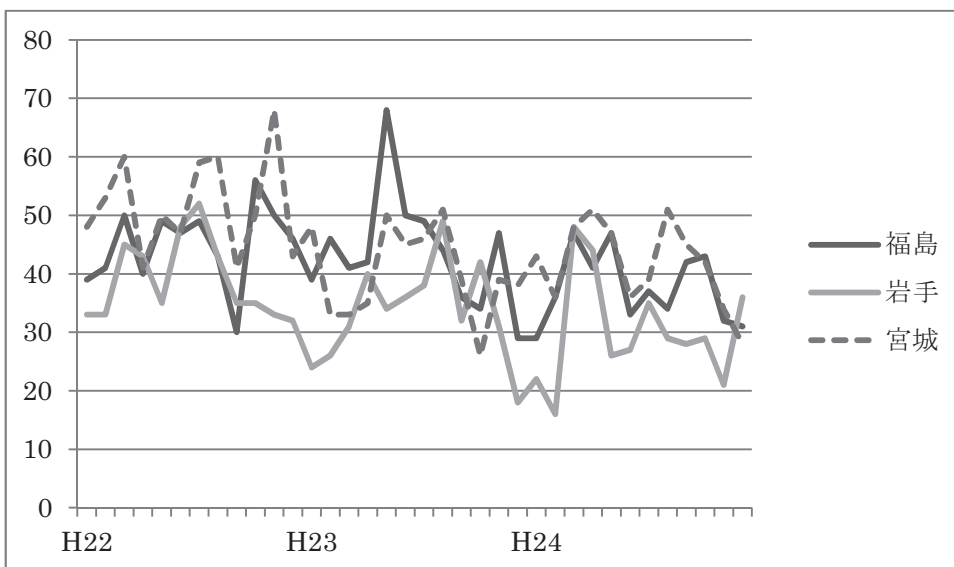


2. 自殺の現状および心の健康

(1) 自殺者数の変化とその背景

平成22年から平成24年までの3年間の月別自殺者数を見ると、福島県全体としては、災害後、平成23年5月に大きく増加したが、その後、減少しており、平成24年は年間452人と、15年ぶりに500人を下回った。平成24年における福島県内の年間自殺者数の減少率は対平成23年が13.9%、対22年が16.3%となっている。

図2. 震災前後の月別自殺者数の推移 (警察庁)



こうした自殺者数減少の背景の一つとして考えられるのが経済状況である。福島県における有効求人倍率は、平成22年12月時点で0.47であったのが平成23年12月は0.74、平成24年12月は1.18と

大きく改善している。また、企業倒産件数は、震災直後、平成23年5月に大きく増加した後、減少しており、自殺者数の変化と類似している。

同じく大規模災害である阪神淡路大震災においても、災害後2年余りは自殺者が減少しており、その背景には復興需要や公的支援などの要因が考えられている。しかし、3年後からは自殺者が増加しており、復興需要や公的支援の終息などが要因として考えられている。今回の災害でも、こうした経済的状況の変化が自殺者増加のリスクとなる可能性があり、注意しておく必要がある。

図3. 震災前後の福島県における有効求人倍率の推移（福島労働局）

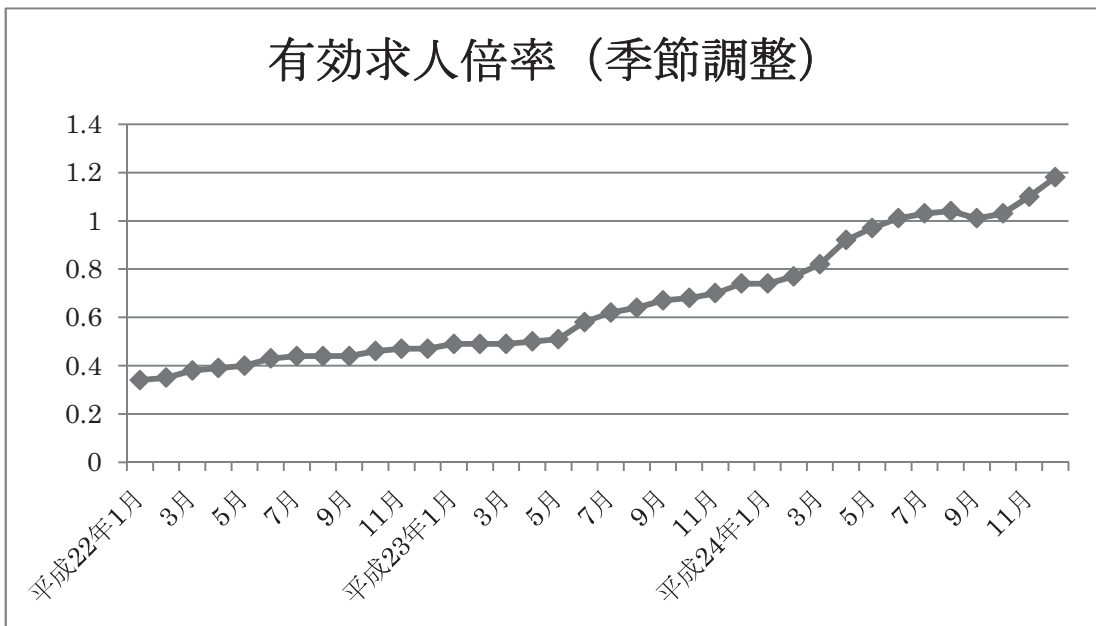
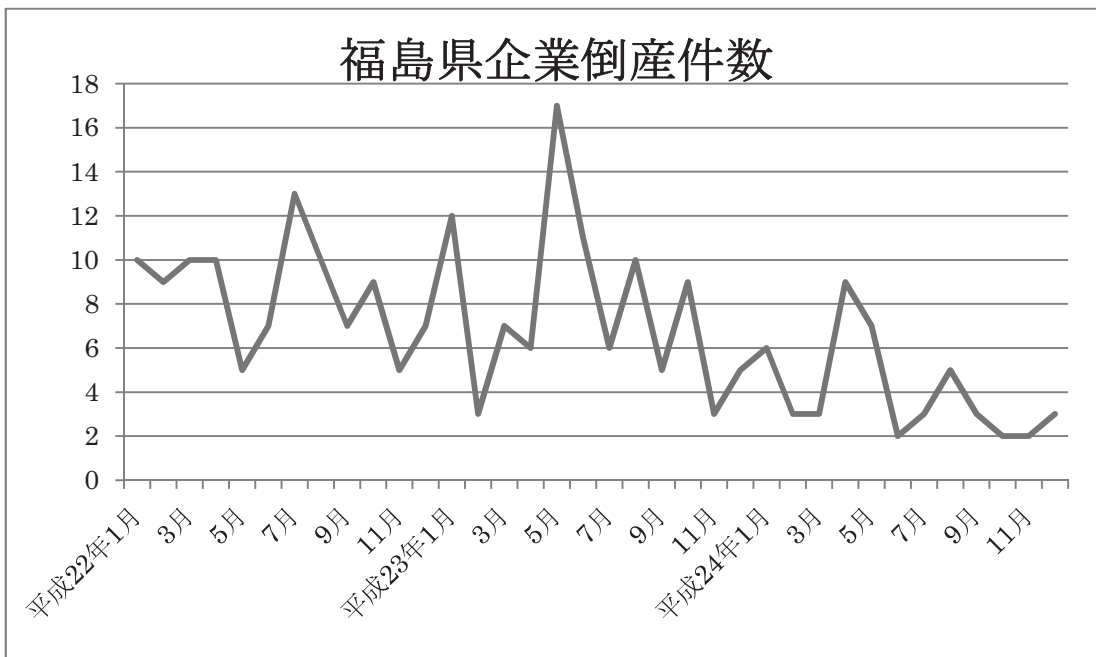


図4. 震災前後の福島県月別企業倒産件数の推移（帝国データバンク）

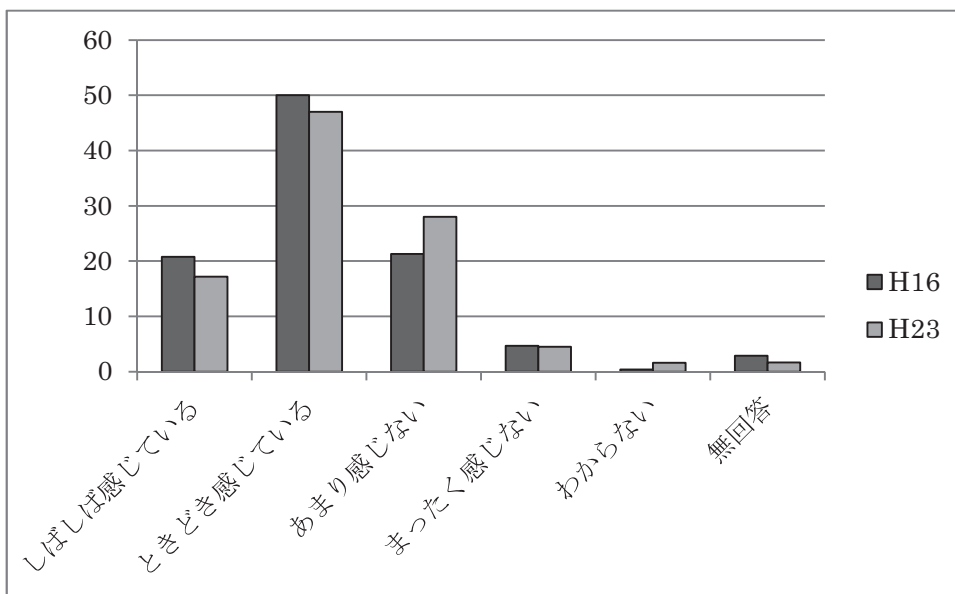


(2) 心の健康

心の健康について系統的に行われた調査としては、県政世論調査の一つとして実施された「心の健康に関する調査」、および県民健康管理調査の一つとして実施された「こころの健康度・生活習慣に関する調査」がある。まず、前者の県政世論調査は県全体の15歳以上県民から無作為抽出された対象者への調査で、心の健康に関する調査は平成16年と平成23年に行われている。「ふだん、気分が落ち込む、あるいは精神的に疲れていると感じることがありますか」との質問に、「しばしば感じる」または「ときどき感じる」と回答した割合は、平成16年の調査では70.8%であったのに対し、平成23年の調査では64.2%とむしろ減少していた。また「心の健康について心配なことがある時、あなたは誰に相談しますか」との質問に、「誰にも相談しない」と回答した割合は、平成16年は13.6%であったのに対し、平成23年は9.6%と低下しており、すなわち、何らかの形で相談する人が増加していた。このように、県全体としてはまだ心の健康に関するリスク増加の兆候は確認されていない結果であった。一方、後者の県民健康調査は、原発事故を受けて全県民を対象として行われた調査で、そのうちこころの健康についての調査は、避難区域等の住民全員と基本調査の結果必要と認められた方に対して行われている。その結果、福島県で公表されている資料によると、一般（平成23年3月11日時点で高校生以上）が、先行研究ではK6（全般精神健康度）で13点以上が3.0%、PCL（トラウマ症状）で44点が20.1%であったのに対し、今回対象ではいずれかに該当する割合が約24%であった（平成24年2月20日現在）。一方、子どもについてはSDQ（子どもの行動）が用いられているが、先行研究では16点以上が9.5%であったのに対し、今回対象では約18%となっていた（平成24年2月3日現在）。すなわち、特に子どもについて影響が大きいという結果だった。

図5. 県政世論調査～心の健康に関する調査（福島県）

「ふだん、気分が落ち込む、あるいは精神的に疲れていると感じることがありますか」



3. 自殺予防

(1) 災害後の心のケア～急性期

災害後、心のケア活動は、主として避難所において、県外からの支援チームの助けを借りながら避難

住民のケアにあたった。災害時の心のケアは、災害時および将来の精神疾患発症や悪化の予防を通して自殺予防に寄与すると考えられる。具体的には、①精神障害者の治療継続と悪化予防、②精神疾患の発見と治療導入、③種々の心理的負荷に対するケアである。

① 精神障害者の治療継続と悪化予防：

災害による避難や医療機関の被災によって治療中断してしまうことは、症状の悪化につながり、自殺のリスクを高めるため、避難所等における治療の継続を行った。また、避難等によって居住環境が変化することによるストレスの増加や、家族らからのサポートが低下することなども症状悪化の誘因となる。環境調整は、余裕のない状況では困難なことも多かったが、一部で居住スペースの確保などの調整が行われた。

② 精神疾患の発見と治療導入：

最も多くみられたのは不安・抑うつ・不眠等だが、一部に ASD（急性ストレス障害）の症状も見られた。また、統合失調症等の精神疾患やアルコール問題等を抱えながら、未治療のまま自宅で事例化していなかったケースが、避難所生活で事例化するという例も見られ、医療の導入や、環境調整によって対応した。後者については、いわば災害が治療導入に寄与したわけである。

③ 種々の心理的負荷に対するケア：

心のケアチームによってばらつきはあるが、診療や相談を行った対象者の約半数は、精神科の投薬を要しないレベルであった。こうした個別の相談対応のほか、精神的反応についての心理教育やリラクゼーション法などのストレス対処の心理教育が行われた。こうした関わりによって精神疾患の発症を予防することが期待される。もっとも、介入の有効性について実証されているものは乏しく、むしろ、安全の確保や生活環境の改善といった生活面の支援のほうが精神疾患の予防に寄与するという考えもある。

支援者についても、ケアの対象であり、診察の結果、医療が提供された場合もあった。支援者は、特に現地に居住していた場合、自ら被災者としてストレスを抱えながら、支援の負担によって通常業務以上に負担がかかる状況に置かれる。早期から人員補充して負担軽減を図ることが望まれるが、その体制が整備されていないのが実情である。

表 5. 心のケア

ケアの対象	背景	対応
精神障害者（三次予防）		
精神障害者の治療継続、 悪化予防	医療機関の損傷 家族のサポート低下 避難生活、服薬中断	避難所での治療 医療紹介 環境調整（適応支援）
精神疾患の二次予防、一次予防		
災害によって生じた精神障害 （急性期：ASD,不眠等 慢性期：PTSD,うつ病等） 未治療者・潜在患者（アルコール問題等）の事例化	災害ストレス 家族のサポート低下 避難生活	避難所での治療 医療紹介 環境調整
心理的反応（非医療レベル）	災害ストレス	心理教育
支援者の精神的問題	過労等	環境調整、医療紹介

(2) 長期化～復興期の自殺予防

県外からの心のケアチーム派遣は終了し、住民の生活に密着した市町村がケアを中心的に担っている。福島県では平成24年2月に立ち上げられた心のケアセンターも市町村と連携して支援に当たっている。原発事故と放射能汚染の影響で、慢性的なストレスやサポート不足が全県に及ぶことが福島県における今回の災害の特徴であり、全県がケアの対象となる。もっとも、被災や避難の状況によって、住民にかかるストレスの度合いや有病率、市町村スタッフの充実度や余力、医療機関や福祉サービス機関の地域資源の状況が異なるために、ケアの内容も地域によって異なる。保健所はこうした実情を踏まえながら、市町村に対して適切な介入方法についての助言や支援を行う立場にある。

(3) 対象によってケアのありかたが異なる

① 被害が大きかった地域のサポート不足

福島県の東側1/3を占める浜通りでは、地震・津波の直接被害に加え、原発事故に伴う立ち入り・居住の制限や、人材の流出によって、医療・福祉サービスの不足が大きい。特に原発北側に位置する相双地域は、未だ入院機能が乏しいなど、不足が目立っており、再建の見通しも立っていない。原発の南に位置するいわき市では、ある程度、機能が回復したが、避難者の流入が多く、サポート資源が不足がちである。サポートの不足の影響としては、精神障害者や要介護高齢者の症状悪化や機能低下のリスクがある。また、地震・津波に加えて放射能汚染による生活や産業への影響も少なくないことから、災害体験によるPTSD等のほか、種々の生活ストレスによるうつ病等の発症リスクも高いと考えられる。

これらの、サポートが少なくストレスが高いと予想される地域では、サービスへのアクセス性やサービスの継続性を高めるため、個別訪問など、アウトリーチの比重を高くした対策が必要である。相双地域では入院を未然に防ぐという必要性が高く、早くからNPOによってこころのケアセンターが立ちあげられた。また、いわき地域でも、ふくしま心のケアセンターのいわき方部センター（支部）が設置され、市町村と連携して、訪問やサロン活動を通しての継続ケアが行われている。こうしたケアによる精神疾患の予防効果についてエビデンスはないが、継続的にかかわることによって、不調を抱える住民を発見する手掛かりの一つとしての役割があり、自殺予防にもつながると考えられる。

② 全県に及ぶ避難者

福島県では、被災地域周辺だけでなく全県に避難者が居住していることが特徴である。遠方への避難では、地域のサポート資源の不足は軽度であるが、同じ県内といっても風土も気質も異なる地域への避難であり、生活面の不自由さが大きい。避難者へのケアは、主として仮設住宅への入居者に対して、個別訪問やサロン等でのケアが行われている。しかし、アパート等、借り上げ住宅への入居者については、入居者が散在しているために居住状況を十分に把握できていないという問題が残されている。避難者に対しては、原発事故に伴う健康調査が全住民に継続的に行われており、こうしたスクリーニング事業と連携した要支援者の割り出しも行っている。

また、原発事故に伴って帰還が困難となっている地域では、避難生活の長期化が予想されている。そういった場合の地域社会の再建も大きな課題である。地域住民や家族の支えあいと気づき、生きがいといったものは、自殺に対して保護的に作用すると考えられるからである。ただし、それらの効果の程度や、具体的にどのようなタイプのコミュニティが望ましいかという点については、十分なエビデンスはない。自殺稀少地域の特徴としてコミュニティの結びつきがゆるやかであることが示されている研究もあり（岡ら、2012*）、一概に、地域の結びつきを強める方向が望ましいとは限らない。精神保健の課題は、コミュニティの状況に応じて、周囲から取り残されるリスク、あるいは周囲に合わせようと無理を

してしまうリスクなど、さまざまなリスクを考え、住民のリスクに気づくことにある。

先述のように、避難者を中心とした調査で子どものストレスが大きいという調査結果が示されている。福島県では臨床心理士会が中心となって県内各地での支援を続けている。子ども本人や親の不安・ストレスへの対応、親子関係への支援といった介入である。現時点で要治療レベルでの増加は報告されていないが、発達段階でのストレス負荷が長期的に影響するリスクも考えて継続支援することが必要である。

(*)岡壇、ほか：自殺希少地域のコミュニティ特性から抽出された「自殺予防因子」の検証。日社精医誌 21:167-180, 2012

③ 全県の住民サポート

原発事故の影響は、多かれ少なかれ全県に及ぶ。放射能汚染や風評被害による生活や産業への影響、避難による家族や地域の分断などで、それによって、慢性的なストレスにさらされていると言える。こうしたストレスによる有病率への影響は、県全体としては大きくはないだろうが、業種や家庭・地域の状況によっては強く影響を受けている人もいるだろう。生活上のストレスを背景とする自殺予防には、これまでも自殺対策で取り入れられてきたゲートキーパーの手法が有用である。ゲートキーパーとは、精神保健の専門家でなくても、身近な人の心の不調等に気づき、適切な支援につなぐことで自殺予防の役割を担うことを言う。賠償問題を含む経済的問題や仕事の問題への対応に当たる職種、たとえば司法書士やハローワーク職員などがゲートキーパーの役割を担うことが期待される。精神保健福祉センターをはじめ、精神保健機関は、こうした生活支援にあたっている職員に対してゲートキーパーとしての研修を行うなど、人材育成の役割を担う。

放射能については県内全域にわたって住民の多くが不安を抱えている。放射線防御についての教育は放射線医学等の専門家が担う。しかし、放射能不安や、生活や家族関係への影響を介した精神的健康への影響については、ある程度、精神保健の対象である。すなわち、介入の手法は、ストレス対処、睡眠や運動等の生活習慣の指導、家族関係や対人関係への介入など、従来の精神保健介入と大きく異なるものではない。

4. まとめ 「自殺対策をひとりで頑張るはいけない」

自殺予防の目標は、最終的には自殺者を減らすことである。しかし、自殺はあくまでも氷山の一角であり、その背景となっている要因に対してこそ取り組むべきものである。そもそも、自殺が起こる前にそうした要因に気づき、対策を実施することが自殺予防の目指すべき姿であろう。

自殺と関連する社会的要因は、当然ながらその社会によって異なる。災害という特殊な状況、そして、原発事故というさらに特殊な状況においては、刻々と変化する社会状況を睨みながらリスクを発見していかなければならない。すなわち、自殺のリスクについてのこれまでの知見をもとに、自殺対策の視点から住民の生活状況や精神的健康の状況を把握することが必要である。そのためには、生活再建に取り組む種々の部署、機関が情報交換しつつ、それぞれの領域においてリスクに気づく目を持つことが必要だが、福島県ではそうした連携体制ができていない、または十分に機能していないように思われる。

自殺対策というと、「よくわからない」「難しい」といった印象を持たれてしまい、特定の機関や担当者に押し付けておしまい、にされがちである。自殺者を減らすという目標が、「自殺の差し迫った人の自殺を防ぐ」という水際対策として理解されてしまうと、特にその傾向が強くなる。そこは改めなければならない。そのためには、自殺対策の担当とされる機関や担当者が孤軍奮闘してしまっはいけない。それは自殺対策を遅らせる行動である。自殺対策はひとりで頑張らず、たとえ「頑張れば自分一人で

きる」ということであっても、なるべく人の手を借りるほうがよい。それは個々のケースの支援においてもそうであるし、事業展開についてもあてはまることである。「自殺対策をひとりで頑張るはいけない」。

誰も置き去りにしない復興を目指して ～ライフリンクの被災地支援～

NPO 法人 自殺対策支援センター ライフリンク

代表 清水 康之

【死別・離別を強いられた人への支援】

1万8578人。平成25年2月6日現在において、警察が確認している東日本大震災の死者と行方不明者を合わせた人数である。このうち死者は1万5880人で、その99%に当たる1万5744人の身元が確認されている。しかし、依然として136人の身元が分からないままであり、行方不明者も2698人に上っている。

そうした一人ひとは「1万8578分の1」ではなく、誰かにとっての「1分の1」の存在だ。当然、かけがえのない人を突然奪われて遺された人は、その何倍にも上る。

東日本大震災からもうすぐ2年。被災地のことがメディアで取り上げられる機会も減り、震災による被害を受けなかった地域では、すっかり「震災前の日常」が戻ってきているかのようだ。だが、その一方で、震災で大切な人との死別・離別を強いられた人の中には、いまだに『あの日』から一歩も前に進めずにいる人たちが少なくない。取り返しのつかないことが起きてしまった過去と向き合うことができず、ともすれば社会の「復興」の流れに置き去りにされかねない状況にある。

ライフリンクは、「誰も置き去りにしない復興」を目指して、そういった方々が自分たちのペースで回復していけるよう、そっと傍らに立ち続ける「震災遺族のための総合支援事業」に取り組んでいる。

具体的には、大きく3つの取り組みを行っている。ひとつは、「死別・離別の悲しみ相談ダイヤル」。もうひとつは、被災地での「震災遺族向けのつどい」の開催。そして、「震災遺族支援に関する啓発」である。それぞれについて、簡単にではあるが紹介したい。

【死別・離別の悲しみ相談ダイヤル】

「仮設の生活は周りから取り残され、時間が止まったようだ」、「家族を津波から守れなかった。申し訳ない…」。

東日本大震災から2か月後の、2011年5月から毎週日曜日に行っている「死別・離別の悲しみ相談ダイヤル」には、今でも遺族の悲痛な声が届く。

生活をともにし、生きる支えにもなっていた家族の喪失がもたらす影響は計り知れない。生活面での将来不安も募る中で、遺された家族の心理状況は時間が経つにつれて追い込まれていっているようにも感じる。喪失からの回復のペースは人それぞれ違うものだが、周囲からは時に「もう2年も経ったんだから」と一様に扱われることもあり、周囲からの疎外感を感じてしまう人も少なくない。その一方で、明るく振る舞おうとすれば「まだ2年しか経っていないのに」と冷たい視線を向けられることもあると聞く。

大切な人と死別・離別をすれば、誰だって「人間的な痛み」を抱える。そうした痛みと安心して向き合うためには、周囲の目に脅かされることなく、率直に自らの胸の内を打ち明けられる場（機会）が必要だ。「死別・離別の相談ダイヤル」は、そうした場であり続けたいと思っている。

▼死別・離別の相談ダイヤル

・毎週日曜日および毎月11日の10～20時に実施（家族で集まる機会というのは、死別や離別をした家族のことを強く意識せざるを得ない機会でもあるため、毎週日曜日に実施している。）

・実施回数（今年度上半期＝2012年4～9月）：33回 相談件数：290件

内訳 男性90件、女性165件、不明35件

宮城県177件、岩手県42件、福島県13件、不明58件

【被災地での「震災遺族向けのつどい」の開催】

地域の復興が進み、周囲が震災前の姿を取り戻していくほど、遺族は疎外感や孤立感を深めていきかねない。そのため、ライフリンクでは、各地で震災遺族のための「つどい」を開催している。

これは、同じ喪失体験を持つ人同たちが集い、それぞれの体験や思いを語り合う場だ。日常生活の中ではなかなか口に出せない感情を表現し、互いに耳を傾け合うことで、悩みを抱えているのは「自分ひとりではない」と感じてもらえることを大切にしている。

これまで、宮城県内では「仙台グリーンケア研究会」と協力して、月に一回、石巻市で開催してきた。また岩手県内では定期開催には至っていないが、大槌町の仮設住宅集会場で試験的に語る会を3回実施した。また福島県内では福島市、郡山市、南相馬市、会津若松市で「つどい」を実施している。東京電力福島第一原発事故の影響で避難を余儀なくされた方々の中には、肉親が津波にさらわれたのに探しに行くこともできず、深い自責の念にさいなまれていたり、一向に収まることのない放射能被害により、家や故郷、仕事を失い、先の見えない将来に不安を抱えていたり、喪失感に留まらない大きな困難を抱えている方が少なくないため、より手厚い支援が求められているを感じる。

なお、新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンターが中越地震の被災地で行った調査でも、家族や家、または職業的能力などの喪失体験が背景要因となり、震災後自殺に追い込まれた人がいたことが報告されている。遺された人が少しずつでも自分の感情を受容し、回復の歩みを進めていけるよう、今後も「つどい」を広げていければと考えている。

※話すことに抵抗感がある人も、まだ話せる時期ではないという方も、もちろんいる。東北の人は、あまり自分の感情を他者に開示することに慣れていないという指摘も多くいただく。しかし、大切なのは、その方が「語りたい」と思った時に、安心して語れる場なのである。

「つどい」会場の写真



【震災遺族支援に関する啓発】

「相談ダイヤル」を実施したり「つどい」を開催したりしても、そうやって支援の受皿を整備しても、それらに関する情報が、支援を必要としている人たちに届かなければ意味がない。実践的な支援活動というのは常に、実務と啓発を両輪で行っていく必要がある。

そのため、地域に埋もれてしまいがちな遺された家族にアウトリーチすべく、様々な手段を使って「震災遺族支援に関する啓発」活動にも取り組んでいる。

具体的には、地元新聞に案内を掲載してもらうことや、電話相談事業の広報カードを作成して相談窓口に置いてもらうこと。さらに、「つどい」に関するチラシ（別添）を作成し、遺族と接点のある行政職員や関係機関、保健師等から直接手渡してもらうことである。

電話相談事業の広報カードを1万枚作成

主な配布先：福島れんげの会 1000枚、仙台グリーンケア研究会 1000枚、

福島県精神保健福祉センター・ふくしま心のケアセンター1100枚、

南相馬原町保健センター700枚など5400枚を配布済

また、当事者だけでなく、当事者を取り巻く環境に対しても啓発を行っている。「がんばれ東北！」「負けるな東北！」といった復興へのメッセージが社会的に強く打ち出されれば打ち出されるほど、大切な人との死別・離別による「人間的な痛み」を抱えた人たちは沈黙を強いられていくからだ。そのため地域社会に対して、遺された家族の実情を伝え、遺された人たちが地域の暮らしの中で、安心して体験や思いを語れるような環境を作る努力もしている。

2012年3月11日に福島で開催したシンポジウム「共に考える震災遺族支援」の様子

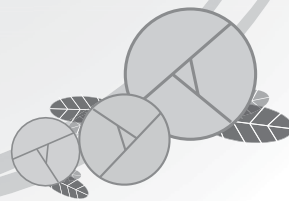


【最後に】

震災復興というと、がれきの撤去や道路整備など、インフラ面での復興に目が向きがちだ。しかし、町の再建にはそこで暮らす人々が「生きていこう」と思える環境づくりが欠かせない。喪失の悲しみの先に、遺された一人ひとりが自らの生きる道を描けるように、誰も置き去りにしない復興を目指して、これからも活動を続けていこうと思う。

震災で大切な人を亡くされた方へ

あれから1年半が経ちました。
今だからこそ話したい
あの人を失った痛みや悲しみ、
あの人との思い出……。
安心してありのままの想いを語りあい、
聴きあう場があります。



・・・そんな“わかちあいの会”があることを伝えたい。

「わかちあいの会」開催情報

◆下記の開催以降も、毎月もしくは隔月に1度ずつ開催していく予定です◆

◇福島◇

開催地域	開催日	時間	会場	問合せ先
県北 (福島)	10/7 (日)	10:30 12:00	福島市保健福祉センター (福島市森合町10-1)	NPO法人ライフリンク info@lifelink.or.jp TEL: 03-3261-4934 http://www.lifelink.or.jp/hp/top.html 福島れんげの会 TEL: 090-6623-8341 http://www.kokorosasae.jp グリーンサポートリンク (NPO法人全国自死遺族総合支援センター) TEL: 03-3261-4350 (毎週木曜11時~19時) http://www.izoku-center.or.jp
	11/4 (日)			
県中 (郡山)	10/20 (土)	14:00 16:00	郡山市総合福祉センター (郡山市朝日1-29-9)	
会津 (会津若松)	9/16 (日)	10:30 12:30	会津稽古堂 (会津若松市栄町3-50)	
	10/21 (日)			
相双 (南相馬)	10/6 (土)	13:30 16:00	南相馬市原町保健センター (南相馬市原町区小川町322-1)	
	11/3 (土)			
	平成25年 1/12 (土)			
	2/2 (土)			
	3/10 (日)			
	12/2 (日)		南相馬市鹿島保健センター (南相馬市鹿島区西町3-2)	

※上記の地域以外でも、開催を準備中です

まとめ: NPO法人ライフリンク

お住まいにかかわらず、どちらの会場でもご参加いただけます。

死別・離別の悲しみ相談ダイヤル

大切な人との「死別・離別による悲しみ」に、少しでも寄り添うことができたらと、遺族支援に取り組む民間ボランティアが開設した電話相談（通話無料・秘密厳守）です。

(岩手・宮城・福島からのみ利用可能です)
毎週日曜・毎月11日 10:00～20:00

(通話無料) こころのささえ
0120-556-338

NPO法人ライフリンク 震災遺族支援ホームページ

各地の支援情報などご紹介しています。
今後は、わかちあいの会の開催情報なども更新していきます。

<http://www.lifelink.or.jp/hp/shien311/index.html>

NPO法人ライフリンクは、震災遺族支援事業を「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の一環として実施しています。

「自殺防止の最前線

～被災地支援 1 年 10 ヶ月の記録から～

非特定営利法人 蜘蛛の糸 理事長 佐藤 久男

1. はじめに

2011 年 3 月 11 日 2 時 46 分、東日本は未曾有の大震災に襲われた。宮城県牡鹿半島沖の海底で発生したマグニチュード 9.0 の巨大地震は、津波を伴って東日本の海岸線に牙を剥いて襲い掛かった。被害をうけた太平洋沿岸の青森県から千葉県まで総延長は約 600 キロに及ぶ。死者数 15,870 人、行方不明者 2,814 人が地震と津波の犠牲になった。一方、物的被害は全壊家屋 128,911 戸、半壊家屋 268,882 戸、道路損壊 4,200 箇所、橋梁 116 箇所等の甚大な被害である。巨大津波が市街地を呑み込む衝撃の映像の最中に、東京電力福島第一原子力発電所の事故が報じられた。原子炉の崩壊、爆発、放射能漏れである。放射能の拡散は福島県域を超え史上最悪級の原子力災害になった。この日を境に 1,000 人を越える福島県人が故郷を脱出して秋田県内に避難し始めた。

被災地に向ったのは 2011 年 4 月 18 日の早朝である。秋田市から車で岩手県釜石市に向う。釜石市までは約 230 キロ。秋田自動車道を南下し、奥羽山脈を横断した。曲折と起伏の激しい三陸特有の道路は遠野市を過ぎた辺りから緊迫した状態になった。対向車線をパトカーが頻繁に走る。救急車のサイレンが鳴り止まない。釜石に向う車両の大部分は自衛隊と警察、大型トラックである。自衛隊車両と大型トラックに挟まれ渋滞に巻き込まれて「猿も越えない仙人峠」を越え、釜石駅に付いたのは午後 1 時であった。交差点の信号は消え、おびただしい数の警察官が交通整理にあたっていた。甲子川（かっしがわ）に架かる橋を渡り商店街の入り口に立った。ひと気の消えた商店街がそこにあった。アーケードの通路は瓦礫の山だ。泥やトタン、木片で歩道が塞がれている。商店と瓦礫の間を横になって前に進む。商店街の奥に進むに連れて被害は大きい。港に近い商店街は壊滅状態であった。背後地は泥の上にトタン屑、木片に砕かれた住宅、折れ曲がった乗用車、剥き出しの鉄骨の山であった。悲惨な光景に

心が凍りついた。無人と化した街で津波の破壊力の凄まじさに言葉を失う。張り詰めた緊迫感が漂う4月18日の被災地「釜石」入りであった。

2. 被災地における相談事例

相談業務を開始したのは翌月の5月からである。相談件数は6件。業種は、弁当店、旅館、デイサービス、魚加工場、美容院、食堂である。相談の結果3件が開業にこぎ着けた。相談事例として小川旅館の復興の様態について書こう。

小川旅館のご主人（小川勝美さん50代）が相談に来たのは2011年5月11日である。岩手県釜石保健所を通じて避難場所に配布した相談チラシを見ての来所であった。奥さんが大槌町の中心部で旅館を経営していた。旅館は津波で破壊され、その後の火災で全焼した。震災の後遺症と旅館を失った喪失感で奥さんの様子に異常を感じるという。奥さんと面接の必要がある。次回は奥さん同席の上で相談に応じる旨を告げた。2回目以降は全て勝美さんと奥さん（京子さん50代）同席の相談になった。小川旅館は明治初期から120年続いている老舗の旅館であった。女将である京子さんとの初対面は「顔色が極端に悪い。心が定まらない」という印象である。暖簾ある旅館を自分の代で潰すのではないかと涙を流す。フラッシュバックもあり鬱的で落ち込んでいた。自殺未遂をしたことも告げられた。

震災の日、京子さんは自宅から約100キロ離れた盛岡市の病院で母親の看病をしていた。震災と同時に大槌町にいる夫と長男と次男（当時高校2年と小学校6年）の行方が心配になった。盛岡市からタクシーで大槌町に向った。北上山地のトンネルの手前で自衛隊に「ここからは危険で入れない」と進入を阻まれ、徒歩で山を越えた。足下を携帯電話の明りで照らしてトンネルの暗闇を抜け出た時に、目に飛び込んだのは大槌町の市街地が炎上する光景であった。家族は3日後に避難所で再会した。京子さんは旅館を失った喪失感で生活のリズムが狂っていた。旅館の復興よりも京子さんの心のケアが先決である。じっくり時間をかけて傾聴を続けると決めた。3回目以降は京子さんの心の変化に寄り添う相談になった。心の健康を回復させて、商売ができる心に戻す必要があった。当時は全国から支援者が町中に溢れ、被災を免れた民宿や旅館は大繁盛である。一時も早く開業したいと焦りで会うたびに心が揺れていた。相談の度に「今日はこの前に比べて大分元気になりましね」と京子さんのマインドを引き上げた。2012年の夏頃から京子さんは急速に女将の心を取り戻していった。昨年12月3日小川旅館は、「絆館」として新しいスタートを切った。

3. 「津波てんでんこ」

三陸沿岸の住民に「津波てんでんこ」という言葉が継承されている。「てんでんこ」とは、「てんでんばらばら」の意味である。地震の後には津波が来る。津波が襲来する前に「てんでんばらばら」に高台に走れ。家族や他人にかまうな。そうしないと、家族が全滅して家系が絶える、という先人が残した壮絶な教訓である。しかし、子供を見捨てて高台に走る母親がいるであろうか。両親を捨てて生き延びようとする息子がいるであろうか。震災時の人間の情愛は「てんでんこ」の教訓を守るほどには単純ではない。

以下は震災地で聞いた「津波てんでんこ」の話である。

大学生の娘は春休みで帰郷中であつた。3月11日、震災に襲われた時に娘は自宅（大槌町）におつた。母親は釜石市で仕事の最中であつた。従業員は高台に「てんでんこ」に逃げた。被害を免れた母親は「大槌」の娘の安否が心配になった。大学生であつても母親にとっては子供である。職場の仕事着のまま車で大槌町に向つた。母親はそのまま行方不明になつた。娘も行方不明である。親子ともに津波にのまれたと思われる。自宅は流出して跡形もない。まだ親子の遺体は発見されていない。母親の遺体確認は仕事着が目印である。娘の確認は遺体のDNAと東京のアパートに置かれた歯ブラシに付着した唾液の照合になるだろうとのことであつた。「てんでんこ」の警告を守れば、娘は犠牲になつても母親は生き残つたであろうに……。

釜石市から大槌町に向かう国道沿いに中古車の販売店がある。社長夫婦と息子の3人で会社を経営していた。大津波の直前に、息子はお客に車を届けるために大槌町の市街地に向つた。港の近くで津波に襲われた息子は懸命に高台に走つた。両親は息子の帰りを待って逃げ遅れた。一命を取り留めた息子が見たのは両親の無残な遺体であつた。息子が津波に襲われた場所から会社まではどんなに急いでも15分はかかる。息子が両親を助けたいと思つても、火事と瓦礫で埋め尽くされた道を帰る術はなかつたろう。息子の帰宅を待った瞬時の判断が夫婦の死を招いた。

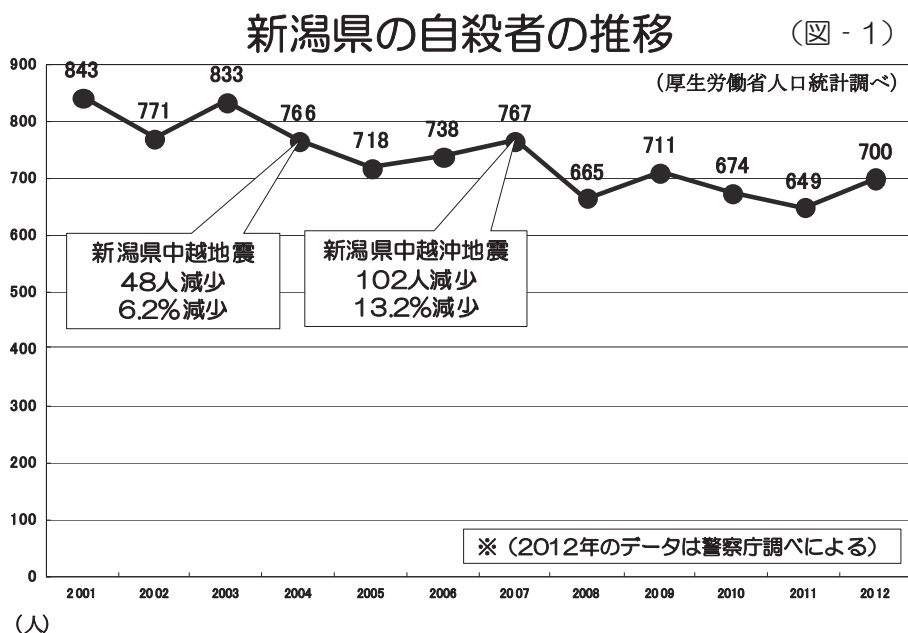
三陸の急峻な地形と津波の破壊力を目の当たりにすると「津波てんでんこ」の教訓が誇張でないとうなずける。

4. 岩手県の自殺対策のこれから

岩手県の自殺者数の増減はこれからどうなるであろうか。震災の後遺症が被災地の「住民の命」にどのように影を落とすであろうか。大規模な震災後の自殺者数の予測は至難であるが、私見を述べたいと思う。岩手県の自殺者数を予測するには、兵庫県（阪神大震災）よりは新潟県と比較するほうがわかりやすい。

地域性が類似しているからだ。新潟県の自殺者数の推移を観察すると、ある程度は岩手県の震災後の自殺者数が予測可能になるのではないかと。予測することで事前の対策が可能になる。(図-1)は過去12年間の新潟県の自殺者数の推移である。中越地震は2004年10月、中越沖地震2007年7月に起った。中越地震では68名が死亡、4,805名が負傷した。中越沖地震では15名が死亡、負傷者は2,345名であった。新潟県の自殺数は中越地震後に6.2%、中越沖地震後に13.2%減少した。

それでは、震災後になぜ自殺者数が減るのであろうか。その答えは震災直後の住民の行動から推察できる。震災の翌日から住民は家族、親戚、友人、知人の安否の確認に奔走した。子供達は両親を、祖父母は孫や息子を、住民は近隣の仲間達の生死を瓦礫や車を覗き込んで確認している。住民の話によると一人が3~4人の遺体を確認したという。体育館や寺は百人単位の遺体で溢れた。遺体は苦悶の表情であったり、身体の一部が欠損したり、泥を被って顔の判別が出来ないほどの凄惨な姿であった。住民は身近な仲間の死によって命の大切さに向き合うことになった。生きる意味と死の恐怖を体験的に直視したのである。生き残った住民は身内の死に涙を流しながら、生き残った喜びをかみ締めている。震災体験は生き残った人達の心に命の大切さを深くきざみ込んだ。



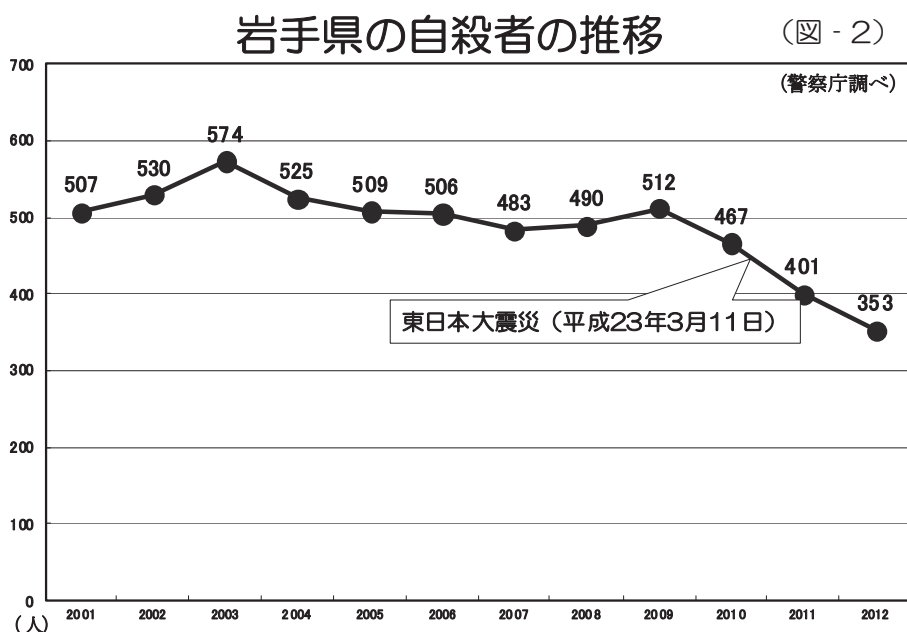
(図-2)は、過去12年間の岩手県の自殺者数の推移である。岩手県の自殺者数は震災前まで500人前後で推移していた。2011年は467名から401名と14.2%の減少。2012年は401名から353名と12.0%減少であった。

震災後の2年間で24.4%減少した。この数字は岩手県の過去12年間で最大の減少幅である。自殺者数の増減は自然災害や社会事象を反映する。震災が岩手県の自殺者数の減少を招いたと確信的に言える。また一方、長期的視点ではどうなるのであろうか。いずれは新潟県と同様の反転が起るのではないかと危惧される。岩手県の震災被害者は死者4,671名、行方不明者1,205名。新潟地震より死者・行方不明者が格段に多い。物的損害は広域で傷痕は深い。傷口の深い分だけ反転の時期も遅れているのではないか。

いま住民は避難場所から仮設住宅に生活の拠点を移している。

仮設住宅で男性（60代）が次のような心境を語った。

「避難所では仮設住宅に移る希望がありました。仮設住宅に入って生活再建の目途は立ちません。今後の希望が見えないのです。仮設に入ったことは新しい苦しみの始まりです。」と。希望がある間は、人間は困難に耐えられる。遅々と進まない復興と揺れ動く住民の心理。復興の足音と住民の心の変化から目を離せない被災地の相談現場の風景である。



おわりに

新潟県は、平成 16 年 10 月の中越大震災をはじめ、平成 19 年 7 月の中越沖を震源とする中越沖地震、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の翌日には長野県と新潟県の県境を震源とした長野県北部地震、夏には集中豪雨による水害、冬には大雪による雪害など、この 8 年で数多くの自然災害に見舞われてきました。

また、新潟県はもともと自殺率の高い県であり、様々な取り組みが進められてきました。こうした中で発生した中越大震災による自殺への影響に関して、自殺の背景には様々な因子が複雑に入り組んでいるため、単純には関連を検証することは困難であると思われます。しかしながら、大規模災害が続いている日本の現状の中で、被災が自殺とどのように関連しているかを検討することは、被災し全国から有形無形の様々な支援を受けた被災地として行うべきことであると考えています。

当センターでは、平成 22 年には「新潟県中越大震災 被災地における自殺の概況報告書」で震災前後 3 年間の自殺者数・自殺率の変化を比較し、地域におけるどのような状況が影響を与えたかについて検討を行い、平成 23 年には「新潟県中越大震災 被災地における自殺の実態分析(事例編)報告書」で被災地の保健師から地域での自死の事例を聞き取り、自殺のリスク要因の検討を行いました。

今回は、震災前後の 5 年間の自殺者数・自殺率の比較を統計的に行うと同時に、被災地の保健師からの聞き取り調査から自殺の実態についての検討を行いました。

当報告書の作成にあたり、統計編・事例編の考察及び提言等について独立行政法人国立精神・神経センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター副センター長/薬物依存研究部診断治療開発研究室長 松本 俊彦 先生より執筆いただき、分析等については新潟大学大学院医歯学総合研究科環境予防医学分野教授 中村 和利 先生にご協力をいただきました。また東日本大震災後の被災地で自殺予防の取り組みという観点から活動されている方々よりご寄稿いただきました。

ご指導・ご協力・ご寄稿いただきました先生方、保健師の皆さまにはこの場をかりて厚くお礼申し上げます。

震災からすでに 8 年経過し、目に見える風景や町並みは復興をとげておりますが、そのことがかえって被災者が声を上げることを困難にしている状況も見受けられます。災害からの復興には長い時間を要し、被災者は多くのストレスにさらされることから長期的な視点に立った支援は欠かせないものと考えております。当報告書が被災者支援にご活用いただければ幸いです。今後も皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

平成 25 年 2 月

新潟県精神保健福祉協会

こころのケアセンター

卷 末 資 料

資料 1 中越大震災による被害状況

資料 2 市町村別諸指標の経年変化

資料 3 被災地域自死者の実態について(調査票)

資料 4 新潟県中越地方を中心とする地震にかかる災害救助法の
適応について

中越大震災による被害状況

中越地震による人的被害状況

		死者	行方不明者	重症	軽傷
被災地1	長岡市	22	0	299	2,077
	川口町	6	0	38	24
	小千谷	19	0	120	665
	十日町市	9	0	70	522
	魚沼市	5	0	22	294
被災地2	柏崎市	0	0	13	59
	刈羽村	0	0	3	5
	津南町	0	0	3	10
	南魚沼市	1	0	10	16
	見附市	3	0	49	465
	上越市	0	0	0	2
	出雲崎町	0	0	2	0
非被災地	新潟市	0	0	0	8
	加茂市	0	0	1	3
	三条市	0	0	3	8
	燕市	2	0	0	3
	妙高市	0	0	0	1
	湯沢町	1	0	0	1

	死者	行方不明者	重症	軽傷
被災地1	61	0	549	3582
被災地2	4	0	80	557
非被災地	3	0	4	24

※新潟県報道資料 平成16年新潟県中越大震災による被害状況について(最終報)より

		世帯数				棟数
		全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	非住家被害 (公共施設+その他)
被災地1	長岡市	1,537	1,294	6,817	64,922	19,128
	川口町	609	146	397	449	1,460
	小千谷	635	371	2,465	8,995	5,127
	十日町市	107	156	970	13,733	1,407
	魚沼市	75	58	334	5,059	1,237
被災地2	柏崎市	39	71	288	5,536	1,292
	刈羽村	68	28	102	833	784
	津南町	0	0	1	233	48
	南魚沼市	7	0	4	2,370	290
	見附市	52	18	525	9,422	10,427
	上越市	0	0	0	25	52
	出雲崎町	0	0	7	100	48
非被災地	新潟市	0	0	0	2	7
	新発田市	0	0	0	0	1
	加茂市	0	2	2	127	5
	三条市	0	1	8	837	287
	燕市	10	9	15	143	130
	妙高市	0	0	0	0	3
	佐渡市	0	0	0	0	2
	弥彦村	0	0	0	0	0
	阿賀町	0	0	0	0	1
	湯沢	0	0	0	0	1

※新潟県報道資料 平成16年新潟県中越大震災による被害状況について(最終報)より

		世帯数				棟数
		全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	非住家被害 (公共施設+その他)
被災地1		2,963	2,025	10,983	93,158	28,359
被災地2		166	117	927	18,519	12,941
非被災地		10	12	25	1,109	437

市町村別主旨表の経年変化

市町村別 自死者数(総数)

資料 2

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	100	79	86	89	83	82	70	83	87	88	82
	川口町	4	3	2	4	2	3	2	2	5	1	2
	小千谷市	10	24	17	16	16	12	12	13	13	11	15
	十日町市	41	35	27	33	33	22	32	20	27	26	30
	魚沼市	23	18	23	22	26	21	16	13	22	10	19
被災地 2	柏崎市	29	38	29	27	34	27	38	25	30	25	24
	刈羽村	2	3	0	2	2	0	0	0	1	1	3
	津南町	8	4	6	3	2	4	3	8	4	1	2
	南魚沼市	33	29	23	28	29	23	19	35	30	17	16
	見附市	13	27	16	9	14	15	19	16	13	16	7
	上越市	85	63	88	75	88	75	65	61	63	64	73
	出雲崎町	1	3	1	0	6	2	3	3	3	0	0
非被災地	新潟市	214	205	237	209	215	208	201	218	213	189	233
	新発田市	30	57	36	35	42	30	41	24	38	26	29
	加茂市	14	7	21	9	11	6	8	10	9	9	9
	村上市	26	31	38	32	35	25	32	26	29	20	21
	三条市	33	27	36	31	30	36	17	25	28	34	26
	燕市	24	26	20	19	32	28	31	30	18	21	21
	糸魚川市	21	16	19	29	15	18	11	22	19	13	17
	妙高市	20	14	19	16	9	14	12	21	19	15	8
	五泉市	15	14	22	21	22	14	23	13	18	13	7
	阿賀野市	22	19	16	13	20	15	13	12	18	19	20
	佐渡市	39	24	22	24	27	35	22	17	28	21	15
	胎内市	6	17	14	10	11	16	9	18	7	6	13
	聖籠町	4	5	3	4	5	10	2	7	7	3	3
	弥彦村	5	4	6	3	5	3	4	3	3	1	2
	田上町	3	8	6	5	6	6	5	1	5	4	3
	阿賀町	5	4	7	4	7	9	0	8	3	3	2
	湯沢町	2	4	1	2	3	4	1	1	2	5	6
関川村	5	4	2	2	3	3	7	3	5	3	3	
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 自死者数(男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	65	55	54	64	58	60	50	59	57	58	53
	川口町	3	1	1	1	0	0	2	1	3	0	1
	小千谷市	7	16	13	9	10	10	9	8	11	9	11
	十日町市	29	17	17	18	21	17	20	15	18	16	22
	魚沼市	12	11	15	18	19	14	11	9	14	8	10
被災地 2	柏崎市	21	27	20	20	29	21	29	19	21	17	14
	刈羽村	2	0	0	2	1	0	0	0	1	1	1
	津南町	4	0	5	2	1	4	1	5	4	1	1
	南魚沼市	19	21	16	17	20	12	13	21	19	14	14
	見附市	11	23	8	7	9	8	12	13	7	11	5
	上越市	53	35	61	50	62	53	44	38	51	48	55
出雲崎町	1	2	1	0	3	2	2	1	1	0	0	
非被災地	新潟市	150	146	174	145	155	158	157	150	151	145	161
	新発田市	16	35	18	24	33	18	28	21	31	22	20
	加茂市	11	3	17	7	10	5	7	5	7	5	7
	村上市	20	23	26	23	27	13	24	18	22	18	19
	三条市	17	20	27	24	19	26	14	17	18	27	20
	燕市	17	18	18	16	23	21	25	23	13	17	15
	糸魚川市	15	6	14	20	10	14	7	16	10	9	11
	妙高市	8	8	16	11	4	9	5	16	10	13	4
	五泉市	10	13	15	16	19	7	17	12	14	11	7
	阿賀野市	15	13	9	9	14	11	10	8	13	13	16
	佐渡市	20	12	14	14	18	23	19	13	22	18	13
	胎内市	5	14	11	2	8	13	8	14	6	5	10
	聖籠町	3	5	1	2	3	5	2	5	5	2	2
	弥彦村	3	3	4	3	3	1	3	3	2	1	1
	田上町	1	7	2	4	4	5	2	1	5	3	1
	阿賀町	3	4	3	4	4	7	0	7	3	1	2
	湯沢町	1	3	0	1	2	2	1	1	1	5	5
関川村	4	3	1	0	1	2	6	3	5	2	1	
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(新潟県福祉保健年報より) (単位:人)

市町村別 自死者数(女性)

女性		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	35	24	32	25	25	22	20	24	30	30	29
	川口町	1	2	1	3	2	3	0	1	2	1	1
	小千谷市	3	8	4	7	6	2	3	5	2	2	4
	十日町市	12	18	10	15	12	5	12	5	9	10	8
	魚沼市	11	7	8	4	7	7	5	4	8	2	9
被災地2	柏崎市	8	11	9	7	5	6	9	6	9	8	10
	刈羽村	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	津南町	4	4	1	1	1	0	2	3	0	0	1
	南魚沼市	14	8	7	11	9	11	6	14	11	3	2
	見附市	2	4	8	2	5	7	7	3	6	5	2
	上越市	32	28	27	25	26	22	21	23	12	16	18
	出雲崎町	0	1	0	0	3	0	1	2	2	0	0
非被災地	新潟市	64	59	63	64	60	50	44	68	62	44	72
	新発田市	14	22	18	11	9	12	13	3	7	4	9
	加茂市	3	4	4	2	1	1	1	5	2	4	2
	村上市	6	8	12	9	8	12	8	8	7	2	2
	三条市	16	7	9	7	11	10	3	8	10	7	6
	燕市	7	8	2	3	9	7	6	7	5	4	6
	糸魚川市	6	10	5	9	5	4	4	6	9	4	6
	妙高市	12	6	3	5	5	5	7	5	9	2	4
	五泉市	5	1	7	5	3	7	6	1	4	2	0
	阿賀野市	7	6	7	4	6	4	3	4	5	6	4
	佐渡市	19	12	8	10	9	12	3	4	6	3	2
	胎内市	1	3	3	8	3	3	1	4	1	1	3
	聖籠町	1	0	2	2	2	5	0	2	2	1	1
	弥彦村	2	1	2	0	2	2	1	0	1	0	1
	田上町	2	1	4	1	2	1	3	0	0	1	2
	阿賀町	2	0	4	0	3	2	0	1	0	2	0
	湯沢町	1	1	1	1	1	2	0	0	1	0	1
関川村	1	1	1	2	2	1	1	0	0	1	2	
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(新潟県福祉保健年報より) (単位:人)

被災地・非被災地別 自死者数(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	178	159	155	164	160	140	132	131	154	136	148
被災地2	171	167	163	144	175	146	147	148	144	124	125
非被災地	488	486	525	468	498	480	439	459	469	405	438

(単位:人)

被災地・非被災地別 自死者数(男性)

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	116	100	100	110	108	101	92	92	103	91	97
被災地2	111	108	111	98	125	100	101	97	104	92	90
非被災地	319	336	370	325	357	340	335	333	338	317	315

(単位:人)

被災地・非被災地別 自死者数(女性)

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	62	59	55	54	52	39	40	39	51	45	51
被災地2	60	59	52	46	50	46	46	51	40	32	35
非被災地	169	150	155	143	141	140	104	126	131	88	123

(単位:人)

市町村別 自殺率(人口10万対) (総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	34.7	27.5	30.0	31.1	29.0	28.8	24.7	29.4	30.9	31.4	29.4
	川口町	68.4	52.2	34.9	70.6	35.7	54.2	38.2	39.4	100.6	20.4	41.4
	小千谷市	23.8	57.6	41.1	39.0	39.1	29.6	30.0	32.8	33.1	28.1	38.6
	十日町市	62.3	53.8	41.8	51.5	52.0	35.0	51.6	32.6	44.5	43.4	50.6
	魚沼市	50.2	39.7	50.9	49.2	58.6	47.8	36.7	30.2	51.8	23.8	45.8
被災地2	柏崎市	29.1	38.8	29.8	27.9	35.3	28.2	40.1	26.5	32.0	26.9	26.0
	刈羽村	36.6	59.7	0.0	40.3	40.6	0.0	0.0	0.0	21.0	21.1	63.7
	津南町	63.4	32.3	48.9	24.7	16.7	33.7	25.6	69.8	35.5	9.0	18.3
	南魚沼市	49.9	44.3	35.3	43.2	45.1	36.0	30.0	55.6	48.0	27.3	26.0
	見附市	29.7	62.0	36.8	20.7	32.3	34.8	44.5	37.7	30.8	38.1	16.7
	上越市	40.0	29.7	41.6	35.6	41.8	35.6	31.2	29.4	30.6	31.2	35.8
出雲崎町	17.0	51.6	17.5	0.0	109.0	36.9	56.2	57.3	58.3	0.0	0.0	
非被災地	新潟市	26.5	25.3	29.2	25.8	26.5	25.6	24.7	26.8	26.2	23.3	28.7
	新発田市	28.1	53.8	34.1	33.2	39.8	28.6	39.2	23.1	36.7	25.2	28.4
	加茂市	42.1	21.2	64.0	27.6	34.0	18.7	25.4	32.0	29.1	29.5	29.9
	村上市	34.9	41.9	51.8	43.9	48.5	35.0	45.3	37.2	42.0	29.4	31.2
	三条市	30.4	25.1	33.5	28.9	28.2	34.0	16.2	24.0	27.1	33.1	25.4
	燕市	28.4	30.8	23.8	22.6	38.1	33.5	37.2	36.1	21.7	25.4	25.5
	糸魚川市	39.4	30.2	36.2	55.8	29.2	35.4	22.1	44.6	39.0	26.9	35.6
	妙高市	50.2	35.3	48.2	40.8	23.2	36.3	31.7	56.0	51.4	41.1	22.3
	五泉市	25.2	23.8	37.6	36.1	38.0	24.3	40.4	23.0	32.1	23.4	12.7
	阿賀野市	45.0	39.2	33.2	27.1	41.8	31.5	27.6	25.7	39.0	41.4	43.9
	佐渡市	53.8	33.3	30.8	34.0	38.7	50.7	32.6	25.6	42.9	32.7	23.7
	胎内市	17.5	49.6	40.9	29.3	32.5	47.7	27.4	55.1	21.7	18.8	41.2
	聖籠町	30.0	37.6	22.5	30.0	37.5	74.2	14.8	51.8	51.5	22.0	21.9
	弥彦村	58.0	46.9	70.1	35.0	58.6	35.1	46.8	35.1	35.1	11.6	23.0
	田上町	21.7	58.6	43.9	36.5	44.1	44.4	37.4	7.6	38.1	30.7	23.3
	阿賀町	31.3	25.3	44.9	26.0	46.1	60.0	0.0	55.6	21.3	21.8	14.8
	湯沢町	21.7	43.8	11.0	22.2	33.7	45.0	11.5	11.7	23.6	59.8	72.0
関川村	66.1	53.3	26.8	27.3	41.7	42.2	99.7	43.4	73.9	45.3	46.0	
粟島浦村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:人口10万人対)

市町村別 自殺率(人口10万対)(男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	46.2	39.2	38.5	45.7	41.6	43.2	36.1	42.7	41.5	42.4	38.9
	川口町	106.0	36.1	36.5	36.9	0.0	0.0	79.3	41.1	125.8	0.0	43.0
	小千谷市	33.8	77.8	63.8	44.5	49.6	50.0	45.7	40.9	56.8	46.8	57.5
	十日町市	90.4	53.5	54.0	57.7	68.2	55.7	66.3	50.3	61.2	55.0	76.5
	魚沼市	53.3	49.5	67.9	82.5	87.8	65.5	51.6	42.7	67.5	39.0	49.2
被災地2	柏崎市	42.2	55.8	41.6	41.9	61.1	44.4	62.1	40.7	45.3	37.0	30.6
	刈羽村	70.3	0.0	0.0	81.6	40.9	0.0	0.0	0.0	41.7	42.0	42.3
	津南町	64.8	0.0	83.7	33.7	17.1	68.9	17.7	90.9	74.1	18.9	19.2
	南魚沼市	59.0	66.0	50.5	53.9	64.1	38.7	42.2	68.6	62.6	46.4	46.7
	見附市	52.1	109.7	38.2	33.4	43.1	38.5	58.3	63.6	34.4	54.3	24.8
	上越市	51.3	33.9	59.1	48.7	60.5	51.7	43.6	37.9	51.1	48.3	55.6
	出雲崎町	36.4	74.2	37.9	0.0	117.1	79.5	80.3	41.0	41.5	0.0	0.0
非被災地	新潟市	38.3	37.3	44.3	37.0	39.5	40.3	40.0	38.3	38.6	37.1	41.2
	新発田市	31.0	68.3	35.2	47.0	64.8	35.5	55.5	41.9	62.2	44.4	40.7
	加茂市	68.4	18.8	107.4	44.5	64.2	32.4	46.2	33.3	47.2	34.1	48.3
	村上市	56.4	65.2	74.4	66.3	78.7	38.3	71.5	54.3	67.1	55.8	59.6
	三条市	32.2	38.2	51.8	46.2	36.8	50.6	27.6	33.7	36.0	54.4	40.5
	燕市	41.0	43.7	43.8	38.9	56.1	51.4	61.6	56.9	32.2	42.3	37.5
	糸魚川市	58.1	23.3	54.9	79.4	40.1	56.8	29.1	67.2	42.5	38.6	47.6
	妙高市	41.2	41.4	83.4	57.7	21.2	47.9	27.3	88.4	56.0	73.7	23.0
	五泉市	35.2	46.3	53.7	57.6	68.9	25.5	62.6	44.6	52.4	41.6	26.6
	阿賀野市	63.7	55.8	38.8	38.9	60.8	48.1	44.3	35.7	58.6	59.1	73.4
	佐渡市	58.0	34.8	40.9	41.4	53.9	69.7	59.1	40.9	70.8	58.8	43.1
	胎内市	29.9	83.1	65.4	11.9	48.4	79.1	50.1	88.2	38.4	32.3	65.6
	聖籠町	45.6	76.6	15.3	30.4	45.3	74.2	29.6	74.0	73.8	29.5	29.3
	弥彦村	72.0	72.6	96.9	72.7	72.8	24.3	72.4	72.3	48.3	24.0	23.8
	田上町	14.8	106.0	30.2	60.4	60.6	76.6	31.0	15.7	78.8	47.7	16.1
	阿賀町	39.0	52.7	40.1	54.2	55.0	97.1	0.0	102.2	44.9	15.3	31.2
	湯沢町	21.7	66.8	0.0	22.6	45.5	45.4	23.3	23.5	23.8	120.4	120.8
関川村	109.6	84.0	28.4	0.0	29.3	59.3	179.7	90.8	155.7	63.7	32.5	
粟島浦村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:人口10万人対)

市町村別 自殺率(人口10万対)(女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	23.8	16.4	21.8	17.1	17.1	15.1	13.8	16.6	20.8	20.9	20.3
	川口町	33.2	67.2	33.5	101.4	68.8	104.6	0.0	37.8	77.3	39.3	39.8
	小千谷市	14.1	37.9	19.1	33.7	28.9	9.7	14.8	24.9	10.0	10.1	20.3
	十日町市	35.6	54.1	30.2	45.6	36.8	15.5	37.6	15.9	28.9	32.4	26.2
	魚沼市	47.1	30.2	34.7	17.4	30.8	31.0	22.5	18.1	36.8	9.3	42.5
被災地2	柏崎市	16.0	22.2	18.3	14.3	10.3	12.4	18.8	12.6	19.0	17.1	21.4
	刈羽村	0.0	117.6	0.0	0.0	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.3
	津南町	62.0	63.1	15.9	16.1	16.3	0.0	32.9	50.3	0.0	0.0	17.5
	南魚沼市	41.3	23.7	20.9	33.0	27.2	33.4	18.5	43.3	34.2	9.4	6.3
	見附市	8.8	17.7	35.5	8.9	22.3	31.3	31.7	13.7	27.5	23.0	9.3
	上越市	29.4	25.8	24.9	23.1	24.1	20.4	19.6	21.5	11.3	15.1	17.1
	出雲崎町	0.0	32.1	0.0	0.0	101.9	0.0	35.1	71.6	73.1	0.0	0.0
非被災地	新潟市	15.4	14.1	15.1	15.3	14.3	11.9	10.4	16.2	14.7	10.4	17.1
	新発田市	25.4	40.2	33.0	20.2	16.5	22.1	24.0	5.6	13.0	7.5	16.9
	加茂市	17.5	23.4	23.5	11.8	6.0	6.0	6.1	30.8	12.5	25.2	12.8
	村上市	15.4	20.7	31.2	23.5	21.2	32.0	21.5	21.8	19.3	5.6	5.7
	三条市	28.7	12.6	16.3	12.7	20.0	18.3	5.5	14.9	18.7	13.2	11.4
	燕市	16.3	18.6	4.7	7.0	20.9	16.3	14.0	16.4	11.7	9.4	14.2
	糸魚川市	21.8	36.7	18.5	33.6	18.9	15.2	15.5	23.6	35.7	16.0	24.3
	妙高市	58.8	29.4	14.8	24.9	25.1	25.3	35.8	25.8	47.1	10.6	21.6
	五泉市	16.1	3.3	22.9	16.4	9.9	23.2	20.1	3.4	13.6	6.9	0.0
	阿賀野市	27.6	23.9	28.0	16.1	24.2	16.1	12.3	16.5	20.8	25.1	16.9
	佐渡市	50.0	31.8	21.4	27.1	24.7	33.3	8.5	11.5	17.5	8.9	6.0
	胎内市	5.7	17.2	17.2	46.2	17.4	17.5	5.9	23.8	6.0	6.1	18.4
	聖籠町	14.8	0.0	29.6	29.6	29.7	74.1	0.0	29.6	29.3	14.6	14.5
	弥彦村	45.0	22.7	45.1	0.0	45.4	45.2	22.7	0.0	22.7	0.0	22.3
	田上町	28.2	14.2	56.8	14.2	28.5	14.3	43.4	0.0	0.0	14.8	30.1
	阿賀町	24.2	0.0	49.2	0.0	38.0	25.6	0.0	13.3	0.0	27.7	0.0
	湯沢町	21.6	21.6	21.7	21.9	22.1	44.6	0.0	0.0	23.5	0.0	23.8
関川村	25.5	25.4	25.5	52.0	52.8	26.7	27.2	0.0	0.0	28.7	58.2	
粟島浦村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(単位:人口10万人対)

被災地・非被災地別 自殺率(人口10万対)(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	39.8	35.7	34.9	37.1	36.4	32.0	30.4	30.3	35.9	31.9	34.9
被災地2	38.3	37.8	37.0	32.8	40.1	33.5	34.1	34.5	33.8	29.3	29.7
非被災地	30.6	30.6	33.1	29.6	31.5	30.5	28.0	29.4	30.2	26.2	28.5

(単位:人口10万人対)

被災地・非被災地別 自殺率(人口10万対)(男性)

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	53.0	45.9	46.1	50.9	50.3	47.3	43.4	43.6	49.2	43.7	46.9
被災地2	50.9	50.1	51.6	45.8	58.7	47.1	48.2	46.5	50.2	44.7	44.0
非被災地	41.4	43.7	48.2	42.5	46.8	44.7	44.4	44.3	45.2	42.6	42.5

(単位:人口10万人対)

被災地・非被災地別 自殺率(人口10万対)(女性)

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	27.1	26.0	24.2	23.9	23.1	17.4	18.0	17.7	23.3	20.6	23.5
被災地2	26.3	26.0	23.0	20.5	22.3	20.6	20.8	23.2	18.3	14.7	16.2
非被災地	20.6	18.3	18.9	17.5	17.3	17.2	12.8	15.6	16.3	11.0	15.4

(単位:人口10万人対)

市町村別 人口推移（総数）

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	288,022	287,139	286,917	286,561	285,798	285,104	283,224	282,690	281,328	280,335	279,256
	川口町	5,844	5,748	5,726	5,669	5,595	5,530	5,233	5,082	4,972	4,907	4,836
	小千谷市	42,000	41,641	41,340	41,003	40,890	40,570	39,956	39,613	39,279	39,126	38,858
	十日町市	65,796	65,033	64,550	64,106	63,417	62,851	62,058	61,310	60,621	59,962	59,258
	魚沼市	45,860	45,386	45,176	44,749	44,398	43,973	43,555	43,108	42,453	41,972	41,478
被災地 2	柏崎市	99,781	97,896	97,315	96,699	96,227	95,852	94,648	94,317	93,634	92,846	92,379
	刈羽村	5,461	5,028	4,995	4,961	4,928	4,861	4,806	4,798	4,772	4,738	4,708
	津南町	12,618	12,389	12,259	12,137	12,006	11,885	11,719	11,460	11,258	11,070	10,947
	南魚沼市	66,138	65,492	65,179	64,871	64,317	63,930	63,329	62,955	62,557	62,209	61,586
	見附市	43,807	43,526	43,500	43,390	43,326	43,123	42,668	42,391	42,197	41,978	41,809
	上越市	212,323	211,870	211,673	210,836	210,467	210,526	208,082	207,315	206,171	205,296	204,193
出雲崎町	5,899	5,814	5,700	5,622	5,507	5,423	5,338	5,235	5,144	5,061	4,985	
非被災地	新潟市	807,720	808,969	810,579	811,258	811,588	812,115	813,847	812,631	812,783	812,034	812,223
	新発田市	106,773	106,016	105,680	105,535	105,426	104,894	104,634	104,046	103,580	103,001	102,202
	加茂市	33,255	33,085	32,822	32,630	32,346	32,068	31,482	31,214	30,906	30,528	30,148
	村上市	74,445	73,902	73,380	72,918	72,119	71,397	70,705	69,912	69,062	68,041	67,223
	三条市	108,599	107,662	107,438	107,095	106,563	106,007	104,749	104,129	103,348	102,749	102,175
	燕市	84,566	84,297	84,093	84,052	84,014	83,702	83,269	83,103	82,957	82,635	82,214
	糸魚川市	53,341	53,021	52,488	51,936	51,429	50,908	49,844	49,281	48,732	48,255	47,781
	妙高市	39,816	39,699	39,418	39,179	38,854	38,515	37,831	37,485	36,948	36,465	35,948
	五泉市	59,444	58,820	58,544	58,234	57,902	57,613	56,962	56,453	56,044	55,458	55,015
	阿賀野市	48,913	48,456	48,183	47,998	47,818	47,662	47,043	46,640	46,179	45,858	45,527
	佐渡市	72,511	72,173	71,528	70,674	69,803	68,999	67,386	66,530	65,267	64,310	63,328
	胎内市	34,336	34,278	34,269	34,072	33,801	33,548	32,813	32,646	32,230	31,912	31,527
	聖籠町	13,330	13,313	13,310	13,347	13,345	13,480	13,497	13,515	13,591	13,607	13,728
	弥彦村	8,616	8,535	8,563	8,578	8,529	8,537	8,545	8,548	8,549	8,603	8,692
	田上町	13,845	13,643	13,660	13,693	13,613	13,513	13,363	13,204	13,139	13,033	12,861
	阿賀町	15,977	15,813	15,602	15,392	15,172	15,005	14,703	14,376	14,079	13,756	13,500
湯沢町	9,234	9,130	9,064	8,999	8,912	8,890	8,713	8,567	8,464	8,357	8,338	
関川村	7,565	7,510	7,451	7,329	7,201	7,114	7,019	6,906	6,764	6,623	6,519	
粟島浦村	436	449	444	438	430	430	438	429	422	414	408	

(新潟県推計人口より各年の人口は10月1日付の人口) (単位:人)

市町村別 人口推移 (男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	140,827	140,357	140,218	139,995	139,475	139,027	138,392	138,168	137,391	136,906	136,327
	川口町	2,830	2,773	2,743	2,711	2,687	2,661	2,521	2,436	2,384	2,360	2,326
	小千谷市	20,709	20,559	20,381	20,245	20,164	20,000	19,705	19,547	19,369	19,246	19,115
	十日町市	32,072	31,769	31,458	31,178	30,809	30,519	30,174	29,796	29,432	29,090	28,756
	魚沼市	22,494	22,218	22,090	21,810	21,649	21,385	21,328	21,069	20,741	20,519	20,305
被災地 2	柏崎市	49,778	48,384	48,117	47,722	47,478	47,343	46,676	46,640	46,323	45,981	45,741
	刈羽村	2,846	2,476	2,464	2,452	2,444	2,425	2,412	2,409	2,396	2,380	2,362
	津南町	6,170	6,047	5,973	5,940	5,859	5,802	5,648	5,498	5,398	5,289	5,220
	南魚沼市	32,229	31,805	31,680	31,522	31,217	31,033	30,811	30,604	30,354	30,172	29,951
	見附市	21,103	20,968	20,959	20,942	20,873	20,773	20,599	20,445	20,354	20,271	20,191
	上越市	103,386	103,149	103,129	102,663	102,484	102,600	100,884	100,390	99,821	99,455	98,851
出雲崎町	2,750	2,694	2,638	2,599	2,562	2,515	2,491	2,440	2,407	2,375	2,336	
非被災地	新潟市	391,179	391,891	392,391	392,263	392,115	392,133	392,525	391,640	391,571	390,877	390,900
	新発田市	51,646	51,244	51,111	51,023	50,950	50,683	50,431	50,114	49,834	49,499	49,093
	加茂市	16,084	15,961	15,836	15,722	15,570	15,441	15,150	14,993	14,845	14,661	14,479
	村上市	35,478	35,266	34,949	34,674	34,297	33,936	33,565	33,158	32,783	32,238	31,861
	三条市	52,784	52,292	52,124	51,987	51,700	51,385	50,660	50,411	49,987	49,666	49,365
	燕市	41,506	41,233	41,114	41,085	40,995	40,835	40,555	40,435	40,400	40,230	39,994
	糸魚川市	25,805	25,738	25,483	25,177	24,924	24,641	24,057	23,811	23,516	23,311	23,093
	妙高市	19,403	19,319	19,182	19,067	18,903	18,770	18,288	18,109	17,854	17,630	17,389
	五泉市	28,373	28,071	27,929	27,762	27,580	27,470	27,162	26,898	26,710	26,467	26,276
	阿賀野市	23,544	23,305	23,217	23,138	23,025	22,882	22,578	22,396	22,182	21,992	21,798
	佐渡市	34,507	34,488	34,201	33,800	33,389	33,011	32,136	31,763	31,068	30,638	30,182
	胎内市	16,704	16,846	16,825	16,742	16,546	16,445	15,958	15,866	15,621	15,470	15,239
	聖籠町	6,586	6,529	6,543	6,582	6,618	6,736	6,748	6,756	6,773	6,780	6,830
	弥彦村	4,167	4,130	4,128	4,127	4,120	4,117	4,145	4,151	4,141	4,162	4,200
	田上町	6,762	6,605	6,620	6,626	6,597	6,524	6,455	6,375	6,349	6,289	6,217
	阿賀町	7,696	7,588	7,479	7,385	7,278	7,207	7,012	6,852	6,681	6,537	6,409
湯沢町	4,608	4,490	4,461	4,424	4,395	4,403	4,285	4,250	4,202	4,152	4,139	
関川村	3,650	3,572	3,522	3,480	3,412	3,374	3,339	3,303	3,212	3,141	3,080	
粟島浦村	224	237	233	229	227	228	229	222	218	215	210	

(新潟県推計人口より各年の人口は10月1日付の人口) (単位:人)

市町村別 人口推移 (女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	147,195	146,782	146,699	146,566	146,323	146,077	144,832	144,522	143,937	143,429	142,929
	川口町	3,014	2,975	2,983	2,958	2,908	2,869	2,712	2,646	2,588	2,547	2,510
	小千谷市	21,291	21,082	20,959	20,758	20,726	20,570	20,251	20,066	19,910	19,880	19,743
	十日町市	33,724	33,264	33,092	32,928	32,608	32,332	31,884	31,514	31,189	30,872	30,502
	魚沼市	23,366	23,168	23,086	22,939	22,749	22,588	22,227	22,039	21,712	21,453	21,173
被災地2	柏崎市	50,003	49,512	49,198	48,977	48,749	48,509	47,972	47,677	47,311	46,865	46,638
	刈羽村	2,615	2,552	2,531	2,509	2,484	2,436	2,394	2,389	2,376	2,358	2,346
	津南町	6,448	6,342	6,286	6,197	6,147	6,083	6,071	5,962	5,860	5,781	5,727
	南魚沼市	33,909	33,687	33,499	33,349	33,100	32,897	32,518	32,351	32,203	32,037	31,635
	見附市	22,704	22,558	22,541	22,448	22,453	22,350	22,069	21,946	21,843	21,707	21,618
	上越市	108,937	108,721	108,544	108,173	107,983	107,926	107,198	106,925	106,350	105,841	105,342
出雲崎町	3,149	3,120	3,062	3,023	2,945	2,908	2,847	2,795	2,737	2,686	2,649	
非被災地	新潟市	416,541	417,078	418,188	418,995	419,473	419,982	421,322	420,991	421,212	421,157	421,323
	新発田市	55,127	54,772	54,569	54,512	54,476	54,211	54,203	53,932	53,746	53,502	53,109
	加茂市	17,171	17,124	16,986	16,908	16,776	16,627	16,332	16,221	16,061	15,867	15,669
	村上市	38,967	38,636	38,431	38,244	37,822	37,461	37,140	36,754	36,279	35,803	35,362
	三条市	55,815	55,370	55,314	55,108	54,863	54,622	54,089	53,718	53,361	53,083	52,810
	燕市	43,060	43,064	42,979	42,967	43,019	42,867	42,714	42,668	42,557	42,405	42,220
	糸魚川市	27,536	27,283	27,005	26,759	26,505	26,267	25,787	25,470	25,216	24,944	24,688
	妙高市	20,413	20,380	20,236	20,112	19,951	19,745	19,543	19,376	19,094	18,835	18,559
	五泉市	31,071	30,749	30,615	30,472	30,322	30,143	29,800	29,555	29,334	28,991	28,739
	阿賀野市	25,369	25,151	24,966	24,860	24,793	24,780	24,465	24,244	23,997	23,866	23,729
	佐渡市	38,004	37,685	37,327	36,874	36,414	35,988	35,250	34,767	34,199	33,672	33,146
	胎内市	17,632	17,432	17,444	17,330	17,255	17,103	16,855	16,780	16,609	16,442	16,288
	聖籠町	6,744	6,784	6,767	6,765	6,727	6,744	6,749	6,759	6,818	6,827	6,898
	弥彦村	4,449	4,405	4,435	4,451	4,409	4,420	4,400	4,397	4,408	4,441	4,492
	田上町	7,083	7,038	7,040	7,067	7,016	6,989	6,908	6,829	6,790	6,744	6,644
	阿賀町	8,281	8,225	8,123	8,007	7,894	7,798	7,691	7,524	7,398	7,219	7,091
湯沢町	4,626	4,640	4,603	4,575	4,517	4,487	4,428	4,317	4,262	4,205	4,199	
関川村	3,915	3,938	3,929	3,849	3,789	3,740	3,680	3,603	3,552	3,482	3,439	
粟島浦村	212	212	211	209	203	202	209	207	204	199	198	

(新潟県推計人口より各年の人口は10月1日付の人口) (単位:人)

被災地・非被災地別人口推移(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	447,522	444,947	443,709	442,088	440,098	438,028	434,026	431,803	428,653	426,302	423,686
被災地2	446,027	442,015	440,621	438,516	436,778	435,600	430,590	428,471	425,733	423,198	420,607
非被災地	1,592,722	1,588,771	1,586,516	1,583,357	1,578,865	1,574,397	1,566,843	1,559,615	1,553,044	1,545,639	1,539,357

(単位:人)

被災地・非被災地別人口推移(男性)

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	218,932	217,676	216,890	215,939	214,784	213,592	212,120	211,016	209,317	208,121	206,829
被災地2	218,262	215,523	214,960	213,840	212,917	212,491	209,521	208,426	207,053	205,923	204,652
非被災地	770,706	768,805	767,348	765,293	762,641	760,221	755,278	751,503	747,947	743,955	740,754

(単位:人)

被災地・非被災地別人口推移(女性)

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	228,590	227,271	226,819	226,149	225,314	224,436	221,906	220,787	219,336	218,181	216,857
被災地2	227,765	226,492	225,661	224,676	223,861	223,109	221,069	220,045	218,680	217,275	215,955
非被災地	822,016	819,966	819,168	818,064	816,224	814,176	811,565	808,112	805,097	801,684	798,603

(単位:人)

市町村別 世帯数推移

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	88,924	89,699	90,522	91,416	92,384	93,248	93,807	95,515	96,325	96,948	97,687
	川口町	1,564	1,543	1,545	1,605	1,605	1,592	1,570	1,539	1,526	1,522	1,517
	小千谷市	12,127	12,231	12,273	12,237	12,313	12,348	12,258	12,314	12,312	12,388	12,534
	十日町市	19,370	19,497	19,549	19,614	19,736	19,751	19,825	19,876	19,876	19,930	19,938
	魚沼市	13,091	13,192	13,305	13,360	13,394	13,391	13,417	13,549	13,479	13,474	13,482
被災地2	柏崎市	31,987	32,114	32,281	32,381	32,601	32,859	33,148	33,381	33,715	33,794	33,975
	刈羽村	1,507	1,493	1,471	1,484	1,483	1,489	1,486	1,483	1,512	1,525	1,544
	津南町	3,766	3,760	3,731	3,723	3,711	3,700	3,690	3,690	3,676	3,682	3,669
	南魚沼市	17,910	17,985	18,028	18,198	18,292	18,369	18,437	18,576	18,711	18,808	18,887
	見附市	12,408	12,531	12,643	12,748	12,872	12,995	13,053	13,192	13,291	13,411	13,608
	上越市	65,595	66,259	66,729	67,053	67,757	68,574	69,177	70,007	70,604	71,186	71,495
出雲崎町	1,919	1,908	1,895	1,889	1,892	1,866	1,839	1,833	1,829	1,830	1,822	
非被災地	新潟市	272,229	275,831	279,259	282,792	286,101	289,509	292,569	296,708	300,103	303,535	307,000
	新発田市	31,477	31,792	32,054	32,351	32,569	32,836	33,007	33,150	33,557	33,872	34,020
	加茂市	9,685	9,731	9,792	9,817	9,861	9,882	9,907	9,951	10,013	10,052	10,093
	村上市	22,178	22,344	22,437	22,569	22,612	22,712	22,706	22,748	22,752	22,777	22,786
	三条市	31,400	31,771	32,020	32,347	32,607	32,778	32,881	33,302	33,545	33,767	34,091
	燕市	24,458	24,801	25,029	25,181	25,428	25,692	25,901	26,232	26,531	26,794	26,984
	糸魚川市	17,337	17,444	17,486	17,508	17,521	17,556	17,565	17,579	17,590	17,620	17,650
	妙高市	11,823	11,927	11,979	12,024	12,063	12,128	12,137	12,187	12,231	12,203	12,168
	五泉市	16,946	17,119	17,196	17,314	17,423	17,538	17,628	17,879	17,981	18,045	18,113
	阿賀野市	12,810	12,902	13,015	13,129	13,215	13,287	13,375	13,436	13,490	13,569	13,642
	佐渡市	25,400	25,464	25,484	25,454	25,477	25,425	25,312	25,355	25,197	25,149	25,079
	胎内市	9,642	9,687	9,807	9,854	9,920	9,961	10,012	10,145	10,213	10,245	10,270
	聖籠町	3,390	3,442	3,543	3,556	3,626	3,771	3,832	3,917	3,952	3,936	4,016
	弥彦村	2,425	2,460	2,480	2,473	2,485	2,508	2,510	2,574	2,646	2,662	2,721
	田上町	3,824	3,862	3,902	3,957	3,968	3,966	3,984	3,990	4,024	4,028	4,045
	阿賀町	5,397	5,424	5,418	5,390	5,369	5,370	5,333	5,314	5,272	5,248	5,205
湯沢町	3,176	3,144	3,134	3,158	3,172	3,138	3,196	3,215	3,225	3,257	3,274	
関川村	2,114	2,125	2,123	2,108	2,112	2,109	2,103	2,100	2,079	2,069	2,068	
粟島浦村	132	133	132	135	134	135	134	136	133	131	133	

(住民基本台帳世帯数より 各年3月31日付)

(単位:世帯)

被災地・非被災地別 世帯数推移

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	135,076	136,162	137,194	138,232	139,432	140,330	140,877	142,793	143,518	144,262	145,158
被災地2	135,092	136,050	136,778	137,476	138,608	139,852	140,830	142,162	143,338	144,236	145,000
非被災地	505,843	511,403	516,290	521,117	525,663	530,301	534,092	539,918	544,534	548,959	553,358

(単位:世帯)

市町村別 出生数 推移 (総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	2,643	2,622	2,621	2,514	2,412	2,407	2,223	2,398	2,330	2,332	2,203
	川口町	40	45	34	49	40	43	44	46	40	35	47
	小千谷市	384	374	349	315	378	305	321	323	355	288	321
	十日町市	538	517	497	516	442	473	436	424	423	432	388
	魚沼市	378	409	402	344	345	354	324	339	286	315	269
被災地 2	柏崎市	782	832	795	800	750	746	665	711	707	670	651
	刈羽村	37	34	30	44	29	28	33	36	27	31	30
	津南町	86	104	88	81	69	91	70	58	59	51	60
	南魚沼市	636	617	582	564	524	521	476	537	499	508	474
	見附市	349	371	372	360	355	315	303	289	331	316	306
	上越市	2,036	1,981	2,000	1,800	1,772	1,884	1,732	1,792	1,701	1,718	1,646
出雲崎町	29	32	37	27	21	25	31	31	32	27	23	
非被災地	新潟市	7,216	7,245	7,130	6,747	6,762	6,695	6,577	6,549	6,634	6,554	6,422
	新発田市	886	912	864	820	821	800	753	804	736	790	725
	加茂市	286	267	238	209	216	208	180	189	198	192	157
	村上市	618	610	591	535	528	486	461	451	469	383	384
	三条市	997	979	976	914	873	854	867	834	779	798	825
	燕市	806	820	744	740	701	695	661	703	701	661	669
	糸魚川市	412	409	410	384	366	355	305	348	342	333	344
	妙高市	357	345	310	322	341	277	277	268	249	246	242
	五泉市	474	512	459	464	451	450	384	377	369	360	369
	阿賀野市	419	408	391	369	362	370	323	331	346	332	300
	佐渡市	537	549	520	490	448	400	419	470	439	425	434
	胎内市	291	317	270	250	230	247	233	241	234	198	221
	聖籠町	146	137	132	150	118	130	121	115	127	117	136
	弥彦村	73	84	82	79	69	70	60	65	59	62	78
	田上町	115	101	126	108	104	81	82	73	92	71	78
	阿賀町	112	115	120	101	85	94	78	67	73	63	62
湯沢町	74	84	84	69	66	67	61	71	56	41	50	
関川村	53	52	46	54	41	59	36	44	30	39	32	
粟島浦村	2	2	1	2	0	1	0	1	1	0	2	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 出生数 推移(男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	1,373	1,288	1,363	1,219	1,212	1,220	1,107	1,196	1,203	1,201	1,137
	川口町	16	22	21	18	21	27	20	18	20	21	24
	小千谷市	207	210	185	160	212	157	151	169	178	151	173
	十日町市	277	263	270	268	224	247	228	218	216	238	190
	魚沼市	199	197	190	160	172	182	165	174	160	175	126
被災地 2	柏崎市	401	451	414	415	382	378	328	381	361	363	358
	刈羽村	21	16	16	19	17	15	18	17	10	14	15
	津南町	41	61	46	45	37	51	31	29	25	29	29
	南魚沼市	327	316	303	297	260	274	250	287	241	259	247
	見附市	180	193	201	190	192	176	153	137	150	174	156
	上越市	1,023	1,028	1,063	914	900	1,001	871	916	884	867	822
出雲崎町	16	15	20	16	8	14	15	20	14	8	16	
非被災地	新潟市	3,706	3,756	3,626	3,497	3,452	3,374	3,425	3,358	3,423	3,394	3,265
	新発田市	444	441	444	415	413	415	375	407	400	423	373
	加茂市	161	130	125	105	105	114	89	97	99	99	83
	村上市	331	326	319	277	275	255	258	215	259	177	202
	三条市	504	503	496	477	440	442	434	427	381	388	412
	燕市	413	427	400	363	358	366	346	327	383	365	340
	糸魚川市	211	218	194	192	191	173	163	188	172	179	175
	妙高市	186	184	160	171	161	152	124	124	132	138	130
	五泉市	243	271	217	235	210	243	207	204	187	183	194
	阿賀野市	211	215	212	199	189	173	178	166	192	176	169
	佐渡市	267	275	274	246	235	202	215	254	232	222	237
	胎内市	145	159	131	120	106	129	130	131	126	108	118
	聖籠町	71	76	69	79	64	65	66	55	66	63	77
	弥彦村	33	47	39	34	26	36	32	32	32	31	48
	田上町	63	47	66	48	54	42	33	37	52	31	45
	阿賀町	51	64	52	60	50	46	39	39	40	28	36
湯沢町	40	33	43	29	34	37	33	37	26	23	26	
関川村	28	19	21	36	21	30	21	29	16	14	17	
粟島浦村	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 出生数 推移(女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	1,270	1,334	1,258	1,295	1,200	1,187	1,116	1,202	1,127	1,131	1,066
	川口町	24	23	13	31	19	16	24	28	20	14	23
	小千谷市	177	164	164	155	166	148	170	154	177	137	148
	十日町市	261	254	227	248	218	226	208	206	207	194	198
	魚沼市	179	212	212	184	173	172	159	165	126	140	143
被災地 2	柏崎市	381	381	381	385	368	368	337	330	346	307	293
	刈羽村	16	18	14	25	12	13	15	19	17	17	15
	津南町	45	43	42	36	32	40	39	29	34	22	31
	南魚沼市	309	301	279	267	264	247	226	250	258	249	227
	見附市	169	178	171	170	163	139	150	152	181	142	150
	上越市	1,013	953	937	886	872	883	861	876	817	851	824
出雲崎町	13	17	17	11	13	11	16	11	18	19	7	
非被災地	新潟市	3,510	3,489	3,504	3,250	3,310	3,321	3,152	3,191	3,211	3,160	3,157
	新発田市	442	471	420	405	408	385	378	397	336	367	352
	加茂市	125	137	113	104	111	94	91	92	99	93	74
	村上市	287	284	272	258	253	231	203	236	210	206	182
	三条市	493	476	480	437	433	412	433	407	398	410	413
	燕市	393	393	344	377	343	329	315	376	318	296	329
	糸魚川市	201	191	216	192	175	182	142	160	170	154	169
	妙高市	171	161	150	151	180	125	153	144	117	108	112
	五泉市	231	241	242	229	241	207	177	173	182	177	175
	阿賀野市	208	193	179	170	173	197	145	165	154	156	131
	佐渡市	270	274	246	244	213	198	204	216	207	203	197
	胎内市	146	158	139	130	124	118	103	110	108	90	103
	聖籠町	75	61	63	71	54	65	55	60	61	54	59
	弥彦村	40	37	43	45	43	34	28	33	27	31	30
	田上町	52	54	60	60	50	39	49	36	40	40	33
	阿賀町	61	51	68	41	35	48	39	28	33	35	26
湯沢町	34	51	41	40	32	30	28	34	30	18	24	
関川村	25	33	25	18	20	29	15	15	14	25	15	
粟島浦村	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	2	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 出生率（人口千対）

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	9.18	9.13	9.14	8.77	8.44	8.44	7.85	8.48	8.28	8.32	7.89
	川口町	6.84	7.83	5.94	8.64	7.15	7.78	8.41	9.05	8.05	7.13	9.72
	小千谷市	9.14	8.98	8.44	7.68	9.24	7.52	8.03	8.15	9.04	7.36	8.26
	十日町市	8.18	7.95	7.70	8.05	6.97	7.53	7.03	6.92	6.98	7.20	6.55
	魚沼市	8.24	9.01	8.90	7.69	7.77	8.05	7.44	7.86	6.74	7.51	6.49
被災地2	柏崎市	7.84	8.50	8.17	8.27	7.79	7.78	7.03	7.54	7.55	7.22	7.05
	刈羽村	6.78	6.76	6.01	8.87	5.88	5.76	6.87	7.50	5.66	6.54	6.37
	津南町	6.82	8.39	7.18	6.67	5.75	7.66	5.97	5.06	5.24	4.61	5.48
	南魚沼市	9.62	9.42	8.93	8.69	8.15	8.15	7.52	8.53	7.98	8.17	7.70
	見附市	9.59	9.35	9.45	8.54	8.42	8.95	8.32	8.64	8.25	8.37	8.06
	上越市	4.92	5.50	6.49	4.80	3.81	4.61	5.81	5.92	6.22	5.33	4.61
出雲崎町	8.93	8.96	8.80	8.32	8.33	8.24	8.08	8.06	8.16	8.07	7.91	
非被災地	新潟市	8.30	8.60	8.18	7.77	7.79	7.63	7.20	7.73	7.11	7.67	7.09
	新発田市	8.60	8.07	7.25	6.41	6.68	6.49	5.72	6.05	6.41	6.29	5.21
	加茂市	8.30	8.25	8.05	7.34	7.32	6.81	6.52	6.45	6.79	5.63	5.71
	村上市	9.18	9.09	9.08	8.53	8.19	8.06	8.28	8.01	7.54	7.77	8.07
	三条市	7.97	8.52	8.55	8.30	8.19	7.30	7.10	6.82	7.84	7.53	7.32
	燕市	9.53	9.73	8.85	8.80	8.34	8.30	7.94	8.46	8.45	8.00	8.14
	糸魚川市	7.72	7.71	7.81	7.39	7.12	6.97	6.12	7.06	7.02	6.90	7.20
	妙高市	8.97	8.69	7.86	8.22	8.78	7.19	7.32	7.15	6.74	6.75	6.73
	五泉市	7.97	8.70	7.84	7.97	7.79	7.81	6.74	6.68	6.58	6.49	6.71
	阿賀野市	8.57	8.42	8.11	7.69	7.57	7.76	6.87	7.10	7.49	7.24	6.59
	佐渡市	7.41	7.61	7.27	6.93	6.42	5.80	6.22	7.06	6.73	6.61	6.85
	胎内市	8.48	9.25	7.88	7.34	6.80	7.36	7.10	7.38	7.26	6.20	7.01
	聖籠町	10.95	10.29	9.92	11.24	8.84	9.64	8.96	8.51	9.34	8.60	9.91
	弥彦村	8.47	9.84	9.58	9.21	8.09	8.20	7.02	7.60	6.90	7.21	8.97
	田上町	8.31	7.40	9.22	7.89	7.64	5.99	6.14	5.53	7.00	5.45	6.06
	阿賀町	7.01	7.27	7.69	6.56	5.60	6.26	5.31	4.66	5.19	4.58	4.59
	湯沢町	8.01	9.20	9.27	7.67	7.41	7.54	7.00	8.29	6.62	4.91	6.00
関川村	7.01	6.92	6.17	7.37	5.69	8.29	5.13	6.37	4.44	5.89	4.91	
粟島浦村	4.59	4.45	2.25	4.57	0.00	2.33	0.00	2.33	2.37	0.00	4.90	

(単位:人口千対)

被災地・非被災地別 出生数推移

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	3,983	3,967	3,903	3,738	3,617	3,582	3,348	3,530	3,434	3,402	3,228
被災地2	3,955	3,971	3,904	3,676	3,520	3,610	3,310	3,454	3,356	3,321	3,190
非被災地	13,874	13,948	13,494	12,807	12,582	12,339	11,878	12,001	11,934	11,665	11,530

(単位:人)

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	2,072	1,980	2,029	1,825	1,841	1,833	1,671	1,775	1,777	1,786	1,650
被災地2	2,009	2,080	2,063	1,896	1,796	1,909	1,666	1,787	1,685	1,714	1,643
非被災地	7,110	7,191	6,889	6,584	6,384	6,295	6,168	6,127	6,218	6,042	5,947

(単位:人)

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	1,911	1,987	1,874	1,913	1,776	1,749	1,677	1,755	1,657	1,616	1,578
被災地2	1,946	1,891	1,841	1,780	1,724	1,701	1,644	1,667	1,671	1,607	1,547
非被災地	6,764	6,757	6,605	6,223	6,198	6,044	5,710	5,874	5,716	5,623	5,583

(単位:人)

被災地・非被災地別 出生率推移

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	8.90	8.92	8.80	8.46	8.22	8.18	7.71	8.18	8.01	7.98	7.62
被災地2	8.87	8.98	8.86	8.38	8.06	8.29	7.69	8.06	7.88	7.85	7.58
非被災地	8.71	8.78	8.51	8.09	7.97	7.84	7.58	7.69	7.68	7.55	7.49

(単位:人口千対)

市町村別 死亡者数推移(総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	2,561	2,495	2,551	2,435	2,606	2,678	2,746	2,639	2,843	2,778	2,805
	川口町	74	51	61	64	66	70	74	73	61	57	63
	小千谷市	412	415	421	416	442	460	470	393	432	439	453
	十日町市	711	696	725	651	722	734	733	677	747	766	766
	魚沼市	454	435	434	454	470	497	522	476	566	464	551
被災地2	柏崎市	947	894	950	926	1,038	1,013	1,083	1,003	1,107	998	1,092
	刈羽村	53	57	44	50	62	46	57	45	57	58	53
	津南町	142	138	134	136	163	157	183	149	156	158	159
	南魚沼市	595	625	619	647	677	617	651	639	643	666	727
	見附市	401	392	354	371	403	398	454	450	426	431	466
	上越市	2,004	1,956	1,994	2,071	1,949	2,052	2,191	2,053	2,159	2,269	2,123
出雲崎町	70	86	87	86	115	106	91	103	105	95	109	
非被災地	新潟市	6,110	5,883	6,005	6,048	6,314	6,419	6,804	6,804	7,096	7,010	7,056
	新発田市	983	1,025	977	945	1,021	1,007	1,029	971	1,070	1,076	1,044
	加茂市	342	314	344	330	359	336	360	350	357	351	342
	村上市	818	866	802	859	820	861	853	871	951	944	942
	三条市	979	917	969	989	1,050	1,029	1,011	1,055	1,157	1,015	1,064
	燕市	718	651	660	670	731	741	787	745	788	837	794
	糸魚川市	609	543	612	616	614	678	649	699	607	703	710
	妙高市	416	397	448	390	420	403	407	429	428	457	490
	五泉市	562	503	523	581	557	613	664	641	632	649	643
	阿賀野市	471	469	518	481	489	521	507	494	546	496	481
	佐渡市	1,084	971	1,011	972	1,022	1,041	1,089	1,003	1,055	1,038	1,012
	胎内市	360	375	331	346	343	317	345	401	384	378	390
	聖籠町	96	120	126	117	104	120	120	133	119	136	129
	弥彦村	83	82	76	85	75	74	78	77	80	74	82
	田上町	112	111	114	142	110	149	119	126	100	135	148
	阿賀町	246	205	216	201	212	189	225	252	256	235	233
湯沢町	64	77	71	72	94	83	88	90	85	89	119	
関川村	82	84	86	95	112	98	89	97	110	83	94	
粟島浦村	6	2	4	3	3	4	8	1	3	4	8	

(新潟県福祉保健年報より) (単位:人)

市町村別 死亡者数推移(男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	1,428	1,323	1,358	1,294	1,370	1,478	1,452	1,415	1,495	1,445	1,430
	川口町	38	29	36	31	32	34	42	43	33	32	38
	小千谷市	205	228	242	215	244	250	249	191	238	221	243
	十日町市	376	375	388	352	401	403	369	363	407	392	394
	魚沼市	255	229	259	264	253	263	288	242	283	240	274
被災地2	柏崎市	488	472	507	471	558	526	581	520	578	529	583
	刈羽村	32	28	26	24	28	19	30	20	32	37	25
	津南町	75	63	74	72	94	87	99	89	84	84	79
	南魚沼市	335	327	324	343	357	335	345	350	350	341	385
	見附市	222	214	185	197	218	207	241	221	208	228	234
	上越市	1,079	1,077	1,130	1,099	1,062	1,096	1,162	1,074	1,138	1,169	1,079
	出雲崎町	38	55	44	41	48	47	46	48	47	45	48
非被災地	新潟市	3,393	3,203	3,323	3,342	3,416	3,461	3,707	3,661	3,824	3,742	3,741
	新発田市	499	548	486	510	563	544	547	498	604	570	557
	加茂市	190	169	174	174	191	183	197	180	193	182	186
	村上市	450	451	455	468	428	449	452	450	478	485	473
	三条市	529	517	510	512	508	532	559	549	601	535	563
	燕市	423	351	372	366	406	420	437	400	420	466	411
	糸魚川市	350	315	321	345	338	366	308	354	316	359	359
	妙高市	211	219	246	207	206	214	230	223	215	251	245
	五泉市	284	273	283	312	286	313	362	352	329	320	330
	阿賀野市	241	258	265	265	290	256	257	251	278	268	262
	佐渡市	540	511	540	484	537	554	549	523	575	537	509
	胎内市	188	197	168	167	199	156	180	213	186	215	210
	聖籠町	60	72	68	70	58	64	61	76	64	72	73
	弥彦村	55	36	43	36	39	41	38	42	44	39	46
	田上町	66	65	58	81	66	86	64	63	58	82	69
	阿賀町	134	113	116	111	111	105	110	136	142	113	121
	湯沢町	33	45	34	43	54	43	40	40	41	46	65
関川村	44	48	50	48	57	44	47	53	62	47	52	
粟島浦村	4	2	3	2	2	2	3	0	2	3	3	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 死亡者数推移(女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	1,133	1,172	1,193	1,141	1,236	1,200	1,294	1,224	1,348	1,333	1,375
	川口町	36	22	25	33	34	36	32	30	28	25	25
	小千谷市	207	187	179	201	198	210	221	202	194	218	210
	十日町市	335	321	337	299	321	331	364	314	340	374	372
	魚沼市	199	206	175	190	217	234	234	234	283	224	277
被災地2	柏崎市	459	422	443	455	480	487	502	483	529	469	509
	刈羽村	21	29	18	26	34	27	27	25	25	21	28
	津南町	67	75	60	64	69	70	84	60	72	74	80
	南魚沼市	260	298	295	304	320	282	306	289	293	325	342
	見附市	179	178	169	174	185	191	213	229	218	203	232
	上越市	925	879	864	972	887	956	1,029	979	1,021	1,100	1,044
	出雲崎町	32	31	43	45	67	59	45	55	58	50	61
非被災地	新潟市	2,717	2,680	2,682	2,706	2,898	2,958	3,097	3,143	3,272	3,268	3,315
	新発田市	484	477	491	435	458	463	482	473	466	506	487
	加茂市	152	145	170	156	168	153	163	170	164	169	156
	村上市	368	415	347	391	392	412	401	421	473	459	469
	三条市	450	400	459	477	542	497	452	506	556	480	501
	燕市	295	300	288	304	325	321	350	345	368	371	383
	糸魚川市	259	228	291	271	276	312	341	345	291	344	351
	妙高市	205	178	202	183	214	189	177	206	213	206	245
	五泉市	278	230	240	269	271	300	302	289	303	329	313
	阿賀野市	230	211	253	216	199	265	250	243	268	228	219
	佐渡市	544	460	471	488	485	487	540	480	480	501	503
	胎内市	172	178	163	179	144	161	165	188	198	163	180
	聖籠町	36	48	58	47	46	56	59	57	55	64	56
	弥彦村	28	46	33	49	36	33	40	35	36	35	36
	田上町	46	46	56	61	44	63	55	63	42	53	79
	阿賀町	112	92	100	90	101	84	115	116	114	122	112
湯沢町	31	32	37	29	40	40	48	50	44	43	54	
関川村	38	36	36	47	55	54	42	44	48	36	42	
粟島浦村	2	0	1	1	1	2	5	1	1	1	5	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 死亡率推移 (人口千対)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	8.89	8.69	8.89	8.50	9.12	9.39	9.70	9.34	10.11	9.91	10.04
	川口町	12.66	8.87	10.65	11.29	11.80	12.66	14.14	14.36	12.27	11.62	13.03
	小千谷市	9.81	9.97	10.18	10.15	10.81	11.34	11.76	9.92	11.00	11.22	11.66
	十日町市	10.81	10.70	11.23	10.16	11.38	11.68	11.81	11.04	12.32	12.77	12.93
	魚沼市	9.90	9.58	9.61	10.15	10.59	11.30	11.98	11.04	13.33	11.05	13.28
被災地2	柏崎市	9.49	9.13	9.76	9.58	10.79	10.57	11.44	10.63	11.82	10.75	11.82
	刈羽村	9.71	11.34	8.81	10.08	12.58	9.46	11.86	9.38	11.94	12.24	11.26
	津南町	11.25	11.14	10.93	11.21	13.58	13.21	15.62	13.00	13.86	14.27	14.52
	南魚沼市	9.00	9.54	9.50	9.97	10.53	9.65	10.28	10.15	10.28	10.71	11.80
	見附市	9.15	9.01	8.14	8.55	9.30	9.23	10.64	10.62	10.10	10.27	11.15
	上越市	9.44	9.23	9.42	9.82	9.26	9.75	10.53	9.90	10.47	11.05	10.40
出雲崎町	11.87	14.79	15.26	15.30	20.88	19.55	17.05	19.68	20.41	18.77	21.87	
非被災地	新潟市	7.56	7.27	7.41	7.46	7.78	7.90	8.36	8.37	8.73	8.63	8.69
	新発田市	9.21	9.67	9.24	8.95	9.68	9.60	9.83	9.33	10.33	10.45	10.22
	加茂市	10.28	9.49	10.48	10.11	11.10	10.48	11.44	11.21	11.55	11.50	11.34
	村上市	10.99	11.72	10.93	11.78	11.37	12.06	12.06	12.46	13.77	13.87	14.01
	三条市	9.01	8.52	9.02	9.23	9.85	9.71	9.65	10.13	11.20	9.88	10.41
	燕市	8.49	7.72	7.85	7.97	8.70	8.85	9.45	8.96	9.50	10.13	9.66
	糸魚川市	11.42	10.24	11.66	11.86	11.94	13.32	13.02	14.18	12.46	14.57	14.86
	妙高市	10.45	10.00	11.37	9.95	10.81	10.46	10.76	11.44	11.58	12.53	13.63
	五泉市	9.45	8.55	8.93	9.98	9.62	10.64	11.66	11.35	11.28	11.70	11.69
	阿賀野市	9.63	9.68	10.75	10.02	10.23	10.93	10.78	10.59	11.82	10.82	10.57
	佐渡市	14.95	13.45	14.13	13.75	14.64	15.09	16.16	15.08	16.16	16.14	15.98
	胎内市	10.48	10.94	9.66	10.15	10.15	9.45	10.51	12.28	11.91	11.85	12.37
	聖籠町	7.20	9.01	9.47	8.77	7.79	8.90	8.89	9.84	8.76	9.99	9.40
	弥彦村	9.63	9.61	8.88	9.91	8.79	8.67	9.13	9.01	9.36	8.60	9.43
	田上町	8.09	8.14	8.35	10.37	8.08	11.03	8.91	9.54	7.61	10.36	11.51
	阿賀町	15.40	12.96	13.84	13.06	13.97	12.60	15.30	17.53	18.18	17.08	17.26
湯沢町	6.93	8.43	7.83	8.00	10.55	9.34	10.10	10.51	10.04	10.65	14.27	
関川村	10.84	11.19	11.54	12.96	15.55	13.78	12.68	14.05	16.26	12.53	14.42	
粟島浦村	13.76	4.45	9.01	6.85	6.98	9.30	18.26	2.33	7.11	9.66	19.61	

(単位:人口千対)

被災地・非被災地別 死亡者数 推移(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	4,212	4,092	4,192	4,020	4,306	4,439	4,545	4,258	4,649	4,504	4,638
被災地2	4,212	4,148	4,182	4,287	4,407	4,389	4,710	4,442	4,653	4,675	4,729
非被災地	14,141	13,595	13,893	13,942	14,450	14,683	15,232	15,239	15,824	15,710	15,781

被災地・非被災地別 死亡者数 推移(男性)

(単位:人)

男子	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	2,302	2,184	2,283	2,156	2,300	2,428	2,400	2,254	2,456	2,330	2,379
被災地2	2,269	2,236	2,290	2,247	2,365	2,317	2,504	2,322	2,437	2,433	2,433
非被災地	7,694	7,393	7,515	7,543	7,755	7,833	8,148	8,064	8,432	8,332	8,275

被災地・非被災地別 死亡者数 推移(女子)

(単位:人)

女子	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	1,910	1,908	1,909	1,864	2,006	2,011	2,145	2,004	2,193	2,174	2,259
被災地2	1,943	1,912	1,892	2,040	2,042	2,072	2,206	2,120	2,216	2,242	2,296
非被災地	6,447	6,202	6,378	6,399	6,695	6,850	7,084	7,175	7,392	7,378	7,506

(単位:人)

被災地・非被災地別 死亡率推移(人口千対)

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	9.41	9.20	9.45	9.09	9.78	10.13	10.47	9.86	10.85	10.57	10.95
被災地2	9.44	9.38	9.49	9.78	10.09	10.08	10.94	10.37	10.93	11.05	11.24
非被災地	8.88	8.56	8.76	8.81	9.15	9.33	9.72	9.77	10.19	10.16	10.25

(単位:人口千対)

市町村別 自然動態増減数 (出生者数 - 死亡者数)(総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	82	127	70	79	-194	-271	-523	-241	-513	-446	-602
	川口町	-34	-6	-27	-15	-26	-27	-30	-27	-21	-22	-16
	小千谷市	-28	-41	-72	-101	-64	-155	-149	-70	-77	-151	-132
	十日町市	-173	-179	-228	-135	-280	-261	-297	-253	-324	-334	-378
	魚沼市	-76	-26	-32	-110	-125	-143	-198	-137	-280	-149	-282
被災地 2	柏崎市	-165	-62	-155	-126	-288	-267	-418	-292	-400	-328	-441
	刈羽村	-16	-23	-14	-6	-33	-18	-24	-9	-30	-27	-23
	津南町	-56	-34	-46	-55	-94	-66	-113	-91	-97	-107	-99
	南魚沼市	41	-8	-37	-83	-153	-96	-175	-102	-144	-158	-253
	見附市	-52	-21	18	-11	-48	-83	-151	-161	-95	-115	-160
	上越市	32	25	6	-271	-177	-168	-459	-261	-458	-551	-477
出雲崎町	-41	-54	-50	-59	-94	-81	-60	-72	-73	-68	-86	
非被災地	新潟市	1,106	1,362	1,125	699	448	276	-227	-255	-462	-456	-634
	新発田市	-97	-113	-113	-125	-200	-207	-276	-167	-334	-286	-319
	加茂市	-56	-47	-106	-121	-143	-128	-180	-161	-159	-159	-185
	村上市	-200	-256	-211	-324	-292	-375	-392	-420	-482	-561	-558
	三条市	18	62	7	-75	-177	-175	-144	-221	-378	-217	-239
	燕市	88	169	84	70	-30	-46	-126	-42	-87	-176	-125
	糸魚川市	-197	-134	-202	-232	-248	-323	-344	-351	-265	-370	-366
	妙高市	-59	-52	-138	-68	-79	-126	-130	-161	-179	-211	-248
	五泉市	-88	9	-64	-117	-106	-163	-280	-264	-263	-289	-274
	阿賀野市	-52	-61	-127	-112	-127	-151	-184	-163	-200	-164	-181
	佐渡市	-547	-422	-491	-482	-574	-641	-670	-533	-616	-613	-578
	胎内市	-69	-58	-61	-96	-113	-70	-112	-160	-150	-180	-169
	聖籠町	50	17	6	33	14	10	1	-18	8	-19	7
	弥彦村	-10	2	6	-6	-6	-4	-18	-12	-21	-12	-4
	田上町	3	-10	12	-34	-6	-68	-37	-53	-8	-64	-70
	阿賀町	-134	-90	-96	-100	-127	-95	-147	-185	-183	-172	-171
湯沢町	10	7	13	-3	-28	-16	-27	-19	-29	-48	-69	
関川村	-29	-32	-40	-41	-71	-39	-53	-53	-80	-44	-62	
粟島浦村	-4	0	-3	-1	-3	-3	-8	0	-2	-4	-6	

※出生数-死亡数で算出

(単位:人)

市町村別 自然動態増減数 (出生者数 - 死亡者数)(男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	-55	-35	5	-75	-158	-258	-345	-219	-292	-244	-293
	川口町	-22	-7	-15	-13	-11	-7	-22	-25	-13	-11	-14
	小千谷市	2	-18	-57	-55	-32	-93	-98	-22	-60	-70	-70
	十日町市	-99	-112	-118	-84	-177	-156	-141	-145	-191	-154	-204
	魚沼市	-56	-32	-69	-104	-81	-81	-123	-68	-123	-65	-148
被災地 2	柏崎市	-87	-21	-93	-56	-176	-148	-253	-139	-217	-166	-225
	刈羽村	-11	-12	-10	-5	-11	-4	-12	-3	-22	-23	-10
	津南町	-34	-2	-28	-27	-57	-36	-68	-60	-59	-55	-50
	南魚沼市	-8	-11	-21	-46	-97	-61	-95	-63	-109	-82	-138
	見附市	-42	-21	16	-7	-26	-31	-88	-84	-58	-54	-78
	上越市	-56	-49	-67	-185	-162	-95	-291	-158	-254	-302	-257
出雲崎町	-22	-40	-24	-25	-40	-33	-31	-28	-33	-37	-32	
非被災地	新潟市	313	553	303	155	36	-87	-282	-303	-401	-348	-476
	新発田市	-55	-107	-42	-95	-150	-129	-172	-91	-204	-147	-184
	加茂市	-29	-39	-49	-69	-86	-69	-108	-83	-94	-83	-103
	村上市	-119	-125	-136	-191	-153	-194	-194	-235	-219	-308	-271
	三条市	-25	-14	-14	-35	-68	-90	-125	-122	-220	-147	-151
	燕市	-10	76	28	-3	-48	-54	-91	-73	-37	-101	-71
	糸魚川市	-139	-97	-127	-153	-147	-193	-145	-166	-144	-180	-184
	妙高市	-25	-35	-86	-36	-45	-62	-106	-99	-83	-113	-115
	五泉市	-41	-2	-66	-77	-76	-70	-155	-148	-142	-137	-136
	阿賀野市	-30	-43	-53	-66	-101	-83	-79	-85	-86	-92	-93
	佐渡市	-273	-236	-266	-238	-302	-352	-334	-269	-343	-315	-272
	胎内市	-43	-38	-37	-47	-93	-27	-50	-82	-60	-107	-92
	聖籠町	11	4	1	9	6	1	5	-21	2	-9	4
	弥彦村	-22	11	-4	-2	-13	-5	-6	-10	-12	-8	2
	田上町	-3	-18	8	-33	-12	-44	-31	-26	-6	-51	-24
	阿賀町	-83	-49	-64	-51	-61	-59	-71	-97	-102	-85	-85
湯沢町	7	-12	9	-14	-20	-6	-7	-3	-15	-23	-39	
関川村	-16	-29	-29	-12	-36	-14	-26	-24	-46	-33	-35	
粟島浦村	-2	-2	-2	-1	-2	-1	-3	0	-2	-3	-3	

※出生数-死亡数で算出

(単位:人)

市町村別 自然動態増減数 (出生者数 - 死亡者数)(女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	137	162	65	154	-36	-13	-178	-22	-221	-202	-309
	川口町	-12	1	-12	-2	-15	-20	-8	-2	-8	-11	-2
	小千谷市	-30	-23	-15	-46	-32	-62	-51	-48	-17	-81	-62
	十日町市	-74	-67	-110	-51	-103	-105	-156	-108	-133	-180	-174
	魚沼市	-20	6	37	-6	-44	-62	-75	-69	-157	-84	-134
被災地 2	柏崎市	-78	-41	-62	-70	-112	-119	-165	-153	-183	-162	-216
	刈羽村	-5	-11	-4	-1	-22	-14	-12	-6	-8	-4	-13
	津南町	-22	-32	-18	-28	-37	-30	-45	-31	-38	-52	-49
	南魚沼市	49	3	-16	-37	-56	-35	-80	-39	-35	-76	-115
	見附市	-10	0	2	-4	-22	-52	-63	-77	-37	-61	-82
	上越市	88	74	73	-86	-15	-73	-168	-103	-204	-249	-220
出雲崎町	-19	-14	-26	-34	-54	-48	-29	-44	-40	-31	-54	
非被災地	新潟市	793	809	822	544	412	363	55	48	-61	-108	-158
	新発田市	-42	-6	-71	-30	-50	-78	-104	-76	-130	-139	-135
	加茂市	-27	-8	-57	-52	-57	-59	-72	-78	-65	-76	-82
	村上市	-81	-131	-75	-133	-139	-181	-198	-185	-263	-253	-287
	三条市	43	76	21	-40	-109	-85	-19	-99	-158	-70	-88
	燕市	98	93	56	73	18	8	-35	31	-50	-75	-54
	糸魚川市	-58	-37	-75	-79	-101	-130	-199	-185	-121	-190	-182
	妙高市	-34	-17	-52	-32	-34	-64	-24	-62	-96	-98	-133
	五泉市	-47	11	2	-40	-30	-93	-125	-116	-121	-152	-138
	阿賀野市	-22	-18	-74	-46	-26	-68	-105	-78	-114	-72	-88
	佐渡市	-274	-186	-225	-244	-272	-289	-336	-264	-273	-298	-306
	胎内市	-26	-20	-24	-49	-20	-43	-62	-78	-90	-73	-77
	聖籠町	39	13	5	24	8	9	-4	3	6	-10	3
	弥彦村	12	-9	10	-4	7	1	-12	-2	-9	-4	-6
	田上町	6	8	4	-1	6	-24	-6	-27	-2	-13	-46
	阿賀町	-51	-41	-32	-49	-66	-36	-76	-88	-81	-87	-86
湯沢町	3	19	4	11	-8	-10	-20	-16	-14	-25	-30	
関川村	-13	-3	-11	-29	-35	-25	-27	-29	-34	-11	-27	
粟島浦村	-2	2	-1	0	-1	-2	-5	0	0	-1	-3	

※出生数－死亡数で算出

(単位:人)

市町村別 社会動態(転入)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	9,541	9,977	10,010	9,773	9,711	9,435	8,828	8,768	7,676	7,428	7,134
	川口町	99	95	162	110	95	106	109	94	94	87	73
	小千谷市	1,044	1,049	1,041	959	1,063	869	945	999	906	966	851
	十日町市	1,675	1,701	1,735	1,673	1,628	1,625	1,476	1,166	1,135	1,080	1,093
	魚沼市	1,531	1,503	1,477	1,309	1,408	1,421	1,027	927	805	781	787
被災地 2	柏崎市	2,945	2,812	2,757	2,709	2,856	2,795	2,691	2,744	2,476	2,456	2,508
	刈羽村	123	149	151	129	136	121	146	160	167	172	186
	津南町	357	286	289	275	255	256	295	209	210	210	208
	南魚沼市	2,137	2,117	2,259	2,139	2,210	2,205	2,048	1,789	1,735	1,628	1,534
	見附市	1,072	1,045	1,059	999	1,041	953	973	1,031	1,051	961	1,012
	上越市	8,207	7,806	7,928	7,368	7,763	8,216	6,287	5,809	5,179	5,218	4,894
出雲崎町	137	162	111	126	127	131	137	107	125	142	126	
非被災地	新潟市	31,131	30,816	30,055	29,089	29,296	28,777	25,048	21,306	27,830	33,228	32,646
	新発田市	3,216	3,291	3,310	3,308	3,428	3,043	3,038	2,862	2,899	2,759	2,633
	加茂市	711	723	623	674	669	633	547	617	615	553	526
	村上市	2,110	2,151	2,108	1,963	1,738	1,767	1,702	1,632	1,542	1,288	1,155
	三条市	2,643	2,503	2,684	2,597	2,445	2,477	2,398	2,249	1,987	2,045	2,004
	燕市	2,476	2,461	2,400	2,391	2,519	2,218	2,123	2,150	1,979	1,939	1,710
	糸魚川市	1,470	1,463	1,399	1,326	1,287	1,320	1,202	1,076	1,021	1,033	973
	妙高市	1,201	1,340	1,252	1,287	1,242	1,243	1,174	1,084	896	918	968
	五泉市	1,228	1,196	1,140	1,144	1,160	1,149	1,094	1,036	951	828	878
	阿賀野市	1,258	1,279	1,189	1,278	1,142	1,080	881	834	873	868	815
	佐渡市	2,466	2,583	2,512	2,454	2,444	2,034	1,632	1,606	1,275	1,372	1,164
	胎内市	969	1,032	1,006	964	939	819	856	885	815	734	686
	聖籠町	480	463	445	464	481	592	622	692	555	547	581
	弥彦村	305	303	304	281	255	279	228	266	229	247	253
	田上町	455	311	359	367	303	305	280	285	318	309	279
	阿賀町	374	460	401	389	363	398	291	254	252	201	229
湯沢町	600	577	499	480	448	503	471	412	429	428	494	
関川村	208	179	144	118	123	128	125	110	123	90	123	
粟島浦村	10	11	14	10	12	13	13	11	11	14	10	

(統計データハンドブック 市町村勢編より) (単位:人)

市町村別 社会動態(転出)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	10,611	10,389	10,367	10,242	10,267	9,983	9,712	8,991	8,639	7,958	7,707
	川口町	215	166	153	163	135	150	226	218	179	120	147
	小千谷市	1,215	1,200	1,272	1,183	1,108	1,098	1,386	1,249	1,174	981	975
	十日町市	2,039	1,991	2,009	1,944	2,071	1,917	1,830	1,650	1,528	1,419	1,411
	魚沼市	1,624	1,711	1,654	1,665	1,608	1,728	1,220	1,222	1,216	1,079	1,032
被災地 2	柏崎市	3,332	3,345	3,203	3,185	3,085	2,912	2,810	2,748	2,775	2,865	2,606
	刈羽村	210	183	164	164	148	162	162	154	180	172	194
	津南町	411	348	369	348	295	308	347	370	327	288	246
	南魚沼市	2,403	2,435	2,534	2,401	2,600	2,471	2,287	2,065	2,017	1,819	1,936
	見附市	1,055	1,053	1,129	1,100	1,052	1,087	1,199	1,140	1,137	1,070	1,020
	上越市	8,289	8,302	8,202	8,049	7,898	8,019	6,994	6,259	5,973	5,570	5,499
出雲崎町	167	183	168	144	157	133	123	143	142	149	129	
非被災地	新潟市	31,369	30,214	29,680	29,458	29,363	28,572	24,712	22,335	27,357	33,494	31,847
	新発田市	3,283	3,291	3,484	3,361	3,315	3,381	3,258	3,209	3,096	3,042	3,133
	加茂市	851	838	784	780	798	790	762	731	785	748	718
	村上市	2,344	2,495	2,391	2,162	2,220	2,132	2,050	2,032	1,926	1,780	1,425
	三条市	3,021	2,926	2,922	2,898	2,806	2,885	2,663	2,641	2,449	2,399	2,301
	燕市	2,591	2,561	2,733	2,500	2,565	2,465	2,269	2,273	2,059	2,063	2,032
	糸魚川市	1,725	1,768	1,763	1,677	1,529	1,565	1,528	1,289	1,264	1,166	1,105
	妙高市	1,456	1,455	1,432	1,433	1,482	1,466	1,383	1,296	1,270	1,201	1,241
	五泉市	1,414	1,478	1,363	1,387	1,333	1,333	1,357	1,299	1,101	1,159	1,020
	阿賀野市	1,279	1,376	1,345	1,360	1,193	1,086	1,086	1,084	1,118	1,032	973
	佐渡市	2,549	2,655	2,753	2,814	2,746	2,231	2,096	1,908	1,927	1,750	1,514
	胎内市	1,051	1,042	960	1,065	1,075	1,023	1,000	906	1,044	889	899
	聖籠町	420	356	462	459	509	457	586	651	505	499	484
	弥彦村	250	335	278	275	295	262	223	242	204	197	148
	田上町	383	377	349	329	361	358	323	398	369	363	381
	阿賀町	463	503	529	493	466	472	395	389	375	340	314
湯沢町	620	592	574	544	518	492	540	529	498	502	452	
関川村	182	200	170	198	191	147	172	179	194	171	169	
粟島浦村	17	9	18	12	18	12	13	17	18	18	9	

(統計データハンドブック 市町村勢編より) (単位:人)

市町村別 社会動態(転入者数－転出者数)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	-1,070	-412	-357	-469	-556	-548	-884	-223	-963	-530	-573
	川口町	-116	-71	9	-53	-40	-44	-117	-124	-85	-33	-74
	小千谷市	-171	-151	-231	-224	-45	-229	-441	-250	-268	-15	-124
	十日町市	-364	-290	-274	-271	-443	-292	-354	-484	-393	-339	-318
	魚沼市	-93	-208	-177	-356	-200	-307	-193	-295	-411	-298	-245
被災地 2	柏崎市	-387	-533	-446	-476	-229	-117	-119	-4	-299	-409	-98
	刈羽村	-87	-34	-13	-35	-12	-41	-16	6	-13	0	-8
	津南町	-54	-62	-80	-73	-40	-52	-52	-161	-117	-78	-38
	南魚沼市	-266	-318	-275	-262	-390	-266	-239	-276	-282	-191	-402
	見附市	17	-8	-70	-101	-11	-134	-226	-109	-86	-109	-8
	上越市	-82	-496	-274	-681	-135	197	-707	-450	-794	-352	-605
出雲崎町	-30	-21	-57	-18	-30	-2	14	-36	-17	-7	-3	
非被災地	新潟市	-238	602	375	-369	-67	205	336	-1,029	473	-266	799
	新発田市	-67	0	-174	-53	113	-338	-220	-347	-197	-283	-500
	加茂市	-140	-115	-161	-106	-129	-157	-215	-114	-170	-195	-192
	村上市	-234	-344	-283	-199	-482	-365	-348	-400	-384	-492	-270
	三条市	-378	-423	-238	-301	-361	-408	-265	-392	-462	-354	-297
	燕市	-115	-100	-333	-109	-46	-247	-146	-123	-80	-124	-322
	糸魚川市	-255	-305	-364	-351	-242	-245	-326	-213	-243	-133	-132
	妙高市	-255	-115	-180	-146	-240	-223	-209	-212	-374	-283	-273
	五泉市	-186	-282	-223	-243	-173	-184	-263	-263	-150	-331	-142
	阿賀野市	-21	-97	-156	-82	-51	-6	-205	-250	-245	-164	-158
	佐渡市	-83	-72	-241	-360	-302	-197	-464	-302	-652	-378	-350
	胎内市	-82	-10	46	-101	-136	-204	-144	-21	-229	-155	-213
	聖籠町	60	107	-17	5	-28	135	36	41	50	48	97
	弥彦村	55	-32	26	6	-40	17	5	24	25	50	105
	田上町	72	-66	10	38	-58	-53	-43	-113	-51	-54	-102
阿賀町	-89	-43	-128	-104	-103	-74	-104	-135	-123	-139	-85	
湯沢町	-20	-15	-75	-64	-70	11	-69	-117	-69	-74	42	
関川村	26	-21	-26	-80	-68	-19	-47	-69	-71	-81	-46	
粟島浦村	-7	2	-4	-2	-6	1	0	-6	-7	-4	1	

※転入者数－転出者数で算出

(単位:人)

市町村別 65歳以上人口 実数 (総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	57,900	59,346	60,957	62,490	63,642	64,513	65,278	66,441	67,733	68,838	70,009
	川口町	1,427	1,427	1,486	1,516	1,515	1,514	1,453	1,442	1,450	1,459	1,471
	小千谷市	9,549	9,812	9,966	10,133	10,301	10,366	10,388	10,507	10,607	10,723	10,869
	十日町市	16,782	17,160	17,474	17,849	18,106	18,268	18,398	18,636	18,859	19,043	19,158
	魚沼市	11,061	11,284	11,504	11,700	11,788	11,878	11,890	11,993	12,026	12,112	12,192
被災地 2	柏崎市	22,249	22,658	23,142	23,415	23,735	23,925	24,015	24,380	24,592	24,755	25,001
	刈羽村	1,287	1,253	1,274	1,286	1,302	1,314	1,300	1,303	1,314	1,299	1,298
	津南町	3,923	3,984	4,029	4,066	4,079	4,085	4,125	4,130	4,146	4,110	4,103
	南魚沼市	14,819	14,928	15,139	15,351	15,450	15,519	15,699	15,830	16,018	16,176	16,226
	見附市	8,682	8,830	9,195	9,472	9,703	9,887	10,031	10,200	10,401	10,594	10,764
	上越市	45,436	46,308	47,462	48,283	49,110	49,677	50,341	51,030	51,960	52,656	53,474
出雲崎町	1,946	1,966	1,990	1,998	1,980	1,953	1,927	1,916	1,883	1,866	1,851	
非被災地	新潟市	139,800	144,179	149,626	154,384	158,729	162,203	166,995	171,846	176,644	181,071	185,781
	新発田市	22,245	22,753	23,330	23,856	24,326	24,533	25,318	25,709	26,134	26,405	26,659
	加茂市	7,354	7,575	7,758	7,906	8,047	8,096	8,088	8,222	8,394	8,459	8,576
	村上市	18,530	18,993	19,420	19,745	20,071	20,211	20,445	20,682	20,919	21,056	21,125
	三条市	21,258	21,893	22,621	23,239	23,712	24,124	24,691	25,189	25,557	26,031	26,497
	燕市	15,073	15,701	16,443	17,034	17,530	17,962	18,444	19,007	19,549	19,911	20,333
	糸魚川市	14,130	14,402	14,785	15,050	15,262	15,293	15,379	15,455	15,625	15,711	15,764
	妙高市	9,539	9,776	9,980	10,107	10,206	10,288	10,383	10,494	10,595	10,592	10,666
	五泉市	13,133	13,358	13,840	14,162	14,403	14,516	14,701	14,897	15,119	15,296	15,407
	阿賀野市	10,680	10,886	11,066	11,278	11,423	11,475	11,573	11,673	11,801	11,881	11,962
	佐渡市	22,851	23,149	23,528	23,735	23,847	23,722	23,514	23,455	23,427	23,376	23,240
	胎内市	7,537	7,803	8,000	8,130	8,275	8,345	8,327	8,521	8,676	8,780	8,920
	聖籠町	2,379	2,466	2,503	2,533	2,605	2,618	2,667	2,692	2,724	2,764	2,835
	弥彦村	1,662	1,679	1,741	1,770	1,814	1,844	1,875	1,906	1,948	1,994	2,036
	田上町	2,660	2,719	2,804	2,859	2,922	2,966	2,985	3,068	3,154	3,214	3,285
	阿賀町	5,260	5,432	5,555	5,668	5,744	5,778	5,750	5,733	5,708	5,664	5,597
湯沢町	1,957	1,981	2,054	2,109	2,146	2,172	2,232	2,272	2,306	2,367	2,405	
関川村	2,172	2,264	2,304	2,341	2,374	2,332	2,353	2,360	2,358	2,369	2,355	
粟島浦村	146	147	155	158	166	168	174	181	185	184	180	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 65歳以上人口 実数 (男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	24,040	24,652	25,344	25,996	26,466	26,853	27,214	27,765	28,327	28,845	29,425
	川口町	595	603	619	624	627	624	605	604	601	610	614
	小千谷市	4,013	4,140	4,199	4,272	4,331	4,363	4,364	4,432	4,485	4,544	4,595
	十日町市	7,017	7,183	7,322	7,473	7,554	7,628	7,709	7,826	7,918	8,032	8,098
	魚沼市	4,550	4,640	4,737	4,812	4,868	4,901	4,902	4,956	4,960	5,014	5,071
被災地 2	柏崎市	9,069	9,239	9,428	9,530	9,655	9,752	9,775	9,950	10,082	10,162	10,294
	刈羽村	520	501	517	523	539	545	542	545	551	540	546
	津南町	1,612	1,626	1,630	1,669	1,668	1,661	1,651	1,640	1,641	1,631	1,614
	南魚沼市	6,141	6,214	6,332	6,402	6,446	6,475	6,595	6,658	6,726	6,812	6,853
	見附市	3,619	3,706	3,877	3,993	4,105	4,185	4,224	4,299	4,393	4,496	4,570
	上越市	18,364	18,738	19,191	19,487	19,876	20,133	20,390	20,739	21,222	21,561	21,921
出雲崎町	754	753	755	760	756	737	722	724	705	707	704	
非被災地	新潟市	57,371	59,259	61,669	63,622	65,493	66,955	69,042	71,250	73,370	75,309	77,470
	新発田市	8,941	9,212	9,468	9,694	9,875	9,933	10,177	10,380	10,506	10,599	10,712
	加茂市	2,988	3,069	3,144	3,203	3,259	3,270	3,267	3,335	3,410	3,444	3,498
	村上市	7,367	7,582	7,772	7,882	8,019	8,062	8,169	8,300	8,386	8,457	8,496
	三条市	8,865	9,128	9,451	9,726	9,981	10,156	10,386	10,622	10,746	10,938	11,192
	燕市	6,206	6,500	6,870	7,139	7,364	7,583	7,791	8,056	8,303	8,419	8,643
	糸魚川市	5,769	5,864	6,038	6,118	6,231	6,228	6,290	6,342	6,424	6,474	6,498
	妙高市	3,872	3,963	4,030	4,090	4,146	4,163	4,205	4,277	4,339	4,326	4,352
	五泉市	5,178	5,314	5,489	5,610	5,713	5,773	5,843	5,917	6,008	6,093	6,172
	阿賀野市	4,154	4,267	4,342	4,429	4,462	4,473	4,543	4,599	4,660	4,713	4,732
	佐渡市	9,236	9,379	9,555	9,621	9,667	9,591	9,505	9,480	9,426	9,400	9,367
	胎内市	2,989	3,108	3,191	3,263	3,315	3,369	3,347	3,445	3,541	3,600	3,674
	聖籠町	921	957	968	985	1,017	1,023	1,058	1,059	1,085	1,101	1,127
	弥彦村	644	650	678	702	725	737	749	767	785	806	825
	田上町	1,105	1,119	1,160	1,181	1,215	1,218	1,233	1,279	1,337	1,357	1,375
	阿賀町	2,132	2,171	2,218	2,266	2,292	2,304	2,303	2,276	2,242	2,230	2,200
湯沢町	830	825	858	884	905	912	945	963	986	1,016	1,038	
関川村	871	891	902	916	922	907	911	909	910	919	909	
粟島浦村	60	59	61	64	68	68	67	69	71	69	66	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

市町村別 65歳以上人口 実数(女性)

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	33,860	34,694	35,613	36,494	37,176	37,660	38,064	38,676	39,406	39,993	40,584
	川口町	832	824	867	892	888	890	848	838	849	849	857
	小千谷市	5,536	5,672	5,767	5,861	5,970	6,003	6,024	6,075	6,122	6,179	6,274
	十日町市	9,765	9,977	10,152	10,376	10,552	10,640	10,689	10,810	10,941	11,011	11,060
	魚沼市	6,511	6,644	6,767	6,888	6,920	6,977	6,988	7,037	7,066	7,098	7,121
被災地2	柏崎市	13,180	13,419	13,714	13,885	14,080	14,173	14,240	14,430	14,510	14,593	14,707
	刈羽村	767	752	757	763	763	769	758	758	763	759	752
	津南町	2,311	2,358	2,399	2,397	2,411	2,424	2,474	2,490	2,505	2,479	2,489
	南魚沼市	8,678	8,714	8,807	8,949	9,004	9,044	9,104	9,172	9,292	9,364	9,373
	見附市	5,063	5,124	5,318	5,479	5,598	5,702	5,807	5,901	6,008	6,098	6,194
	上越市	27,072	27,570	28,271	28,796	29,234	29,544	29,951	30,291	30,738	31,095	31,553
出雲崎町	1,192	1,213	1,235	1,238	1,224	1,216	1,205	1,192	1,178	1,159	1,147	
非被災地	新潟市	82,429	84,920	87,957	90,762	93,236	95,248	97,953	100,596	103,274	105,762	108,311
	新発田市	13,304	13,541	13,862	14,162	14,451	14,600	15,141	15,329	15,628	15,806	15,947
	加茂市	4,366	4,506	4,614	4,703	4,788	4,826	4,821	4,887	4,984	5,015	5,078
	村上市	11,163	11,411	11,648	11,863	12,052	12,149	12,276	12,382	12,533	12,599	12,629
	三条市	12,393	12,765	13,170	13,513	13,731	13,968	14,305	14,567	14,811	15,093	15,305
	燕市	8,867	9,201	9,573	9,895	10,166	10,379	10,653	10,951	11,246	11,492	11,690
	糸魚川市	8,361	8,538	8,747	8,932	9,031	9,065	9,089	9,113	9,201	9,237	9,266
	妙高市	5,667	5,813	5,950	6,017	6,060	6,125	6,178	6,217	6,256	6,266	6,314
	五泉市	7,955	8,044	8,351	8,552	8,690	8,743	8,858	8,980	9,111	9,203	9,235
	阿賀野市	6,526	6,619	6,724	6,849	6,961	7,002	7,030	7,074	7,141	7,168	7,230
	佐渡市	13,615	13,770	13,973	14,114	14,180	14,131	14,009	13,975	14,001	13,976	13,873
	胎内市	4,548	4,695	4,809	4,867	4,960	4,976	4,980	5,076	5,135	5,180	5,246
	聖籠町	1,458	1,509	1,535	1,548	1,588	1,595	1,609	1,633	1,639	1,663	1,708
	弥彦村	1,018	1,029	1,063	1,068	1,089	1,107	1,126	1,139	1,163	1,188	1,211
	田上町	1,555	1,600	1,644	1,678	1,707	1,748	1,752	1,789	1,817	1,857	1,910
	阿賀町	3,128	3,261	3,337	3,402	3,452	3,474	3,447	3,457	3,466	3,434	3,397
	湯沢町	1,127	1,156	1,196	1,225	1,241	1,260	1,287	1,309	1,320	1,351	1,367
関川村	1,301	1,373	1,402	1,425	1,452	1,425	1,442	1,451	1,448	1,450	1,446	
粟島浦村	86	88	94	94	98	100	107	112	114	115	114	

(新潟県福祉保健年報より) (単位:人)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 実数(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	96,719	99,029	101,387	103,688	105,352	106,539	107,407	109,019	110,675	112,175	113,699
被災地2	98,342	99,927	102,231	103,871	105,359	106,360	107,438	108,789	110,314	111,456	112,717
非被災地	318,366	327,156	337,513	346,064	353,602	358,646	365,894	373,362	380,823	387,125	393,623

(単位:人)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 実数(男性)

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	40,215	41,218	42,221	43,177	43,846	44,369	44,794	45,583	46,291	47,045	47,803
被災地2	40,079	40,777	41,730	42,364	43,045	43,488	43,899	44,555	45,320	45,909	46,502
非被災地	129,499	133,317	137,864	141,395	144,669	146,725	149,831	153,325	156,535	159,270	162,346

(単位:人)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 実数(女性)

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	56,504	57,811	59,166	60,511	61,506	62,170	62,613	63,436	64,384	65,130	65,896
被災地2	58,263	59,150	60,501	61,507	62,314	62,872	63,539	64,234	64,994	65,547	66,215
非被災地	188,867	193,839	199,649	204,669	208,933	211,921	216,063	220,037	224,288	227,855	231,277

(単位:人)

市町村別 65歳以上人口率 割合 (総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	20.1%	20.7%	21.2%	21.8%	22.3%	22.6%	23.0%	23.5%	24.1%	24.6%	25.1%
	川口町	24.4%	24.8%	26.0%	26.7%	27.1%	27.4%	27.8%	28.4%	29.2%	29.7%	30.4%
	小千谷市	22.7%	23.6%	24.1%	24.7%	25.2%	25.6%	26.0%	26.5%	27.0%	27.4%	28.0%
	十日町市	25.5%	26.4%	27.1%	27.8%	28.6%	29.1%	29.6%	30.4%	31.1%	31.8%	32.3%
	魚沼市	24.1%	24.9%	25.5%	26.1%	26.6%	27.0%	27.3%	27.8%	28.3%	28.9%	29.4%
被災地 2	柏崎市	22.3%	23.1%	23.8%	24.2%	24.7%	25.0%	25.4%	25.8%	26.3%	26.7%	27.1%
	刈羽村	23.6%	24.9%	25.5%	25.9%	26.4%	27.0%	27.0%	27.2%	27.5%	27.4%	27.6%
	津南町	31.1%	32.2%	32.9%	33.5%	34.0%	34.4%	35.2%	36.0%	36.8%	37.1%	37.5%
	南魚沼市	22.4%	22.8%	23.2%	23.7%	24.0%	24.3%	24.8%	25.1%	25.6%	26.0%	26.3%
	見附市	19.8%	20.3%	21.1%	21.8%	22.4%	22.9%	23.5%	24.1%	24.6%	25.2%	25.7%
	上越市	21.4%	21.9%	22.4%	22.9%	23.3%	23.6%	24.2%	24.6%	25.2%	25.6%	26.2%
出雲崎町	33.0%	33.8%	34.9%	35.5%	36.0%	36.0%	36.1%	36.6%	36.6%	36.9%	37.1%	
非被災地	新潟市	17.3%	17.8%	18.5%	19.0%	19.6%	20.0%	20.5%	21.1%	21.7%	22.3%	22.9%
	新発田市	20.8%	21.5%	22.1%	22.6%	23.1%	23.4%	24.2%	24.7%	25.2%	25.6%	26.1%
	加茂市	22.1%	22.9%	23.6%	24.2%	24.9%	25.2%	25.7%	26.3%	27.2%	27.7%	28.4%
	村上市	24.9%	25.7%	26.5%	27.1%	27.8%	28.3%	28.9%	29.6%	30.3%	30.9%	31.4%
	三条市	19.6%	20.3%	21.1%	21.7%	22.3%	22.8%	23.6%	24.2%	24.7%	25.3%	25.9%
	燕市	17.8%	18.6%	19.6%	20.3%	20.9%	21.5%	22.1%	22.9%	23.6%	24.1%	24.7%
	糸魚川市	26.5%	27.2%	28.2%	29.0%	29.7%	30.0%	30.9%	31.4%	32.1%	32.6%	33.0%
	妙高市	24.0%	24.6%	25.3%	25.8%	26.3%	26.7%	27.4%	28.0%	28.7%	29.0%	29.7%
	五泉市	22.1%	22.7%	23.6%	24.3%	24.9%	25.2%	25.8%	26.4%	27.0%	27.6%	28.0%
	阿賀野市	21.8%	22.5%	23.0%	23.5%	23.9%	24.1%	24.6%	25.0%	25.6%	25.9%	26.3%
	佐渡市	31.5%	32.1%	32.9%	33.6%	34.2%	34.4%	34.9%	35.3%	35.9%	36.3%	36.7%
	胎内市	22.0%	22.8%	23.3%	23.9%	24.5%	24.9%	25.4%	26.1%	26.9%	27.5%	28.3%
	聖籠町	17.8%	18.5%	18.8%	19.0%	19.5%	19.4%	19.8%	19.9%	20.0%	20.3%	20.7%
	弥彦村	19.3%	19.7%	20.3%	20.6%	21.3%	21.6%	21.9%	22.3%	22.8%	23.2%	23.4%
	田上町	19.2%	19.9%	20.5%	20.9%	21.5%	21.9%	22.3%	23.2%	24.0%	24.7%	25.5%
	阿賀町	32.9%	34.4%	35.6%	36.8%	37.9%	38.5%	39.1%	39.9%	40.5%	41.2%	41.5%
湯沢町	21.2%	21.7%	22.7%	23.4%	24.1%	24.4%	25.6%	26.5%	27.2%	28.3%	28.8%	
関川村	28.7%	30.1%	30.9%	31.9%	33.0%	32.8%	33.5%	34.2%	34.9%	35.8%	36.1%	
粟島浦村	33.5%	32.7%	34.9%	36.1%	38.6%	39.1%	39.7%	42.2%	43.8%	44.4%	44.1%	

全体のうち65歳以上の占める割合=65歳以上/全体人口

(単位:%)

市町村別 65歳以上人口率 割合 (男性)

	男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	17.1%	17.6%	18.1%	18.6%	19.0%	19.3%	19.7%	20.1%	20.6%	21.1%	21.6%
	川口町	21.0%	21.7%	22.6%	23.0%	23.3%	23.4%	24.0%	24.8%	25.2%	25.8%	26.4%
	小千谷市	19.4%	20.1%	20.6%	21.1%	21.5%	21.8%	22.1%	22.7%	23.2%	23.6%	24.0%
	十日町市	21.9%	22.6%	23.3%	24.0%	24.5%	25.0%	25.5%	26.3%	26.9%	27.6%	28.2%
	魚沼市	20.2%	20.9%	21.4%	22.1%	22.5%	22.9%	23.0%	23.5%	23.9%	24.4%	25.0%
被災地 2	柏崎市	18.2%	19.1%	19.6%	20.0%	20.3%	20.6%	20.9%	21.3%	21.8%	22.1%	22.5%
	刈羽村	18.3%	20.2%	21.0%	21.3%	22.1%	22.5%	22.5%	22.6%	23.0%	22.7%	23.1%
	津南町	26.1%	26.9%	27.3%	28.1%	28.5%	28.6%	29.2%	29.8%	30.4%	30.8%	30.9%
	南魚沼市	19.1%	19.5%	20.0%	20.3%	20.6%	20.9%	21.4%	21.8%	22.2%	22.6%	22.9%
	見附市	17.1%	17.7%	18.5%	19.1%	19.7%	20.1%	20.5%	21.0%	21.6%	22.2%	22.6%
	上越市	17.8%	18.2%	18.6%	19.0%	19.4%	19.6%	20.2%	20.7%	21.3%	21.7%	22.2%
出雲崎町	27.4%	28.0%	28.6%	29.2%	29.5%	29.3%	29.0%	29.7%	29.3%	29.8%	30.1%	
非被災地	新潟市	14.7%	15.1%	15.7%	16.2%	16.7%	17.1%	17.6%	18.2%	18.7%	19.3%	19.8%
	新発田市	17.3%	18.0%	18.5%	19.0%	19.4%	19.6%	20.2%	20.7%	21.1%	21.4%	21.8%
	加茂市	18.6%	19.2%	19.9%	20.4%	20.9%	21.2%	21.6%	22.2%	23.0%	23.5%	24.2%
	村上市	20.8%	21.5%	22.2%	22.7%	23.4%	23.8%	24.3%	25.0%	25.6%	26.2%	26.7%
	三条市	16.8%	17.5%	18.1%	18.7%	19.3%	19.8%	20.5%	21.1%	21.5%	22.0%	22.7%
	燕市	15.0%	15.8%	16.7%	17.4%	18.0%	18.6%	19.2%	19.9%	20.6%	20.9%	21.6%
	糸魚川市	22.4%	22.8%	23.7%	24.3%	25.0%	25.3%	26.1%	26.6%	27.3%	27.8%	28.1%
	妙高市	20.0%	20.5%	21.0%	21.5%	21.9%	22.2%	23.0%	23.6%	24.3%	24.5%	25.0%
	五泉市	18.2%	18.9%	19.7%	20.2%	20.7%	21.0%	21.5%	22.0%	22.5%	23.0%	23.5%
	阿賀野市	17.6%	18.3%	18.7%	19.1%	19.4%	19.5%	20.1%	20.5%	21.0%	21.4%	21.7%
	佐渡市	26.8%	27.2%	27.9%	28.5%	29.0%	29.1%	29.6%	29.8%	30.3%	30.7%	31.0%
	胎内市	17.9%	18.4%	19.0%	19.5%	20.0%	20.5%	21.0%	21.7%	22.7%	23.3%	24.1%
	聖籠町	14.0%	14.7%	14.8%	15.0%	15.4%	15.2%	15.7%	15.7%	16.0%	16.2%	16.5%
	弥彦村	15.5%	15.7%	16.4%	17.0%	17.6%	17.9%	18.1%	18.5%	19.0%	19.4%	19.6%
	田上町	16.3%	16.9%	17.5%	17.8%	18.4%	18.7%	19.1%	20.1%	21.1%	21.6%	22.1%
阿賀町	27.7%	28.6%	29.7%	30.7%	31.5%	32.0%	32.8%	33.2%	33.6%	34.1%	34.3%	
湯沢町	18.0%	18.4%	19.2%	20.0%	20.6%	20.7%	22.1%	22.7%	23.5%	24.5%	25.1%	
関川村	23.9%	24.9%	25.6%	26.3%	27.0%	26.9%	27.3%	27.5%	28.3%	29.3%	29.5%	
粟島浦村	26.8%	24.9%	26.2%	27.9%	30.0%	29.8%	29.3%	31.1%	32.6%	32.1%	31.4%	

男性全体のうち男性65歳以上の占める割合＝男性65歳以上/男性全体人口

(単位:%)

市町村別 65歳以上人口率 割合（女性）

	女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	23.0%	23.6%	24.3%	24.9%	25.4%	25.8%	26.3%	26.8%	27.4%	27.9%	28.4%
	川口町	27.6%	27.7%	29.1%	30.2%	30.5%	31.0%	31.3%	31.7%	32.8%	33.3%	34.1%
	小千谷市	26.0%	26.9%	27.5%	28.2%	28.8%	29.2%	29.7%	30.3%	30.7%	31.1%	31.8%
	十日町市	29.0%	30.0%	30.7%	31.5%	32.4%	32.9%	33.5%	34.3%	35.1%	35.7%	36.3%
	魚沼市	27.9%	28.7%	29.3%	30.0%	30.4%	30.9%	31.4%	31.9%	32.5%	33.1%	33.6%
被災地2	柏崎市	26.4%	27.1%	27.9%	28.4%	28.9%	29.2%	29.7%	30.3%	30.7%	31.1%	31.5%
	刈羽村	29.3%	29.5%	29.9%	30.4%	30.7%	31.6%	31.7%	31.7%	32.1%	32.2%	32.1%
	津南町	35.8%	37.2%	38.2%	38.7%	39.2%	39.8%	40.8%	41.8%	42.7%	42.9%	43.5%
	南魚沼市	25.6%	25.9%	26.3%	26.8%	27.2%	27.5%	28.0%	28.4%	28.9%	29.2%	29.6%
	見附市	22.3%	22.7%	23.6%	24.4%	24.9%	25.5%	26.3%	26.9%	27.5%	28.1%	28.7%
	上越市	24.9%	25.4%	26.0%	26.6%	27.1%	27.4%	27.9%	28.3%	28.9%	29.4%	30.0%
非被災地	出雲崎町	37.9%	38.9%	40.3%	41.0%	41.6%	41.8%	42.3%	42.6%	43.0%	43.1%	43.3%
	新潟市	19.8%	20.4%	21.0%	21.7%	22.2%	22.7%	23.2%	23.9%	24.5%	25.1%	25.7%
	新発田市	24.1%	24.7%	25.4%	26.0%	26.5%	26.9%	27.9%	28.4%	29.1%	29.5%	30.0%
	加茂市	25.4%	26.3%	27.2%	27.8%	28.5%	29.0%	29.5%	30.1%	31.0%	31.6%	32.4%
	村上市	28.6%	29.5%	30.3%	31.0%	31.9%	32.4%	33.1%	33.7%	34.5%	35.2%	35.7%
	三条市	22.2%	23.1%	23.8%	24.5%	25.0%	25.6%	26.4%	27.1%	27.8%	28.4%	29.0%
	燕市	20.6%	21.4%	22.3%	23.0%	23.6%	24.2%	24.9%	25.7%	26.4%	27.1%	27.7%
	糸魚川市	30.4%	31.3%	32.4%	33.4%	34.1%	34.5%	35.2%	35.8%	36.5%	37.0%	37.5%
	妙高市	27.8%	28.5%	29.4%	29.9%	30.4%	31.0%	31.6%	32.1%	32.8%	33.3%	34.0%
	五泉市	25.6%	26.2%	27.3%	28.1%	28.7%	29.0%	29.7%	30.4%	31.1%	31.7%	32.1%
	阿賀野市	25.7%	26.3%	26.9%	27.6%	28.1%	28.3%	28.7%	29.2%	29.8%	30.0%	30.5%
	佐渡市	35.8%	36.5%	37.4%	38.3%	38.9%	39.3%	39.7%	40.2%	40.9%	41.5%	41.9%
	胎内市	25.8%	26.9%	27.6%	28.1%	28.7%	29.1%	29.5%	30.3%	30.9%	31.5%	32.2%
	聖籠町	21.6%	22.2%	22.7%	22.9%	23.6%	23.7%	23.8%	24.2%	24.0%	24.4%	24.8%
	弥彦村	22.9%	23.4%	24.0%	24.0%	24.7%	25.0%	25.6%	25.9%	26.4%	26.8%	27.0%
	田上町	22.0%	22.7%	23.4%	23.7%	24.3%	25.0%	25.4%	26.2%	26.8%	27.5%	28.7%
	阿賀町	37.8%	39.6%	41.1%	42.5%	43.7%	44.5%	44.8%	45.9%	46.9%	47.6%	47.9%
湯沢町	24.4%	24.9%	26.0%	26.8%	27.5%	28.1%	29.1%	30.3%	31.0%	32.1%	32.6%	
関川村	33.2%	34.9%	35.7%	37.0%	38.3%	38.1%	39.2%	40.3%	40.8%	41.6%	42.0%	
粟島浦村	40.6%	41.5%	44.5%	45.0%	48.3%	49.5%	51.2%	54.1%	55.9%	57.8%	57.6%	

女性全体のうち女性65歳以上の占める割合＝女性65歳以上/女性全体人口

(単位:%)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 割合（総数）

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	21.6%	22.3%	22.8%	23.5%	23.9%	24.3%	24.7%	25.2%	25.8%	26.3%	26.8%
被災地2	22.0%	22.6%	23.2%	23.7%	24.1%	24.4%	25.0%	25.4%	25.9%	26.3%	26.8%
非被災地	20.0%	20.6%	21.3%	21.9%	22.4%	22.8%	23.4%	23.9%	24.5%	25.0%	25.6%

(単位:%)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 割合（男性）

男性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	18.4%	18.9%	19.5%	20.0%	20.4%	20.8%	21.1%	21.6%	22.1%	22.6%	23.1%
被災地2	18.4%	18.9%	19.4%	19.8%	20.2%	20.5%	21.0%	21.4%	21.9%	22.3%	22.7%
非被災地	16.8%	17.3%	18.0%	18.5%	19.0%	19.3%	19.8%	20.4%	20.9%	21.4%	21.9%

(単位:%)

被災地・非被災地別 65歳以上人口 割合（女性）

女性	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	24.7%	25.4%	26.1%	26.8%	27.3%	27.7%	28.2%	28.7%	29.4%	29.9%	30.4%
被災地2	25.6%	26.1%	26.8%	27.4%	27.8%	28.2%	28.7%	29.2%	29.7%	30.2%	30.7%
非被災地	23.0%	23.6%	24.4%	25.0%	25.6%	26.0%	26.6%	27.2%	27.9%	28.4%	29.0%

(単位:%)

市町村別 市町村民所得（一人当たり）

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	2,880	2,858	2,782	2,749	2,754	2,788	2,933	2,891	2,980	2,772	2616
	川口町	2,486	2,541	2,329	2,274	2,293	1,819	2,109	2,345	2,416	2,389	2356
	小千谷市	2,647	2,773	2,552	2,584	2,583	2,462	2,706	2,723	2,689	2,501	2079
	十日町市	2,381	2,356	2,260	2,303	2,254	2,230	2,328	2,285	2,237	2,172	2132
	魚沼市	2,539	2,459	2,363	2,318	2,275	2,255	2,412	2,338	2,310	2,228	2612
被災地 2	柏崎市	2,823	2,965	2,843	2,815	2,816	2,929	3,034	2,954	2,833	2,773	3269
	刈羽村	3,192	3,581	3,498	3,251	3,309	3,540	3,508	3,558	2,858	3,284	2014
	津南町	2,368	2,360	2,293	2,233	2,206	2,218	2,241	2,252	2,112	1,996	2348
	南魚沼市	2,574	2,590	2,517	2,515	2,452	2,427	2,513	2,483	2,440	2,376	2258
	見附市	2,358	2,330	2,283	2,252	2,279	2,289	2,418	2,453	2,506	2,376	2638
	上越市	2,986	3,110	2,897	2,900	2,906	2,965	3,003	2,976	2,923	2,735	1927
出雲崎町	2,186	2,144	2,116	2,049	2,021	2,099	2,085	2,095	2,120	2,063	2751	
非被災地	新潟市	2,986	3,028	2,975	2,945	2,898	2,886	2,890	2,878	2,934	2,829	2355
	新発田市	2,629	2,656	2,601	2,565	2,474	2,476	2,512	2,508	2,532	2,416	2193
	加茂市	2,294	2,251	2,210	2,209	2,294	2,255	2,340	2,306	2,343	2,263	2074
	村上市	2,440	2,391	2,337	2,283	2,260	2,260	2,274	2,284	2,265	2,175	2427
	三条市	2,618	2,673	2,627	2,573	2,578	2,534	2,588	2,597	2,647	2,530	2500
	燕市	2,776	2,823	2,800	2,731	2,742	2,865	2,855	2,840	2,843	2,669	2377
	糸魚川市	2,697	2,678	2,550	2,379	2,280	2,538	2,631	2,601	2,543	2,340	2311
	妙高市	2,741	2,935	2,673	2,640	2,600	2,783	2,882	2,770	2,743	2,522	2210
	五泉市	2,249	2,267	2,259	2,185	2,169	2,162	2,173	2,185	2,189	2,173	2242
	阿賀野市	2,394	2,402	2,392	2,343	2,338	2,359	2,437	2,380	2,327	2,249	1957
	佐渡市	2,523	2,492	2,382	2,309	2,287	2,247	2,238	2,181	2,113	2,019	2250
	胎内市	2,557	2,571	2,415	2,389	2,447	2,589	2,602	2,530	2,596	2,292	2875
	聖籠町	3,351	3,252	3,174	3,175	3,443	3,460	3,290	3,230	3,328	3,044	2251
	弥彦村	2,481	2,531	2,499	2,418	2,461	2,525	2,585	2,494	2,564	2,411	2131
	田上町	2,344	2,347	2,344	2,281	2,262	2,276	2,291	2,299	2,295	2,199	1701
	阿賀町	2,216	2,114	2,069	2,010	1,946	1,911	1,889	1,883	1,884	1,791	3469
湯沢町	4,566	4,496	4,346	3,821	3,567	3,439	3,791	3,618	3,574	3,608	1882	
関川村	2,267	2,286	2,189	2,154	2,104	2,114	2,156	2,129	2,144	2,048	2047	
粟島浦村	2,761	2,639	2,471	2,491	2,628	2,312	2,288	2,427	2,047	2,031		

(新潟県統計年鑑より)

(単位：千円)

市町村別 市町村別離婚率(人口千対)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地 1	長岡市	1.30	1.31	1.53	1.51	1.60	1.41	1.37	1.23	1.34	1.29	1.30
	川口町	1.37	0.52	1.05	2.29	0.54	1.81	2.48	0.79	1.81	0.82	1.24
	小千谷市	1.19	1.42	1.67	1.20	1.35	1.26	0.85	1.34	1.3	1.48	1.49
	十日町市	1.34	1.17	1.66	1.47	1.58	1.48	1.55	1.78	1.39	1.23	1.40
	魚沼市	0.96	1.28	1.37	1.32	1.62	1.25	1.29	1.76	1.51	1.31	1.47
被災地 2	柏崎市	1.28	1.32	1.46	1.65	1.68	1.51	1.24	1.75	1.51	1.38	1.36
	刈羽村	0.18	0.99	1.40	1.21	0.41	1.65	0.62	0.83	1.68	1.9	1.49
	津南町	1.11	0.81	1.79	0.91	1.17	1.68	1.71	1.31	1.51	1.17	1.28
	南魚沼市	1.42	1.60	1.92	1.53	1.77	1.83	1.55	1.48	1.31	1.82	1.58
	見附市	1.26	1.22	1.38	1.31	1.52	1.18	1.29	1.51	1.18	0.91	1.24
	上越市	1.40	1.36	1.33	1.65	1.58	1.41	1.50	1.55	1.68	1.59	1.45
出雲崎町	0.68	1.03	1.05	1.07	1.45	1.11	1.50	1.72	0.58	0.99	0.40	
非被災地	新潟市	1.56	1.66	1.71	1.86	1.83	1.73	1.63	1.62	1.53	1.58	1.52
	新発田市	1.24	1.58	1.67	1.64	1.75	1.64	1.54	1.57	1.58	1.63	1.38
	加茂市	0.99	0.82	1.28	1.59	1.33	1.09	1.27	1.31	1.36	1.31	1.06
	村上市	1.30	1.77	1.91	1.69	1.57	1.90	1.49	1.52	1.55	1.43	1.26
	三条市	1.28	1.33	1.41	1.63	1.38	1.51	1.47	1.59	1.32	1.33	1.43
	燕市	1.31	1.57	1.62	1.53	1.54	1.45	1.32	1.36	1.43	1.42	1.63
	糸魚川市	1.24	1.43	1.39	0.96	1.44	1.32	1.40	1.08	1.29	1.43	1.00
	妙高市	1.51	0.98	1.52	1.35	1.24	0.99	1.24	1.20	0.84	1.12	1.28
	五泉市	1.01	1.33	1.47	1.56	1.50	1.82	1.39	1.43	1.41	1.37	1.27
	阿賀野市	1.21	1.61	1.47	1.56	1.65	1.32	1.40	1.93	1.28	1.42	1.25
	佐渡市	1.06	1.33	1.71	1.46	1.66	1.55	1.45	1.34	1.42	1.29	1.28
	胎内市	1.08	1.31	1.20	1.61	1.36	1.94	1.49	1.07	1.49	1.5	1.33
	聖籠町	2.18	2.25	2.03	2.40	2.70	1.93	1.26	2.15	1.69	1.98	1.17
	弥彦村	1.16	1.87	1.87	1.40	2.58	1.17	1.05	1.17	1.52	1.16	0.92
	田上町	0.94	1.83	0.66	1.46	1.84	1.33	1.80	2.12	1.45	1.3	1.63
	阿賀町	0.69	0.82	1.09	1.36	1.05	2.00	1.70	0.97	0.57	0.87	0.74
湯沢町	1.73	1.42	1.88	2.11	1.91	1.91	1.03	1.28	2.13	2.51	2.28	
関川村	1.19	1.73	0.94	1.50	0.69	1.97	1.14	0.87	1.48	1.66	1.07	
粟島浦村	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	9.66	2.45	

(新潟県福祉保健年報より)

市町村別 生活保護世帯数

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	577	610	679	762	818	882	946	940	919	926	1,013
	川口町	5	7	8	11	11	13	10	10	11	9	12
	小千谷市	73	76	77	83	91	97	95	101	113	114	124
	十日町市	123	137	146	147	153	157	151	161	168	174	181
	魚沼市	88	97	103	107	110	229	119	117	118	123	138
被災地2	柏崎市	230	228	239	252	264	264	293	242	230	227	270
	刈羽村	8	7	7	5	5	5	5	7	7	8	8
	津南町	9	11	13	18	17	18	17	18	21	20	20
	南魚沼市	62	65	65	72	76	130	75	72	77	82	97
	見附市	46	51	52	58	63	61	61	67	71	75	86
	上越市	360	368	383	421	461	539	539	566	585	590	696
	出雲崎町	8	7	8	10	15	22	23	24	22	20	23
非被災地	新潟市	3,387	3,578	3,807	4,200	4,611	4,987	5,273	5,454	5,627	5,833	6,463
	新発田市	255	277	298	315	343	361	376	376	392	402	442
	加茂市	64	64	65	77	81	92	103	110	114	124	140
	村上市	164	167	163	162	170	180	190	194	189	204	247
	三条市	207	219	237	262	291	311	345	347	343	353	404
	燕市	148	165	166	169	178	177	186	178	180	187	211
	糸魚川市	101	99	101	110	122	137	145	152	153	157	179
	妙高市	73	76	80	86	86	83	86	92	96	100	118
	五泉市	101	113	133	149	163	162	181	161	159	154	162
	阿賀野市	83	94	100	105	105	116	129	136	136	148	162
	佐渡市	185	193	197	216	232	257	274	283	291	300	318
	胎内市	67	74	85	91	95	103	194	96	86	87	96
	聖籠町	16	17	15	14	16	14	16	18	21	27	30
	弥彦村	13	14	13	13	12	12	13	14	14	17	21
	田上町	17	18	18	19	20	20	19	16	18	19	22
	阿賀町	42	46	42	43	49	53	56	62	68	65	75
湯沢町	10	13	14	15	20	20	23	23	21	21	24	
関川村	16	16	16	17	17	20	23	24	22	26	29	
	粟島浦村	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2

(新潟県福祉保健年報より) (単位:世帯)

被災地・非被災地別 生活保護世帯数

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	866	927	1,013	1,110	1,183	1,378	1,321	1,329	1,329	1,346	1,468
被災地2	723	737	767	836	901	1,039	1,013	996	1,013	1,022	1,200
非被災地	4,951	5,245	5,552	6,065	6,613	7,108	7,634	7,738	7,932	8,226	9,145

(単位:世帯)

市町村別 生活保護数

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	726	757	838	954	1,041	1,131	1,202	1,178	1,140	1,148	1,250
	川口町	6	9	11	14	14	18	15	13	12	12	17
	小千谷市	96	102	102	112	122	135	127	133	146	145	159
	十日町市	161	179	192	193	196	190	184	205	214	213	219
	魚沼市	121	135	140	145	150	303	150	151	152	157	185
被災地2	柏崎市	290	283	278	292	305	297	320	263	251	251	308
	刈羽村	9	9	9	7	7	7	7	9	8	9	10
	津南町	10	12	15	22	22	23	21	22	28	28	27
	南魚沼市	77	84	81	91	94	163	93	90	98	103	125
	見附市	68	80	84	94	99	91	93	104	117	123	133
	上越市	409	422	444	508	580	694	697	722	744	744	894
出雲崎町	9	7	9	11	16	24	26	26	24	22	26	
非被災地	新潟市	4,907	5,205	5,521	6,140	6,787	7,322	7,682	7,912	8,089	8,316	9,142
	新発田市	331	367	382	404	456	487	515	520	554	563	621
	加茂市	89	86	86	100	105	120	142	152	157	169	184
	村上市	197	200	194	191	205	223	234	239	234	254	310
	三条市	283	298	316	340	378	410	455	456	438	452	528
	燕市	188	214	209	213	221	216	226	212	222	229	252
	糸魚川市	123	123	126	139	154	175	186	197	198	202	245
	妙高市	93	99	107	116	122	115	115	119	121	120	141
	五泉市	136	160	197	215	229	227	252	221	215	204	210
	阿賀野市	117	135	139	140	144	162	173	178	181	197	211
	佐渡市	243	253	265	296	331	355	371	389	409	417	441
	胎内市	104	108	127	137	133	140	249	125	109	106	117
	聖籠町	19	21	19	20	20	16	18	24	26	31	35
	弥彦村	19	21	16	16	15	16	16	17	17	21	25
	田上町	20	22	22	25	25	24	23	16	18	20	24
	阿賀町	65	67	58	64	72	71	72	83	87	87	99
湯沢町	13	17	19	19	26	26	31	31	28	28	34	
関川村	27	27	30	32	33	37	39	30	27	30	31	
粟島浦村	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	

(新潟県福祉保健年報より)

(単位:人)

被災地・非被災地別 生活保護数

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	1,110	1,182	1,283	1,418	1,523	1,777	1,678	1,680	1,664	1,675	1,830
被災地2	872	897	920	1,025	1,123	1,299	1,257	1,236	1,270	1,280	1,523
非被災地	6,976	7,425	7,835	8,609	9,458	10,145	10,801	10,923	11,132	11,448	12,652

(単位:人)

市町村別 生活保護率(人口千対)

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	2.52	2.64	2.92	3.33	3.64	3.97	4.24	4.17	4.05	4.10	4.48
	川口町	1.03	1.57	1.92	2.47	2.50	3.25	2.87	2.56	2.41	2.45	3.52
	小千谷市	2.29	2.45	2.47	2.73	2.98	3.33	3.18	3.36	3.72	3.71	4.09
	十日町市	2.45	2.75	2.97	3.01	3.09	3.02	2.96	3.34	3.53	3.55	3.70
	魚沼市	2.64	2.97	3.10	3.24	3.38	6.89	3.44	3.50	3.58	3.74	4.46
被災地2	柏崎市	2.91	2.89	2.86	3.02	3.17	3.10	3.38	2.79	2.68	2.70	3.33
	刈羽村	1.65	1.79	1.80	1.41	1.42	1.44	1.46	1.88	1.68	1.90	2.12
	津南町	0.79	0.97	1.22	1.81	1.83	1.94	1.79	1.92	2.49	2.53	2.47
	南魚沼市	1.16	1.28	1.24	1.40	1.46	2.55	1.47	1.43	1.57	1.66	2.03
	見附市	1.55	1.84	1.93	2.17	2.29	2.11	2.18	2.45	2.77	2.93	3.18
	上越市	1.93	1.99	2.10	2.41	2.76	3.30	3.35	3.48	3.61	3.62	4.38
出雲崎町	1.53	1.20	1.58	1.96	2.91	4.43	4.87	4.97	4.67	4.35	5.22	
非被災地	新潟市	6.08	6.43	6.81	7.57	8.36	9.02	9.44	9.74	9.95	10.24	11.26
	新発田市	3.10	3.46	3.61	3.83	4.33	4.64	4.92	5.00	5.35	5.47	6.08
	加茂市	2.68	2.60	2.62	3.06	3.25	3.74	4.51	4.87	5.08	5.54	6.10
	村上市	2.65	2.71	2.64	2.62	2.84	3.12	3.31	3.42	3.39	3.73	4.61
	三条市	2.61	2.77	2.94	3.17	3.55	3.87	4.34	4.38	4.24	4.40	5.17
	燕市	2.22	2.54	2.49	2.53	2.63	2.58	2.71	2.55	2.68	2.77	3.07
	糸魚川市	2.31	2.32	2.40	2.68	2.99	3.44	3.73	4.00	4.06	4.19	5.13
	妙高市	2.34	2.49	2.71	2.96	3.14	2.99	3.04	3.17	3.27	3.29	3.92
	五泉市	2.29	2.72	3.36	3.69	3.95	3.94	4.42	3.91	3.84	3.68	3.82
	阿賀野市	2.39	2.79	2.88	2.92	3.01	3.40	3.68	3.82	3.92	4.30	4.63
	佐渡市	3.35	3.51	3.70	4.19	4.74	5.15	5.51	5.85	6.27	6.48	6.96
	胎内市	3.03	3.15	3.71	4.02	3.93	4.17	7.59	3.83	3.38	3.32	3.71
	聖籠町	1.43	1.58	1.43	1.50	1.50	1.19	1.33	1.78	1.91	2.28	2.55
	弥彦村	2.21	2.46	1.87	1.87	1.76	1.87	1.87	1.99	1.99	2.44	2.88
	田上町	1.44	1.61	1.61	1.83	1.84	1.78	1.72	1.21	1.37	1.53	1.87
	阿賀町	4.07	4.24	3.72	4.16	4.75	4.73	4.90	5.77	6.18	6.32	7.33
湯沢町	1.41	1.86	2.10	2.11	2.92	2.92	3.56	3.62	3.31	3.35	4.08	
関川村	3.57	3.60	4.03	4.37	4.58	5.20	5.56	4.34	3.99	4.53	4.76	
粟島浦村	4.59	4.45	4.50	4.57	4.65	6.98	4.57	4.66	4.74	4.83	4.90	

(単位:人口千対)

被災地・非被災地別 生活保護率(人口千対)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	2.48	2.66	2.89	3.21	3.46	4.06	3.87	3.89	3.88	3.93	4.32
被災地2	1.96	2.03	2.09	2.34	2.57	2.98	2.92	2.88	2.98	3.02	3.62
非被災地	4.38	4.67	4.94	5.44	5.99	6.44	6.89	7.00	7.17	7.41	8.22

(単位:人口千対)

※率算出に用いた人口は、県統計課「推計人口(10月1日現在)」

市町村別 耕地面積(総数)

	総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	18,893	18,850	18,754	18,703	18,652	18,566	18,120	18,300	18,300	18,200	18,200
	川口町	619	615	615	614	614	613	539	566	596	598	597
	小千谷市	3,510	3,500	3,500	3,480	3,470	3,460	3,180	3,210	3,300	3,330	3,330
	十日町市	7,690	7,610	7,560	7,500	7,480	7,479	7,140	7,160	7,170	7,170	7,160
	魚沼市	3,953	3,945	3,941	3,923	3,914	3,909	3,820	3,840	3,860	3,860	3,840
被災地2	柏崎市	5,412	5,396	5,368	5,361	5,339	5,315	5,292	5,270	5,240	5,200	5,180
	刈羽村	674	672	671	669	666	664	664	662	660	659	658
	津南町	3,060	3,050	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	3,030	3,030	3,030
	南魚沼市	6,580	6,560	6,550	6,540	6,520	6,490	6,490	6,480	6,470	6,470	6,460
	見附市	2,750	2,750	2,750	2,740	2,740	2,720	2,740	2,730	2,720	2,720	2,720
	上越市	19,027	18,863	18,691	18,534	18,482	18,415	18,200	18,200	18,100	18,000	17,900
	出雲崎町	543	539	534	534	534	530	532	532	529	528	523
非被災地	新潟市	34,849	34,737	34,676	34,531	34,455	34,412	34,330	34,200	34,100	34,000	33,800
	新発田市	10,900	10,880	10,860	10,860	10,860	10,850	10,840	10,800	10,800	10,800	10,700
	加茂市	1,820	1,820	1,810	1,810	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,790	1,790
	村上市	7,882	7,809	7,690	7,585	7,527	7,506	7,472	7,443	7,425	7,380	7,370
	三条市	6,940	6,930	6,910	6,890	6,870	6,850	6,850	6,830	6,830	6,820	6,780
	燕市	5,860	5,840	5,830	5,810	5,810	5,800	5,780	5,760	5,750	5,740	5,660
	糸魚川市	2,972	2,920	2,879	2,845	2,822	2,820	2,810	2,790	2,750	2,740	2,720
	妙高市	3,354	3,304	3,269	3,242	3,220	3,206	3,200	3,180	3,170	3,160	3,140
	五泉市	5,370	5,350	5,350	5,300	5,250	5,250	5,250	5,240	5,230	5,230	5,170
	阿賀野市	7,180	7,070	7,050	7,040	7,040	7,020	7,020	7,000	6,960	6,930	6,920
	佐渡市	11,843	11,788	11,728	11,641	11,522	11,400	11,300	11,200	11,000	11,000	10,900
	胎内市	4,370	4,350	4,350	4,360	4,350	4,340	4,340	4,330	4,310	4,310	4,300
	聖籠町	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,390	1,390	1,390	1,390
	弥彦村	1,080	1,080	1,080	1,080	1,070	1,070	1,070	1,070	1,060	1,060	1,030
	田上町	970	961	958	958	958	959	959	958	942	941	940
	阿賀町	1,238	1,234	1,229	1,223	1,221	1,217	1,210	1,210	1,200	1,190	1,100
	湯沢町	312	303	303	302	302	302	302	302	302	302	302
	関川村	1,420	1,410	1,400	1,400	1,390	1,390	1,390	1,380	1,380	1,380	1,380
粟島浦村	20	20	20	20	20	20	19	18	18	18	18	

(新潟県統計年鑑より)

(単位:ha)

被災地・非被災地別 耕地面積(総数)

総数	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	34,665	34,520	34,370	34,220	34,130	34,027	32,799	33,076	33,226	33,158	33,127
被災地2	38,046	37,830	37,604	37,418	37,321	37,174	36,958	36,914	36,749	36,607	36,471
非被災地	109,780	109,206	108,792	108,297	107,887	107,612	107,342	106,901	106,417	106,181	105,410

(単位:ha)

市町村別 耕地面積(田)

	田	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	17,232	17,189	17,167	17,137	17,107	17,032	16,586	16,800	16,800	16,700	16,600
	川口町	531	528	528	527	527	526	453	480	510	512	511
	小千谷市	2,990	2,990	2,980	2,980	2,970	2,970	2,690	2,720	2,810	2,850	2,840
	十日町市	6,726	6,672	6,624	6,574	6,566	6,552	6,220	6,240	6,260	6,260	6,250
	魚沼市	3,399	3,393	3,389	3,382	3,374	3,359	3,270	3,300	3,320	3,330	3,310
被災地2	柏崎市	5,014	4,999	4,981	4,973	4,962	4,938	4,926	4,900	4,870	4,820	4,810
	刈羽村	598	597	597	597	596	596	596	596	595	595	595
	津南町	1,940	1,940	1,940	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930
	南魚沼市	6,160	6,140	6,130	6,120	6,090	6,070	6,070	6,060	6,060	6,050	6,050
	見附市	2,540	2,540	2,530	2,530	2,530	2,500	2,530	2,520	2,500	2,500	2,500
	上越市	17,803	17,637	17,488	17,344	17,292	17,247	17,100	17,000	17,000	16,900	16,800
	出雲崎町	500	497	494	494	494	490	492	492	490	489	486
非被災地	新潟市	30,229	30,157	30,095	30,030	29,963	29,931	29,860	29,700	29,500	29,400	29,100
	新発田市	9,813	9,803	9,793	9,783	9,783	9,773	9,773	9,750	9,710	9,700	9,620
	加茂市	1,520	1,510	1,510	1,510	1,500	1,500	1,500	1,500	1,480	1,480	1,470
	村上市	6,771	6,768	6,753	6,715	6,687	6,674	6,648	6,629	6,595	6,530	6,530
	三条市	6,280	6,270	6,250	6,240	6,230	6,210	6,190	6,170	6,170	6,160	6,150
	燕市	5,460	5,430	5,420	5,410	5,400	5,380	5,380	5,360	5,350	5,330	5,250
	糸魚川市	2,715	2,673	2,637	2,603	2,588	2,576	2,570	2,560	2,530	2,520	2,500
	妙高市	2,830	2,798	2,768	2,751	2,739	2,727	2,730	2,720	2,710	2,700	2,680
	五泉市	4,880	4,870	4,870	4,830	4,790	4,790	4,780	4,760	4,740	4,740	4,680
	阿賀野市	6,536	6,513	6,512	6,512	6,502	6,500	6,490	6,470	6,430	6,410	6,390
	佐渡市	9,890	9,844	9,789	9,774	9,753	9,690	9,600	9,510	9,350	9,290	9,230
	胎内市	3,636	3,635	3,635	3,624	3,622	3,619	3,608	3,590	3,580	3,580	3,570
	聖籠町	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060	1,050	1,050	1,040	1,030	1,020	1,020
	弥彦村	981	980	979	979	976	975	971	969	966	965	936
	田上町	875	866	863	863	863	863	863	862	854	853	852
	阿賀町	985	984	981	979	978	976	973	937	930	927	873
	湯沢町	248	242	242	241	241	241	241	241	241	241	241
	関川村	1,270	1,270	1,270	1,270	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,240	1,240
	粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(新潟県統計年鑑より)

(単位:ha)

被災地・非被災地別 耕地面積(田)

田	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	30,878	30,772	30,688	30,600	30,544	30,439	29,219	29,540	29,700	29,652	29,511
被災地2	34,555	34,350	34,160	33,988	33,894	33,771	33,644	33,498	33,445	33,284	33,171
非被災地	95,979	95,673	95,427	95,174	94,935	94,735	94,487	94,028	93,426	93,086	92,332

(単位:ha)

市町村別 耕地面積(畑)

	畑	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	1,670	1,658	1,589	1,565	1,544	1,531	1,515	1,510	1,510	1,510	1,510
	川口町	88	87	87	87	87	87	86	86	86	86	86
	小千谷市	515	513	511	507	504	498	494	492	490	488	486
	十日町市	962	950	939	922	918	917	916	914	912	909	907
	魚沼市	549	547	547	546	545	545	542	540	539	538	535
被災地2	柏崎市	403	397	389	387	379	368	362	373	372	371	372
	刈羽村	76	75	74	72	70	68	68	66	65	64	63
	津南町	1,120	1,110	1,110	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
	南魚沼市	429	426	426	426	424	420	420	419	418	417	416
	見附市	215	214	214	214	213	213	213	208	221	220	219
	上越市	1,247	1,220	1,199	1,182	1,168	1,159	1,160	1,130	1,110	1,080	1,100
	出雲崎町	43	42	40	40	40	40	40	40	39	39	37
非被災地	新潟市	4,595	4,572	4,556	4,510	4,498	4,475	4,468	4,470	4,530	4,530	4,640
	新発田市	1,084	1,068	1,065	1,070	1,069	1,068	1,068	1,080	1,070	1,070	1,060
	加茂市	302	301	300	299	299	298	297	301	317	316	318
	村上市	1,099	1,030	923	859	826	828	823	813	823	846	843
	三条市	665	658	652	647	647	646	646	661	661	659	630
	燕市	410	408	407	408	406	405	401	405	408	408	405
	糸魚川市	254	252	242	242	242	241	239	233	224	221	220
	妙高市	517	500	494	490	482	478	474	465	462	462	463
	五泉市	486	482	480	474	468	466	468	480	492	492	496
	阿賀野市	628	560	550	535	532	529	528	528	526	525	525
	佐渡市	1,953	1,948	1,925	1,866	1,785	1,720	1,710	1,680	1,680	1,690	1,690
	胎内市	725	723	720	728	726	726	726	732	731	730	731
	聖籠町	338	337	336	340	342	344	346	354	360	366	367
	弥彦村	98	97	97	97	98	98	98	98	97	97	97
	田上町	95	95	95	95	95	96	96	96	88	88	88
	阿賀町	253	250	248	244	243	241	240	276	266	264	225
	湯沢町	64	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61
	関川村	142	141	128	127	126	126	129	122	121	134	134
粟島浦村	20	20	20	20	20	20	19	18	18	18	18	

(新潟県統計年鑑より)

(単位:ha)

被災地・非被災地別 耕地面積(畑)

畑	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	3,784	3,755	3,673	3,627	3,598	3,578	3,553	3,542	3,537	3,531	3,524
被災地2	3,533	3,484	3,452	3,421	3,394	3,368	3,363	3,336	3,325	3,291	3,307
非被災地	13,728	13,503	13,299	13,112	12,965	12,866	12,837	12,873	12,935	12,977	13,011

(単位:ha)

市町村別 交通事故発生件数

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	984	1,174	1,325	1,496	1,433	1,521	1,673	1,488	1,338	1,243	1,128
	川口町	29	46	43	34	40	23	38	36	17	26	19
	小千谷市	204	229	231	205	224	206	246	204	153	144	137
	十日町市	334	350	320	322	281	293	323	289	232	226	217
	魚沼市	186	211	179	224	195	171	200	167	159	141	122
被災地2	柏崎市	445	496	438	375	478	410	454	412	365	317	315
	刈羽村	17	16	23	18	19	15	24	21	16	22	9
	津南町	64	57	49	41	49	47	45	48	47	26	33
	南魚沼市	420	437	406	423	347	334	304	269	263	237	243
	見附市	161	169	193	213	214	200	207	198	166	184	169
	上越市	1,108	1,169	1,197	1,183	1,143	1,136	1,066	1,065	1,038	1,003	920
	出雲崎町	18	26	25	25	19	6	18	13	15	12	9
非被災地	新潟市	5,246	5,612	5,752	5,852	5,874	6,076	6,155	5,605	5,249	4,662	4,216
	新発田市	636	668	671	674	605	597	581	572	550	555	431
	加茂市	138	114	161	185	166	134	137	126	132	112	98
	村上市	332	375	340	365	372	339	338	319	285	256	258
	三条市	781	945	877	779	742	704	732	774	654	623	576
	燕市	550	517	546	453	532	505	470	445	466	458	371
	糸魚川市	258	217	246	221	194	211	223	221	196	183	155
	妙高市	176	201	159	176	168	124	147	152	129	122	119
	五泉市	297	331	326	315	312	306	269	256	240	194	164
	阿賀野市	234	227	266	177	257	232	247	247	222	175	170
	佐渡市	299	325	296	273	276	281	269	259	232	219	179
	胎内市	150	186	200	182	175	169	157	146	126	110	106
	聖籠町	136	128	129	119	127	121	124	97	102	94	74
	弥彦村	36	45	46	39	41	46	47	38	29	32	35
	田上町	48	72	55	66	78	93	78	68	68	58	46
	阿賀町	62	65	66	60	52	51	68	55	52	42	37
	湯沢町	91	68	101	83	59	47	39	40	38	42	29
	関川村	32	38	37	29	28	32	30	29	21	30	19
粟島浦村	1	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	

(新潟県統計年鑑より)

(単位:件)

被災地・非被災地別 交通事故発生件数

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	1,737	2,010	2,098	2,281	2,173	2,214	2,480	2,184	1,899	1,780	1,623
被災地2	2,233	2,370	2,331	2,278	2,269	2,148	2,118	2,026	1,910	1,801	1,698
非被災地	9,503	10,134	10,274	10,048	10,059	10,069	10,111	9,450	8,793	7,968	7,083

市町村別 交通事故死者数

		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	長岡市	29	21	15	23	15	20	17	10	19	23	17
	川口町	1	2	1	1	2	1	0	0	0	1	2
	小千谷市	0	5	4	5	2	5	3	2	2	2	3
	十日町市	3	9	7	4	5	12	9	6	7	1	7
	魚沼市	8	4	5	2	7	4	8	5	5	2	3
被災地2	柏崎市	7	9	9	7	5	9	12	4	8	2	5
	刈羽村	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0
	津南町	2	1	3	1	0	4	2	3	1	2	0
	南魚沼市	3	10	8	9	7	5	5	5	4	3	4
	見附市	4	3	2	3	1	3	3	6	4	1	1
	上越市	18	24	20	26	15	18	13	15	11	13	6
	出雲崎町	0	2	0	1	2	1	0	1	0	1	0
非被災地	新潟市	42	43	50	47	33	50	41	33	23	21	24
	新発田市	13	17	13	12	10	3	8	8	7	4	4
	加茂市	3	4	3	1	2	3	2	2	3	0	0
	村上市	10	5	5	13	12	8	11	4	10	8	8
	三条市	12	6	11	7	9	5	5	8	4	4	4
	燕市	8	6	10	11	4	8	6	5	4	4	4
	糸魚川市	10	6	10	6	6	7	8	8	4	7	4
	妙高市	4	9	6	5	7	5	3	3	4	0	0
	五泉市	4	4	3	5	4	6	6	2	8	2	1
	阿賀野市	8	6	5	5	4	8	5	2	7	1	1
	佐渡市	6	12	4	7	3	10	6	5	5	4	2
	胎内市	8	4	3	6	4	2	3	5	1	3	1
	聖籠町	1	0	3	5	5	1	2	1	0	1	2
	弥彦村	0	0	2	0	0	2	3	4	1	1	1
	田上町	0	2	1	0	0	2	0	1	0	1	1
	阿賀町	2	1	4	2	2	5	0	2	2	2	3
	湯沢町	1	1	1	3	2	0	1	1	1	0	1
関川村	3	2	3	関川村	1	1	1	0	0	0	0	
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(新潟県統計年鑑より)

被災地・非被災地別 交通事故死者数

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	41	41	32	35	31	42	37	23	33	29	32
被災地2	35	49	42	48	30	40	35	35	30	22	16
非被災地	135	128	137	136	108	126	111	94	84	63	61

被災地・非被災地別 交通事故死者率(人口10万対)

	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
被災地1	1,448.76	1,478.54	1,166.61	1,291.04	1,153.70	1,578.35	1,467.67	944.17	1,384.23	1,228.81	1,375.75
被災地2	169.01	238.34	206.07	237.10	148.78	200.00	177.62	179.06	154.89	114.31	83.70
非被災地	420.93	402.91	435.50	436.21	350.55	412.86	367.87	315.48	285.40	216.57	212.13

市町村別 病院・診療所数

		病院		診療所	合計	人口10万人対率
		精神科	一般			
被災地1	長岡市	1	10	177	188	67.3
	川口町	0	0	4	4	82.7
	小千谷市	0	3	26	29	74.6
	十日町市	1	4	34	39	65.8
	魚沼市	1	2	28	31	74.7
被災地2	柏崎市	1	4	62	67	72.5
	刈羽村	0	0	2	2	42.5
	津南町	0	1	5	6	54.8
	南魚沼市	1	3	29	33	53.6
	見附市	0	1	32	33	78.9
	上越市	3	8	130	141	69.1
非被災地	出雲崎町	0	0	4	4	80.2
	新潟市	8	37	645	690	85.0
	新発田市	1	6	80	87	85.1
	加茂市	0	1	24	25	82.9
	村上市	1	6	44	51	75.9
	三条市	1	6	65	72	70.5
	燕市	0	2	71	73	88.8
	糸魚川市	0	2	33	35	73.3
	妙高市	0	2	17	19	52.9
	五泉市	0	3	36	39	70.9
	阿賀野市	0	2	22	24	52.7
	佐渡市	1	5	39	45	71.1
	胎内市	1	1	21	23	73.0
	聖籠町	0	0	5	5	36.4
	弥彦村	0	0	5	5	57.5
	田上町	0	0	6	6	46.7
	阿賀町	0	1	11	12	88.9
湯沢町	0	1	4	5	60.0	
関川村	0	0	5	5	76.7	
粟島浦村	0	0	1	1	245.1	

(福祉保健年報より)

人口10万対率=H21年10月時点市町村別病院・診療所の総数÷H21年10月の市町村別人口×100000

税務署別 酒類販売(消費)数量 (合計量)

税務署	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
長岡	22,819	21,791	21,884	20,365	21,322	20,087	21,960	21,486	20,856	20,141
小千谷	19,060	16,143	17,724	16,879	16,022	15,304	15,621	15,356	15,590	14,371
十日町	6,598	6,318	6,210	5,894	6,008	6,302	5,932	5,687	5,695	5,529
柏崎	8,608	8,647	8,598	7,751	7,901	7,786	7,805	7,341	7,268	7,271
高田	23,467	23,246	22,735	21,380	22,886	20,802	21,482	21,764	19,316	19,626
新潟	59,878	61,579	61,064	60,543	58,824	57,599	58,252	60,282	56,670	56,801
新発田	21,347	22,470	22,413	20,072	19,849	23,664	20,801	16,461	13,435	13,785
新津	11,942	11,374	11,156	10,282	10,415	10,187	10,327	9,839	9,216	9,374
村上	7,644	7,871	7,450	6,893	7,007	7,602	6,904	6,639	6,026	5,925
三条	14,846	14,648	14,916	14,051	14,295	13,644	13,704	13,565	13,296	13,416
糸魚川	4,930	4,962	4,606	4,261	4,381	4,012	3,812	3,907	3,440	3,555
巻	15,672	15,168	15,219	14,358	13,883	17,043	13,412	10,126	11,606	11,276
佐渡	6,012	5,781	5,463	5,268	5,386	5,058	5,184	4,973	4,555	4,444

(関東信越国税局ホームページ 統計情報 税務署別酒類販売(消費)数量 より) (単位: kℓ)

市町村別 高齢者世帯数

		高齢者世帯		
		H12年	H17年	H22年
被災地1	長岡市	9,485	11,979	15,342
	川口町	160	186	
	小千谷市	1,244	1,531	1,893
	十日町市	2,586	3,066	3,746
	魚沼市	1,587	1,946	2,304
被災地2	柏崎市	4,550	5,384	6,152
	刈羽村	158	202	245
	津南町	660	731	808
	南魚沼市	1,571	1,952	2,404
	見附市	1,168	1,588	2,041
非被災地	上越市	8,015	9,755	11,942
	出雲崎町	426	448	451
	新潟市	29,072	37,812	48,096
	新発田市	3,666	4,531	5,549
	加茂市	1,117	1,401	1,786
	村上市	3,192	3,876	4,604
	三条市	2,912	3,829	4,967
	燕市	2,086	2,973	3,885
	糸魚川市	3,094	3,700	4,237
	妙高市	1,668	1,916	2,282
	五泉市	1,881	2,407	2,880
	阿賀野市	1,148	1,460	1,770
	佐渡市	5,975	6,488	6,936
	胎内市	966	1,160	1,536
	聖籠町	200	249	342
	弥彦村	233	283	358
	田上町	349	471	625
	阿賀町	1,271	1,459	1,641
	湯沢町	343	452	673
	関川村	332	371	442
粟島浦村	20	34	46	

市町村別 単身高齢者世帯数

		単身高齢者世帯		
		H12年	H17年	H22年
被災地1	長岡市	4,088	5,252	6,754
	川口町	59	70	
	小千谷市	538	626	786
	十日町市	1,033	1,276	1,551
	魚沼市	641	877	1,013
被災地2	柏崎市	2,063	2,596	2,911
	刈羽村	65	86	109
	津南町	267	318	352
	南魚沼市	654	854	1,038
	見附市	520	707	844
非被災地	上越市	3,523	4,396	5,349
	出雲崎町	214	233	232
	新潟市	13,638	18,196	23,054
	新発田市	1,709	2,115	2,563
	加茂市	557	702	902
	村上市	1,503	1,914	2,241
	三条市	1,359	1,806	2,327
	燕市	952	1,347	1,684
	糸魚川市	1,349	1,666	1,949
	妙高市	738	853	1,032
	五泉市	976	1,233	1,406
	阿賀野市	532	683	821
	佐渡市	2,991	3,209	3,440
	胎内市	473	563	700
	聖籠町	87	117	152
	弥彦村	128	138	167
	田上町	154	205	286
	阿賀町	575	679	786
	湯沢町	166	229	355
	関川村	153	177	203
粟島浦村	7	15	20	

総務省統計局「国勢調査報告より」

総務省統計局「国勢調査報告より」

※平成22年は川口町が長岡市に合併のため川口町のデータはなし ※平成22年は川口町が長岡市に合併のため川口町のデータはなし

被災地・非被災地別 高齢者世帯数

	H12年	H17年	H22年
被災地1	15,062	18,708	23,285
被災地2	16,548	20,060	24,043
非被災地	59,525	74,872	92,655

被災地・非被災地別 単身高齢者世帯数

	H12年	H17年	H22年
被災地1	6,359	8,101	10,104
被災地2	7,306	9,190	10,835
非被災地	28,047	35,847	44,088

市町村別 単身高齢者世帯数(男性)

単身高齢者世帯				
男性		H12年	H17年	H22年
被災地1	長岡市	929	1,325	1,840
	川口町	18	18	
	小千谷市	120	153	218
	十日町市	272	317	473
	魚沼市	145	236	295
被災地2	柏崎市	448	664	816
	刈羽村	15	27	34
	津南町	56	67	87
	南魚沼市	162	234	319
	見附市	135	185	243
	上越市	760	1,013	1,437
非被災地	出雲崎町	42	55	60
	新潟市	2,951	4,453	6,181
	新発田市	356	468	651
	加茂市	111	152	241
	村上市	263	398	558
	三条市	343	458	697
	燕市	227	340	504
	糸魚川市	293	385	500
	妙高市	168	202	276
	五泉市	196	282	342
	阿賀野市	101	159	229
	佐渡市	613	738	885
	胎内市	131	146	199
	聖籠町	23	31	51
	弥彦村	23	26	37
	田上町	29	42	73
	阿賀町	101	127	178
	湯沢町	37	71	148
	関川村	33	38	48
	粟島浦村	2	4	5

総務省統計局「国勢調査報告より」

市町村別 単身高齢者世帯数(女性)

単身高齢者世帯				
女性		H12年	H17年	H22年
被災地1	長岡市	3,159	3,927	4,914
	川口町	41	52	
	小千谷市	418	473	568
	十日町市	761	959	1,078
	魚沼市	496	641	718
被災地2	柏崎市	1,615	1,932	2,095
	刈羽村	50	59	75
	津南町	211	251	265
	南魚沼市	492	620	719
	見附市	385	522	601
	上越市	2,763	3,383	3,912
非被災地	出雲崎町	172	178	172
	新潟市	10,687	13,743	16,873
	新発田市	1,353	1,647	1,912
	加茂市	446	550	661
	村上市	1,240	1,516	1,683
	三条市	1,016	1,348	1,630
	燕市	725	1,007	1,180
	糸魚川市	1,056	1,281	1,449
	妙高市	570	651	756
	五泉市	780	951	1,064
	阿賀野市	431	524	592
	佐渡市	2,378	2,471	2,555
	胎内市	342	417	501
	聖籠町	64	86	101
	弥彦村	105	112	130
	田上町	125	163	213
	阿賀町	474	552	608
	湯沢町	129	158	207
	関川村	120	139	155
	粟島浦村	5	11	15

総務省統計局「国勢調査報告より」

被災地・非被災地別 単身高齢者世帯数(男性)

男性	H12年	H17年	H22年
被災地1	1,484	2,049	2,826
被災地2	1,618	2,245	2,996
非被災地	6,001	8,520	11,803

被災地・非被災地別 単身高齢者世帯数(女性)

女性	H12年	H17年	H22年
被災地1	4,875	6,052	7,278
被災地2	5,688	6,945	7,839
非被災地	22,046	27,327	32,285

被災地域自殺者の実態について(調査票②)事例 No. _____

市町村名		性別		男 ・ 女			
生年月日		T・S・H		年 月 日			
被災との関連 (地震・水害・その他)		家屋被害		1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. なし			
1. 有 2. 無 3. 不詳		家屋修繕		1. 新築 2. 移転 3. 一部改修 4. 不詳			
仮設入居経験		喪失体験		1. 有() 2. 無 3. 不詳			
自死時の職業		主な収入(本人)		1. 給与 2. 農業収入 3. 自営 4. 年金() 5. 生保 6. その他() 7. 不詳			
1. 自営(家族従事) 2. 勤め人 3. 農業 4. パート・アルバイト 5. 学生 6. 主婦 7. 失業 8. 無職 9. その他()		主な収入(世帯)		1. 給与 2. 農業収入 3. 自営 4. 年金() 5. 生保 6. その他() 7. 不詳			
自死時職業(1.2.4)		年(現職年数)					
婚姻状況		1. 既婚 2. 未婚 3. 離婚 4. 再婚 5. 死別 6. 不詳 7. その他()					
最終学歴		1. 尋常小学校 2. 高等小学校 3. 旧制中学校 4. 中学校 5. 高等学校 6. 女学校 7. 専門学校 8. 大学 9. 大学院 10. 不詳 11. その他()					
身体疾患	診断名			精神疾患	診断名		
	医療機関				医療機関		
	主治医				主治医		
	受診状況	初診時期() 障がいの有無()			受診状況	初診時期() 障がいの有無()	
生活歴 生活状況等		家族構成					
		○ — □					
性格			体格				
家族構成	1. 単身 2. 家族(人)						
住居	1. 自家(本人・同居) 2. 借家 3. アパート・マンション 4. 不詳 5. その他()						
家庭での役割	1. 有() 2. 無 3. 不詳		地域での役割	1. 有() 2. 無 3. 不詳			
地域での交流 地域での様子							

被災地域自死者の実態について(調査票③)事例 No. _____

これまでの関わりの有無		1. 有()	2. 無()	3. 不詳
事案を知った経緯時期 () ()	1. 民生委員からの情報 2. その他地区リーダーからの情報 (a 区長 b 町内会長 c 健康推進員 d その他()) 3. 住民からの情報 (a 一般住民 b 自治体職員) 4. 窓口情報 (a 死亡届 b 手続き等 c その他()) 5. 地域保健福祉活動から() 6. その他()			
事案を知った時の気持ち	1. なぜ自死をした 2. 気になっていた () 3. その他()			
事案を知った後の行動	1. 意図的な情報収集 a 有 (ア)誰に (イ)内容 () b 無 2. その後の対応 a 有 (ア)家庭訪問 (イ)声かけをした (ウ)電話 (エ)その他() b 無 3. 意図的な遺族ケアの実施 a 有(ア)何を (イ)どのように () b 無 4. 特に何もしない・できない (理由:)			
遺族の状況 (問題)				
地区の特性・様子				
事案のケースについて自治体が自死を防ぐために必要であったと思われる事	被災地における自殺予防活動で必要と思われる事			
1. 民生委員等地域連携 2. 地域での情報の収集 3. 地域での普及啓発活動 4. 庁内の連携 5. 関係機関(a 消防 b 警察 c 保健所 d 医療機関 e その他())との連携 6. 職員のスキル () 7. その他()	1. 民生委員等地域連携 2. 地域での情報の収集 3. 地域での普及啓発活動 4. 庁内の連携 5. 関係機関(a 消防 b 警察 c 保健所 d 医療機関 e その他())との連携 6. 職員の育成 () 7. その他()			
備考				

自殺調査のためのチェックリスト(調査票④) 事例 No _____

項 目		チェック欄
本人の訴え	死や自殺の願望・意思を口にしている	
	絶望やあきらめを口にしている	
	身体機能の喪失、疼痛により強い苦悩・苦痛を訴えている	
既往歴・家族歴	精神疾患の既往歴がある	
	自傷・自殺企図の既往歴がある	
	自殺の家族歴がある	
ライフイベント・生活環境	最近の喪失体験(親しい者との離別・死別、生き甲斐の喪失)	
	失業や経済的破綻を経験した	
	家族や介護者がおらず孤立している	
症状・疾病	精神症状を呈している、精神疾患を合併している	
	抑うつ状態にある	
	強い不安状態、ないしは焦燥状態にある	
	不眠や食欲不振が続いている	
	明らかな行動上の変化・異常を認めている	
	慢性ないし進行性の身体疾患に罹患している	
	自身の身体や健康に無頓着・無謀な行動・アルコール乱用	
	「別れの準備」(身の整理、大切なものを人に譲る)	



確認事項 (調査者は記入漏れがないか確認)

- ・震災との関連 ・家族構成の変化の有無 ・家族の死亡の有無 ・家族自死歴の有無 ・疾病の有無(身体・精神)
- ・兄弟・姉妹の有無 ・障がいの有無(本人・家族) ・介護者の有無 ・体型・性格 ・出身地 ・婚姻 ・飲酒状況

資料

新潟県中越地方を中心とする地震にかかる災害救助法の適用について

1 災害の概要

新潟県中越地方を震源とする地震により、新潟県において多数の被災者が生命又は身体に危害を受け又は受けるおそれが生じたことから、避難して継続的に救助を必要とするため新潟県は災害救助法の適用を決定した。

第1報 (平成16年10月24日 1:00)	第2報 (平成16年10月24日 6:30)	第3報 (平成16年10月24日 9:00)	第4報 (平成16年10月27日 13:30)	第5報 (平成16年11月9日 11:00)
被害の状況等	被害の状況等	被害の状況等	被害の状況等	被害の状況等
10月23日夕方の地震発生後、余震が続いており、多数の被災者の方が生命又は身体に危害を受け又は受けるおそれが生じたことから、避難して継続的に救助が必要となっている。	左に同じ	左に同じ	左に同じ	左に同じ
災害救助法 適用市町村	災害救助法 適用市町村	災害救助法 適用市町村	災害救助法 適用市町村	災害救助法 適用市町村
法適用日	法適用日	法適用日	法適用日	法適用日
小千谷市	見附市	北魚沼郡守門村	北魚沼郡入込瀬村	東頸城郡松代町
長岡市	柏崎市	中魚沼郡津南町		東頸城郡松之山町
十日町市	南蒲原郡中之島町	刈羽郡刈羽村		刈羽郡高柳町
栃尾市	三島郡越路町			西蒲原郡分水町
南魚沼郡六日町	三島郡三島町			南蒲原郡采町
南魚沼郡中里村	三島郡与板町			加茂市
東頸城郡安塚町	三島郡和島村			三島郡寺泊町
	三島郡出雲崎町			燕市
	古志郡山古志村			西蒲原郡巻町
	北魚沼郡川口町			西蒲原郡月潟村
	北魚沼郡堀之内町			西蒲原郡中之口村
	北魚沼郡小出町			西蒲原郡弥彦村
	北魚沼郡湯之谷村			西蒲原郡吉田町
	北魚沼郡広神村			三条市
	南蒲原郡塩沢町			中頸城郡柿崎町
	南魚沼郡大和町			中頸城郡吉川町
	中魚沼郡川西町			中頸城郡頸城村
	刈羽郡小国町			東頸城郡蒲川原村
	刈羽郡西山町			東頸城郡大島村
				上越市
				中頸城郡三和村
				東頸城郡牧村
				中頸城郡清里村
				中頸城郡板倉町

新潟県中越大震災 被災地における自殺の現状 報告書

平成 25 年 2 月

編集・発行 新潟県精神保健福祉協会 こころのケアセンター
〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-3
ユニゾンプラザハート館 2 階

TEL 025-280-0270

FAX 025-285-5353